

緩和ケアにおける鍼灸治療の有用性、適応の評価とチーム医療のための
システム化に関する調査研究
(平成 24 -医療- 一般 024)

緩和ケアチームにおける鍼灸治療介入の有用性ならびに
適応の評価に関する研究(25 例のまとめ)

研究代表者：篠原 昭二

明治国際医療大学鍼灸学部鍼灸学科 基礎鍼灸学講座 教授

明治国際医療大学鍼灸学部鍼灸学科 基礎鍼灸学講座 研究協力者： 横西 望
明治国際医療大学鍼灸学部鍼灸学科 基礎鍼灸学講座：関 真亮、斉藤 宗則、和辻 直
明治国際医療大学 附属病院 外科学教室：神山 順、糸井 啓純
市立福知山市民病院：中村 洋子、川上 定男、羽柴光起、香川 恵造

【鍼灸治療介入の総括】

平成 25 年 4 月～平成 25 年 12 月末まで、鍼灸治療介入の有効性の検討ならびに適応評価の調査を、某市民病院緩和ケアチーム内で 25 症例(男性 19 名、女性 6 名)を対象として行った。評価には、疼痛など数字化できるものを、Visual Analogue Scale(以下 VAS)、Numerical Rating Scale(以下 NRS)で評価した。また、認知症や精神疾患等により、VAS、NRS を使用できなかった場合に対し、患者家族および医師、看護師、医療スタッフによる印象評価を参考とした。効果判定は前述の評価を総合して独自に定めた基準から著効、有効、やや有効、無効、不明と分類した。また、1 人当たりの愁訴が 1～3 愁訴あるため、愁訴別分類では 39 愁訴であった。

今回、主治医または患者本人からの依頼に対して鍼灸治療介入した結果、著効 9 例(23.1%)、有効 14 例(35.9%)、やや有効 11 例(17.1%)、無効 0 例(0%)、判定不明 5 例(12.8%)であり、59.0%に有効であった。また、有害事象としては治療後の倦怠感や、治療のために腸蠕動を促進させた際に腸蠕動痛を訴えたケースがある。のべ治療回数 384 回中、有害事象は 2 回(0.5%)と極めて低く、その程度も安静臥床で消失する軽微なものであったことから、非常に安全な治療法であるといえる。

平成 24 年度から引き続き、4 日/週とし、連日治療をおこなった。その結果、症状緩和を維持することが可能となった。また、4 日/週と常勤状態になることで、患者および医師からの依頼や相談に早期に対応が可能となり、平成 22～23 年度よりも信頼関係が得られやすくなった。

平成 25 年度は、さらに患者家族およびチームスタッフにも視点を向け、患者家族に対して鍼灸治療に関するアンケート調査を、チームスタッフには体調管理に対する調査を行った。

本稿では、平成 25 年度の症例研究を通して得られた副作用の少ない軽微な鍼灸治療方法についても、詳細に記述し、後進の参考に資するための資料としてまとめた。また、患者家族に対する鍼灸に対するアンケート調査、チームスタッフの体調管理の有用性等についても報告する。

A. 研究目的

終末期患者に対して平成 25 年 4 月から平成 25 年 12 月の期間、市立福知山市民病院緩和ケアチームにおいてサポートしている患者を対象に鍼灸治療を併用し、どのような効果が得られるのか調査した。なお、鍼灸治療介入研究の実施に当たって、明治国際医療大学研究倫理委員会の承認を得ると同時に、市立福知山市民病院臨床研究倫理委員会の承認を得て実施した。

平成 25 年 4 月から平成 25 年 12 月の期間、市立福知山市民病院緩和ケアチームに属し、西洋医学的に投薬が困難になった症例や薬物療法で十分な症状のコントロールができない症例、薬物の増量を拒否した症例などに対し、鍼灸治療介入を行った。対象患者の選別は主治医より本研究への協力の有無を確認し、文書にて同意の得られた者とした。

B. 研究方法

【対象】

平成 25 年 4 月末～平成 25 年 12 月末までの間に緩和ケアチームに依頼された患者のうち、投薬効果が切れると痛みが増悪する、服薬量を増やしたくないなどを訴えた患者で、鍼灸治療介入に関する同意を得られた担癌患者 25 例(男性 19 名、女性 6 名)、年齢 67.8 ± 14.8 歳を対象とした。

【治療方法】

治療方針

四診法による東洋医学的所見より、臓腑病、経脈病、経筋病等の弁証を可能な限り行い、証に応じた治療処方を考慮するも、寝返り困難、腹臥位困難、寝たきり、認知症等の影響によって、その目的を達し得ないケースも多く、患者への身体的な負担の比較的多い局所への施術ではなく、できるだけ四肢等の皮膚露出部位の経絡、経穴に対して、短時間で比較的軽微な刺激を行う事を考慮した。特に、一定姿勢の保持が困難なケースもあり、一回の治療時間は 5～15 分で終了することとした。

治療周期:平成 25 年度は祝日を除く週 4 回(連日治療)とした。

病期分類

病期は転帰日-鍼灸治療開始日から

- 1)ターミナル前期:数カ月以上、
- 2)ターミナル中期:数週間、
- 3)ターミナル後期:数日間、

- 4)ターミナル直前期:数時間、

ターミナル期以外では

- 5)非癌、
- 6)化学療法(術前・術後)・放射線療法中

に分類した。

使用鍼具

使用鍼:直径 0.12 mm、長さ 15mm(セイリン製 5 分-02 番鍼)を使用し、刺入深度は切皮程度(0.5～2 mm)、一部経穴には瀉法を目的に直径 0.18 mm、長さ 50mm を使用、刺入深度 10mm で行った。また、継続的治療効果を得るため、直径 0.2mm、長さ 0.6mm のパイオネックスを貼付した。

なお、徐々に全身的なコンディションが悪化する症例では、刺入鍼では疼痛、発熱等を誘発する可能性があることが先行研究で把握できていたことから、経過とともに体調に応じて皮膚に刺入することなく接触(痛みを感じない程度に圧迫刺激)するだけの鍍鍼を使用した。補法を目的に金鍼、瀉法を目的に銀鍼を使い分けた。

さらに、気虚、陽虚が進行している症例では温熱刺激が有効であることから、緩和ケア用に開発した e-Q(チュウオー製:温灸器)を使用し、温度は低温(47 ± 2 、5 秒)に設定して、5～8 力所に数分感の温熱刺激を行った。

表 1.平成 25 年度治療効果判定基準

著効	NRS ; 5 以上、FS ; 3 以上変化した場合、VAS=20mm 以下、または前評価値から 40mm 以上減少した場合。印象評価から鍼灸介入前後で明らかな改善が認められた場合。
有効	NRS ; 2～4、FS ; 2 変化した場合、VAS 値が前評価から 10mm～40mm の減少した場合。印象評価は鍼灸介入により苦痛表情の消失または精神的状態の改善がされ、笑顔が見られるようになった場合。
やや有効	NRS ; 1～2、FS ; 1 変化した場合、VAS 値が前評価から 10mm 以下減少した場合。印象評価は鍼灸介入前後で殆ど変化は認められないが、苦痛表情が少なくなり、笑顔が見られ始めた。睡眠に入ることができるなど、わずかではあるが変化の認められた場合。
無効 不明	主観的、客観的評価に一線変化がない場合、また各評価を使用しても効果が不明である場合。

評価方法

Visual Analogue Scale(以下 VAS)での評価を基本とし

たが、状態および看護師の評価が Numerical Rating Scale(以下 NRS)で統一していた場合は NRS で評価を行った。また、患者自身が認知症、せん妄など、評価が取れる状態でなかった場合は、患者家族をはじめ、医師、医療スタッフのコメントをカルテ記載項目から抜粋し、患者の状態の評価の一つとした。

東洋医学的所見では、前年度同様にコミュニケーションのできない状態、長時間の質問に体力が持たないといった状態が多いため、脈診、舌診、カルテから日頃の言動、食事状態、便秘状態などを抜粋し、加えて切経（経絡の触診）にて弁証をたてた。

上記評価を総合しての効果判定基準は「著効」、「有効」、「やや有効」、「無効」、「不明」の5段階で行った(表1)。

C. 研究結果

傷病名別分類（原発巣のみ）では大腸癌3例、乳癌1例、肺癌5例、食道・胃癌5例、膀胱癌3例、卵巣癌2例、肝癌1例、膵癌3例、その他2例であった(図1)。

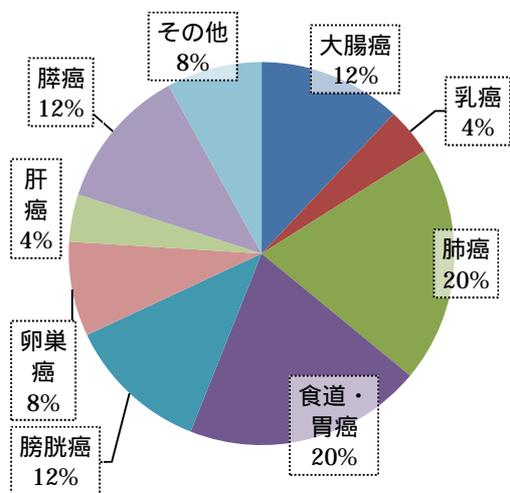


図1. 平成25年度の傷病別分類

依頼目的は愁訴別では疼痛19例(癌性疼痛：8例、その他11例)、全身倦怠感4例、しびれ5例、便秘1例、その他10例(図2)。(重複あり)

しびれには、癌細胞が神経叢に浸潤したケースと、術後後遺症による神経障害のケースがある。また、その他愁訴には、めまい、スピリチュアルペイン、嘔気、食欲不振、肺炎予防、呼吸困難感と様々な症状が挙げられた。鍼灸治療の頻度は引き続き、週4回(1日1回)の連日治療を行った。

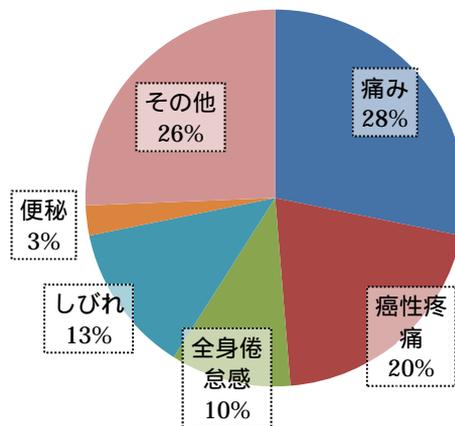


図2. 平成25年度の愁訴別分類

鍼灸治療効果は著効9例(23.1%)、有効14例(35.9%)、やや有効10例(25.6%)、不明6例(15.4%)、無効0例(0.0%)であり、治療効果が得られた者は全体の59.0%となった(図3)。

不明・無効と評価されたのは、

スピリチュアルペインは評価を数値化ができないことと、せん妄も併発しており評価困難であった症例

めまい、口内炎であり、鍼灸治療介入となった時が発症から時間が経過していたため、自然緩解の可能性もあった症例は不明または無効と判断した症例である。

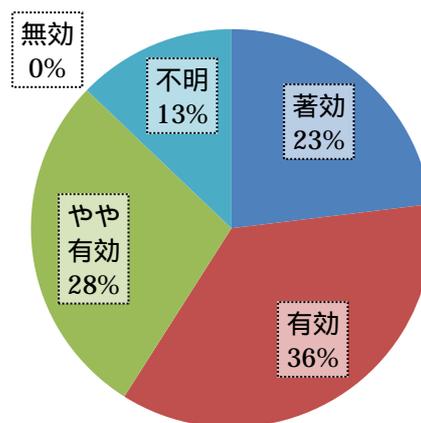


図3. 平成25年度の鍼灸治療効果

のべ治療回数は384回、うち有害事象は2回(0.5%)であった。癌性腹膜炎による腸蠕動痛と便秘を繰り返していた症例に対し、鍼灸治療直後に疼痛を訴えたが、治療には必要なことであった。実際に、疼痛直後に排便し、翌日は痛みが今までより緩和した1例であった。もう一例は膀胱癌により、膀胱全摘手術後に発症した足背のしびれに対し、継続的刺激を与えるため、円皮鍼を使用し

たところ夜になってしびれが強くなったので抜鍼していた。しかし、確認したところ、しびれというよりは、「ジーン」としたしびれとは別の気持ちいい響きであり、鍼の響きの説明不足であった1例である。

E. 結論

1) 緩和ケア中期から後期の鍼灸治療介入

平成22年～23年における緩和ケア病棟での鍼灸治療介入の結果、持続効果が比較的短く、週2回の鍼灸治療介入では、56%が24時間以内の持続効果しか期待できない事が問題であった。そこで、週に4日間の治療介入を行った結果、著効、有効例を合わせて59.0%に効果を認める事が出来た。また、2回/週と4回/週では、ともに無効例はなく、なにかしら鍼灸治療効果が得られることが判った。このことから、積極的な治療介入の必要性を示唆する結果と考えた。

2) 鍼灸師常駐のメリット

平成24年度報告書でも述べたとおり、鍼灸師が常駐していることで、医師および医療スタッフ、患者家族との情報交換が適宜最新の状態で行われ、早期対応、QOLの維持に貢献が可能となった。また、患者に対して有料で鍼灸治療介入する場合の費用、家族自身が鍼灸治療を希望するかといったアンケート調査を行った(別紙)。

その結果からも、病院勤務の鍼灸師がいることで、患者自身だけでなく、患者家族の体調管理にも繋げることができることから、大きなメリットがあると思われた(調査結果の詳細は、別項『2.患者および患者家族に対してのアンケート調査』を参照)。

3) 患者の精神的およびスピリチュアルケアへの関与の可能性

せん妄による異常行動が認められた患者に対し、スタッフ全員の対応の見直しと併用して精神安定の治療を夕食前に行うことにした。その結果、異常行動が認められなくなり、深夜にナースステーションに来ることがあっても、スタッフと数分会話して個室に戻っていた症例がある。異常行動を見せた症例は、この症例のみであったが、せん妄に鍼灸治療の効果が認められる可能性があると考えられた。

4) 患者の治療方針に関与できる可能性

鍼灸治療介入した患者の中には、「今後、化学療法を続けるかは家族の意思に任せる」としていたケースがあった。医師、看護師も患者の思いを聞き出せず、言葉どお

りに化学療法続行と治療方針が立てられていた。しかし、複数回の鍼灸治療を行ったことで、「医師にも看護師にも言えんような症状に対して、あんなだけが一生懸命みてくれと」と信頼関係を結ぶことができ、「実は、したい事は山ほどある。家の掃除や、畑で野菜を作ってみたい。家でゆっくりしたい」と患者の思いを聴きだすことができた。この情報により、化学療法は中止し、予後は自宅で過ごされるようにした。その結果、患者が逝去されたのち、家族から「最後にゆっくり過ごせてよかったです。化学療法を続けていたらできんかったと思う」といったコメントがあった。

このケースから、終末期における患者の望む最期を提供するために、鍼灸師の存在の有用性が示唆された。

以上のことから、鍼灸治療は、終末期患者の身体的苦痛や、死を目前とした不安、恐怖に伴う不眠やストレス、精神的苦痛に対し、一定の治療効果があると言えた。

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

1) 篠原昭二、横西 望他：癌性腹膜炎に伴う腸蠕動痛に対する鍼灸治療の一症例. 第18回日本緩和医療学会学術大会、p488、2013.

2) 横西 望、篠原昭二他：放射線療法における口内炎に対して、多職種協働による鍼灸治療の一症例. 第18回日本緩和医療学会学術大会、p489、2013.

3) 右鼠径部リンパ腫による歩行時の右股関節痛に対する鍼灸治療の一例. 第64回日本東洋医学学会、p258、2013.

4) 化学療法副作用に伴う口内炎に対し、鍼灸治療が有効であった一症例. 第64回日本東洋医学学会、p259、2013.

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

研究分担者・研究協力者

研究分担者：

系井 啓純 (明治国際医療大学 外科学教室 教授)
神山 順 (明治国際医療大学 外科学教室 教授)
斉藤 宗則 (明治国際医療大学 基礎鍼灸学講座 准教授)
関 真亮 (明治国際医療大学 基礎鍼灸学講座 講師)
和辻 直 (明治国際医療大学 基礎鍼灸学講座 准教授)

研究協力者：

横西 望 (明治国際医療大学 基礎鍼灸学講座)

香川 恵造 (市立福知山市民病院 院長)
川上 定男 (市立福知山市民病院 副診療部長・外科医長)
中村 洋子 (市立福知山市民病院 がん性疼痛看護認定看護部長 看護師長)

平成 25 年度 分担研究年度終了報告

厚生労働科学研究費補助金 地域医療基盤開発推進研究事業

1. 緩和ケアチームでの取り扱い症例の治療概要

1-1) 各症例の要旨

横西 望

明治国際医療大学鍼灸学部鍼灸学科 基礎鍼灸学講座 研究協力者

明治国際医療大学鍼灸学部鍼灸学科 基礎鍼灸学講座：篠原 昭二、関 真亮、斉藤 宗則、和辻 直

明治国際医療大学附属病院 外科学教室：糸井 啓純、神山 順

市立福知山市民病院：香川 恵造、川上 定男、羽柴 光起、中村 洋子

【研究要旨】

平成 25 年 4 月～平成 25 年 12 月末まで市立福知山市民病院緩和ケアチームに所属して、鍼灸治療の介入研究を実施した。期間中に西洋医学的治療では症例の緩和が不十分または、患者本人による事情により治療困難となり、緩和ケアチームに紹介された症例の中から鍼灸治療介入に患者本人および主治医の同意を得られた 25 名（男性 19 名、女性 6 名）、年齢 67.8 ± 14.8 歳を対象として行った。患者 1 人につき 1～3 愁訴あったため、今回、愁訴別に分類し、疼痛 19 例（癌性疼痛 8 例、その他 11 例）、倦怠感 4 名、しびれ 5 例、便秘 1 例、その他 10 例、計 39 例に対して鍼灸治療効果の判定を各々で行った。治療方法は、前年度から引き続き、四肢末端を中心に軽微な刺激で施行した。その結果、鍼灸治療効果は著効 9 例(23.1%)、有効 14 例(35.9%)、やや有効 11 例(28.2%)、無効 0 例(0%)、不明 5 例(12.8%)であり、約 6 割に有効であったことが示された。

また、有害事象については、治療直後およびそれ以降でも有害事象は観察されなかった。のべ 384 回の治療において 2 回の発症であり 0.5%と極めて安全な治療であると考えられる。

以下、データベースに入力された内容を簡潔に報告する。

20130001 (No.51)

【患者】56歳、男性

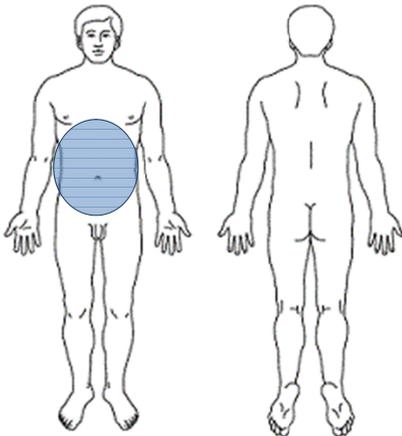
【病態】進行性大腸癌

【ターミナル期】ターミナル前期

【転帰】逝去

【鍼灸治療目的】

下痢と便秘を繰り返しているため、腸蠕動痛の完全な疼痛コントロールがされていないため、鍼灸治療介入となった。



【東洋医学的所見】

抗癌剤副作用による下痢と止痢剤による便秘を繰り返している。腸蠕動時に強い痛みがある。

脈診：脾滑、一息五至、左行間軟弱、中脘・滑肉門・天枢・関元軟弱。陽明経熱感あり。胸脇苦満。下痢、便秘を繰り返している状態。レスキュー使用後でも、痛みの程度は、Visual Analogue Scale(以下VAS)=36mmであった。脾腎陽虚、肝鬱気滞と診断した。

【治療方法】

使用鍼：直径0.12mm、長さ15mm(セイリ

ン製5分-02番鍼)を使用し、刺入深度は切皮程度(1~4mm)とする。体調が悪いときには皮膚に接触するだけの鍍鍼(補法：金製、寫法：銀製)を使用した。

円皮鍼：セイリン社製パイオネックス直径0.2mm、長さ0.6mmを使用。

電子温灸器：e-Qを47±2度×5秒設定にて使用。

使用経穴には陽明経の清熱を目的に行間、内庭、外内庭を使用。腸蠕動痛に対し、腸蠕動抑制のため、中脘、滑肉門、天枢、関元に電子温灸器を行った。

【総括】

本症例は整腸目的に鍼灸治療を介入した。介入以前より、腸蠕動痛、便秘に伴う腹部の脹痛があり、1日の中で下剤と止痢剤を交互に使用しているほど、排便コントロールが難しい状況であった。鍼灸治療介入期間中も患者の希望から頻繁に服薬されており、その様な状況下では整腸効果があったのかなかったのかは不明としか言えない。

患者コメント：「多少はマシなんかな？」から全く鍼灸治療の効果がなかったわけではなく、僅かながら腸蠕動痛は軽快していたのではないかと考えられた。

20130002 (No. 52)

【患者】75歳、男性

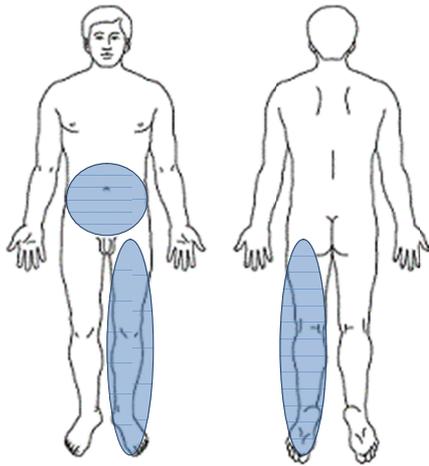
【病態】膀胱癌

【ターミナル期】ターミナル前期

【転帰】退院

【鍼灸治療目的】

膀胱摘出手術後の排便コントロールおよび術後発症した左下腿痛に対し、鍼灸治療介入を依頼された。



【東洋医学的所見】

膀胱摘出手術後より、腸蠕動痛および左下肢に痛みを訴える。腸蠕動痛は鍼治療開始前 VAS=51mm。左下肢痛は治療開始前 VAS=74mm と強い痛みを訴える。排ガスあるが、時折痛みがある。左下腿は特に後面が強く痛み、足先はしびれている。脈診：脾洪、腎微弦、行間軟弱、左合谷緊張圧痛、左内関軟弱圧痛、左足陽明経熱感あり。腎陰虚、足太陽膀胱経絡病、気虚、血虚（血瘀）と診断した。

【治療方法】

使用鍼：直径 0.12mm、長さ 15mm（セイリン製 5分-02番鍼）を使用し、刺入深度は

切皮程度（1～4mm）とする。鍔鍼：（補法：金製、寫法：銀製）を使用した。

円皮鍼：パイオネックス直径 0.2mm、長さ 0.6mm を使用。

使用経穴には陽明経の清熱を目的に行間、内庭、外内庭、俠溪を使用。理気を目的に合谷を使用した。

【総括】

本症例は膀胱全摘術後より発症した腸蠕動痛、左下腿痛、左足のしびれに対して鍼灸治療介入してきた。介入時は排便コントロール良好であったが、腸蠕動痛が残っていたことから、やや有効と診断した。

左下腿痛は、1診目 VAS=74mm VAS=29mm と明らかな改善が認められ、15診目以降から左下腿痛を訴えることはなかったことから著効と診断した。

左足のしびれは、指の裏および土踏まずの部分を中心に強い痺れを訴えていた。途中から、痺れよりツッパリ感に変わってきたが、VAS=35mm 程度の痺れを訴えていたものが退院時にはほぼ気にならない程度まで緩和していた。

この症例では円皮鍼を使用するとピリピリすると看護師に伝え、抜鍼していたが、確認したところしびれが強くなったわけではなく、「鍼が効いているな」というジーンとした感覚であり、それまでのしびれとは別であることが分かった。また、事前にピリピリ感や、なにか感じたら剥がすよう指示したため、抜鍼していたことが分かった。鍼の響きであるため、有害事象ではなかったと診断した。

20130003 (No. 53)

【患者】59歳、女性

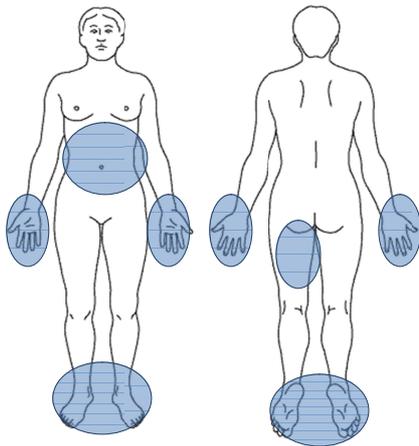
【病態】葉状腫瘍

【ターミナル期】ターミナル後期

【転帰】逝去

【鍼灸治療目的】

腹部膨満感、右大腿外側部痛(癌性疼痛)、手のしびれに対する鍼灸治療依頼があり介入した。



【東洋医学的所見】

脈診：弦、細、腎無力、食事：良好、睡眠：良好、便通：2～3日前から硬くなってきている。右下肢深部冷えと浮腫、左下腿は熱感、左上巨虚緊張圧痛、右太溪軟弱冷感、右蠡溝軟弱陥凹。腎虚証、気虚、血虚、血瘀と診断した。

【治療方法】

円皮鍼：セイリン社製パイオネックス直径0.2mm、長さ0.6mmを使用。

電子温灸器：e-Qを 47 ± 2 度×5秒設定にて使用。

シャム鍼：セイリン社製の偽鍼を使用。

使用経穴にはしびれに対し、八風穴、八邪穴を使用。活血化癥を目的に三陰交を使用した。

【総括】

本症例は、右大腿外側部痛(癌性疼痛)および腹部膨満感、手のしびれに対して鍼灸治療を介入してきた。

右大腿外側部痛は状態悪化に伴い、強い痛みを訴える時もあったが、前回入院時と比較すると、痛みは落ち着いていたことから、有効であったと考える。

腹部膨満感は、鍼灸治療直後は張った感じはマシになっていると言われるも、途中より評価が理解できなくなるといった状態があったため、VAS評価が得られていた時の結果から、やや有効と診断した。

手の痺れは、鍼灸治療直後にはしびれの軽減が認められるも、経過とともに握力の低下、上肢の運動障害が認められ、検査の結果、頸椎転移による影響であることが分かった。癌性によるしびれは非常に難しく、進行が速いため、薄皮がめくれた程度の改善しかできなかった。そのため、手の痺れに対してはやや有効と診断した。

本症例は、非常に強い信頼関係が得られていたことから、大きな苦痛を伴うターミナル期の症状の緩和ならびにスピリチュアルな問題に対しても少なからず貢献しえた症例であった。

20130004 (No. 54)

【患者】72歳、男性

【既往歴】肺炎

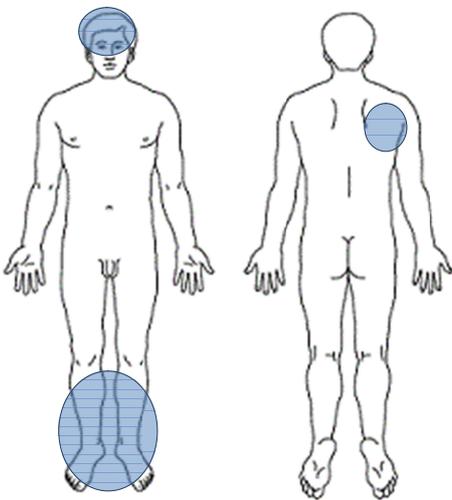
【病態】肺癌

【ターミナル期】ターミナル前期

【転帰】逝去

【鍼灸治療目的】

突発的めまいが起こったが、特に異常が認められなかったため、めまいに対しての鍼灸治療を依頼された。鍼灸治療開始後より、右肩痛（癌性疼痛）、薬疹による痒みに対しての追加で依頼があった。



【東洋医学的所見】

安静時に直下型地震の様な衝撃をうけ、眩暈が起こった。現在は体動時やベッドのギャグアップ時に軽度眩暈が起こった。脈診：脾やや滑。左外関緊張、左臨泣軟弱、右地五会軟弱。問診中に咳嗽の頻発あり。手少陽三焦経絡病、津液停滞と診断した。

【治療方法】

使用鍼：直径0.12mm、長さ15mm（セイリン製5分-02番鍼）を使用し、刺入深度は

切皮程度（1～4mm）とする。体調が悪いときには皮膚に接触するだけの鍣鍼（補法：金製、寫法：銀製）を使用した。

円皮鍼：セイリン社製パイオネックス直径0.2mm、長さ0.6mmを使用。

使用経穴には疏通経絡を目的に外関、臨泣。利湿を目的に復溜を使用した。

【総括】

本症例はめまいの改善という事で介入を始めたが、1診目の時点ではめまいがほぼ改善していることから効果は不明と考えた。

2診目以降より右肩痛（癌性疼痛）、5診目～12診目まで下腿に出現した湿疹に対しての治療を行った。結果、痛みは緩和傾向にあり、レスキューも痛みが出現したから使用ではなく、予防的使用に変わっていった。また、家人からも鍼灸治療の無い日は痛みが強いというコメントからも鍼灸治療は効果的であったと言える。

湿疹によるかゆみも1～2回の治療にて赤みが軽減し、痒みも軽減したが塗り薬も使用されていたためやや有効と診断した。

この患者は鍼灸治療介入前、「僕は鍼灸治療は眉唾物で、信じてはいないんだ」と否定的な印象を持たれていたが、ターミナル後期になるにつれ「病院内に鍼灸治療が受けられる施設はできないのですか？絶対に取り入れるべき」といったコメントが多くなった。これらコメントからも鍼灸治療の効果はターミナル期に入った患者にとって必要性の高い治療法の1つであると考えられた。

20140005 (No.55)

【患者】66歳、男性

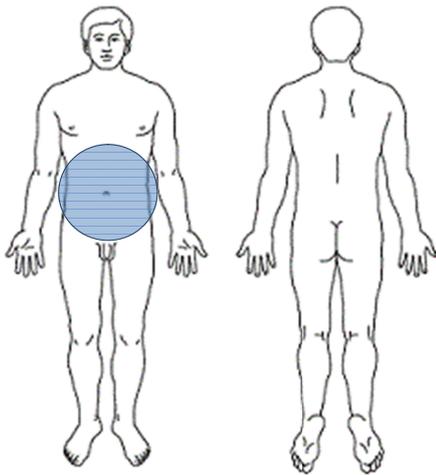
【病態】肺癌

【ターミナル期】ターミナル中～後期

【転帰】逝去

【鍼灸治療目的】

疼痛コントロール良好ではあるが、腹部膨満感が強く、食欲消失傾向となったため、鍼灸治療が依頼された。



【東洋医学的所見】

お腹が張って食べる気が起こらない。脈診：肝弦、胃弦。舌診：暗淡紅、白膩苔、舌下静脈怒張、瘀斑あり。右胸脇苦満。右足陽明経緊張、左三陰交軟弱、右行間圧痛、右期門圧痛。肝胃不和と診断した。

【治療方法】

使用鍼：直径0.12mm、長さ15mm（セイリン製5分-02番鍼）を使用し、刺入深度は切皮程度（1～4mm）とする。体調が悪いときには皮膚に接触するだけの鍔鍼（補法：金製、寫法：銀製）を使用した。

円皮鍼：セイリン社製パイオネックス直径0.2mm、長さ0.6mmを使用。

使用経穴には疏肝理気を目的に足三里、三陰交、期門を使用した。

【総括】

本症例は食欲不振を伴う、腹部膨満感（癌性腹膜炎）に対して鍼灸治療を施行した。

介入後、食事量はほとんど変わらないが、患者コメントから「前に比べたら、お腹も腰もマシや」と、介入前よりは症状の緩和が認められていた。しかし、服薬状況も変わっているため、鍼灸のみの効果とはいえない。治療前後で僅かながら効果があったことから、やや有効と診断した。

本症例は認知症の進行に加え、長期入院に伴うストレスが強く、突然攻撃的な発言が認められた。その点を考慮し、精神的緊張の緩和に対しても鍼灸治療を介入させた方がよかったのではないかと反省させられた症例であった。

20130006 (No. 56)

【患者】29歳、女性

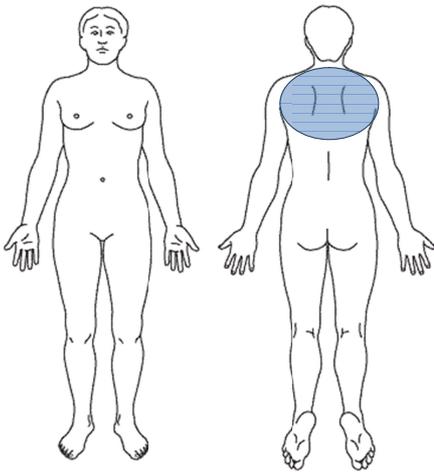
【病態】乳癌

【ターミナル期】術後化学療法中

【転帰】継続中

【鍼灸治療目的】

化学療法の副作用による全身倦怠感、便秘に対し、鍼灸治療を希望された。



【東洋医学的所見】

ホットフラッシュがあり(副作用による)排便：普通～軟便。しかし、排便時踏んばらないと出ず。始めは硬く、あとは軟便である。睡眠；点滴(抗がん剤)した日は2時、5時に目が覚めていたが、現在はそれほどではない。脈診：やや浮、数(一息六至)細、輪郭がない、肝・腎無力。舌診：暗淡白、乾燥、瘀斑、舌下静脈怒張、薄白苔
期門圧痛(L>R)、Lt 章門圧痛、太溪軟弱、交信緊張。所見から、気虚・気滞・血瘀と診断した。

【治療方法】

使用鍼：直径0.12mm、長さ15mm(セイリン製5分-02番鍼)を使用し、刺入深度は切皮程度(1～4mm)とする。体調が悪いときには皮膚に接触するだけの鍣鍼(補法：金製、寫法：銀製)を使用した。

円皮鍼：セイリン社製パイオネックス直径0.2mm、長さ0.6mmを使用。

灸：ツボ灸(低温)を使用。

使用経穴には補腎を目的に復溜または交信、志室、補気を目的に肺俞、心俞、疏肝理気を目的に期門、風池、天牖、肩井を使用した。

【総括】

今回、化学療法による副作用に対して鍼灸治療を1回/週のペースで行った。1回の鍼灸治療で約3日間の継続効果があり、全身倦怠感および肩こりに対して著効が得られたと考えた。

また、9診目頃から治療中から眠れるほど信頼関係が得られていた。

担癌患者の多くは、その日によって体調が変わりやすい。これまでの経験から、抗癌剤投与後は全身倦怠感が強く、日中も作業ができないことが多い。そのため、倦怠感が強い場合は、補腎治療をベースに入れることが重要であると言える。

20130007 (No.57)

【患者】86歳、男性

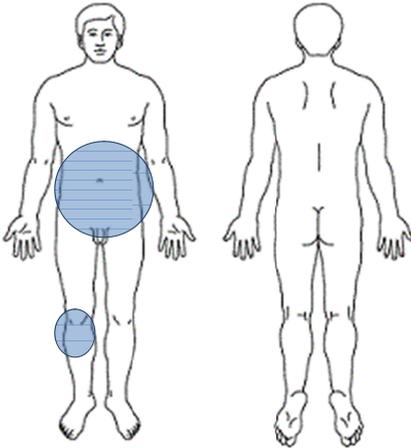
【病態】大腸癌転移

【ターミナル期】ターミナル前期

【転帰】退院

【鍼灸治療目的】

便秘および入院前から訴えていた右膝痛に対して、ロキソプロフェンナトリウムを使用するも訴えが頻回になってきたため、依頼された。



【東洋医学的所見】

脈診：肝無力、胃微弦。両外反母趾。右膝前面全体にズキズキとした痛みを訴える。テネスムスは症状緩和していたため、予防的に行う。肝胃不和、気滞・血瘀と診断した。

【治療方法】

使用鍼：直径0.12mm、長さ15mm（セイリン製5分-02番鍼）を使用し、刺入深度は切皮程度（1～4mm）とする。体調が悪いときには皮膚に接触するだけの鍍鍼（補法：金製、寫法：銀製）を使用した。

円皮鍼：セイリン社製パイオネックス直径0.2mm、長さ0.6mmを使用。

使用経穴には疏肝理気を目的に足三里、三陰交、上巨虚を使用した。

【総括】

痛みを訴えることが口癖のようになるが、どこがどう痛いのかという質問には首をかしげる行為が見られた。認知症も進行していたため、患者本人からの痛みスケールによる評価は取れなかったが、治療前後では膝の屈伸運動時の苦痛表情が認められなかったこと、また、痛みが翌日に戻ってきても以前よりは軽減が認められていることから鍼灸治療は有効であったと考えられた。

便秘は服薬の影響もあり、一概に鍼灸のみで改善したわけではないが、その後症状が再発することがなかったことから、継続的治療によりテネスムス予防になっていたと考える。

20130008 (No.58)

【患者】43歳、男性

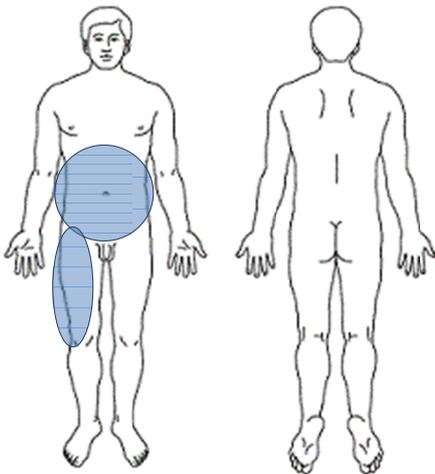
【病態】虫垂癌、回腸漿膜下再燃

【ターミナル期】ターミナル前期

【転帰】逝去

【鍼灸治療目的】

フェンタニル使用するも、右足、腹部の痛みを訴えており、苦痛表情が常に見て取れていたため、看護師から鍼灸治療を薦めたところ、同意が得られたので依頼となった。



【東洋医学的所見】

右上腹部に強い痛みを訴え、仰向けができない。排便あるも症状緩和にはならない。

脈診：数、腎虚、弦。足背浮腫、右章門圧痛、左公孫緊張、陷谷・外陷谷・地五会圧痕、左上巨虚緊張、胆経緊張（R<L）。肝胃不和、腎陽虚、気滞・血瘀と診断した。

【治療方法】

使用鍼：直径0.12mm、長さ15mm（セイリン製5分-02番鍼）を使用し、刺入深度は切皮程度（1～4mm）とする。体調が悪いと

きには皮膚に接触するだけの鍍鍼（補法：金製、寫法：銀製）を使用した。

円皮鍼：セイリン社製パイオネックス直径0.2mm、長さ0.6mmを使用。

使用経穴には補腎目的に太溪、健脾目的に内関、公孫、疏肝を目的に太衝を使用した。

【総括】

本症例は虫垂癌による癌性疼痛に対して鍼灸治療を行った。鍼灸治療介入前の状態では、苦痛表情を見せることが多かったが、鍼灸治療中～1時間程度の短い間は気持ちよさそうに表情も穏やかになり、時折笑顔を見せながら会話をする様子が見られた。

患者コメントから「鍼灸治療は気持ちがいい」とターミナル中期～後期でも鍼灸治療を希望されていたこと、また、鍼灸治療持続効果はあまり望めなかったが、短い時間であっても患者の苦痛が消失していたことから右大腿部痛および腹痛に対しての鍼灸治療効果は有効だったと考えられた。

20130009 (No.59)

【患者】67歳、男性

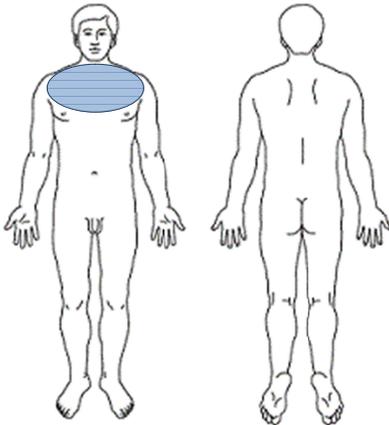
【病態】胃潰瘍（胃部分切除）

【ターミナル期】なし

【転帰】退院

【鍼灸治療目的】

服薬するが症状緩和が認められない嘔気、ムカつきに対して依頼された。



【東洋医学的所見】

脈診：胃滑、腎無力。触診：胸脇苦満（R<L）、臍周囲ソフト、下腹部軟弱、左足三里緊張、太溪硬結（R<L）、左足陽明経熱感。望診：皮膚黒く（太溪に色素沈着あり）・剥落あり（足の指、踝周囲など）、嘔気があることから、肝胃不和と診断した。

【治療方法】

使用鍼：直径0.12mm、長さ15mm（セイリン製5分-02番鍼）を使用し、刺入深度は切皮程度（1～4mm）とする。体調が悪いときには皮膚に接触するだけの鍍鍼（補法：金製、寫法：銀製）を使用した。

円皮鍼：セイリン社製パイオネックス直

径0.2mm、長さ0.6mmを使用。

使用経穴には陽明経の清熱を目的に行間、内庭、外内庭、侠溪を使用。理気を目的に足三里、補腎を目的に太溪を使用した。

【鍼灸治療最終評価】

1) 嘔気：著効

【総括】

1診目後より食事の5割摂取するも、嘔気および嘔気は軽快傾向であった。4診目後には完全に症状が消失したことで、レストランに行き、海老フライ、カレーを摂取できるほどまでいった。しかし、急に大量に摂取したことにより、2日後より強い嘔気と倦怠感を訴える。続けて、転倒するなども加わり、精神的に食事に対する恐怖を抱くなるようになってしまった。

今回、嘔気に対して、鍼灸治療は有効であったが、症状改善したと言って、胃に負担になるものを食べないように患者指導も必要であった症例であったと考える。

20130010(No.60)

【患者】84歳、男性

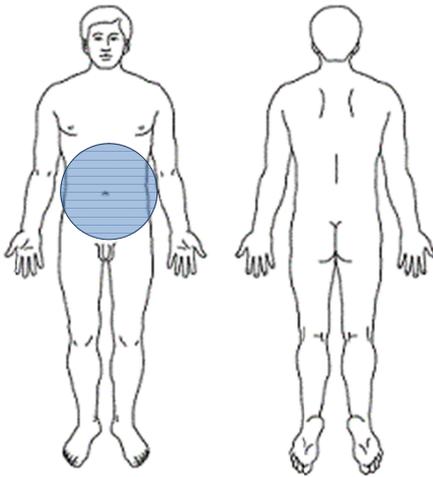
【病態】膀胱癌

【ターミナル期】ターミナル前期

【転帰】中止（のちに逝去）

【鍼灸治療目的】

排便コントロールおよび腹膜播種による癌性疼痛に対して依頼された。



【東洋医学的所見】

胸脇苦満、両足陽明経緊張、腎経軟弱、軽度認知症あり。

脈診：腎無力、脾滑。足背冷え・浮腫。腎陽虚、肝脾不和、気滞・血瘀と診断した。

【治療方法】

使用鍼：直径0.12mm、長さ15mm（セイリン製5分-02番鍼）を使用し、刺入深度は切皮程度（1～4mm）とする。体調が悪いときには皮膚に接触するだけの鍍鍼（補法：金製、寫法：銀製）を使用した。

円皮鍼：セイリン社製パイオネックス直径0.2mm、長さ0.6mmを使用。

電子温灸器：e-Qを 47 ± 2 度×5秒設定にて使用。

使用経穴には理気を目的に足三里、外関、補腎を目的に太溪を使用した。

【総括】

本症例は排便コントロールのため、鍼治療介入した。介入前、便がでない場合は下剤服薬させていたが、介入後からは服薬なく、普通便～軟便にて排便コントロールできたことから、有効と診断した。

それ以外には、腹膜播種に伴う、癌性疼痛が緩和されたことから腹膜播種による痛みに対し、有効であると言える。

長期入院によるストレスによる影響か、認知症悪化によるものか不明ではあるが、攻撃的な強い口調にて鍼灸治療の終了を希望されたため、中止となった。

20130011(No.61)

【患者】67歳、男性

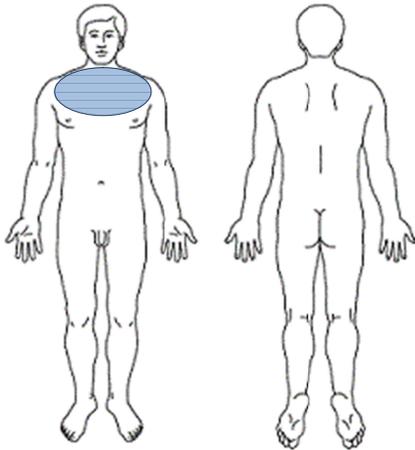
【病態】食欲不振

【ターミナル期】特記なし

【転帰】退院

【鍼灸治療目的】

精神的緩和（イライラ）を目的に継続依頼された。



【東洋医学的所見】

るいそう。脈診：脾滑、肝・腎無力、舌診：紅舌、舌尖紅、白苔（舌中のみ膩苔）。右公孫緊張、左太溪軟弱、右内関緊張圧痛、左太衝軟弱。以上から、肝脾不和、腎気虚と診断した。

【治療方法】

使用鍼：直径0.12mm、長さ15mm（セイリン製5分-02番鍼）を使用し、刺入深度は切皮程度（1～4mm）とする。体調が悪いときには皮膚に接触するだけの鍣鍼（補法：金製、寫法：銀製）を使用した。

円皮鍼：セイリン社製パイオネックス直径0.2mm、長さ0.6mmを使用。

電子温灸器：e-Qを47±2度×5秒設定にて使用。

使用経穴には陽明経の清熱を目的に行間、内庭、外内庭を使用。腸蠕動痛に対し、腸蠕動抑制のため、中腕、滑肉門、天枢、関元に電子温灸器を用いた。

【総括】

前回、嘔気症状が改善した事により、カレーなど胃に負担のかかるものを食べた結果、嘔気が増した。食に対する恐怖心を抱いてしまった。

食習慣に対する改善のために、スタッフによる食事時の見守りにより10口は最低食べるようになったものの、イライラは強い。

また、スタッフには「食べた」といい、実際にはゴミ箱に捨てられていた。入浴の際も自身で洗えていたが、「洗ってくれ」と言い、トイレでも「拭いてくれ」など強い依存が認められた。

このような依存的な症状に対しての鍼灸治療は非常に難しく、食事に量に変化がなかったため、鍼灸治療後は嘔気軽減が認められたが、やや有効と診断した。

（20130009再入院）

20130012(No.62)

【患者】75歳、男性

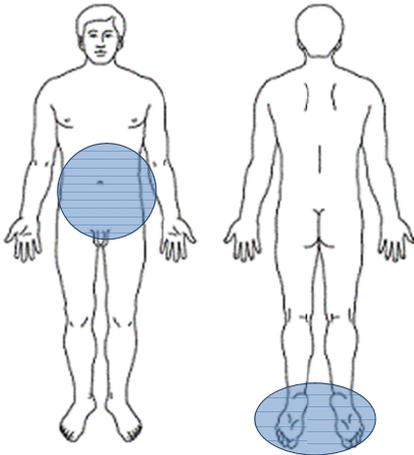
【病態】膀胱癌再発

【ターミナル期】ターミナル前期

【転帰】退院（再入院後、逝去）

【鍼灸治療目的】

膀胱癌再発により、再入院となった。退院後もしびれは継続しており、入院時より軽度悪化が認められたため、足背しびれ、整腸に対し鍼灸治療を依頼された。



【東洋医学的所見】

左足の裏は全部がしびれ、右足の裏は第1～3指がしびれる。17時頃から怠さが増悪する。脈診：沈、腎弦。触診：太溪陥凹、三陰交圧痛、右足三里緊張。腎虚、気虚、血虚、血瘀と診断した。

【治療方法】

使用鍼：直径0.12mm、長さ15mm（セイリン製5分-02番鍼）を使用し、刺入深度は切皮程度（1～4mm）とする。体調が悪いときには皮膚に接触するだけの鍣鍼（補法：金製、寫法：銀製）を使用した。

円皮鍼：セイリン社製パイオネックス直径0.2mm、長さ0.6mmを使用。

電子温灸器：e-Qを47±2度×5秒設定にて使用。

使用経穴にはしびれに対し、八風穴、補血目的に三陰交、補腎目的に太溪を使用した。

【総括】

本症例は膀胱摘出後より発症したしびれと、整腸に対して行った。

愁訴に対する鍼灸治療効果は、しびれ：著効、整腸：やや有効とした。その他にも化学療法による全身倦怠感を訴えることもあったが、鍼灸治療後には改善が認められた。

癌に直接関係する痛み、むかつきは医療スタッフに訴えることはあったが、「こっちがしびれるとか、あっちがおかしいとか、しょうもないことを言えるのは、鍼灸の先生にしか言えん。こんな大した事ないこと言っても、迷惑やしな」と医療スタッフに気を使う面も見られた。

脈を始め、舌、爪、皮膚など些細な所見から治療方針を決める鍼灸治療であるからこそ、聞き出す情報が多く、そのため、医療スタッフとは別の信頼を得ることができたのではないかと考える。

この患者もまた、「この人（妻）が倒れたら、かなん。心配なんや」と、訴えられ、院内での家族ケアのための鍼灸治療室ができることを希望されていた。

20130013(No.63)

【患者】48歳、女性

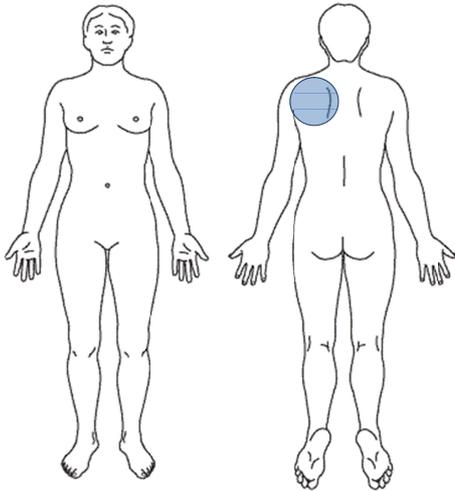
【病態】膈体部癌

【ターミナル期】ターミナル中期～後期

【転帰】逝去

【鍼灸治療目的】

検査をしていないため、不明ではあるが、癌転移による左肩甲間部痛の可能性もあったが、患者自身が服薬量をできるだけ抑えたいという思いから鍼灸治療が依頼された。



【東洋医学的所見】

声小さく、黄疸著明、太溪軟弱、痛みの性質：どこかで引っ張られているような重だるいようなズキズキするような痛み。口渴あり。脈診：虚、腎無力。左手太陽・少陽経絡病、肝血虚、腎気虚と診断された。

【治療方法】

使用鍼：直径0.12mm、長さ15mm（セイリン製5分-02番鍼）を使用し、刺入深度は切皮程度（1～4mm）とする。体調が悪いときには皮膚に接触するだけの鍔鍼（補法：金

製、寫法：銀製）を使用した。

円皮鍼：セイリン社製パイオネックス直径0.2mm、長さ0.6mmを使用。

使用経穴には疏疏通経絡目的に外関、補腎目的に太溪、疼痛局所には理気を目的に使用した。

【総括】

本症例は左肩甲間部痛に対し、鍼灸治療介入した。結果、治療前後では痛みの軽減が認められたが、継続的な効果は得られなかった。患者コメントも考慮し、それらの点から継続的な効果はなかったが、有効と診断した。

しかし、愁訴に対してだけでなく、鍼灸治療中「気持ちがいい」と安心感を与えられていた。この患者は本研究で行っている軽微な刺激を好んでおり「こういう治療ができるところが分からないし、病院でやってもらえると安心して受けられます」といったコメントがあった。

本症例からは、毫鍼だけでなく、鍔鍼の技術を有し、技術を使い分ける鍼灸師を教育する重要性を痛感した。

20130014(No.64)

【患者】78歳、男性

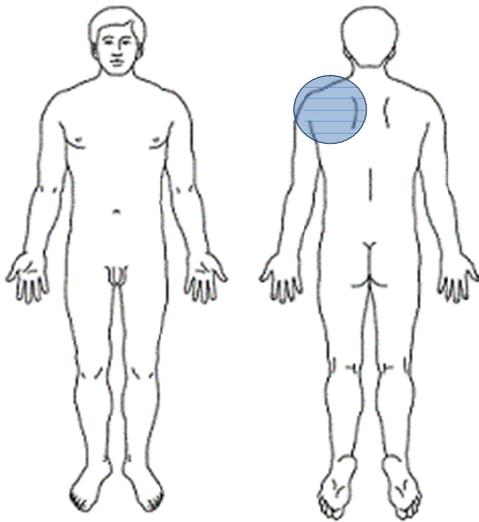
【病態】肺癌（腺癌）

【ターミナル期】ターミナル中期～後期

【転帰】退院

【鍼灸治療目的】

肩背部痛および精神的不安感に対し、鍼灸治療を依頼される。



【東洋医学的所見】

左肩甲間部に重だるい痛みあり。脈診：腎弦、肝渋。下腿細絡。左外関緊張、神門軟弱、左前谷圧痛。左手少陽経絡病、血瘀と診断した。

【治療方法】

使用鍼：直径0.12mm、長さ15mm（セイリン製5分-02番鍼）を使用し、刺入深度は切皮程度（1～4mm）とする。体調が悪いときには皮膚に接触するだけの鍣鍼（補法：金製、寫法：銀製）を使用した。

円皮鍼：セイリン社製パイオネックス直

径0.2mm、長さ0.6mmを使用。

電子温灸器：e-Qを 47 ± 2 度×5秒設定にて使用。

使用経穴には疏肝目的に三陰交、行間、補腎目的に太溪、寧心目的に心俞を使用した。

【総括】

本症例は、肩背部痛に対して行った。コミュニケーションに限りがあるため、わずかな情報の中で行っていた。

鍼灸治療を過去に経験していたが、「鍼灸は信用していない」と1診目に言われていたが、予定時間を少しでも遅れると「まだこないのか」と看護師に確認されており、楽しみに待たれている姿が見られていた。

鍼灸治療を受けている平日は状態が良いが、休日では呼吸苦や疼痛の訴えが多い印象にある。

また、医療スタッフから「治療後から落ち着いている（痛みを訴えていない）」というコメントからも、愁訴である痛みだけでなく、精神的安定にも効果があったと考え、著効であったと診断した。

20130015(No.65)

【患者】93歳、男性

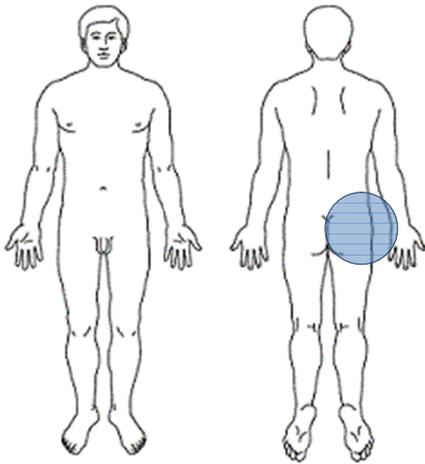
【病態】前立腺癌

【ターミナル期】ターミナル前期

【転帰】退院

【鍼灸治療目的】

転倒後より痛みが続く、右大腿部痛に対して、患者本人からの依頼があり、開始する。



【東洋医学的所見】

脈診：腎無力、触診：右足三里緊張、右足背軽度浮腫。疼痛部位は臥位で圧迫かけても再現されず。膝の屈曲運動にて痛みを訴える。右足陽明経熱感あり。右足陽明経絡病と診断した。

【治療方法】

使用鍼：直径0.12mm、長さ15mm（セイリン製5分-02番鍼）を使用し、刺入深度は切皮程度（1～4mm）とする。体調が悪いときには皮膚に接触するだけの鍔鍼（補法：金製、寫法：銀製）を使用した。

円皮鍼：セイリン社製パイオネックス直径0.2mm、長さ0.6mmを使用。

電子温灸器：e-Qを 47 ± 2 度×5秒設定にて使用した。

使用経穴には疏疏通経絡目的に陥谷、外陥谷、疏肝理気目的に行間、補腎目的に復溜、理気目的に足三里を使用した。

【総括】

本症例は癌性疼痛ではなく、膝痛に対して行った。末梢経穴を使用して治療を行っていたが、患者自身は直接刺して欲しいという希望があったため、一度希望に沿って行った。結果、直後満足感は得られたものの、翌日には痛みは変わらなかったまたは痛みが増したため、再度末梢経穴で行ったところ、改善が認められたことから、著効と診断した。

これらからも、満足度の高い局所治療のみならず、末梢経穴を使用した効果的な治療法ができなくてはならないと考える。

20130016(No.66)

【患者】74歳、男性

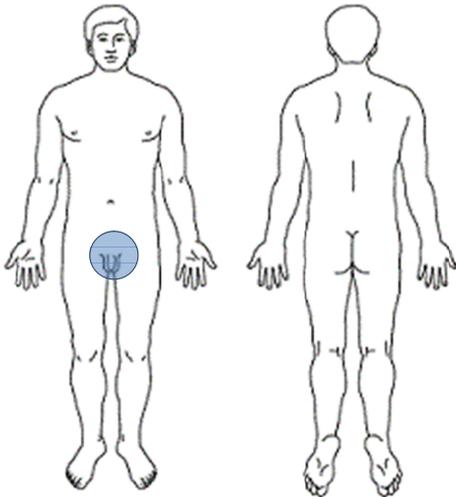
【病態】膀胱癌（全摘）

【ターミナル期】特記なし

【転帰】外来にて継続中

【鍼灸治療目的】

X年9月に退院後、引き続き外来にて経過観察であった。退院後も会陰部痛はあり、消失することはなかった。患者本人の希望により、外来にて鍼灸治療継続となる。



【東洋医学的所見】

脈診：脾・腎弦、肝やや洪。舌診：淡白、白膩苔、舌下静脈怒張。イライラしやすい事から肝胃不和、血瘀と診断した。

【治療方法】

使用鍼：直径0.12mm、長さ15mm（セイリン製5分-02番鍼）を使用し、刺入深度は切皮程度（1～4mm）とする。通電の場合は直径0.24mm、長さ90mmを使用した。

円皮鍼：セイリン社製パイオネックス直径0.2mm、長さ0.6mmを使用。

電子温灸器：e-Qを 47 ± 2 度×5秒設定にて使用。

使用経穴には疏肝理気を目的に期門、足三里、三陰交、行間、疏通経絡目的に陰部神経、次髎の通電を使用した。

【総括】

鍼灸治療は、治療前後の状態から疼痛に対して有効と考える。その理由には鍼灸治療前も「常に痛い。今も痛い」と訴えることも多かったが、置鍼中は居眠りしていたことから痛みは緩和していたと考える。

家にいる間は、家人との関係からストレスを感じる事が多々あり、ストレスが強い時は痛みを訴える回数が増えている。そこで、ペインクリニックの受診や、気分転換に何かすることを提案するも、理由をつけて断っているため、指導の面からも難しい症例と感じた。

20130017(No.67)

【患者】66歳、女性

【既往歴】卵巣癌術後（不完全手術）

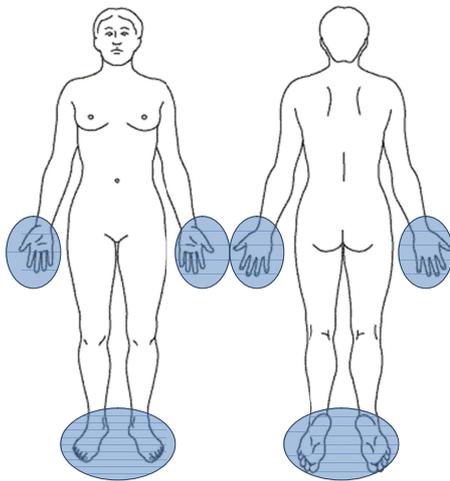
【病態】卵巣癌

【ターミナル期】ターミナル前期

【転帰】外来（のちに緊急入院）

【鍼灸治療目的】

化学療法副作用である手足のしびれに対し、AB法（偽鍼・鍼）を行った。



【東洋医学的所見】

脈診：肝弦、腎微弦、脾洪

食欲：あり。望診：足の爪肥厚

しびれ：指先(手)VAS=72mm、足背VAS=90mm

掌VAS=67mm、足底VAS=85mm

気虚、血虚と診断した。

【治療方法】

円皮鍼：セイリン社製パイオネックス直径0.2mm、長さ0.6mmを使用。

偽鍼：セイリン社製（鍼なし）を使用した。

使用経穴には八風穴、八邪穴、三陰交を使用した。

【総括】

本症例は化学療法副作用によるしびれに対し、円皮鍼（偽鍼と鍼）を用い、八風・八邪穴、三陰交を刺激し、効果の違いを調査した。結果的に、大きな差は認められなかった。治療効果はやや有効とした。

状態悪化に伴い、今までできた事が出来なくなったとストレスを感じていた。

20130018(No.68)

【患者】85歳、女性

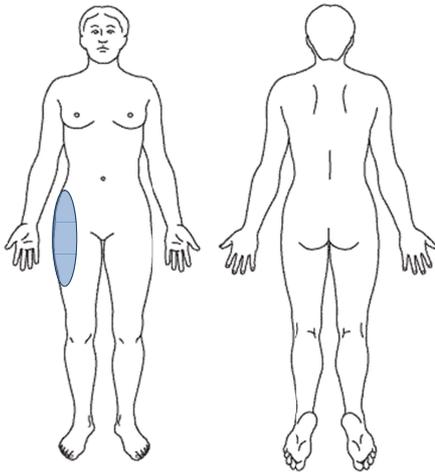
【病態】大腸癌

【ターミナル期】ターミナル中期～後期

【転帰】逝去

【鍼灸治療目的】

転倒により右恥骨と坐骨に骨折を確認。
入院中、歩行時の右大腿外側部痛に対して
鍼灸治療が依頼される。



【東洋医学的所見】

右股関節外側を中心に大腿にかけての痛みを訴える。右股関節他動時痛あり。自動動作もわずかに可能。足指運動可能、感覚障害なし。ムカつきあり。脈診：72回/分、脾肝渋、腎やや渋、細。舌診：淡白、黄膩苔、乾燥。触診：左胸脇部緊張、全体的に表面軟弱、深部緊張。右内庭圧痛・色素沈着、右外内庭圧痛、右俠溪圧痛、四肢に皮下出血多くみられる。行間発汗・圧痛、左三陰交圧痛。BP：131/78、HR：93reg、BT：37.1度。右足少陽経絡病、肝胃不和（ムカつき）と診断した。

【治療方法】

使用鍼：直径0.12mm、長さ15mm（セイリン製5分-02番鍼）を使用し、刺入深度は切皮程度（1～4mm）とし、体調に合わせ接触するだけの鍔鍼（補法：金製、寫法：銀製）を使用した。円皮鍼：セイリン社製パイオネックス直径0.2mm、長さ0.6mmを使用。

使用経穴には陽明経の清熱を目的に行間、内庭、外内庭、俠溪を使用。補腎目的に太溪を使用した。

【総括】

本症例は右大腿外側部痛に対して鍼灸治療を行った。その結果、1診目3時間後にトイレに行った際は痛みを訴えることはなかった。また、リハビリによる筋肉痛の痛みと混合が認められたため、明確に大腿外側部痛を訴えていた状態の評価をもとに、有効と診断した。それ以外の呼吸苦、浮腫に対しては鍼灸治療を行う時間帯には症状がない、ストッキング着用していたため、状態をみることもできなかったため、今回は介入していない。

他方、家人のストレスが非常に強く、治療に行く際には介護に対する不満、医療に対する不満など多くを涙ながらに鍼灸師に語ることが数回あり、同時に「イライラして患者にあたってしまう」「いつ呼ばれるかとゆっくり眠れない」といった相談を受けた。その際、不眠にはこのツボがいいといった指導を行ったところ、「昨日は朝までゆっくり眠れた」と翌日、感謝された。

これらからも、患者のみならず、介護する側のケアの重要性を示唆するケースであった。

20130019(No.69)

【患者】78歳、男性

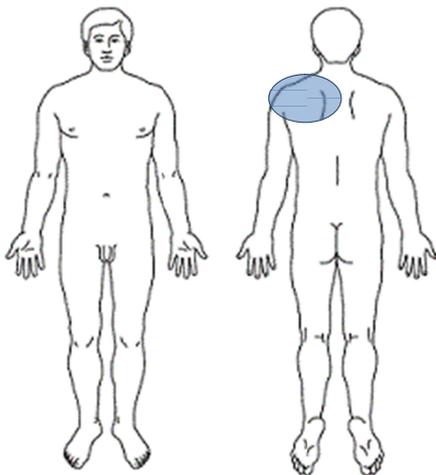
【病態】肺癌（腺癌）

【ターミナル期】ターミナル前期

【転帰】退院（後日再入院 逝去）

【鍼灸治療目的】

精神的不安が強く、一度退院するも、不眠や異常行動が増えたため家族負担が大きく、再入院となった。鍼灸治療を本人が強く希望されたため、不定愁訴に対し介入した。



【東洋医学的所見】

脈診：肝弦、舌診：暗淡白、白膩苔。触診：右神門軟弱、右内関緊張、右腕骨深部硬結、右肺俞軟弱、左神門陥凹発汗。肝血虚、心気虚と診断した。

【治療方法】

使用鍼：直径0.12mm、長さ15mm（セイリン製5分-02番鍼）を使用し、刺入深度は切皮程度（1～4mm）とする。体調が悪いときには皮膚に接触するだけの鍣鍼（補法：金

製、寫法：銀製）を使用した。

円皮鍼：セイリン社製パイオネックス直径0.2mm、長さ0.6mmを使用。

使用経穴には健脾目的に内関、寧心目的に心俞、神門、疏通経絡目的に腕骨を使用した。

【総括】

本症例はせん妄があり、スタッフに暴力やPCマウスを引きちぎるなどの異常行動があるとのことだったが、鍼灸治療時には一切認められなかった。

異常行動が夜間に多いということから、18時頃に施術時間を移動するも、異常行動を見かけることはなかった。

異常行動の評価も難しいため、鍼灸治療の効果があつたとはいえない。そのため、評価は不明とした。

20130020(No.70)

【患者】73歳、男性

【既往歴】特記なし

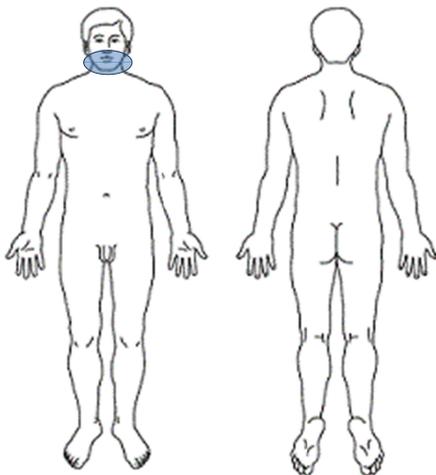
【病態】胃癌 (Stage)

【ターミナル期】ターミナル前期

【転帰】口内炎に対しての治療を終了

【鍼灸治療目的】

化学療法再開したが、副作用である口内炎が出現。休薬し、回復を待つ。服薬効果により、痛みは治まりつつあるが、口内炎の早期回復を目的に鍼灸治療併用となった。



【東洋医学的所見】

足陽明・厥陰経に熱感あり。脈診：肝弦。

口内炎箇所は口を開けられないことから確認はとれなかったが、唇にただれがあるのは確認が取れた。胃熱と診断した。

【治療方法】

使用鍼：直径 0.12mm、長さ 15mm (セイリン製 5分-02番鍼) を使用し、刺入深度は切皮程度 (1~4mm) とする。体調が悪いときには皮膚に接触するだけの鍍鍼(補法：金

製、寫法：銀製) を使用した。

円皮鍼：セイリン社製パイオネックス直径 0.2mm、長さ 0.6mm を使用。

使用経穴には陽明経の清熱を目的に行間、内庭、外内庭、俠溪を使用した。

【総括】

本症例は口内炎に対して鍼灸治療介入したが、介入した時点で回復時期に入っていたため、鍼灸治療効果があったかどうかは不明である。しかし、治療開始してから痛みが悪化することはなかったため、予防的に作用していたのではないかとも考える。

20130021 (No. 71)

【患者】64 歳、男性

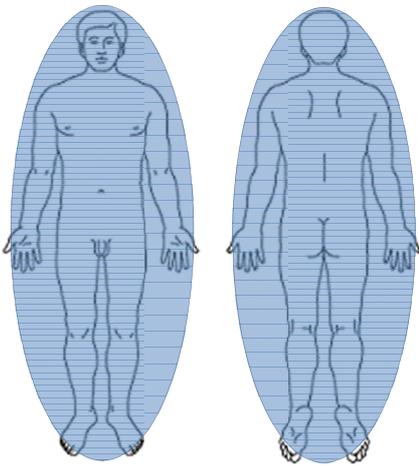
【病態】膵癌 (T4, M0)

【ターミナル期】ターミナル中期

【転帰】逝去

【鍼灸治療目的】

全身倦怠感に対し、鍼灸治療を依頼された。



【東洋医学的所見】

脈診：脾・腎弦、肝無力。舌診：淡白、
胖大、嫩舌。触診：足背浮腫。腎気虚、肝
胃不和と診断した。

【治療方法】

使用鍼：直径 0.12mm、長さ 15mm (セイリン製 5 分-02 番鍼) を使用し、刺入深度は切皮程度 (1~4mm) とする。体調が悪いときには皮膚に接触するだけの鍣鍼 (補法：金製、寫法：銀製) を使用した。

円皮鍼：セイリン社製パイオネックス直径 0.2mm、長さ 0.6mm を使用。

電子温灸器：e-Q を 47 ± 2 度 $\times 5$ 秒設定にて使用。

使用経穴には疏肝理気を目的に腹部鍣鍼、

健脾を目的に公孫、補腎目的に太溪、疏通経絡目的に後溪を使用した。

【総括】

本症例は病態の進行が早く、患者自身が受け入れる間もなく入院に至った事に対し、強いストレスを感じていた。

そのため、状態悪化に伴う全身倦怠感に対して鍼灸治療を希望されたため、施行した。結果、NRS の変化では大きく変化は認められなかったが、介入前後で比較した結果、睡眠時間が増えていることから効果があったと考える。

20130022(No.72)

【患者】73歳、男性

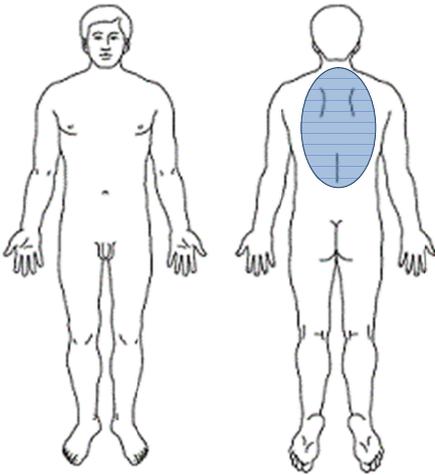
【病態】肝細胞癌

【ターミナル期】ターミナル中期～後期

【転帰】逝去

【鍼灸治療目的】

肩背部の痛みに対して依頼される。



【東洋医学的所見】

脈診：75回/分、脾・腎弦。触診：右内関緊張圧痛、右期門緊張圧痛、右章門圧痛、右太衝緊張圧痛、左交信緊張。るいそう。声は小さい。神経質なところもある。爪白。軽度足背浮腫。肝血虚、腎気虚と診断した。

【治療方法】

使用鍼：直径0.12mm、長さ15mm（セイリン製5分-02番鍼）を使用し、刺入深度は切皮程度（1～4mm）とする。体調が悪いときには皮膚に接触するだけの鍔鍼（補法：金製、寫法：銀製）を使用した。

円皮鍼：セイリン社製パイオネックス直径0.2mm、長さ0.6mmを使用。

電子温灸器：e-Qを47±2度×5秒設定に

て使用。

使用経穴には健脾目的に内関、疏肝理気目的に太衝、期門、章門、肩背部の鍔鍼を使用した。

【総括】

本症例は、肩甲間部痛などその日の訴えに対して治療を行った。

患者コメントからも、鍼灸治療を受けていると気持ちいいと言われ、どんなに状態が悪くなっても鍼灸治療を希望された。

これらからも、肩甲間部痛に対しては著効と診断した。また5診目では、不安を語られ、精神的な支えとなりえる可能性があったと考える。

20130023(No.73)

【患者】45歳、男性

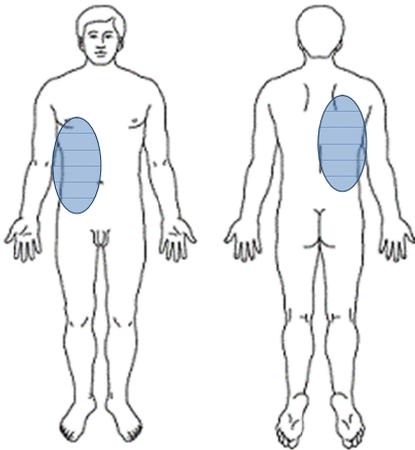
【病態】肺癌

【ターミナル期】ターミナル中期～後期

【転帰】逝去

【鍼灸治療目的】

イライラし、スタッフに声を荒げること
もあったためストレス緩和と、右肩～脇腹
にかけての痛みに対し、鍼灸治療依頼され
た。



【東洋医学的所見】

声かけするも、「ああ」「うん」のみ。イ
ライラした様子。

脈診：96回/分、洪、（左側臥位のため、
脈診のみ）触診：右外関緊張圧痛、右後溪
～腕骨深部緊張、右胆経浮腫。右臨泣圧痛。
肝腎陰虚、（心陰虚）と診断した。

【治療方法】

使用鍼：直径0.12mm、長さ15mm（セイリ
ン製5分-02番鍼）を使用し、刺入深度は
切皮程度（1～4mm）とする。体調が悪いと
きには皮膚に接触するだけの鍍鍼（補法：金

製、寫法：銀製）を使用した。

円皮鍼：セイリン社製パイオネックス直
径0.2mm、長さ0.6mmを使用。

使用経穴には疏通経絡を目的に外関、内
通谷、臨泣を使用した。

【総括】

本症例は右胸脇部の痛みに対して鍼灸治
療を介入した。しかし、せん妄があり、言
動に安定性がない。また、投薬量も増量さ
れていたため、鍼灸の治療効果があったか
どうかは不明である。

20130024(No.74)

【患者】66歳、女性

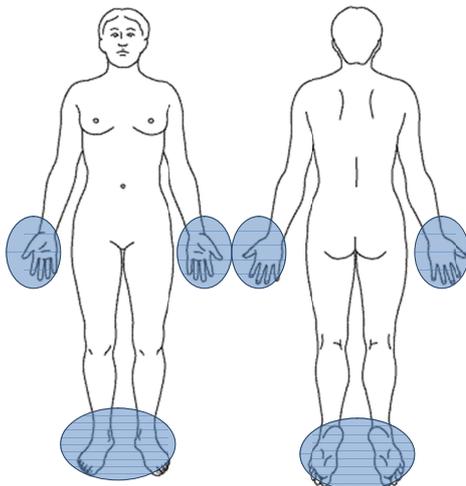
【病態】卵巣癌（不完全手術）

【ターミナル期】ターミナル中期～後期

【転帰】逝去

【鍼灸治療目的】

手足のしびれだけでなく、癌性腹膜炎による腹水貯留に伴う腹部膨満感など、全身調整のため鍼灸治療介入となった。



【東洋医学的所見】

脈診：実、弦、数。四肢熱感。

*しびれの強さ

足底：VAS=87mm、足背：VAS=78mm、掌：VAS=78mm、手指の付け根：VAS=75mm、指先：VAS=70mm。腎虚、肝血虚と診断した。

【治療方法】

使用鍼：直径0.12mm、長さ15mm（セイリン製5分-02番鍼）を使用し、刺入深度は切皮程度（1～4mm）とする。体調が悪いときには皮膚に接触するだけの鍍鍼（補法：金製、寫法：銀製）を使用した。

円皮鍼：セイリン社製パイオネックス直径0.2mm、長さ0.6mmを使用。

使用経穴には補腎目的に復溜、補血目的に三陰交、蠡溝、しびれに対し、手足爪甲根部に鍍鍼を行った。

【総括】

しびれに関しては、ほとんど変化がないという事であったが、入院中になり、鍼灸治療後にしびれが一時的に消失した。それらからも、全く効果がないわけではないため、やや有効とした。

全身状態は鍼灸治療後から数時間は楽な状態が続くことから、有効であると診断した。

本症例では、家族やスタッフに言えない思いを鍼灸師に語られており、それをきっかけに話し合う機会を得ることはできていた。鍼灸師がチームに属する事で、より患者の思いを聴き、家族が「あの時、ああしてあげればよかった」などの後悔をしないためにも、家族ケアにも結び付けられる可能性があると考えた。

20130025(No.75)

【患者】73歳、男性

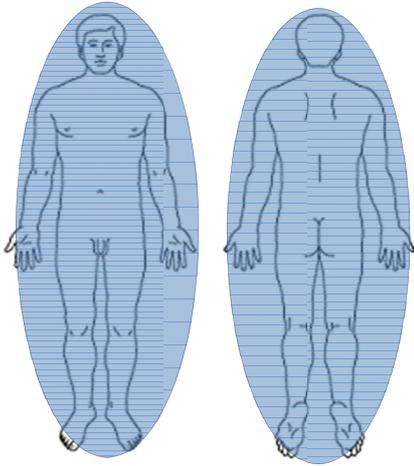
【病態】胃癌(Stage)

【ターミナル期】手術前

【転帰】退院

【鍼灸治療目的】

化学療法再開し、副作用である口内炎の出現により、口内炎の早期回復を目的に鍼灸治療併用となった。口内炎が改善したため、今回の化学療法による副作用予防のため引き続き、鍼灸治療介入となった。



【東洋医学的所見】

口渇あり。脈診：脾・腎弦。舌診：淡白、胖大、嫩舌。下腿浮腫。腎気虚、胃熱と診断した。

【治療方法】

使用鍼：直径0.12mm、長さ15mm(セイリン製5分-02番鍼)を使用し、刺入深度は切皮程度(1~4mm)とする。体調が悪いときには皮膚に接触するだけの鍣鍼(補法：金製、寫法：銀製)を使用した。

円皮鍼：セイリン社製パイオネックス直径0.2mm、長さ0.6mmを使用。

電子温灸器：e-Qを 47 ± 2 度 $\times 5$ 秒設定にて使用した。

使用経穴には補腎目的に太溪、口内炎予防のため、内庭、外内庭、侠溪を使用した。

【総括】

本症例は抗癌剤副作用予防に対して行った。症状がでていないため、明らかな効果はわからないが、2診目~3診目に睡眠中のため鍼灸治療介入していない期間では、体調がすっきりしないといったコメントがあり、患者に確認したところ「寝ていても起こして」との事だった。

これら総合的に副作用予防に対しては明らかな症状がでていなかったため、やや有効とした。

1. 緩和ケアチームでの取り扱い症例の治療概要

1-2) 緩和ケアチームでの取り扱い症例の鍼灸治療介入による評価

横西 望

明治国際医療大学鍼灸学部鍼灸学科 基礎鍼灸学講座 研究協力者

明治国際医療大学鍼灸学部鍼灸学科 基礎鍼灸学講座：篠原 昭二、関 真亮、斉藤 宗則、和辻 直
明治国際医療大学 附属病院 外科学教室：糸井 啓純、神山 順
市立福知山市民病院：香川 恵造、川上 定男、羽柴 光起、中村 洋子

【研究要旨】

今回の対象患者の一部には、認知症だけでなく、精神的不安感によって発症したスピリチュアルペインを訴えるケースがあった。スピリチュアルアセスメントシート等の評価方法が用いられているが、認知症やせん妄も併発していたため、使用できなかった。スピリチュアルペインとまではいかなくとも終末期患者の抱える不安・恐怖は大きく、平成 25 年度は鍼灸師の立場から、『患者の声を聴き、信頼を得ることを重点』にして、チーム医療に貢献ができるかを目標とした。

今回、鍼灸治療を受けていない午前、深夜、休日からも患者コメントおよび医師、看護師、医療スタッフ、患者家族のコメントを抜粋し、時系列的に分かりやすくまとめた。平成 25 年 4 月～平成 25 年 12 月までに 25 人（男性 19 人、女性 6 人）、67.8±14.8 歳、疼痛 19 例（癌性：8 例、その他：11 例）、全身倦怠感 4 例、しびれ 5 例、便秘 1 例、その他 10 例を訴えた患者に対して鍼灸治療介入をした。今回、鍼灸治療を受けていない午前、深夜、休日からも患者コメントおよび医師、看護師、医療スタッフ、患者家族のコメントを抜粋した。

ここでは、前項で簡潔に述べた各症例の治療内容等を鍼灸治療およびカルテ記載（一部）内容を含めて詳細に報告する。

【患者】56歳、男性

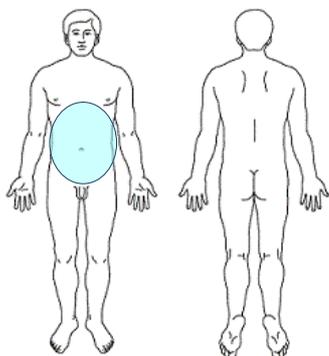
【既往歴】特記事項なし

【病態】進行性大腸癌

【ターミナル期】ターミナル前期

【現病歴】

進行性大腸癌にて化学療法中である。前回の化学療法退院後より、食欲不振があり、化学療法の副作用にて味覚障害が起こっている。また、昨日の昼より腹痛を自覚、徐々に痛みが増していくこともあり、受診した。オキシコドン 20mg頓服使用するも軽快せず、腹部全体が張っている感じがある。固定された部位ではなく、数分間隔の周期性で腹部の全体に疼痛がある。化学療法の副作用である下痢を引き起こしており、腸蠕動痛を訴える為、止痢剤を使用した。排便がなくなると腹部張満感により別の痛みが起こっている。そのため、下痢便秘を常に繰り返している状態である。ペインコントロールにはモルヒネ 200mg/日、レスキューにはモルヒネ 0.8ml/h 早送りにて対応していた。



【鍼灸治療目的】

下痢と便秘を繰り返しているため、腸蠕動痛の完全な疼痛コントロールがされていないため、鍼灸治療介入となった。

【東洋医学的所見】

抗癌剤副作用による下痢と止痢剤による便秘を繰り返している。腸蠕動時に強い痛みがある。

脈診：脾滑、一息五至、左行間軟弱、中腕・滑肉門・天枢・関元軟弱。陽明経熱感あり。胸脇苦満。下痢、便秘を繰り返している状態。レスキュー使用後でも、痛みの程度は、Visual Analogue Scale(以下VAS)=36mmであった。脾腎陽虚、肝鬱期待と診断した。

【弁証】脾腎陽虚

【鍼灸介入期間】94日間

【鍼灸治療回数】4回/週、47回

【転帰】逝去

【最終鍼灸治療日～転帰】4日間

【評価】VASまたは、VASが使用できない状況ではNumerical Rating Scale(以下:NRS)を使用していたが、鍼灸治療時はレスキュー使用後であることが多く、評価が取れなかったため、医療スタッフに

よる印象評価をカルテから抜粋し、採用した。

【鍼灸治療最終評価】

1)腸蠕動痛：やや有効

【治療経過】

4月2日

19:00 下痢が頻回に続いているが、おそらく化学療法の副作用ではないだろうか。本日より、ロペラミド塩酸塩内服開始となっている。以前、ブスコパンで軽減しているため定期服用にて様子 をみてる。

19:30 今はNRS=7くらい。レスキューしたらNRS=4程度まで軽減

レスキュー使用：19回/日

4月3日

0:00 寝ていても、痛みで目が覚める。

11:00 食欲低下。

「朝から内服全くできていない。食事も全くとれていない。食欲なくなった」

16:30 日中排便なし。

下痢おさまっており、昨日よりレスキュー使用間隔があいてきている。

17:00 鍼灸治療 1 診目

レスキューを使用したので...今はあまり腹部の痛みはない

本日も下痢あり。腸蠕動時に強い痛みがある。

脈診：脾滑、一息五至

触診：左行間軟弱、中腕・滑肉門・天枢・関元軟弱、陽明経熱感、胸脇苦満。

下痢、便秘を繰り返している状態。

痛み：VAS=36mm 治療後：VAS=26mm

治療部位

<腧鍼>左行間、左内庭、左外内庭

<e-Q>中腕、滑肉門、天枢、関元

18:30 食欲あり(主5割、副8割)

レスキュー使用：17回/日

4月4日

0:30 寝息立てて入眠。

6:30 はあ。寝不足や。(前回のレスキュー使用から)1時間半くらいたったかなあ。

15:00 鍼灸治療 2 診目(レスキュー13:40)

13:40にレスキュー使用して、トイレ行ったら下痢でチョピチョピと出ました。

脈診：脾滑、腎微弦

舌診：淡白、舌尖紅、紅点、舌下静脈怒張 +
 触診：右行間軟弱、左行間・左内庭・左外内庭圧痛、中脘、滑肉門、 関元、右天枢軟弱、関元圧痛

治療部位
 <鍤鍼>左行間、左内庭、左外内庭
 <e-Q>中脘、関元、滑肉門、天枢
 <円皮鍼>右行間、左大都

23：30 NRS=9、レスキュー使用するも NRS=5
 レスキュー使用：17 回/日

4月5日
 8：30 昨日、下痢しました。ぼちぼち食べられるようになった。
 ~右鎖骨化にポート留置~

15：30 鍼灸治療 3 診目
 今日はちょっとしんどいんだよね。左大都の貼付のみ

治療部位
 <円皮鍼>左大都
 レスキュー使用：18 回/日

4月6日
 7：30 昨日は何ともなかったけど、今日は痛みます（ポート部位）
 10：30 ちょっと食欲出てきたのでアイス買ってきました。痛いの もレスキューしたら 5 分後には楽になっています。
 13：30 昼はあんまり食べられなかった。
 素麺は食べられたけど、便も昼から...そうだね、1 回かな。前ほどのひどさはないけど、水様便。下痢 持続回数低下しているよう。
 レスキュー使用：13 回/日

4月7日
 8：30 深夜、1~2 時間おきにレスキューあり、夜間も頭数 持続し ており、熟眠感なし。
 12：30 下痢した感じはないけど、その分、張った感じ。
 レスキュー使用：18 回/日

4月8日
 15：30 レスキューをしてもらおうと、痛みはちょっとマシに なるけ ど、1 時間しか持たんなあ。
 レスキュー使用後の痛み：VAS=33mm 程度
 レスキュー使用：19 回/日

4月9日
 9：30 便は丸一日でてない。ガスは出ています。痛みはさ ったからマシやけど、痛いです

13：00 ご飯は食べれたけど、やっぱりお腹痛い。
 ご飯前に便だしたけど下痢やった。

15：30 鍼灸治療 4 診目（レスキュー15：20）
 脈診：一息六至、滑
 痛み：VAS=87mm 治療後：VAS=45mm

治療部位
 <毫鍼>左大都
 <e-Q>関元、天枢、滑肉門
 <円皮鍼>左大都
 レスキュー使用：19 回/日

4月10日
 6：00 レスキューお願い。便 2 回出た。下痢が。
 7：00 気持ち空いたかな？
 痛み：VAS=61mm レスキュー後：VAS=38mm

8：30 今朝排便あって、それ以降は腹の痛みは治まってい ます。
 16：30 鍼灸治療 5 診目
 投薬により下痢、便秘を繰り返している。
 また、治療前後での評価はレスキューの使用時間に 影響さ れるため、印象評価のみで行う

治療部位
 <毫鍼>左大都
 <e-Q>関元、天枢、滑肉門
 <円皮鍼>左大都
 レスキュー使用：19 回/日

4月11日
 16：00 やっぱり（お腹が）動くと怖いです。
 16：30 鍼灸治療 6 診目
 ん~いたいです。下痢・水様便・・・

脈診：数（一息六至）、脾弦、肝滑
 治療部位
 <毫鍼>左行間
 <e-Q>太白
 <円皮鍼>大都

23：00 下痢二回、回数は減っている。
 ロペラミド塩酸塩内服し、下痢便低下。
 レスキュー使用：20 回/日

4月12日
 15：30 鍼灸治療 7 診目（レスキュー14：47）
 痛みは落ち着いておりテレビを観覧している。水様 便が 11：00 かな？あった。便は出ました。
 脈診：一息四~五至、脾滑

舌診：淡紅舌、薄白苔、舌下静脈怒張

治療部位

<e-Q+鍤鍼>中脘、滑肉門、天枢、関元

<円皮鍼>太白

レスキュー使用：18回/日

4月13日

8:00 下痢したので下痢止めください。ドバーッと出た。

9:30 痛みはまだチクチクしてるかな？

レスキュー使用：19回/日

4月14日

2:30 アイタタタ... (NRS=9)

レスキュー使用：20回/日

4月15日

13:30 下痢していたところ、お腹痛い。1時間経ったらレスキューをお願いします。レスキューが待ち遠しい。

フェンタニルクエン酸塩注射液の効果は1時間半。

レスキュー使用：21回/日

4月16日

5:30 今日は調子いいよ。下痢もしてない。

痛み VAS=56mm レスキュー後:VAS=37mm

10:30 (鍼始まってからどうですか?)

う~ん、、、あんまり変わらないね。

17:00 鍼灸治療8診目

昨日トイレに行って3~4回下痢しました。

脈診：肺無力、脾・腎微弦 84回/分

舌診：淡白、舌中乾燥、苔剥落、胖大、嫩舌、舌下静脈怒張

触診：右内関圧痛、右外関圧痛緊張、期門圧痛、右地五会、左侠溪

治療部位

<毫鍼>右内関、右地五会、左侠溪、期門、右章門、左公孫

<円皮鍼>右内庭、右外内庭、右侠溪

レスキュー使用：20回/日

4月17日

5:00 昨日の朝から急に痛みが楽になった。

痛み止めの感覚が伸びているでしょ？お腹の張った感じとお腹の左側をおさえられる様な痛みと同じ程度で痛い。

9:30 今日は調子最悪です。

漢方ですか...うーん。

15:30 鍼灸治療9診目

今、あまり痛いことないかな。

脈診：肝滑、腎微弦、細、弱

舌診：淡白、白膩苔(舌中厚苔)、舌下静脈怒張

治療部位

<毫鍼>右期門、右章門

<鍤鍼>左内庭、左外内庭、左侠溪

<e-Q>中脘、滑肉門、天枢、太巨

<円皮鍼>左内庭、左外内庭、左侠溪

右滑肉門、右天枢は左より熱さ感じず。

レスキュー使用：19回/日

4月18日

8:00 下痢は止まった。でもお腹が張っています。

10:30 昨日から半夏瀉心湯開始。下痢の回数減少。

16:30 便が出なくなってきて...

17:00 鍼灸治療10診目

訪室時、苦痛表情あり。声掛けすると、レスキュー使用を希望される。以後閉眼し沈黙。

痛み：VAS=72mm

治療部位

<毫鍼>右外関、右内庭、右外内庭、左公孫

<円皮鍼>右内庭、右外内庭、右侠溪

レスキュー使用：19回/日

4月19日

8:30 お腹が張っていたい。

10:00 今日は調子が悪い。便が出ていないと、お腹張った感じがする。(痛み：VAS=66mm)

15:00 昼から下痢やった。

16:00 鍼灸治療11診目

腹の張りがきつい時がある。お腹が動いたら、あっちもこっちも痛い。

脈診：肝実、脾虚

治療部位

<毫鍼>右行間

<円皮鍼>右行間、左内庭、左外内庭

レスキュー使用：22回/日

4月20日

10:00 昨日よりはちょっとマシかな？

さっきレスキューしてもらったから痛みは今、これくらいかな？便は朝1回あった。血は出てないよ。

鍼灸のところは大丈夫。効果？多少マシなんかな？

レスキュー使用：22回/日

4月21日

13:30 便が出る時、やっぱり痛い。

出ないのもしんどいけど、おならもあまり出ないし、

少し張っている。

レスキュー使用：21回/日

4月22日

16:00 お腹はキリキリ痛い。夜も1時間~1時間半
くらいでレスキューしないと、目が覚めた時に
痛みがつよいかから。舌も痺れている。
歯磨きは1回だけしている。

レスキュー使用：21回/日

4月23日

16:30 下痢の量は少なくなったけど、お腹がグルグル
痛いです。
18:00 鍼灸治療 12診目
さっき、レスキューしてもらいました。

脈診：肝・腎微弦

舌診：暗淡白、湿润、舌中~舌根白黄膩苔

治療部位

<毫鍼>右期門、右章門、復溜、右臨泣、左太衝

<円皮鍼>左太衝、復溜

レスキュー使用：21回/日

4月24日

10:00 今は痛み大丈夫。さっき(レスキュー)してもらっ
たから ね。便は昨日の夕方から出ていない。出すはちょっ
とずつ ている。
17:30 ちょっと、今日は・・・。発熱のため、鍼灸治療中
止

レスキュー使用：22回/日

4月25日

8:00 レスキューをしてください。便が出ない。
14:30 下痢を止めてください。2回出ました。
水です。(ロペラミド塩酸塩2錠使用)
18:00 鍼灸治療 13診目
いたたた...今日も下痢でした。下痢の時は痛いです。
常に痛いよー。

治療部位

<毫鍼>復溜

<鍉鍼>左復溜、左足三里

<円皮鍼>左太衝、左陥谷、左外陥谷、右復溜

レスキュー使用：20回/日

4月26日

9:00 レスキューをお願いします。トイレに座っている時
間も長 い時あるね。
16:00 鍼灸治療 14診目

今日も下痢でした。

訪室時、身体を起こし、TVをみている。

脈診：肝・腎微弦

治療部位

<毫鍼>右期門、右行間

<円皮鍼>左内関、左外内庭、右復溜

レスキュー使用：20回/日

4月27日 レスキュー使用：19回/日

4月28日 レスキュー使用：20回/日

4月29日

10:30 下痢はしてないけど、朝軟便があった。
モルヒネに変えてみるって、腸閉塞になるかもって
言われたけど、ずっと病院にはおれん。

レスキュー使用：19回/日

4月30日

12:00 すみません。下痢を止めてください。

16:30 鍼灸治療 15診目

お腹も変わらないです。舌の先はピリピリしてます。

脈診：洪、腎無力

舌診：暗紅舌、舌下静脈怒張、舌尖紅、瘀斑

治療部位

<毫鍼>三陰交

<円皮鍼>神門、三陰交、左復溜

17:00 痛い。こんなに痛くなったの初めて。下痢が出てマ
シにな ってきた。

レスキュー使用：20回/日

5月1日

15:00 痛みは全くないね。昼ごろに熱があるような感
じで頭がボーっとしていたけど、今は大丈夫です。
お腹、動いてる？
18:00 鍼灸治療 16診目
昨日、あの後すごい痛くなりました。便をしたら治
まったけど、初めてでした。

脈診：洪

舌診：紅、舌尖紅、瘀斑、舌下静脈怒張

治療部位

<鍉鍼>三陰交

<円皮鍼>左復溜、左三陰交

レスキュー使用：6回/日

5月2日

10:30 うーん。今までで一番調子いいかな？
でも、今度は出なくなりました。ご飯も食べたいけ

ど、食べたからお腹が張るからちょっと控えました。

11:30 さっき半下痢出ました。

17:30 鍼灸治療 17 診目

訪室時、苦痛表情なく妻と TV をみている。

治療部位
<円皮鍼>左三陰交、左外関

レスキュー使用：6 回/日

5月3日

16:00 あーでも痛むなあ。お腹が動いている...出した方が
すつきりするのかな？日中から下痢続いており、腸蠕動に
よる痛みあり。午後より回数増加

レスキュー使用：11 回/日

5月4日

16:00 (フェンタニルクエン酸塩注射液)減らしてから、
ポーっとする感じはなくなりました。

レスキュー使用：19 回/日

5月5日

5:30 塩化モルヒネ：1.8ml/h
フェンタニルクエン酸塩注射液：1.2ml/h
レスキュー：フェンタニルクエン酸塩注射液：
3.7ml/h に変更

11:30 塩化モルヒネ 1.8ml に変更になってからレスキュー
頻回になっているため、減らした。

レスキュー使用：20 回/日

5月6日

10:30 下痢はさっきありました。昨日は痛くて1時間ごと
にレスキューしていたから眠いです。

22:30 テレビ見ているが、苦痛表情持続。

レスキュー使用：21 回/日

5月7日

17:00 午後からレスキュー使用 40 分経過後から腹痛あり。
痛み：VAS=64 mm。ウトウトされる。

17:00 入眠中のため、鍼灸治療中止

レスキュー使用：17 回/日

5月8日

7:30 お腹が張ってしんどい。
下痢あるも腹部膨満感による腹痛あり。

14:00 ご飯はちょっとだけ食べた。下痢止めものんだ。
痛み：VAS=42 mm。

17:00 鍼灸治療 18 診目

ちょっと下痢がですね...。

脈診：腎洪

舌診：舌尖紅、舌下静脈怒張

治療部位
<鍔鍼>三陰交、右足三里、復溜
<円皮鍼>右内庭、右外内庭、左復溜

レスキュー使用：21 回/日

5月9日

15:00 食べた後は痛いけど、食べるのは唯一の楽しみです。

16:00 鍼灸治療 19 診目

あ...はい。。訪室時、苦痛表情あり。

脈診：腎洪、肝無力、脾弦

治療部位
<毫鍼>右三陰交、左復溜、左太溪
<鍔鍼>右公孫
<円皮鍼>右外関、左太溪、左公孫

治療中から退室時まで入眠。

レスキュー使用：22 回/日

5月10日 鍼灸治療中止

レスキュー使用：20 回/日

5月11日

19:00 便は出ていないけど、腸が動く痛み。痛み：
VAS=54mm

レスキュー使用：19 回/日

5月12日

8:00 イタタ...便が出てお腹が痛い。痛み：VAS=68mm

レスキュー使用：22 回/日

5月13日

16:00 2時間くらい寝ていたけど、また、お腹がしくしく。
最近 硬いんで。漢方は飲んでない。便が硬いとえらいん
や。痛み：VAS=35mm

18:30 便の形があるのが、ガスと一緒に出了。
痛み：VAS=74mm

レスキュー使用：20 回/日

5月14日

10:30 今朝はお腹が痛かった。便が出る前から痛くて、
出てからも痛かった。(排便あり)

16:30 鍼灸治療 20 診目

暑い。今日は暑いね～。トマトを食しながら TV を観
ている。

脈診：細、無力、腎微弦、数(一息七至)

治療部位
<毫鍼>右期門、左復溜

<鍹鍼>左大敦、左内庭、左外内庭
<円皮鍼>左外関、左外内庭

5月15日

10:30 便...下痢が出ました。
痛み:痛み:VAS=24mm

15:30 レスキュー間隔1時間半~2時間ほど日中でも空いている。

16:30 鍼灸治療21診目
今日は、別のところが痛いんですよ(別のところ?)
臍がね、麻酔してもらったんだけど痛くて。レスキューは1時間半効いてます。

脈診:細、弦、腎無力
治療部位
<毫鍼>右外関、左復溜
<鍹鍼>左行間、左内庭、左外内庭
レスキュー使用:16回/日

5月16日

16:00 排便2回ありました。お臍の傷は痛くないよ。

17:00 鍼灸治療22診目
苦痛表情なし。

脈診:脾洪、
舌診:紅舌、瘀斑、黄膩苔、舌下静脈怒張
治療部位
<鍹鍼>三陰交、行間、内庭、外内庭、俠溪、左外関
レスキュー使用:16回/日

5月18日

17:30 鍼灸治療23診目
午後から1時間おきにレスキューを使用しています。

脈診:細、一息五至
治療部位
<毫鍼>左外関
<鍹鍼>行間、内庭、外内庭、俠溪
<円皮鍼>左外関
レスキュー使用:19回/日

5月19日

16:30 昼食食べたら、下痢がでた。昼にたこ焼き、スイカ、トマトを摂取。
レスキュー使用:17回/日

5月20日

10:00 しらん間に寝ていることはあるけど...。便は朝だけ。
レスキュー使用:19回/日

5月21日

9:30 レスキューお願い、下痢もあったんで、下痢止めください。

16:40 鍼灸治療24診目
あ、うん。TVを観ていられる。

脈診:腎虚
舌診:淡白、胖大、嫩舌、舌下静脈怒張
レスキュー:昼1時間おき、夜間2時間おきに使用
治療部位
<毫鍼>復溜、右膝関、左太衝、右陥谷、右外陥谷
レスキュー使用:19回/日

5月22日

8:00 なんか、昨日の夜あたりから、喉が痛くて、リンパ節が腫れている気がする。

14:30 下痢は落ち着いている。お腹動きだすと痛い。

17:30 鍼灸治療25診目
今レスキューしてもらった。

脈診:肝・腎無力、脾滑
触診:上肢に比べ、下肢が軽度冷え強い
治療部位
<鍹鍼>大都、復溜、左三陰交
<円皮鍼>右合谷

22:30 今日はレスキューの効きが悪いなあ。
レスキュー使用:19回/日

5月23日

12:00 モルヒネ:2.1ml/h、フェンタニルクエン酸塩注射液0.2ml/hに変更する。痛み:VAS=80mm

16:30 鍼灸治療26診目
訪室時、ストッキングをはきながらTVを観ている。

脈診:脾実、肝・腎無力、やや数(一息七至)
治療部位
<毫鍼>膝関、左外関
<円皮鍼>右膝関
治療中、排ガスあり。痛みはなし。
レスキュー使用:20回/日

5月24日

8:00 半分くらいは出た感じかな。GE施行により消化不良便あり。

16:30 鍼灸治療27診目
今のところ(下痢)止まっている。

脈診:脾滑、肝無力、腎微弦、細、数
触診:足背浮腫
治療部位

<鍼鍼>陥谷、外陥谷、地五会、大都、左復溜

<円皮鍼>左陥谷、左外陥谷、左地五会

レスキュー使用：20回/日

5月25日

12:30 便が出ていない。日中の排ガス、排便なく、腹部膨満感+。

18:30 最近ちょっと便秘気味。腸の動く痛みあるけど、お腹が張ってしんどい。

痛み：VAS=63mm

モルヒネ：2.1ml

フェンタニルクエン酸塩注射液：3.7ml

アセトアミノフェン 200mg：3錠

レスキュー使用：20回/日

5月26日

15:00 テレビを見ながら苦痛表情あり。痛み：VAS=68mm

レスキュー使用：21回/日

5月27日

10:30 調子よければ、1時間15分くらいあくけどなあ。レスキューしたら5分くらいで効いてくるけど、1時間くらいからチクチク、ズキズキしてくる。時間があくと余計に痛い。

(痛み：VAS=50mm)

15:30 2日分くらい出たわ。出る前が痛かった。

16:00 舌尖部に斑点あり。白色の付着物なし。

頬粘膜は触れると痛い。

レスキュー使用：20回/日

5月28日

10:30 レスキューお願いします。

レスキューをフェンタニルクエン酸塩注射液 塩化モルヒネ 2.2mlに変更する。

16:30 レスキューお願い。こっちの方が効いている感じがします。

レスキュー使用：フェンタニル 8回/日

塩化モルヒネ 10回/日

5月29日

10:00 痛みはマシになったが、便は出ていない。

そのため、お腹が張った感じがする。

16:30 鍼灸治療 28診目

苦痛表情なく、TVを観ている。

昨日は熱がすごかった。39度超えたんだよね。

触診：右太溪緊張、右湧泉緊張圧痛、三陰交硬結、

陥谷・外陥谷・地五会軟弱

治療部位

<鍼鍼>右太溪、右湧泉、三陰交、陥谷、外陥谷、地五会

レスキュー使用：13回/日

5月30日

10:00 レスキュー前 45mm レスキュー後 18mm

14:00 今日はチャーハンと唐揚げ、餃子と半分食べた。

14:30 日中レスキュー2時間ごと。

16:30 鍼灸治療 29診目

2時間くらいに前に1回だけ下痢しました。けどそれから大丈夫。口の中は痛い。

脈診：滑

舌診：紅舌

触診：内庭・外内庭・俠溪圧痛、復溜緊張圧痛

治療部位

<毫鍼>復溜

<円皮鍼>内庭、外内庭、俠溪

レスキュー使用：15回/日

5月31日

16:30 レスキュー使用間隔空いてきている。

時間帯で使用回数の差があり。

レスキュー使用：13回/日

6月1日

16:30 夕方になると痛くなるな。

レスキュー使用：12回/日

6月2日

6:00 レスキューお願い。さっき下痢した。下痢止めちょうだい。

レスキュー使用：14回/日

6月3日

13:00 下痢継続中。ベッド上でうずくまり。

疼痛あり、食事摂取せず。レスキュー1時間おきに訴えるが疼痛続く。

レスキュー使用：16回/日

6月4日

12:30 ご飯食べたないし、薬も飲めん。水も飲んだら、腸が動いて痛み強くなる、今はあかん。

16:30 鍼灸治療 30診目

昨日の朝からお腹が張っていたい。

脈診：胃・腎微弦、肝浮

治療部位

<毫鍼>右足三里

<鍼鍼>行間、太衝、陥谷、公孫

レスキュー使用：14回/日

6月5日

8:00 腸が動く痛さよりお腹が張る感じの痛みの方が強い。

16:00 昨日に比べればお腹の張りも痛みもマシ。

16:30 鍼灸治療 31 診目

ふう。ふう。ありがとう。痛みから苦痛表情あり。

脈診：脾滑、腎微弦、細

触診：右足三里緊張、外関表面軟弱・深部緊張

治療部位

<毫鍼>右足三里

<鍍鍼>行間、太衝、外関、復溜

レスキュー使用：15回/日

6月6日

9:30 腹部膨満続く。痛み：VAS=60mm

16:30 鍼灸治療 32 診目

うー...張った感じあります。ずっと。

脈診：細、虚、無力、腎渋、脾滑

治療部位

<毫鍼>左足三里

<鍍鍼>外関、行間、太衝

20:00 サンドイッチ食べたから痛くなったみたい。

レスキュー使用：12回/日

6月7日

13:00 鍼灸治療 33 診目（レスキュー12:30）

はい...。下痢でた。TVつけているが、閉眼したまま、
お腹に手を乗せている。

脈診：肝緊張、腎微弦、脾滑

触診：足三里緊張、行間圧痛

治療部位

<鍍鍼>足三里、曲泉、太白、行間

レスキュー使用：12回/日

6月8日

10:00 しんどいわ。戻した。便も出た。

訪室時、トイレでしゃがみこまれている。痛み：

VAS=100 mm。

14:00 朝のアセトアミノフェン以降、内服できず。嘔吐1
回あり。嘔気継続する。

レスキューをPCAポンプに変更。

レスキュー使用：ドーズ回数14回/日、有効9回/日

6月9日

8:00 今日はマシかな？痛みより張りの方が強い。

レスキュー使用：ドーズ回数8回/日、有効7回/日

6月10日

18:30 昨夜、下痢とガスが出て、張り少しマシになった。

レスキュー使用：ドーズ回数10回/日、有効8回/日

6月11日

8:30 レスキュー使用：ドーズ回数19回/日、有効14回/
日

16:30 鍼灸治療 34 診目

下痢でした。チクチクではなく、全体が張っている。

下腹部あたりを針でチクチクされているみたい。

脈診：脾渋、腎微弦

舌診：淡白、白膩苔、嫩舌、胖大

治療部位

<鍍鍼>期門、行間、膝関、足三里

<円皮鍼>左内庭、左外内庭、左侠溪

6月12日

10:00 レスキュー使用：ドーズ回数8回、有効5回

14:00 何かウトウトしてしまう。お腹はちょっと張る。

16:30 鍼灸治療 35 診目

お腹全体が張って痛い。

脈診：胃滑、やや渋

触診：右足三里緊張、陥谷・外陥谷軟弱

治療部位

<毫鍼>右足三里、

<鍍鍼>行間、太衝、陥谷、外陥谷

* 鍼灸治療中：入眠

6月13日

10:00 レスキュー使用：ドーズ回数12回、有効7回

16:30 鍼灸治療 36 診目

本日の痛み：NRS=4、昨日の痛み：NRS=6

脈診：一息六至、胃滑、腎無力

触診：左足三里表面緊張、行間軟弱圧痛、胸脇苦満

治療部位

<毫鍼>左足三里

<鍍鍼>行間、右期門、膝関

6月14日

10:00 レスキュー使用：ドーズ回数10回、有効10回

16:00 まだいいかとほっておいたらドーンと痛くなるか
らその前

に使っている感じ。
化学療法（FOLFILI + Pmad）開始

17:00 鍼灸治療 37 診目
さっき柔らかく便ができました。今日は NRS=5。
チクチクした感じではなく、張った感じ。
脈診：胃滑、腎微弦、肝無力
触診：左足三里緊張、腎経緊張、陥谷軟弱、外陥谷軟弱、足の
冷え あり（室温 25 度、寒い印象）
治療部位
<毫鍼>左足三里
<鍚鍼>膝関、太溪、太衝、陥谷、外陥谷、地五会、行間

6月15日
10:00 レスキュー使用：ドーズ回数 25 回、有効 18 回

6月16日
10:00 レスキュー使用：ドーズ回数 40 回、有効 17 回
15:30 午前下痢 3 回。下痢止めにて落ち着いている。昼食を
温めに歩行器使用でラウンジまぐる。

6月17日
10:00 朝下痢した。痛い。痛み：VAS=72mm
レスキュー使用：ドーズ回数 34 回、有効 16 回
14:00 張りよりも、腸の動いた時の方が痛い。痛み：VAS=66mm
17:30 鍼灸治療中止

6月18日
10:00 レスキュー使用：ドーズ回数 30 回、有効 17 回
16:30 鍼灸治療 38 診目
一回ちょっと下痢した。今日は半分以下かな？NRS=4
くらい。張った感じが落ち着いているかな
脈診：肝洪、腎弦、細、脾微弦
舌診：暗淡白、肿大、嫩舌、齒痕あり
治療部位
<毫鍼>右足三里、三陰交
<鍚鍼>行間、復溜、陰谷

17:00 ちょっと歩く気になってきました。

6月19日
10:00 レスキュー使用：ドーズ回数 28 回、有効 16 回
17:30 鍼灸治療 39 診目
【妻】さっき帰ってきたところです。今日外出してた。
【本人】うーん、痛い。【妻】今日は痛い日みたい。
寝てる？
脈診：腎弦、肝無力
治療部位
<鍚鍼>太溪、復溜、右足三里、行間
*軽度苦痛表情みせるも、すぐに入眠される

6月21日

10:00 レスキュー使用：ドーズ回数 26 回、有効 16 回
16:00 下痢はしていません。排便 2 回あった。お腹の痛み
は...ま あ、ボチボチ

6月22日
10:00 レスキュー使用：ドーズ回数 27 回、有効 14 回
14:00 排便は朝のみ、その後なし。痛み：VAS=68mm

6月23日
10:00 レスキュー使用：ドーズ回数 28 回、有効 17 回
14:30 今日は便秘。軽度復痛あり。

6月24日
10:00 レスキュー使用：ドーズ回数 25 回、有効 18 回
16:30 腹水穿刺 1100ml

6月25日
10:00 レスキュー使用：ドーズ回数 18 回、有効 15 回
16:30 鍼灸治療 40 診目
今はマシ。NRS=5 以下。午前中がちょっとね、今日、
水を抜いたからかな？しんどかった。今も動くも骨盤
あたりがズキズキする。
脈診：腎無力、胃微弦
舌診：淡白舌、肿大、嫩舌、湿潤、紅点、舌下静脈怒張
治療部位
<毫鍼>太溪、左陥谷、左外陥谷、左地五会
<鍚鍼>右期門

6月26日
10:00 レスキュー使用：ドーズ回数 18 回、有効 15 回
16:00 食堂でうどん食べてきました
17:00 鍼灸治療 41 診目
昨日よりマシかな？NRS=7 くらい。便はちょうどいい
くらいのがでた。NRS=7 と言うが苦痛表情はない。
脈診：脾・腎無力、肝やや洪、細
触診：足背浮腫、冷えあり。足三里表面軟弱・深部緊張。
治療部位
<鍚鍼>足三里、陰谷、大都、行間、陥谷、外陥谷、地五会

6月27日
10:00 レスキュー使用：ドーズ回数 22 回、有効 13 回
16:30 鍼灸治療 42 診目
(治療前にレスキュー使用) ちょっと痛い。
治療部位
<毫鍼>左陥谷、左外陥谷、左地五会、右足三里、右外関

6月28日
10:00 レスキュー使用：ドーズ回数 24 回、有効 14 回
17:00 T=37.7。悪寒あり

17:30 鍼灸治療 43 診目
寒いね。寒い。。

治療部位
<鍔鍼>湧泉
布団に包まって震えているため、所見とれず

6月29日
10:00 レスキュー使用：ドーズ回数 29 回、有効 15 回
11:00 今日はガスがでてないので張ってます。痛み：
VAS=60mm
16:00 舌がピリピリするけど、食べられた。

6月30日
10:00 レスキュー使用：ドーズ回数 31 回、有効 14 回

7月1日
10:00 レスキュー使用：ドーズ回数 19 回、有効 8 回
11:00 朝ちょっと硬め出たよ。血は混じってない。痛み：
VAS=65mm
20:30 Folfili + Pmad 6 コース目開始。
終了後、CT にて左胸水悪化と左胸膜播種を疑う所見あり。今後は化学療法希望されれば行っていく。一度腹腔神経ブロックを試みるか

7月2日
10:00 レスキュー使用：ドーズ回数 18 回、有効 15 回
17:30 今日は出たよ。下痢だけど普通の便だった。
18:00 鍼灸治療 44 診目
今日はちょっと張ってる。便秘と下痢を繰り返しててちょうどいい時はあまりないね。今日は NRS=7~8 くらい。

脈診：脾微弦、腎無力
治療部位
<毫鍼>復溜、左中封、右内関
<鍔鍼>太衝、俠溪
<円皮鍼>太溪、右内関

7月3日
10:00 レスキュー使用：ドーズ回数 12 回、有効 9 回
16:00 今日の痛みは NRS=4。まだマシな方です
17:30 鍼灸治療 45 診目
今日は比較的調子いいよ

脈診：腎・脾弦、肝無力、細
触診：胸脇苦満 (R>L)
全体張っているが苦痛表情なし。

治療部位
<毫鍼>復溜

<円皮鍼>左内関
7月4日
10:00 レスキュー使用：ドーズ回数 31 回、有効 14 回
17:30 鍼灸治療 46 診目
相変わらずです。朝からと言うと 4 回くらい下痢だったかな。今は NRS=6 くらい。

脈診：腎・肝無力、脾弦
触診：下腿冷え、浮腫あり、太溪深部硬結
治療部位
<鍔鍼>太溪、陥谷、外陥谷、地五会
<円皮鍼>太溪、左陥谷、左外陥谷、左地五会

7月5日
10:00 レスキュー使用：ドーズ回数 23 回、有効 13 回
17:30 鍼灸治療 47 診目
いつもと同じ感じですよ。NRS=5。

脈診：洪、腎無力・微弦
治療部位
<鍔鍼>太溪、左陥谷、左外陥谷

7月6日
10:00 レスキュー使用：ドーズ回数 29 回、有効 15 回

7月7日
10:00 レスキュー使用：ドーズ回数 24 回、有効 16 回
12:00 輸血開始

7月8日
10:00 レスキュー使用：ドーズ回数 34 回、有効 17 回
15:30 痛い…。 痛み：VAS=75 レスキュー後：VAS=35mm

7月9日
10:00 レスキュー使用：ドーズ回数 35 回、有効 15 回
ちょっと下痢した。今は VAS=64mm。痛みを訴えるが、塩焼そば食べている。

10:30 退院
*退院後

7月26日 再入院となる。

8月5日 腹腔神経叢ブロックを試すと、痛みの鎮静が認めた。
8月7日 腹腔神経叢ブロックを施行するも、疼痛コントロールできず。
8月12日 ハロペリドール開始

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価
レスキューを使用する時間帯に強く影響を受けるため、コメントおよび印象にて評価をする。

● 患者コメント

7 診目後「うーん…あまり変わらないね」

8 診目後「昨日の朝から急に痛みが楽になった」

「痛み止めの感覚が伸びているでしょ」

10 診目後「多少マシなんかな？」

● 家族コメント

波があるからわからない

● 医師・看護師・医療スタッフの印象

投薬によるものもあるため、鍼灸治療の効果が得られていたかははっきりとは言えないが、患者自身も少しマシになっていると言っているの、僅かながら効果があったと考える

【総括】

本症例は整腸目的に鍼灸治療を介入した。

介入以前より、腸蠕動痛、便秘に伴う腹部の脹痛があり、1日の中で下剤と止痢剤を交互に使用しているほど、排便コントロールが難しい状況であった。鍼灸治療介入期間中も患者の希望から頻りに服薬されており、その様な状況下では整腸効果があったのかなかつたのかは不明としか言えない。

患者コメント：「痛み止めの感覚が伸びているでしょ」「多少マシなんかな」から、全く鍼灸治療の効果がなかつたわけではなく、僅かながら腸蠕動痛は軽快していたのではないかと考えられた。

【患者】75 歳、男性

【既往歴】特記事項なし

【病態】膀胱癌

【ターミナル期】ターミナル前期

【現病歴】

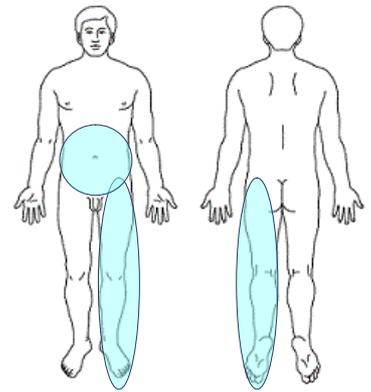
X-18 年、経尿道的膀胱腫瘍切除術を行い、通院で経過観察をしていたが、5 年ほどしてドロップアウトされた。

X-3 年に入り、再検査の結果、膀胱壁全体に表在癌を確認。BCG 膀胱注入療法を全 8 回行った。

X-2 年、尿細胞診で Class と診断。X-1 年にランダム生検および逆行性腎盂造影にて前壁と頂部に癌腫瘍を認められた。X 年に膀胱全摘を目的に入院となった。

【鍼灸治療目的】

術後の排便コントロールおよび左下腿痛に対し、鍼灸治療を依頼があり、介入した。



【東洋医学的所見】

膀胱摘出手術後より、腸蠕動痛および左下肢に痛

みを訴える。腸蠕動痛は鍼治療開始前 VAS=51mm。左下肢痛は治療開始前 VAS=74mm と強い痛みを訴える。排ガスあるが、時折痛みがある。左下腿は特に後面が強く痛み、足先はしびれている。脈診：脾洪、腎微弦、行間軟弱、左合谷緊張圧痛、左内関軟弱圧痛、左足陽明経熱感あり。

【弁証】腎陰虚、足太陽膀胱経絡病、気虚、血虚（血瘀）

【鍼灸介入期間】35 日間

【鍼灸治療回数】4 回/週、19 回

【転帰】退院

【最終鍼灸治療日～転帰】1 日間

【評価】痛み評価は Visual Analogue Scale(以下 VAS)を使用。また、全体評価として医療スタッフによる印象評価をカルテから抜粋し、総合的に評価をおこなった。

【鍼灸治療最終評価】

- 1) 左下腿外側部痛：著効
- 2) 腸蠕動痛：やや有効
- 3) 左足裏のしびれ：著効

【治療経過】

4月2日

18:30 昨日は足を右足と同じ高さに卸すことができなかったけど、右足とそろえておろしても痛くなかった。前はな、触れただけでも痛かった。けど、今日はこうして触れられるわ。

4月3日

10:00 左下肢がまた動きにくくなってきてます。

16:00 お腹を温めたら、張りも楽になったような。ガスも出るん分かるし、家でも3~4日は便が出なかったこともあった。

(3/31から大建中湯、イトブリド3錠使用)

腹壁ややぼったり。下肢を設置すると脹脛の痛み出現。

足関節背屈時に腓腹筋緊張。

17:00 鍼灸治療1診目

痛みはある時とない時がある。

日によって異なる。最近はお腹を温めてもらい、ガスも出て調子が良い。左下腿はひざ下から足首の上まで痛む。

(特に裏の方が)軽くぶつけても痛く、足先はしびれる。

脈診：脾洪、腎微弦

触診：行間軟弱、左合谷緊張圧痛、左内関軟弱圧痛、

左足陽明経熱感

腸蠕動痛：VAS=51mm 治療後：VAS=51mm

左下肢痛：VAS=74mm 治療後：VAS=29mm

治療部位

<毫鍼>左行間、左内庭、左外内庭、左侠溪、左合谷

<円皮鍼>左内庭、左外内庭、左侠溪

4月4日

16:00 リハビリでたった。痛かったけど、立てた。

16:30 鍼灸治療2診目

今日もガス出ているので、張った感じはない。

グルグルいとお腹が痛いんです。今日も痛かった。

痛いのはグルグルいっているときだけ。左足はじつ

として いるといい、動かしたり、力入ると痛い。

脈診：肝洪

舌診：紅舌、舌尖紅、舌下静脈怒張

触診：左太溪軟弱、左大都軟弱陥凹、

左行間・内庭・外内庭圧痛、身体は寒い。

腸蠕動痛：VAS=31mm

左下腿痛：VAS=21mm 治療後：VAS=12mm

治療部位

<毫鍼>左行間、左内庭、左外内庭、左太溪

<円皮鍼>左大都、左内庭、左外内庭

4月5日

2:00 便が硬くなってきとるで出にくいね。

腸蠕動痛：VAS=0mm、下腿痛：VAS=42mm。

17:00 鍼灸治療3診目

昨日に比べたらグルグル言っても痛い感じは弱くなっている感じがする。足も動かしたら痛かったのが、

今日はそんなに痛くない。しびれた感じも前と比べると1/3

くらいになった。しびれの強さもだいぶマシになった気がする。

お風呂に入ったけど、台にも上がれんくって、温め

たらビ ャー！！と痛みがあったけど、そんなに痛くなかったよ。

脈診：脾・腎滑

舌診：紅舌、舌尖紅、無苔

触診：右復溜圧痛、右公孫緊張圧痛、左太泊陥凹、右内庭・外

内庭・ 侠溪軟弱圧痛

腸蠕動痛：VAS=4mm

左下肢痛：VAS=22mm

しびれ：VAS=35mm(介入前)

治療後：VAS=17mm

治療部位

<毫鍼>左行間、左内庭、左外内庭、左太溪

<円皮鍼>左内庭、左外内庭、左侠溪

18:00 下剤使用すると脱水になる可能性あり、使用せず。

22:30 左足の円皮鍼、痛みがあり抜去。

4月6日

13:30

痛いことはないけど、痺れとる。

20:00

便が出そうや。トイレに行くわ。

自然排便あり。足は痛むが、踵はつけることが可能。

4月7日

12:30 今日休みで予定ないし、13時になったら車椅子に乗って

みたい。前向き発言が増えてくる

4月8日

15:00 痛み止めは結局飲んでから6時間ほどたな効いて

ないと思わうわ。

4月9日

7:00 いらん。そんなん効かんし。アセトアミノフェン服

薬拒否

9:30 腫れもひき、背屈すると、下腿後面でつぱって痛

いです。母趾~足底にかけて痺れ+。三頭筋の筋緊張・拘縮

あり。

17:30 鍼灸治療 4 診目
お腹の方は調子よくて、便もスルっとでた。2~3
回やったかな。お腹の動いた時の痛みはもうないです。左足
も触れられても痛くない。

脈診：一息七至、滑

触診：左下腿の緊張軽減、右行間軟弱、右大都軟弱

左下腿動作時痛：VAS=30mm 治療後：VAS=4mm

夜間足底にピリピリしたため、円皮鍼抜去。

治療部位

<毫鍼>左内庭、左外内庭、左侠溪、右行間、左太溪

<円皮鍼>右大都

4月10日

9:30 臥床で、左下肢の運動を積極的に行われている。腫
脹軽減し、皮膚に皺が寄っている。痛み止め使用しておら
ず。

17:30 鍼灸治療 5 診目

今日、便が2回でました。踏んばった時に痛みあっ
たけど、出せばスカッとしました。足の方も、同
じ強さで力が入ったら鍼灸前を10とすると7~8くらい。
体重かけたら10 8~9徐々にマシになってきてる気がする。

脈診：滑

舌診：淡紅、舌尖紅、白膩苔

左下肢痛：VAS=9mm、しびれ：VAS=46mm

しびれの部位、指先+土踏まず(2×7cm 範囲)が特に強い

治療部位

<毫鍼>左太溪、左復溜、左陷谷、左行間

<円皮鍼>左陷谷、左外陷谷

4月11日

13:30 あまり眠れなかった。身の置き場がなくて。

16:30 鍼灸治療 6 診目

全身怠い感じ。夕食後だから7~8時くらいが特に。
昨日の夜は点滴止まって、ドタバタしとったけど、
すぐに対処してもらったんや。しびれは、リハ後のため全
体痺れると。肩こりもある。

脈診：滑、数

足の痛み：VAS=25mm 治療後：VAS=10mm

治療部位

<毫鍼>右足三里、右合谷、左外関、左後溪、左太衝

<円皮鍼>合谷

20:30 踵だけでなく、着床可能になる。

4月12日

16:00 鍼灸治療 7 診目
リハビリの先生に、昨日より足が上がるようになって
るって言ってくれたし、痛みもない。あと一歩や。足の
先と淵のところがしびれとるくらい。

脈診：滑、腎微弦

触診：左太溪軟弱、左太衝表面緊張、右地五会軟弱、右足三里
表面 緊張深部硬結。

左下肢痛：VAS=17mm

しびれ：VAS=22mm 14mm

治療部位

<毫鍼>右足三里、右地五会、左太衝、左太溪

<円皮鍼>合谷

4月13日

13:30 足細くなったし、思い通りに動くようになるだけ。
あと1週間もすれば歩けるようになると思う。

4月14日

8:00 便は出てないけど、ガスは出とる。楽になってきた。

20:30 足のしびれはまだ続いとる。

4月15日

7:00 便がやっぱり出えへんわ。痛いからかなん。

16:00 下腿腫脹はほぼ改善。

4月16日

7:00 排便あり。

17:00 鍼灸治療 8 診目

左足はぎゅーっとしたら痛いけど、普通にしたら痛
みなし。

脈診：肝・腎無力、93回/分

舌診：淡白、舌尖紅、胖大、嫩舌

睡眠：寝つきは悪いが以前より眠れる

左下肢痛：VAS=10mm

しびれ：VAS=9mm 治療後：VAS=12mm

治療部位

<毫鍼>左外関、左内庭、左外内庭、侠溪、太衝、左臨泣、左液
門

4月17日

11:00 14日に排便少量あり。14日以降、ガスのみあり。

17:00 鍼灸治療 9 診目

痛みはだいぶ楽。しびれは昨日してもらってから、
5~6時間しびれがなくなって、朝方元に戻ってきました。
今日は、便秘があかんのです。

左下肢痛：VAS=10mm 治療後：VAS=0mm

しびれ：VAS=11mm 治療後：VAS=0mm

治療部位
 <毫鍼>左合谷、右上巨虚、右太衝、侠溪、左内庭、左外内庭、
 左太溪
 <円皮鍼>侠溪

4月18日
 17:30 鍼灸治療 10 診目
 左足の鍼が昨日の夜 11 時くらいにカーッと熱くな
 ってきた、ピリピリしたからとってもらった。便秘のせい
 であんまり食べられなかった。
 脈診：左腎虚、沈
 舌診：淡紅、舌尖紅、白膩苔
 触診：右太溪陥凹、右上巨虚緊張
 左下肢痛：VAS=20mm 治療後：VAS=7mm
 しびれ：VAS=30mm 治療後：VAS=14mm
 腹部膨満感：VAS=42mm 治療後：VAS=0mm
 右足の第 1 指を動かすとしびれに加え、ツッパリ感
 治療部位
 <毫鍼>八風穴、右太溪、右三陰交、右上巨虚、行間、左公孫、
 左内関

4月19日
 10:00 左下肢痛はなし。しびれは時々あるとのこと。
 腹部ソフト、排便少量あるが、スッキリ感はない。
 21 時、センノシド 2 錠使用。
 18:30 鍼灸治療 11 診目
 今日、便だしてもらったら、たくさん出ました。
 痺れはちょっと変わってきたけど、なんか土踏まず
 のところの外側に向かってひきつてます。強く握られて
 もそんなもんかなって感じです。
 脈診：肝虚、やや洪
 舌診：紅舌、舌尖紅、白膩苔
 左下肢痛：VAS=12mm 治療後：VAS=10mm
 しびれ：VAS=17mm 治療後：VAS=0mm(ツッパリ感はVAS=23mm)
 治療部位
 <毫鍼>右上巨虚、右太衝、左蠡溝、左束骨・京骨の間、
 左八風穴
 <円皮鍼>左公孫、左申脈、右外関

4月20日
 15:00 足はちょっと痛いけど、ずいぶん、マシになったん
 や。手術終わって、しびれて痛いし、尿も大変やった。こ
 こまでよくなるとは思ってないんだわ。
 4月21日
 15:30 もうちょっと(足が)柔らかくなってくれたら、足

が動き やすいんやけど。
 4月22日 リハビリで立つことができ、その続きに杖で歩いて
 見たら、歩けた。
 4月23日
 14:00 自然排便あり(普通便)
 18:00 鍼灸治療 12 診目
 円皮鍼はピリピリした感じとったんではずして
 もらいました。次の日は一日中落ち着いてました。でも、そ
 の後から波のように強くなったり弱くなったり...。そ
 うはいつても鍼灸治療始める前を 10 としたら、今は 1 ある
 かないか。
 脈診：胃弦、肝・腎無力、81 回/分
 排便：一昨日：下痢、昨日：なし、本日：自然排便
 左下肢痛：VAS=13mm 治療後：VAS=6mm
 しびれ：VAS=11mm 治療後：VAS=6mm
 土踏まずに痛みが走ると指先や外側に向かってびりびりし
 びれる。(0~2 回/日)
 治療部位
 <毫鍼>左然谷、右衝陽、左地機、左中封
 <円皮鍼>左然谷

4月24日
 16:00 便の調子整ってきました。普通より、ちょっと硬め
 かな？ 痛みなし、足底のしびれあり。
 17:00 鍼灸治療 13 診目
 昨日、やっぱりピリピリしたから外してもらったん
 や。(ピリピリというのは、普段の痺れと一緒にですか?)
 いや、ピリピリというか、ジーンと重たい感じ。ス
 ムーズに足が出るようになってきました。
 脈診：脾・腎弦、肝洪
 舌診：淡紅、舌尖紅、胖大
 左下肢痛：VAS=7mm 治療後：VAS=3mm
 しびれ：VAS=7mm 治療後：VAS=0mm
 治療部位
 <毫鍼>右足三里、右三陰交、左地機、左中封、左公孫

21:00 足底にしびれあり。

4月25日
 18:30 鍼灸治療 14 診目
 昨日の夜にピリーッとしびれというか痛かったん
 です。9 時くらいには眠剤飲んでちょっと眠れたからいい
 けど。1 時間半~2 時間くらいかな？朝方 もピリピリ
 していて、それでお昼過ぎにちょっとでたくらいかな？リハ
 ビリ後は 3 時間くらいは静かになってたんですけど、今ちょ

つと出 始めてきてます。

脈診：脾洪、肝・腎微弦、細

舌診：淡紅、白黄膩苔、舌尖紅

朝方より夜の方がしびれ強い。足陽明経熱感あり。

左下腿痛：VAS=5mm 治療後：VAS=5mm

しびれ：VAS=15mm 治療後：VAS=3mm

治療部位

<毫鍼>合谷、三陰交、左内庭、左外内庭、左侠溪、左公孫、右衝陽

<円皮鍼>左三陰交、合谷

4月26日

17:30 鍼灸治療 15 診目

今日は痺れもなかったよ。むしろ胸の方や。血压は異常な い言われたんだけど、リハビリの時に体を動かしたときに 痛かったんや。(胸部から背部 Th11~12 付近に痛みがあり)

脈診：肝洪

舌診：紅舌、白膩苔、舌下静脈怒張

治療部位

<毫鍼>右後溪、左三陰交、左内庭、左外内庭、左侠溪、右地五会

<円皮鍼>右後溪、左三陰交、右地五会

4月27日

3:00 ジンジンしてな。鍼のせいじゃないと思うんやけど、抜い といて。

13:00 便は柔らかな感じやった。

4月28日

15:30 左下肢にまだしこりが少し残ってる。これが取れたら、感覚 もしっかり戻ってくるんとちゃうかな？

4月29日

15:30 便が柔らかくなってきたため、酸化マグネシウムの使用拒否。 退院に対して、意欲的に。

4月30日

9:30 精神的に安定。前向きの発電がきかれるようになる。

17:30 鍼灸治療 16 診目

足のしびれ変わってきて、今度は足の小指~中指 (第三指 ~五指) の3本とちょっと裏側がしびれとる。親指はだい ぶ軽くなった気がする。リハビリの先生にも ギュッとや られても痛くないし。

脈診：脾微弦

しびれ：VAS=13mm 治療後：VAS=7mm

治療部位

<毫鍼>左地機、左太衝、左三陰交、左足三里

5月1日

18:00 鍼灸治療 17 診目

夜はしびれが少しあって、朝にちょっとあったけど もリハ ビリの前に靴下脱いだ時に「あれ？しびれてないな」 って 思ったんです。退院させてもらお うと勝手に 思ってます。

しびれ：VAS=5mm 治療後：VAS=5mm (左第1~2指はしびれなし)

治療部位

<毫鍼>左足三里、左三陰交、左太衝、左地機

<円皮鍼>合谷

5月2日

14:00 足は80%くらい回復した気がする。そのうち95% くらいま でなるやる。

18:00 鍼灸治療 18 診目

朝方冷えたので、しびれがきつくなりました。ツツバリ感 はほとんどないです。

脈診：脾滑

しびれ：VAS=13mm 治療後：VAS=4mm

治療部位

<毫鍼>左三陰交、左上巨虚、左陷谷、左外陷谷、左臨泣

<円皮鍼>左復溜

5月3日~5月5日 外泊

5月6日

16:30 足のしびれはふとした時に感じるけど、家に帰って もこれなら動けるなって思えたんや。

5月7日

17:30 鍼灸治療 19 診目

外泊中に家に帰って砂利道を歩いた時は「あーしびれてい るな」と思ったけど、家に入って靴下脱いたら1時間ほど 全くしびれがなかった。1週間前は立つのもやっと だった けど、リハビリの先生にもまっすぐ歩けると言われた。

脈診：腎洪、87回/分

舌診：紅舌、舌下静脈怒張、舌中舌根に黄膩苔

治療部位

<毫鍼>右太溪、左束骨・京骨の間、左内通谷、右足三里

<円皮鍼>右太溪、左三陰交

5月8日 退院

【退院後の経過】

7月12日 左下肢が全体に腫れている。夕方から晩にかけて座位にて 会陰部痛あり。

7月19日 左下肢の腫れまだあります。会陰部も痛みが変わらず、座りにくいです。CTの結果、膀胱癌再発、治療は放射線、抗癌剤治療しかない。

【評価ポイント】

● VAS、NRS 等による評価

腸蠕動痛はVASの変化は治療直後では認められなかった。1診目VAS=51mmが2診目VAS=31mm、3診目ではVAS=0mmと回数を重ねることで緩和となったが、自然緩和の可能性もあるためやや有効と診断した。

左下腿痛は1診目VAS=74mm 治療後：VAS=29mmまで緩和、2診目VAS=21mm 治療後VAS=12mmと治療直後より明らかな緩和が認められ、著効と診断した。

しびれは治療介入前に訴えはなかったが3診目より追加で治療依頼があり開始した。鍼灸介入前VAS=35mmであったものが1回の治療でVAS=17mmまで軽減。以後治療直後はしびれをほとんど感じない状態まで緩和した。また、日内変動も認められたことから、著効と診断した。

● 患者コメント

9診目「しびれは昨日してもらってから、5~6時間しびれがなくなった」

12診目「鍼灸治療始める前を10としたら、今は1あるかないくらい」

● 家族コメント

鍼灸治療開始後から、何に効果があったかはわからないが（患者）本人が調子よいと言っているため効果があるという印象を持たれていた。

● 医師・看護師・医療スタッフの印象

自然経過による可能性もあるため、鍼灸治療だけの効果は不明ではあるが、患者の信頼はあったと考える。

【総括】

本症例は膀胱全摘術後より発症した腸蠕動痛、左下腿痛、左足のしびれに対して鍼灸治療介入してきた。

介入時は排便コントロール良好であったが、腸蠕動痛が残っていたことから、やや有効と診断した。

左下腿痛は、1診目VAS=74mm VAS=29mmと明らかな改善が認められ、15診目以降から左下腿痛を訴えることはなかったこと

から著効と診断した。

左足のしびれは、指の裏および土踏まずの部分を中心に強い痺れを訴えていた。途中から、痺れよりツツパリ感に変わってきたが、VAS=35mm程度の痺れを訴えていたものが退院時にはほぼ気にならない程度まで緩和していた。

この症例では円皮鍼を使用するとピリピリすると看護師に伝え、抜鍼していたが、確認したところしびれが強くなったわけではなく、「鍼が効いているな」というジーンとした感覚であり、それまでのしびれとは別であることが分かった。また、事前にピリピリするなど、なにか感じたら剥がすよう指示したため、抜鍼していたことが分かった。

鍼の響きであるため、有害事象ではなかったと診断した。

20130003 (NO.53)

【患者】59歳、女性

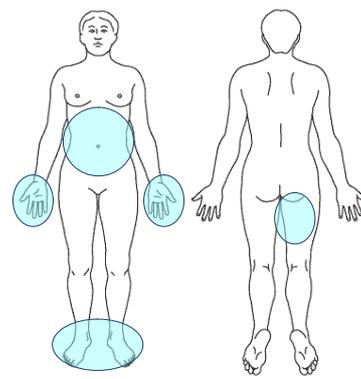
【既往歴】3月23日に退院後、外来にて化学療法を続ける。家庭の事情により避難的に再入院となった。

【病態】葉状腫瘍

【ターミナル期】ターミナル後期

【現病歴】

X-2年1月、左乳腺腫瘍摘出術。X年7月末、誘因なく右股関節に痛みを訴える。8月に入り、近医整



形外科に受診。骨盤腫瘍を疑い本病院に紹介された。股関節 ROM FULL、歩行時の痛みあり、圧痛なし、腫瘍触知でき検査入院となった。精査の結果、葉状腫瘍転移が認められた。12月になり、再検を行ったところ、腫瘍巨大化（ロキソニン・MS コンチン 30 mg × 3）。PET 検査を行い、再入院となる。12月頭から右坐骨神経領域で痺れ、知覚鈍麻、運動障害（尖足）EHL（TA）：0~1の状態だった。12月~3月まで化学療法入院していた。患者の自宅に帰りたい希望から外来にて対応となっていた。

【鍼灸治療目的】

腹部膨満感、右大腿外側部痛（癌性疼痛）、手のしびれに対する鍼灸治療依頼があり、介入した。

【投薬状況】

オキシコンチン、ハイベン、リリカカプセル、
レスキュー：オキシコドン
化学療法：パクリタキセル

【東洋医学的所見】

脈診：弦、細、腎無力、食事：良好、睡眠：良好、便通：2~3日前から硬くなってきている。右下肢深部冷えと浮腫、左下腿は熱感、左上巨虚緊張圧痛、右太溪軟弱冷感、右蠡溝軟弱陥凹

【弁証】腎虚証、気虚、血虚、血瘀

【鍼灸介入期間】45日間（外来期間含む）

【鍼灸治療回数】入院：4回/週、外来：1回/週、全18回

【転帰】逝去

【最終鍼灸治療日～転帰】5日間

【評価】痛み評価は Visual Analogue Scale(以下 VAS)を使用していたが、途中より頸椎転移に伴う運動障害が出現してからは Numerical Rating Scale(以下 NRS)を使用した。また、全体評価として医療スタッフによる印象評価をカルテから抜粋し、総合的に評価をおこなった。

【鍼灸治療最終評価】

- 1) 右大腿後面痛：有効
- 2) 腹部膨満感：やや有効
- 3) 手のしびれ：やや有効

【治療経過】

4月4日

化学療法：PTX+Bev

10：30 体調に著変なし。

オキシコドン 10 mg を 2~3 回/日予防目的に使用。食事食べられている。

睡眠良好。WBC：9900、Hb7.1

13：30 この前の抗癌剤の時は、吐き気と息さはつらかった。

14：00 鍼灸治療 1 診目

やはり毎日治療していた時と違って、ちょっと便秘だったりありますけど、調子よく過ごさせています。右の足は痛かったです。範囲も小さくはなってきたけど。

脈診：弦、細、腎無力

食事：良好、睡眠：良好

便通：2~3日前から硬くなってきている。

触診：右下肢深部冷えと浮腫、左下腿は熱感、左上巨虚

緊張圧痛、右太溪軟弱冷感、右蠡溝軟弱陥凹

治療部位

<毫鍼>右復溜、右侠溪、左上巨虚

<円皮鍼>右蠡溝、右内関、右神門

4月11日

10：00 前回の化学療法から少し怠い。2~3日前から下痢。

オキシコドン 3 回/日。本人は下痢が続いたために来院せず。

4月16日 家庭の事情により避難目的に入院

4月17日

6：00 オキシコドン（錠）飲んだので、今は大丈夫です。そろそろ痛くなりだしてきたのかな？って感じです。

8：30 痛みもありません。指先少しピリピリします。

10：00 オキシコドンを 8：00 に飲んでおり、右大腿後面痛（NRS=）5 程度。

13：30 CT 画像所見より、骨盤腫瘍は 3 日目と変わらず。左肺転移やや増大。右尖足を起こしている。

19：00 鍼灸治療 2 診目

家族でドタドタして戻ってきました。お父さんが入院してしまうから、私も一人で生活できないし。先生にお会いしたかったですよ。（先週お会いできなかったですからね）そうですね。あの時、実は前の日に下痢を 2 回ほどしたんです。そしたらなんでかぬれなくて。朝方近くまで起きていたら、なんか気持ち悪くて。それまではなる居ながらに調子よく過ごさせていました。

排便：便秘傾向（昨日より）

右大腿部痛：VAS=28mm、腹部膨満感：VAS=23mm、

自宅では腹部膨満感なく過ごさせていた。

治療部位
 <毫鍼>上巨虚、右復溜、右通谷
 レスキュー使用回数：2回

4月18日
 8:00 割と楽です。
 12:30 化学療法終了。気分不快感なし。
 17:30 鍼灸治療3診目
 お父さん、別の病院に入院したんです。先生、事故したらやっぱり調子悪くなるんですか？お父さん、事故の後からビリビリしていたんです。鍼とかで何かできたりするんですか？
 心配そうに話すがすぐに話題を変えられる。

右大腿痛：VAS=20mm 治療後：VAS=20mm
 腹部膨満感：VAS=40mm 治療後：VAS=23mm

治療部位
 <毫鍼>右内庭、右外内庭、右侠溪、左外関、右復溜、
 右上巨虚
 20:00 仙骨部に褥瘡あり。
 レスキュー：1回

4月19日
 5:30 オキシコドン使用。NRS=6程度の痛みがあり、30分後に効果がある。
 10:00 少ししんどいですが、以前の化学療法の時よりマシです。
 12:30 オキシコドン使用。(NRS=6)
 17:30 鍼灸治療4診目
 やっぱり今日はしんどいですね。先週を10としたら8か9。前回の入院の事を思ったら1/10くらいなんですけど。
 脈診：肝腎脾弦
 排便：軟便だが、普通便量あり

治療部位
 <毫鍼>右内庭、右外内庭、右侠溪、右復溜
 <円皮鍼>右太溪、右蠡溝、内関、右侠溪

4月20日
 14:30 入浴を促すと倦怠感が強いので拒否される
 16:30 大腿部にNRS=8程度の強い痛みあり
 レスキュー使用回数：4回

4月21日
 10:30 動作時に大腿部に痛み(NRS=6)
 18:00 NRS=7~8程度の痛みあり
 レスキュー使用回数：4回

4月22日
 15:00 家に帰るにしても、1時間でも一人の時間があると怖いと。
 レスキュー使用回数：3回

4月23日
 9:30 大丈夫、食事入ります。夜は眠れる。痛みの回数が増えたような...
 13:30 レスキュー使用回数3~4回と増加している様子はない
 17:30 鍼灸治療5診目
 微熱あるも、患者の希望により施行。
 脈診：脾腎微弦
 舌診：淡紅、胖大、嫩舌、裂文あり
 食事：少し減った(8/10)
 右大腿痛 VAS=34mm 治療後：VAS=24mm
 腹部膨満感 VAS=24mm 治療後：VAS=17mm
 手のしびれ：VAS=20mm 治療後：VAS=15mm

治療部位
 <毫鍼>右復溜、右内庭、右外内庭、右侠溪、右公孫、左合谷、
 左八邪穴
 <円皮鍼>左合谷、左八邪穴、右復溜

4月24日
 鍼灸治療6診目
 便はまだ出てません、なので昨日よりちょっと張りがあります。昼間にヤキソバ食べたんですけど、脂っこくて「うっ」って胸がムカムカしました。
 脈診：脾弦、肝腎無力
 望診：右足背浮腫。排ガスあり
 右大腿痛 VAS=25mm 治療後：VAS=18mm
 腹部膨満感 VAS=31mm 治療後：VAS=18mm
 しびれ：VAS=18mm 治療後：VAS=23mm

治療部位
 <毫鍼>左行間、足三里、右復溜、右公孫、右合谷、右八邪穴
 <円皮鍼>左合谷、左八邪穴、右復溜、右公孫

4月25日 鍼灸治療7診目
 今朝便が出ました。大量に。痛みはコンチン切れるころに痛くなります。しびれは昨日よりマシです。
 脈診：肝腎無力、脾微弦。
 触診：左足背浮腫
 右大腿痛 VAS=25mm 治療後：VAS=20mm
 腹部膨満感：VAS=15mm 治療後：VAS=7mm
 手のしびれ：VAS=14mm 治療後：VAS=14mm

治療部位

<毫鍼>右八邪穴、右合谷、右内庭、右外内庭、右侠溪、右公孫、
右復溜、左手三里

<円皮鍼>右公孫、右復溜、右八邪穴

4月26日

鍼灸治療 8 診目

しびれも変わってないけど、昨日より具合は良い。

脈診：脾胃弦、90 回/分

舌診：暗淡白、嫩舌、胖大、舌下静脈怒張

右大腿痛：VAS=24mm 治療後：VAS=17mm

腹部膨満感：VAS=15mm 治療後：VAS=9mm

しびれ：VAS=14mm 治療後：VAS=16mm

(両母指と示指の先だけ一皮むけた感じと)

治療部位

<毫鍼>右上巨虚、右復溜、三陰交、右内庭、右外内庭、
右侠溪

<鍬鍼>爪甲根部

<円皮鍼>右復溜、右公孫

4月27日

11:00 左ひじに痛みあり(NRS=6)

14:00 オキシコドン(錠)が切れる1時間くらいは痛くなる
けど、今は楽。(NRS=)5くらいかな。

レスキュー使用回数：3回

4月28日

15:00 足は痛くなるかなって時に飲んでます。

NRS=7~8 レスキュー使用后：NRS=5

レスキュー使用回数：5回

4月29日

10:00 手指のしびれ、左肘痛自制内。

4月30日

11:30 痛み：NRS=7~8。太腿と左腕が痛かったです。

18:00 鍼灸治療 9 診目

一昨日、1回普通便で大量に出たのに、昨日何回もト
イレに行ったんです。4~5回、それ以上かも。でも、
お腹の張りはなくならないです。手のしびれは範囲広
がっている。

脈診：弦、細

右大腿後面痛：VAS=26mm 治療後 VAS=16mm

腹部膨満感：VAS=22mm 治療後：VAS=21mm

手のしびれ：VAS=17mm 治療後：VAS=15mm

治療部位

<毫鍼>合谷、左足三里、右復溜、右内庭、右外内庭、右侠溪、

<鍬鍼>両手爪甲根部

<円皮鍼>左手三里、左魚際、左行間

5月1日

13:30 手のしびれ継続、化学療法延期

18:30 鍼灸治療 10 診目

昨日も今日も便がでてません。

左腕の痛みですけど、時間になると出てきます。

右大腿後面痛：VAS=20mm 治療後：VAS=18mm

腹部の張り：VAS=18mm 治療後：VAS=15mm

手のしびれ：VAS=15mm 治療後：VAS=12mm

(直後しびれ軽減した)

治療部位

<毫鍼>左手三里、右復溜、右足三里、左上巨虚

<鍬鍼>両手爪甲根部

<円皮鍼>左手三里

レスキュー使用回数：3回

5月2日

8:30 日によって程度が違います。ペットボトルが重いん
です。

18:00 鍼灸治療 11 診目

まだ便出てないんです。

脈診：弦

右大腿部痛：VAS=26mm 治療後：VAS=15mm

腹部膨満感：VAS=15mm 治療後：VAS=10mm

手のしびれ：VAS=12mm 治療後：VAS=14mm

(しびれが軽くなったが範囲が広がってきている)

治療部位

<毫鍼>左手三里、左合谷、右足三里、復溜、右地機

<鍬鍼>爪甲根部

<円皮鍼>左手三里、右復溜、合谷

5月3日

15:30 手がいう事効かない...ナースボタンを押す力もな
い状態。

レスキュー使用回数：3回

5月4日

10:00 しびれるというか、力が入らない。

安静時：NRS=0、動作時：NRS=5

5月5日

21:00 右手に力が入りません。

5月6日

10:30 やっぱ痛いですね。今はNRS=6~7。(R>L)

5月7日

6 : 00 大丈夫です。(NRS=)7~8 程度痛みます。右手に全く力が入りません。

17 : 00 鍼灸治療 12 診目
手に力が入りません。昨日、便が出ました。

脈診 : 75 回/分、脾弦、細、無力、腎微弦
左大腿痛 : VAS=18mm、腹部膨満感 : VAS=8mm
しびれ : VAS=8mm

治療部位
<毫鍼>右復溜、八風穴
レスキュー使用回数 : 3 回

5 月 8 日

17 : 00 鍼灸治療 13 診目
しびれ変わらず。発語少なくなってきている。しんどいため、一穴のみ行う。

脈診 : 腎渋、脾肝無力、細
触診 : 労宮圧痛、手三里圧痛、下腿の冷え
治療部位

<円皮鍼>右陽池

17 : 30 頸椎椎体に腫瘍転移による可能性があると主治医より説明。
レスキュー使用回数 : 3 回

5 月 9 日

15 : 30 浣腸施行。排便 : -3 日。

17 : 57 鍼灸治療 14 診目
案外眠れました。息子に「鍼に期待しよな」っていわれました。ふいふい。

脈診 : 脾無力・微弦
触診 : 両下腿浮腫 (R>L)、肘屈曲自動でできるが、伸展は他動のみ

左大腿痛 : NRS=5 治療後 : NRS=5
腹部膨満感 : NRS=6~7 治療後 : NRS=8
(また便がでるかも)
全身倦怠感 : NRS=6~7 治療後 : NRS=4

治療部位
<毫鍼>右復溜、左上巨虚、右陰陵泉、左太衝

<円皮鍼>左内関、右陽池
レスキュー使用回数 : 3 回

5 月 10 日 本日より頸椎の放射線療法開始。

16 : 55 鍼灸治療 15 診目
浣腸してもらったんやけど、でません。左手のしびれ、昨日に比べて落ち着いています。

脈診 : 細、無力

睡眠 : 入眠困難

右大腿後面痛 : NRS=4~5

腹部膨満感 : NRS=7~8

手のしびれ : NRS=右 4~5、左 5~6

治療部位
<毫鍼>右内庭、右外内庭、右侠溪、足三里、左太衝、右外関

5 月 11 日 著変なし

5 月 12 日 レスキュー使用回数 : 5 回

5 月 13 日

15 : 30 左肩の痛みを訴えたため、体位変換するも、左肩の痛みかわらず。
レスキュー使用回数 : 6 回

5 月 14 日

15 : 30 鍼灸治療 16 診目
便だしてもらった。手も痺れます。

脈診 : 一息七至、弦
舌診 : 淡白、嫩舌、無苔

左肩痛 : NRS=3~4 治療後 : NRS=0

右肩痛 : NRS=0 治療後 : NRS=0

しびれ : (Rt) NRS=0 治療後 : NRS=0
(Lt) NRS=5~6 治療後 : NRS=0

治療部位

<毫鍼>右外関、左上巨虚、左内庭、左外内庭、右復溜

<円皮鍼>右外関、右内系、左内庭、左外内庭、左侠溪

5 月 15 日

17 : 30 鍼灸治療 17 診目
返答かみ合わず。不可解な発言あり。

脈診 : 数、細、弦
NRS の評価をとるも、「なんですかー？」と何度も繰り返す。

カルテより、午前中に排便あり。

治療部位
<毫鍼>外関、右復溜、足三里

<鍹鍼>八邪穴
<円皮鍼>八邪穴、外関

5 月 16 日

10 : 00 不可解な言動あり。

18 : 00 入眠中のため、鍼灸治療中止
レスキュー使用回数 : 1 回

5 月 17 日

6 : 00 はい。そうですね。痛みはありますね。うーんそうですね。(NRS=)7~8 ですね。飲めます。不可解な言動あるが夜間疼痛なく、眠れている。

8:00 発熱持続。ステロイド使用にて落ち着く。
17:30 鍼灸治療 18 診目
終始微笑み。時折、発語あるも聞き取れず、聞き返すも「いいですよー」と繰り返される

治療部位

<鍹鍼>八邪穴

<円皮鍼>右陽池

レスキュー使用回数：0 回

5月18日

23:00 なんだか、眠れずイライラします。

レスキュー使用回数：4 回

5月19日 肩の痛みを朝から訴えてくる。

レスキュー使用回数：5 回

5月20日

14:30 会話中、閉眼のまま。会話成立するも、2度同じことをいう事がおおくなる。

5月21日 昼より、呼びかけに対し「はい」「そう」と、短い返事のみ。

17:00 入眠中のため、鍼灸治療中止

5月22日～セレネース開始：声掛けに反応なし。

5月23日 逝去

【評価ポイント】

● VAS、NRS 等による評価

鍼灸治療介入前は VAS 評価では VAS=28mm であり、鍼灸治療の無い日に医療スタッフによる評価では NRS=7～8 と強い痛みを訴えていた。VAS 評価を理解していたため、おそらく「鍼灸治療をしてもらえると」いった気持ちから軽くなった可能性もある。また、ターミナル後期に入ると症状は悪化していたが、鍼灸治療直後は症状消失していた（16 診目）。

● 患者コメント

2 診目「お父さん、事故の後からピリピリしていたんです。鍼とかでできたりするんですか？」 家族への鍼灸治療を希望。鍼灸治療中は「鍼してもらっている所がポカポカしてきて気持ちいい。楽しみなんです」と何度も言われた。

● 家族コメント

「母が生前、私が亡くなったら、先生にはちゃんと挨拶する、感謝するよにと伝えてました。鍼灸もそうですが、先生に会うことを凄く楽しみにしていました。本当に痛み

だけでなく、精神的にも支えられていたと思います。ありがとうございました」と涙ながらにコメントされる。

● 医師・看護師・医療スタッフの印象

身体的苦痛だけでなく、精神的な支えとなっていた。

【総括】

本症例は、右大腿外側部痛（癌性疼痛）および腹部膨満感、手のしびれに対して鍼灸治療を導入してきた。

右大腿外側部痛は状態悪化に伴い、強い痛みを訴える時もあったが、前回入院時と比較すると、痛みは落ち着いていたことから、有効であったと考える。腹部膨満感は、鍼灸治療直後は張った感じはマシになっていると言われるも、途中より評価が理解できなくなるといった状態があったため、VAS 評価が得られていた時の結果から、やや有効と診断した。手の痺れは、鍼灸治療直後にはしびれの軽減が認められるも、経過とともに握力の低下、上肢の運動障害が認められ、検査の結果、頸椎転移による影響であることが分かった。癌性によるしびれは非常に難しく、進行が速いため、薄皮がめくれた程度の改善しかできなかった。そのため、手の痺れに対してはやや有効と診断した。

本症例は、非常に強い信頼関係が得られていたことから、大きな苦痛を伴うターミナル期の症状の緩和ならびにスピリチュアルな問題に対しても少なからず貢献しえた症例であった。

【患者】72 歳、男性

【既往歴】肺炎

【病態】肺癌

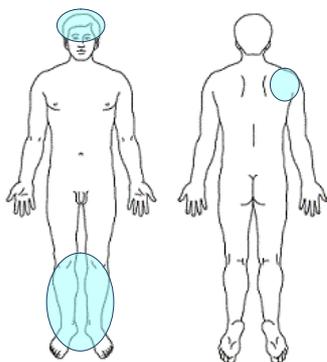
【ターミナル期】ターミナル前期

【現病歴】

X-1 年 10 月、早朝時赤茶色の喀痰。1 週間ほど前から歩行時、左に傾く。12 月、検査結果から右上葉血管増生著明。B2 全周性狭窄あり。25~28 日まで肺炎。 ナイフ 3 か所行う。

X 年 1 月の画像所見からも右肺野浸潤影散在が確認。2 月、入院 2 日前より左手の触覚に異常所見が出現。1 日前より左足脱力感による歩行困難を自覚

し、症状が持続するため来院。胸部、頭部の CT・MRI により右肺に腫瘍影、右頭頂葉に Low density 腫瘍性病変。約 75 mm。両肺に胸水あり、入院となった。



【服薬状況】

トラマドール 25mg

モルヒネ硫酸塩水和物徐放錠 10mg x 4 錠 5/13~

プレガバリン 100mg 5/9~

チアプリド 5/15~ (頓服)

レスキュー：モルヒネ塩酸塩水和物液

【鍼灸治療目的】

突発的めまいが起こったが、特に異常が認められなかったため、めまいに対しての鍼灸治療を依頼。鍼灸治療開始後より、右肩痛 (癌性疼痛) 薬疹による痒みに対しての追加で依頼された。

【東洋医学的所見】

安静時に直下型地震の様な衝撃をうけ、眩暈が起こった。現在は体動時やベッドのギャグアップ時に軽度眩暈を発症。

脈診：脾やや滑。左外関緊張、左臨泣軟弱、右地五会軟弱。問診中に咳嗽の頻発あり。

【弁証】手少陽三焦経絡病、津液停滞

【鍼灸介入期間】44 日間

【鍼灸治療回数】4 回/週、24 回

【転帰】逝去

【最終鍼灸治療~転帰】3 日間

【評価】痛み評価は Visual Analogue Scale(以下 VAS)を使用していた。また、全体評価として医療スタッフによる印象評価をカルテから抜粋し、総合的に評価をおこなった。

【鍼灸治療最終評価】

- 1) めまい：不明
- 2) 右肩痛：著効
- 3) かゆみ：やや有効

【治療経過】

4 月 3 日

8 : 00 動くときあかん眩暈する。動作時に発生する。

10 : 00 眩暈の恐怖感から安静にしている。

12 : 30 まだ少し動くと眩暈する。昼に少しバナナを食べた。

レスキュー使用回数：2 回

4 月 4 日

7 : 30 まだまだ怖いですが歯を磨こうという気になった。

10 : 00 【妻】咳は前に比べたらマシになっています

【本人】ゲホゲホ。便に行きたくなくなった時の事を考えて、便器を置いておいてください。浣腸しないと出んと思う。

17 : 30 鍼灸治療 1 診目

お話を聞いたかもしれませんが、4 月 1 日にウトウトした時に直下型地震のような感じでドーンと眩暈が来たんです。4 月 2 日...2 日だったかな？耳鼻科の先生にもみてもらって、異常はないと言われました。ですが、また起こったら怖いので、眩暈に対してお願いします。咳嗽多あり。

脈診：脾やや滑。

触診：左外関緊張、左臨泣軟弱、右地五会軟弱

治療部位

<毫鍼>左外関、左臨泣

<円皮鍼>左外関

<鍍鍼>左気戸

22 : 00 発汗、倦怠感、眩暈あり。

レスキュー使用回数：4 回

4 月 5 日

0 : 00 痛みがよくなりません。さすってもらったら気持ちがいい。

10:00 肩にピリピリした痛みがあります。眩暈はこうして
いたら ないけど、起きたらおこるから怖いわー。

16:00 汗をかいたため衣服を着替える。
着替える際、眩暈なし。

16:00 鍼灸治療 2 診目
鍼は即効性ありますか？というものの、咳が昨日から
でなく なりまして、薬によるものなのか、右の肩の裏がチ
リチリ、 ピリピリ痛む時がある。

脈診：腎無力、脾洪

舌診：淡白、白膩苔（舌尖剥落）、舌下静脈怒張少々

触診：右後溪～腕骨にかけて軟弱圧痛、湧泉緊張

眩暈の強さ：VAS=9mm、

右肩痛：介入前 VAS=85mm 治療前：VAS=54mm 治療後：
VAS=37mm。

治療部位

<毫鍼>右行間、右公孫、左太溪、左俠溪、左外関、右後溪

<円皮鍼>復溜、右腕骨、右神門

4月6日

8:30 深夜帯レスキュー使用なし。

9:30 鍼治療後から痛み消失。首を振ると軽度眩暈発症。

10:30 痛みはないけど、だるいわ。

13:00 汗かいて、しんどいです。息苦しいです。

23:00 便が出なくて苦しい。浣腸お願い。

レスキュー使用回数：2回

4月7日

5:30 咳は出てるけど、痰はでていない。息苦しい事もな
い。呼吸苦の訴えなし。

10:30 鍼は持続性ないです。内服はその点…。

レスキュー使用回数：1回

4月8日

3:00 右肩の痛み訴えあり。

14:30 肩甲骨のところが痛いんや。

15:30 これだけ動いても、眩暈なし。

レスキュー使用回数：2回

4月9日

12:00 だいぶ動いても眩暈はないです。

17:00 鍼灸治療 3 診目

眩暈はだいぶ治まっていました。右肩は薬か鍼かど
ちらの 効果があるのか分らないので、持続効果はなかった
と思い ます。金曜から日曜日の朝まで効果があったと思
います。

脈診：肝洪、一息七至

舌診：淡紅、白黄膩苔、舌下静脈怒張

食欲：あまりない

睡眠：23～4時まで（2～3時に一度覚醒）。この2～3日は6～
7時が 調子よい（以前は3～4時ごろ）

便通：1回/3日（前回排便4月8日）

右肩痛：VAS=18mm 治療後：VAS=17mm

治療部位

<毫鍼>行間、右上巨虚、右太溪、右外関

<円皮鍼>右外関、右後溪、右神門、右侠溪

レスキュー使用回数：1回

4月10日

8:00 夜に咳がよく出た。

17:00 鍼灸治療 4 診目

眩暈なし。肩はズキーッとします。（ピリピリでは
なく？） ピリピリです。あーちょっと痛くなってきました。

ズキーッとです。動作・安静時関係なく痛みあり。治
療開始 直後に痛みを訴えるが治療後軽減する。

痛み：VAS=12mm 65mmと数字は増加しているが、確認すると
「さっきよりも痛くはないです」とのこと。評価を検討する必要
あり。

治療部位

<毫鍼>合谷、右外関、右上巨虚、左太衝、右侠溪、左復溜

<鍹鍼>右気戸、中府

<円皮鍼>右腕骨、合谷、右三陰交

4月11日

8:00 便でました。浣腸しなくても出ましたね。

10:30 入浴するも眩暈なし。

17:00 鍼灸治療 5 診目

肩の痛みは軽減（治療前：VAS=15mm 治療後：
VAS=7mm）。下腿に赤い湿疹あり。我慢できない痒さではない。
火曜日から痒くなったと思う。

脈診：脾滑、肝洪

触診：右外関緊張、太衝緊張、足陽明経熱感

治療部位

<毫鍼>右外関、右太溪、右上巨虚、太衝、内庭、外内庭

<円皮鍼>行間、右外関、右後溪

レスキュー使用回数：2回

4月12日

14:00 咳が出るので飲みました。

16:00 放射線療法

16:30 鍼灸治療 6 診目

（昨夜の夕方～今まで）そんなに痛くなかったんじ

やない かな? 10時くらいに突発的に痛かった。すぐに無くなった。

痛み : VAS=7mm 治療後 : VAS=5mm

かゆみ : VAS=54mm 治療後 : VAS=40mm

脈診 : 滑・肝洪、数(一息七~八至)

触診 : 三陰交緊張、右上巨虚緊張、右行間軟弱

治療部位

<毫鍼> 右上巨虚、右外関、右合谷、三陰交、右太衝

<円皮鍼> 右外関、右合谷、右後溪、右行間、右三陰交

レスキュー使用回数 : 3回

4月13日

3:30 右肩の痛みを訴える。

レスキュー使用回数 : 3回

4月14日

7:30 4:30にレスキュー使用。

11:30 体がだるいです。

レスキュー使用回数 : 3回

4月15日

14:00 放射線療法しているからかな? 最近、食欲がないのと、だるいです。

レスキュー使用回数 : 5回

4月16日

10:00 便5日でできません。ぐるぐるいってます。張った感じはないですが、浣腸した方がいいかな?

17:30 鍼灸治療7診目

右肩はモルヒネ塩酸塩水和物液を使用しないとダメでした。今日はどたどたしていたからだけど、昨日はきつかった。

治療部位

<毫鍼> 右太溪、然谷、右合谷、右手三里、右曲池、右上巨虚

<e-Q> 足三里、三陰交、太衝

<円皮鍼> 左太衝、右太溪、右合谷、右手三里

18:00 痒み変わらず。特に大腿まであり。

18:30 ترامadol中止するも、特に変化ない。

レスキュー使用回数 : 5回

4月17日

16:30 鍼灸治療8診目

先ほど、放射線治療が終了といわれ、その一言で楽になりました。妻が疲れているみたいです。よかったです。診ても 見えませんか?

脈診 : 肝・腎弦

望診 : 手足の痙攣

食欲 : 少量。色々な味を楽しめるよう、家人が工夫されている。

治療部位

<毫鍼> 行間、侠溪、右交信、右合谷、右手三里、右曲池

<円皮鍼> 右気戸、右合谷、右後溪、右太衝、左交信、右尺沢

レスキュー使用回数 : 5回

4月18日

9:00 モルヒネ塩酸塩水和物液ください。肩が痛いんです。

夜は あまり眠れません。

17:00 鍼灸治療9診目

肩の痛いのは、まあ今よりいいかな? 痛い時は薬飲んでます。咳は前に比べたら、だいぶ減ってきたよ。便はゴロゴロ 口言うけど... 排便はないです。

脈診 : 肝・脾洪

舌診 : 淡紅、白苔

望診 : 下腿の赤み軽減

便通 : 排便なし。排ガスあり

治療部位

<毫鍼> 左上巨虚、右三陰交、右太衝、右曲池、左太溪、右復溜、合谷、右外関

<腧鍼> 右気戸

<円皮鍼> 右曲池、右合谷、右三陰交、右太溪

19:30 引き続き、日中、 ترامadol中止してモルヒネ塩酸塩水和物液で様子を見る。

4月19日

8:30 今朝、パンと豚汁を美味しく食べれました。こういう事が あると気分的によくなって次につながっていく気がします。

16:00 鍼灸治療10診目

かゆみも痛みも落ち着いています。でもモルヒネ塩酸塩水和物液は手放せません。咳の方も少なくなっています。痙攣も今日はあまり出ていません。

右肩の痛み : VAS=4mm 治療後 : VAS=4mm

痒み : VAS=10mm 治療後 : VAS=9mm

治療部位

<毫鍼> 右尺沢、右手三里、右復溜、右三陰交、右上巨虚

<円皮鍼> 右復溜、右三陰交、右手三里、右尺沢、左外関

18:30 ترامadolなしでも、いけそうです。

レスキュー使用回数 : 4回

4月20日

15:00 昼間はえらかったなあ。体がだるくて。

レスキュー使用回数 : 4回

4月21日
5:30 この辺がふいに痛くなりました。(右胸部)
23:00 トイレと痛みどめをお願いします。前はいつ飲んでますか?
(19:35ですよ)え!それから飲んでないですか?

レスキュー使用回数:4回

4月22日
10:30 今は痛みないですけど、最近痛みが今までと違ってきま
した。ズキーンとした痛みです。
13:00 背部の痛みが強くなっています。

レスキュー使用回数:5回

4月23日
1:30 今まで寝てました。あの薬が効いたみたいです。
15:30 ちょっと肩のところが痛いで、痛み止めください。
18:30 本日はマシで、モルヒネ塩酸塩水和物液も2回くらいです
みました。抗生剤中止も、現在発熱なし。

レスキュー使用回数:2回

4月24日
10:30 今日はいつもの肩の痛みがきつい。朝方に痛くなっ
てくる。肩甲間部にキリキリ、ズキズキした疼痛あり。
14:30 今は痛みだけで体は楽。だるさもないし、午後から
痛みが楽になった。
17:30 鍼灸治療11診目
今朝の3~12時くらいまで痛くて痛くて、でも午後
からスーッと痛みがひいて、今はそんなに痛くないです。

脈診:一息七~八至、滑

舌診:暗淡白、白黄膩苔

痛み:VAS=7mm

治療部位

<毫鍼>右後溪、右手三里、上巨虚、三陰交、太衝、左外関

<円皮鍼>三陰交、右後溪

4月25日
7:00 昨夜はゆっくり休めました。昨日の今頃は肩が痛く
て困っていたのに、気がついたら7時でした。
18:00 鍼灸治療12診目
昨日とうってかわって、今日は痛くなかったです。
今日は 何回かな。0~6時まで2回、6~12時まで2回でし
た。

今の痛みはVAS=0mmです。かゆみはVAS=7mm。

脈診:やや滑、腎微弦

咳も以前より出ていない。

治療部位

<毫鍼>右後溪、左外関、足三里、三陰交、右復溜、太衝、右手
三里

<円皮鍼>三陰交、右後溪、右手三里、左外関

レスキュー使用回数:5回

4月26日
2:30 ちょっとお腹が痛いので、便が出るかもしれません。
17:30 鍼灸治療13診目
夜の2時くらいかな?自然排便ありました。なかなか
かゆっ くり眠れたかんじはしませんでした。でも眠れない
より便 が出た方がよかったです。食事量も増えている。
(BW47.7kg 52kg)

脈診:脾渋、腎無力

治療部位

<毫鍼>右後溪、右手三里、足三里、三陰交、太衝

<円皮鍼>三陰交、右後溪、右公孫、右気戸、右後溪

17:30 これイヤ、あれイヤでしたが、食べようという意欲
がわい てきました。

レスキュー使用回数:5回

4月27日
10:00 夜間痛み止め使いましたが、そんなに困った状態だ
ったか らではないです。

レスキュー使用回数:9回

4月28日
9:00 レスキュー使用は予防的に使用している。
11:30 前は温めても痛かったけど、最近は温めると痛み治
まるわ

レスキュー使用回数:10回

4月29日
22:00 便意あり、排便試みるも出ず。浣腸を行う。
便多量あり。

レスキュー使用回数:7回

4月30日
8:30 痛みが引かないですね
9:00 主治医の指示でモルヒネ硫酸塩水和物徐放錠10mg
(朝・夕)内服開始
16:00 清拭を行う。
【妻】痛みがなく、ええ時に体拭いてもらったね。

朝飲ん だ薬が効いているのかな?

17:30 鍼灸治療14診目
16:13にモルヒネ塩酸塩水和物液つかいました。
今は1割くらい。久々にのみました。昨日の夜はこ
れくら いやった (VAS=49mm)それから、眠れませんでした

した。

【妻】鍼灸のない日は痛み強い気がします。

脈診：脾洪、腎弦

食欲：金曜から特に変わってない

治療部位

<毫鍼>右後溪、右外関、右足三里、左上巨虚、右三陰交、左復溜、右太溪

<円皮鍼>右後溪、右三陰交

レスキュー使用回数：5回

5月1日

8:00 予防もかねて、4回は多い。(本人としては)少しずつ落ち着いていくのでは?と考えている。

10:00 日中は足音とか声が聞こえてくると気がまぎれて痛みが落ち着いている気がします。

17:30 鍼灸治療 15 診目

午前とか人があまり来ない時が痛いです。(鍼灸の)

先生が 来るときは、人がいてくれるので痛くないんですよ。

脈診：洪、一息七至

痛み VAS=8mm 治療後：VAS=7mm

(痛い時は VAS=40mm 程度)

治療部位

<毫鍼>三陰交、右足三里、右手三里、右後溪、左外関

<円皮鍼>三陰交、右後溪、右手三里

レスキュー使用回数：7回

5月2日

7:30 痛みが治まらないのは困ります。昨日は眠剤半錠でこてんと眠れました。

17:30 鍼灸治療 16 診目

痛みはとくに変わった感じありません。夜間がやっぱり痛むでね。回数は多いけど、予防的に飲んでることが多い。

脈診：洪

治療部位

<毫鍼>右手三里、右外関、右上巨虚、左復溜、行間、右三陰交、

<円皮鍼>右三陰交、右復溜、右外関、右後溪

レスキュー使用回数：8回

5月3日

10:00 夜はよく眠れました。ご飯食べてからウトウトしてました。楽しみが減るな。今日は鍼灸もないですよね?

レスキュー使用回数：4回

5月4日

10:00 痛みもあるし、ちょっと寝たい(プレガバリン 1錠)

12:00 2時間ぐらい眠れたわ

レスキュー使用回数：4回

5月5日

9:30 浣腸施行。極少量排便あり

17:00 便が出そうや。便意あり、普通便中等量。

レスキュー使用回数：5回

5月6日

1:00 背中痛いな。モルヒネ塩酸塩水和物液飲もうかな。

12:30 モルヒネ塩酸塩水和物液飲みました。ものすごく痛いというわけやないけど、軽い痛みが続いている。

レスキュー使用回数：8回

5月7日

10:30 痛いし、誰か呼ぼうかなと思ったけど、家内もおれへんし、コールおせんかった。

16:30 鍼灸治療 17 診目

朝方になると痛みが強くなる気がします。

脈診：細、脾微弦、肝無力、腎微弦、105回/分

痛み:(現在)VAS=7mm、(朝方)VAS=36mm

治療部位

<毫鍼>左復溜、左中封(寫)、左行間(寫)、右後溪

<円皮鍼>右後溪

鍼灸治療中から入眠

レスキュー使用回数：3回

5月8日

16:00 頭部MRI(5/8)多発脳転移、脳浮腫あり。

17:00 鍼灸治療 18 診目

(レスキュー使用 15:15)

朝方ちょっと痛かった。それと、なんかこの辺違和感というか...。薬を飲んだら落ち着くんですが、切れてくると...(痛くなる?)そう。痛みが出てくるんです。

脈診：腎・脾微弦、肝無力。

痛み VAS=4mm

治療部位<毫鍼>左復溜、左足三里、

<鍍鍼>湧泉、

<円皮鍼>左太白、左太溪、右後溪

レスキュー使用回数：5回

5月9日

16:30 鍼灸治療 19 診目

あ、そうか。ポーっとしていたところで、トイレ行こうかな?と思っていたところです。先に鍼してください。朝方が一番痛みます。今は全くというわけではないです

けど、痛くないです。それよりも右の胸がキリキリした感じ
です。

脈診：脾・腎微弦

触診：右手三里・外関・後溪・左太溪緊張、右前谷・右気戸軟弱

治療部位

<毫鍼>左復溜、右外関、右手三里、右後溪

<鍉鍼>太衝、行間

<円皮鍼>右前谷、右合谷、左太溪、右気戸

19：00 便でそうや！

(軟便～普通便中等量あり。腹部ソフト)

レスキュー使用回数：3回

5月10日

10：30 肩痛いなあ。モルヒネ塩酸塩水和物液飲んでみよ
か？温めてもあまり変わらないけど、しておいてもらおうか。

16：30 鍼灸治療 20 診目

(痛みどうでしたか？)どやったかな？痛かったん

かな？(今は？)今は痛くないですね。(胸のところはど
うですか？)昨日ほどではないです。

脈診：洪、腎弦

触診：右下腿浮腫

鍼灸治療中入眠される。

治療部位

<毫鍼>右復溜、右太衝、上巨虚、右合谷、右後溪

<円皮鍼>右後溪、右復溜、右合谷

レスキュー使用回数：3回

5月11日

14：30 痛みないです。よく眠れました。日中レスキューな
し。

レスキュー使用回数：3回

5月12日

15：00 昨日も出ていないと思います。張る感じはありませ
んが、浣腸してもらった方がいいですか？

レスキュー使用回数：3回

5月13日

14：00 疼痛訴えない。体動時にも苦痛表情なし。

レスキュー使用回数：4回

5月14日

16：00 浣腸してもらおうかな。お腹なってるし、出るんや
るか？

浣腸施行

16：30 鍼灸治療 21 診目

今朝は痛くなかったんじゃないかな？

(胸は？)ん？ああ、痛くないです。

(眠れてますか？)うん。よく眠れています。

脈診：腎微弦、細

治療部位

<毫鍼>右後溪、右曲池、上巨虚、右太溪、左太衝、右衝陽

<円皮鍼>右前谷、右太溪、右曲池

レスキュー使用回数：4回

5月15日

8：00 朝はパンを食べました。

16：00 眠剤飲んだら、そのまま眠ってしまうんじゃないか
といっただ不安あり。昨日より時間の感覚で混乱がある。

16：30 鍼灸治療 22 診目

(今朝は痛みどうでしたか？)そうね、痛かったと

思う。(胸の前の方はどうでしたか？)そっちは痛くな
かった。

脈診：沈、無力、散 治療後：やや滑

触診：下腿の冷えあり

問診直後より鼾かいて入眠(時折目を覚ますが...)

治療部位

<毫鍼>右外関、右上巨虚、右三陰交、右太溪、右太衝、行間、
手三里(単刺)

<円皮鍼>右外関、右後溪、右太溪、左公孫

レスキュー使用回数：2回

5月16日

8：00 ホットしました。今朝、目が覚めたら朝で、自分の
時間と現実の時間が一致してました。

10：00 昨日も今日もよく眠れた。3日前は混乱して大変や
った。

16：00 少し貼ってるな、痛いことはない。

18：00 鍼灸治療 23 診目

【妻】今日は一回もモルヒネ塩酸塩水和物液使っ
ていないんですよ。(朝は？)今日は割と痛くなかったんです。

(今は？)今も痛くないんです。あれやこれやと、もうな
いってくらい色々してもらって何が効いているのか分から
ないです。

分からないんだけど、私が思うにA・B・Cあった
ら全部いいように働いたんじゃないかな？

脈診：無力・細

治療部位

<毫鍼>右外関、太溪、太衝、行間、右三陰交

<円皮鍼>太溪、右外関

レスキュー使用回数：0回

5月17日

15:00 本人の時間感覚のずれが頻回でより不安を掻き立てている様子。

17:30 鍼灸治療 24 診目

【妻】痛みがなくなっているのは本当に良かったです。先生から浮腫に対して、点滴を調節するって言われました。

脈診：無力、細、脈状とれない

触診：下腿浮腫 (R>L)、右胸脇苦満

治療部位

<毫鍼>左足三里、右膝関、右太溪、陥谷、外陥谷、地五会

<円皮鍼>右外関、右陥谷、右外陥谷、右地五会

レスキュー使用回数：1回

5月18日

9:00 痛みはないので最高です

18:30 腹が張って便が出そうです。(排便で中等量あり)

5月19日

8:00 お腹張ってしんどい。身体がしんどい。呼吸もしんどい。

20:00 つじつまが合わない発言あり。

レスキュー使用回数：2回

5月20日

9:30 意識混濁、腹部膨隆

10:30 皮下注(ミダゾラム注射液 2ml から)10mg
ラムゼイスコアで5の指示

10:30 ミダゾラム注射液 10mg2A、0.5ml/h でスタート

16:00 逝去

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価
2 診目：右肩痛に対して、鍼灸治療介入前は VAS=85mm であり、鍼灸治療直前では VAS=54mm 程度の痛みがあったが、治療直後 VAS=37mm と軽減が認められた。
3 診目以降、夕方では VAS=20mm 程度と緩和が認められた。一人の時に強い痛みを訴えることから精神的な不安が悪化因子として関わっていたと考える。
- 患者コメント
鍼灸治療 2 診目後：鍼はあまり持続性がないと思います
鍼灸治療 9 診目：妻が疲れているみたいです。よかったら、診てもらえませんか？

鍼灸治療 14 診目：【妻】鍼灸のない日は痛み強い気がします

鍼灸治療 23 診目：あれやこれやと、もうないってくらい色々してもらって何が効いているのかわからないです。わからないんだけど、私が思うに A・B・C あったら全部いいように働いたんじゃないかな？

上記以外にも、病院内で鍼灸治療を取り入れるべきだといったコメントが複数回あった。

● 家族コメント

【妻】ずっと楽に逝きたいと言っていたので、本当に眠るように逝きました。

● 医師・看護師・医療スタッフの印象

鍼灸治療を待ちわびている様子がみれたことから、効果があったのではないかと考える。

【総括】

本症例はめまいの改善という事で介入を始めたが、1 診目の時点ではめまいがほぼ改善していることから効果は不明と考えた。

2 診目以降より右肩痛(癌性疼痛)、5 診目~12 診目まで下腿に出現した湿疹に対しての治療を行った。結果、痛みは緩和傾向にあり、レスキューも痛みが出現したから使用ではなく、予防的使用に変わっていった。また、家人からも鍼灸治療の無い日は痛みが強いというコメントからも鍼灸治療は効果的であったと言える。

湿疹によるかゆみも 1~2 回の治療にて赤みが軽減し、痒みも軽減したが塗り薬も使用されていたためやや有効と診断した。

この患者は鍼灸治療介入前、「僕は鍼灸治療は眉唾物で、信じてはいないんだ」と否定的な印象を持たれていたが、ターミナル後期になるにつれ「病院内に鍼灸治療が受けられる施設はできないのですか？絶対に取り入れるべき」といったコメントが多くなった。これらコメントからも鍼灸治療の効果はターミナル期に入った患者にとって必要性の高い治療法の 1 つであると考えられた。

【患者】66歳、男性

【既往歴】23年前 肺真菌症、X年5月 白内障

【病態】肺癌

【ターミナル期】ターミナル中～後期

【現病歴】

X-1年5月に健康診断を受けるも異常所見がないと診断されていた。10月に入り強い疲労感を自覚していたが多忙であったため病院受診はできなかった。

X年2月から労作時に息切れを自覚。4月からは咳嗽が出現。疲労感は継続してあったため、病院受診となった。画像所見にて肺癌(T2,N3,M1)と診断された。状態も悪く5月に入り、入院となった。

【服薬状況】

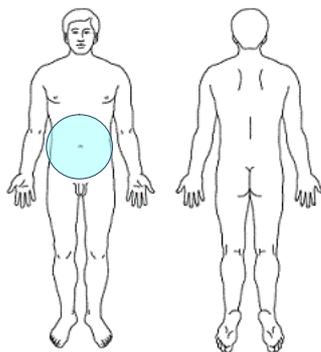
ロキソプロフェンナトリ

ウム塩酸塩製剤 60mg

トラマドール 3錠

レスキュー：モルヒネ塩酸

塩水和物液 5mg



【鍼灸治療目的】

疼痛コントロール良好ではあるが、腹部膨満感が強く、食欲消失傾向となったため、鍼灸治療が依頼された。

【東洋医学的所見】

お腹が張って食べる気が起こらない。脈診：肝弦、胃弦。舌診：暗淡紅、白膩苔、舌下静脈怒張、瘀斑あり。右胸脇苦満。右足陽明経緊張、左三陰交軟弱、右行間圧痛、右期門圧痛。

【弁証】肝胃不和

【鍼灸介入期間】44日間

【鍼灸治療回数】4回/週、24回

【転帰】逝去

【入院期間】7日間

【評価】VAS評価の理解が得られなかったため、医療スタッフによる印象評価をカルテから抜粋した。

【鍼灸治療最終評価】

1)腹部膨満感：やや有効

【治療経過】

5月14日 痛みは薬を飲んでいるから痛くはない。

5月15日

9:30 夜間はゆっくり眠れた。痛みは0に近い。痛くても(NRS=)4

12:30 薬が増えて痛みはほとんどなくなりました。

16:00 入院前から便秘傾向。マグネシウム開始。

17:00 お腹が張る。自宅ではバナナを食べていた。ガスは時々出ていない時もあった。吐いたりしたことはないです。

5月16日

8:00 痛みはないです。薬が増えて訳が分からなくなってきた。胸・腰ともに痛みなく経過

16:51 鍼灸治療1診目

痛みは(NRS=)0。お腹が張って食べる気が起こらない。

脈診：肝緊、胃弦

舌診：暗淡紅、白膩苔、舌下静脈怒張、瘀斑あり

触診：右胸脇苦満。右足陽明経緊張、左三陰交軟弱、右行間圧痛、右期門圧痛。

治療部位

<毫鍼>右上巨虚、左三陰交、右行間、右期門

5月17日

12:30 昼食たべず。ゼリーとアイスのみ。

14:30 お腹張ってるな。痛みはない。

17:30 鍼灸治療2診目

吃逆止まっている。張った感じも、痛みもないみたい。

脈診：胃滑

舌診：淡白、白膩苔、舌下静脈怒張

腹部：VAS=20mm

治療部位

<毫鍼>足三里、左三陰交、左期門

<円皮鍼>右外関

5月18日

8:30 ええことない。お腹張ってしゃーない。

9:00 【妻】先生の前ではあんまり言わないみたいだけど、お腹が張ってしんどいみたい。

11:30 昼食たべず。軽度嘔気ある。

5月19日

8:00 便出てへんな。ガスもほとんど出てない。

19:00 今日は調子悪い。ガスも出てないし、なんか上にあがってくる感じがする。

レスキュー使用回数：0回

5月20日

10:00 一日中点滴しているとお腹が張ってしんどいです。
夜間点 滴から日中に変更。
10:30 そんなに変わらんあ。便はすこしでた。痛みは出
んな。痛みさえ出んかったらええんや。痛みに対し、ロキ
ソプロ フェン Na60mg、トラマドール+アセトアミノフェン
3錠を

使用。L4に転移あり、今後体動で痛みが出現する。

18:30 サンドスタチン開始 0.5ml

レスキュー使用回数：0回

5月21日

1:30 大丈夫や、お腹がチクツとして目が覚めた。
自製内だが痛み止め使用。

7:30 痛くないけどご飯はいらん。

11:00 昨日から左脇腹が少し痛みます。生存確率 30日間
と説明

17:06 鍼灸治療 3診目

今日は割と調子いいです。吃逆なし。

脈診：脾滑、肝腎虚

舌診：暗淡白、胖大、嫩舌、舌下静脈怒張

触診：左内関緊張、胆経緊張、右交信緊張、臨泣圧痛。

両足背浮腫。

治療部位

<毫鍼>左内関、左公孫、臨泣、右豊隆

<円皮鍼>左陥谷、左外陥谷、左地五会

20:00 何のこと？ああ、今は何の苦痛もないで、ニコニコ
マーク や。便秘の薬はいらん、眠剤は欲しい。

レスキュー使用回数：0回

5月22日

10:30 前に比べたら、お腹も腰もマシになってきたそれよ
りも右 肩のしこりができている気がする。動いた時にピリ
ツとす ることも。

12:00 右肩がピリピリ痛いわ。飲んでみようか、前みたい
にしん どくなるのも困るし(NRS=1~2)。

14:30 よう、きいたわ。今までねとった。

レスキュー使用回数：1回

5月23日

8:00 痛いんは腰やった NRS=2 くらい。今はないよ。排ガ
ス 3回。 便はなし。

16:00 患者希望により鍼灸治療終了とする。

レスキュー使用回数：1回

5月24日

10:30 肩は張ったように痛い。(FS=)3。

10:30 右肩が痛かったから薬飲んだけど、まだ効いてない。
(NRS=) 5~6の痛み。(9:30に疼痛+レスキュー使用)

17:30 右肩の痛みが時々あり、鎮静剤が効いているが
...腫瘍は急速に大きくなっている。

レスキュー使用回数：1回

5月25日

16:00 痛いーここが痛い。内側がいたい。息の根を止めて
くれー！

こんな痛いの初めてや！右前胸部に FS=5 の痛み

16:30 FS=5 4に軽減

17:00 FS=2まで軽減

17:30 うー痛い。また痛いんや。こんな痛い。(FS=5)

19:30 FS=1に軽減

レスキュー使用回数：4回

5月26日

4:30 1時間おきに3回使用

5:30 痛みは2くらいやけど、痛くなったらかなんし。

6:30 もう一回飲んでおくわ。痛みが FS=2 くらいで飲ん
でおかん と押さえてもおさまらんし。

16:00 眠たくないで。大丈夫や。今は(NRS=)0やな。

レスキュー使用回数：6回

5月27日

6:30 痛みも落ち着いている。FS=1。ややぼんやり

レスキュー使用回数：0回

5月28日

8:00 ろれつ回っておらず、聞き取れないことが多い。

9:30 痛い、ん~わからん。FS=3~4。

12:00 意識レベル低下

5月29日 逝去

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価
腹部膨満感による食欲減退の評価は、印象評価にて行う

● 患者コメント

3診目以後：治療直後に苦痛を訴える事はなかった。「今は何の苦痛もないで、ニコニコマーク」「前に比べたら、お腹も腰もマシになってきた」など

● 家族コメント

特記なし

● 医師・看護師・医療スタッフの印象

介入期間が短いため、不明

【総括】

本症例は食欲不振を伴う、腹部膨満感（癌性腹膜炎）に対して鍼灸治療を施行した。介入後、食事はほとんど変わらないが、患者コメントから「前に比べたら、お腹も腰もマシや」と、介入前よりは症状の緩和が認められていた。しかし、服薬状況も変わっているため、鍼灸のみの効果とはいえない。治療前後で僅かながら効果があったことから、やや有効と診断した。本症例は認知症の進行に加え、長期入院に伴うストレスが強く、突然攻撃的な発言が認められた。その点を考慮し、精神的緩和に対しても鍼灸治療を介入させてよかったのではないかと反省させられた症例であった。

20130006 (No.56)

【患者】29歳、女性

【既往歴】特記なし

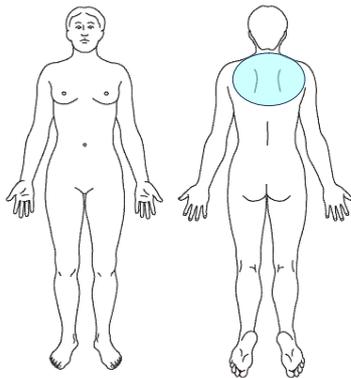
【病態】乳癌

【ターミナル期】術後化学療法中

【現病歴】

X-1年、右乳癌と診断され、術前化学療法の後、化学療法乳房温存手術を施行。X年、術後化学療法中である。化学療法による副作用で、口内炎、嘔気等が出現したが、現在トラスツマブに変更し、口内炎、嘔気も以前より軽減してきている。術前化学療法から近所の鍼灸治療院

にて鍼灸治療を受けており、学業の関係のため、鍼灸センターでの治療を希望されたため、来院することとなった。



【服薬状況】

トラスツマブ

ドキシフルリジン

シクロホスファミド

【鍼灸治療目的】

化学療法の副作用による全身倦怠感、便秘に対し、鍼灸治療を希望された。

【東洋医学的所見】

ホットフラッシュがあり（副作用による）排便：普通～軟便。しかし、排便時踏んばらないと出ず。始めは硬く、あとは軟便である。睡眠；点滴（抗がん剤）した日は2時、5時に目が覚めていたが、現在はそれほどではない。脈診：やや浮、数（一息六至）、細、輪郭がない、肝・腎無力。舌診：暗淡白、乾燥、瘀斑、舌下静脈怒張、薄白苔

期門圧痛（L>R）、Lt 章門圧痛、太溪軟弱、交信緊張

【弁証】気虚・気滞・血瘀

【鍼灸介入期間】255日間

【鍼灸治療回数】

1～2回/週（患者自身のペースに合わせる）

31回

【転帰】継続中

【評価】痛み評価は Visual Analogue Scale(以下 VAS)を使用していた。また、日々の状態から、総合的に評価をおこなった。

【鍼灸治療最終評価】

1)倦怠感：著効

2)肩コリ：著効

【治療経過】

4月16日 鍼灸治療1診目

薬により、閉経が起きているため、更年期症状によるホットフラッシュがあり辛い。

排便：普通～軟便。力んで出る。始めは硬く、後半軟便である。

睡眠：点滴（抗がん剤）した日は2時、5時に目が覚めていたが、現在はそれほどではない。

脈診：やや浮、数（一息六至）、細、肝・腎無力

舌診：暗淡白、乾燥、瘀斑、舌下静脈怒張、薄白苔

触診：期門圧痛（L>R）、Lt 章門圧痛、太溪軟弱、交信緊張

治療部位

<毫鍼>交信、右公孫、左臨泣、右地五会、右足三里、左内関、左神門、風池、天牖、肩井、右心兪、左肺兪、左脾兪、左三焦兪、志室、崑崙

化学療法中は鍼灸治療も併用し、調子が良かったため継続治療を受けたかったとのこと。

4月25日 鍼灸治療2診目

相変わらず、倦怠感があるも、前回の治療後はスツとして、2～3日は楽な感じがした。4日目から症状が戻り、昨日がピークで身体全体がしんどかった。

睡眠：7～8時間（しかし、寝た感じは2～3時間程度）

肩こり：VAS=68mm 治療後：VAS=29mm
 背中：VAS=50mm 治療後：VAS=16mm
 治療部位
 <毫鍼>右太衝、左公孫、左俠溪、右膝関、左期門、左章門、右
 気戸、左内関、左経渠、右上巨虚、右天柱、風池、天牖、
 肩井、右心俞、左督俞、左脾俞、左胃俞、志室、崑崙
 4月30日 鍼灸治療3診目
 一昨日、昨日と4時間ほど立ち仕事で疲れた。
 しかし、前回(先週)と比較すると楽である。
 脈診：脾渋、腎無力
 舌診：淡白、胖大、嫩舌、齒痕(+)
 治療部位
 <毫鍼>右内関、左神門、右期門、左章門、右行間、左公孫、
 右三陰交、復溜、右臨泣、天柱、風池、肩井、左肺
 俞、厥陰俞、右心俞、左脾俞、左胆俞、左胃俞、志室、
 崑崙
 5月2日 鍼灸治療4診目
 昨日からハーセブチン開始しました。いつも、次の
 日には 倦怠感が強いので、今日はしんどいです。
 脈診：肝無力
 舌診：淡紅
 治療部位
 <毫鍼>右内庭、左神門、右公孫、右上巨虚、左期門、左章門、
 右膝関、左三陰交、右肺俞、右胃俞、左腎俞、崑崙
 5月9日 鍼灸治療5診目
 倦怠感が今日は強いです。
 脈診：脾微弦
 舌診：暗淡紅、舌裏紅、舌下静脈怒張(+)
 便通：初めが出にくい
 倦怠感：VAS=70mm 治療後：VAS=47mm
 肩こり：VAS=79mm 治療後：VAS=61mm
 治療部位
 <毫鍼>左内関、左神門、左期門、左章門、右太衝、太白、右上
 巨虚、風池、天牖、肩井、厥陰俞、志室、左肝俞、左胆俞、
 附陽
 5月21日 鍼灸治療6診目
 休業中のため倦怠感は少し楽。どちらかという肩
 こりが つらい。
 脈診：脾無力
 舌診：暗淡白、嫩舌、舌下静脈怒張
 倦怠感：VAS=43mm 治療後：VAS=25mm
 肩こり：VAS=57mm 治療後：VAS=41mm

鼠径部緊張(R>L)
 治療部位
 <毫鍼>臨泣、左気戸、天柱、左上巨虚、左内関、風池、右公孫、
 左後溪、天牖、左膝関、右厥陰俞、左胆俞、右腎俞、
 胃俞、崑崙
 5月23日 鍼灸治療7診目
 今日はちょっとマシです。
 脈診：肺虚
 治療部位
 <毫鍼>左経渠、左臨泣、右上巨虚、右三陰交、左太白、崑崙、
 下腕(左向きに横刺)、天柱、風池、天
 牖、肩井、左肺俞、右厥陰俞、左督俞、右脾俞、右胃俞、
 右三焦俞、志室
 5月28日 鍼灸治療8診目
 倦怠感ほぼなし、残便感も以前ほどはない。朝方ス
 ッキリ 目が覚めず、なかなか起きれない。
 脈診：肝・腎弦、細、数(一息六至)
 触診：手のほてりあり
 便通：まだ硬い
 治療部位
 <毫鍼>右上巨虚、三陰交、左公孫、地五会、右内関、左外関、
 風池、肩井、左肺俞、Th3 俠脊穴、Th7 俠脊穴、左脾俞、
 左胃俞、志室、崑崙
 5月30日 鍼灸治療9診目
 肩こり、特に右がづらい
 倦怠感：VAS=33mm 治療後：VAS=0mm
 肩こり：VAS=65mm 治療後：VAS=17mm
 腰痛：VAS=65mm 治療後：VAS=16mm
 治療部位
 <毫鍼>右外関、右章門、左期門、左上巨虚、三陰交、左俠溪
 治療後「初めて治療中寝ました」以前まで通っていた鍼灸院で
 も寝たことはなかったとのこと。
 6月4日 鍼灸治療10診目
 昨日、ハーセブチンしてきたので、ちょっとしんど
 いです。
 今日は首から上が何かのっているかのように重い
 感じ。
 倦怠感：VAS=54mm 治療後：VAS=21mm
 肩こり：VAS=32mm 治療後：VAS=25mm
 頭重感：VAS=63mm 治療後：VAS=20mm
 残便感：VAS=65mm
 脈診：脾・腎弦

舌診：淡白、乾燥
触診：両胆経緊張
治療部位
<毫鍼>後溪、左内関、右上巨虚、左太溪、左太衝、束骨・京骨の間、復溜、風池、天牖、肩井、右心兪、左胆兪、右脾兪、右胃兪、志室、崑崙

6月6日 鍼灸治療 11 診目
昨日、肩が痛かったので後輩に灸してもらいました。楽になりました。けど、それよりも今日は便秘というか、残便感がきついです。
倦怠感：VAS=70mm 治療後：VAS=14mm（眠さ 59mm。気持ち良い）
肩こり：VAS=54mm 治療後：VAS=29mm
残便感：VAS=88mm 治療後：VAS=43mm
治療部位
<毫鍼>左上巨虚、左内関、左神門、左曲泉、右中封、復溜、風池、天牖、左肝兪、左胆兪、左脾兪、右三焦兪、志室、跗陽
<鍬鍼>Th4～5 棘突起間

6月18日 鍼灸治療 12 診目
昨日、下痢でした。なので、残便感はあまりありません。夜には嘔気もあったんですけど、朝起きた時は落ち着いてました。
倦怠感：VAS=36mm 治療後：VAS=4mm
肩こり：VAS=68mm 治療後：VAS=25mm
残便感：VAS=17mm 治療後：VAS=?
脈診：腎弦、肝無力
触診：胆経緊張、復溜緊張圧痛、右内関緊張、公孫発汗、右膝関表面緊張圧痛
A>肝腎虚
治療部位
<毫鍼>右内関、右公孫、右太衝、右膝関、左足三里、風池、天牖、心兪、肩井、左胆兪、左脾兪、右胃兪、志室、崑崙

6月27日 鍼灸治療 13 診目
朝が起きれない。0時に寝ても3時、4時、5時で起きてしまうので、起きる時間になったら、だるくて。昼間もしんどいです。
治療部位
<毫鍼>左足三里、左太衝、右公孫、左交信、左侠溪、天柱、風池、肩井、左心兪、至陽、左胆兪、左脾兪、左胃兪、志室、崑崙

7月4日 鍼灸治療 14 診目

昨日便が出ずに、肛門が切れてしまった。倦怠感が強い。0時にベッドにはいり、1時～2時の間に寝て、8時には起きようとしているが、どうもすぐには起きられず、8時40分くらいまでベッドの中にいる。
脈診：腎・弦
倦怠感：VAS=68mm 治療後：VAS=32mm
治療部位
<毫鍼>左内関、公孫、行間、左復溜、百会、右期門、右章門、左上巨虚、風池、天牖、肩井、左肺兪、左厥陰兪、左腎兪、左胆兪、左脾兪、胃兪、志室、崑崙

7月11日 鍼灸治療 15 診目
先週よりも気持ち全体的にいいかと。
腰痛は昨日からしんどいかな?となってきた。仰向けでいると大抵だるいような何処かつぱったような痛みがでる。
脈診：脾虚、肝無力
舌診：暗淡白、舌尖紅、湿潤、胖大、嫩舌
倦怠感：VAS=38mm 治療後：VAS=18mm
肩こり：VAS=54mm 治療後：VAS=25mm
残便感：VAS=2mm 治療後：VAS=x
腰痛：VAS=64mm 治療後：VAS=27mm
A>脾の陽気不足、肝陰不足
治療部位
<毫鍼>左内関、左期門、左章門、左太溪、三陰交、左太衝、左公孫、右上巨虚、風池、天牖、肩井、厥陰兪、左督兪、左肝兪、左脾兪、左志室、崑崙

7月30日 鍼灸治療 16 診目
やはり1週間以上鍼灸治療を受けていなかったの、しんどいです。寝ても寝足りないというか、だるい感じがあります。今日も倦怠感がちょっとひどいです。便は下痢と便秘を繰り返しています。今日はちょうどいいくらい。身体が内側から熱いという感じで、とにかく暑いんです。そういえば、数日前から鼻水が出るというわけではないんですが、なんか詰まってるというか、気色悪い感じがした。
脈診：肺・腎虚
舌診：暗淡白、舌裏紅、胖大、嫩舌
触診：発汗強い、尺沢、中府硬結（R>L）
倦怠感：VAS=70mm 治療後：VAS=35mm
治療部位
<毫鍼>左神門、経渠、中府、復溜、左太衝、右期門、右章門、天柱、風池、天牖、肩井、肺兪、左脾兪、右胃兪、右三焦

愈、 志室、崑崙

治療中入眠

8月6日 鍼灸治療 17 診目

日に日にしんどくなります。多分、天候のせいだと思っ
ますが、よく寝たと思える日が少なく、疲れが取れ
ません。

便通：下痢

聞診：声が弱く、暗い印象。

治療部位

<毫鍼>左内関、左期門、左膝関、右臨泣、右公孫、右章門、右
天柱、 風池、天牖、右肩井、 右厥陰俞、右心俞、右肝
俞、右胆俞、 左胃俞、右志室、崑崙

9月5日 鍼灸治療 18 診目

休み中にあまり動いていなかった。本日は体力がな
くて怠 いのと、肩こり（ツッパリ感）が強かったです。

治療部位

<毫鍼>右地五会、右外内庭、右上巨虚、膝関、外関、右後溪、
崑崙、 左期門、右章門、右気戸、天柱、風池、天牖、肩井、
肺俞、 右厥陰俞、左督俞、左胆俞、左脾俞、右胃俞、左志
室

9月12日 鍼灸治療 19 診目

先週から大学は始まり、ストレスが溜まるようにな
った。 そのため、胃痛が起こり、今はムカつきがある。胃
痛に伴 う吐き気はない。

脈診：腎微弦

舌診：暗淡白、胖大、嫩舌

治療部位

<毫鍼>右内関、左神門、左後溪、右気戸、右期門、左太溪、右
公孫、 中封、左地五会、左上巨虚、右陷谷、右外陷谷、風
池、 天牖、右肩井、肺俞、右胆俞、右胃俞、志室、崑崙、
附陽

9月19日 鍼灸治療 20 診目

倦怠感軽減。上肢・下肢の温度差が気になる。

腹部膨満感があり。

脈診：腎無力、細

触診：足の陽明経熱感

治療部位

<毫鍼>右内関、左神門、左上巨虚、復溜、左臨泣、左太白、風
池、 天牖、肩井、右胆俞、右脾俞、右胃俞、右三焦俞、
志室、 崑崙

9月26日 鍼灸治療 21 診目

いつもと同じで、ちょっと怠いです。

脈診：肝血虚、81回/分、胃弦

舌診：暗淡紅、胖大、嫩舌

治療部位

<毫鍼>左太溪、陷谷、外陷谷、右侠溪、左地五会、右後溪、右
期門、 左章門、左気戸、風池、右天柱、肩井、心俞、右胆
俞、右 脾俞、右胃俞、左志室、崑崙

10月1日 鍼灸治療 22 診目

昨日の夕方ころから喉の痛み、咳鼻水があり、前頭
部に頭 痛がある。

脈診：洪、肺実

治療部位

<毫鍼>右太淵、右気戸、右期門、左章門、右公孫、右膝関、左
復溜、 右三陰交、左外関、風池、肩井、天牖、肺俞、肝俞、
左胃俞、志室、崑崙

10月8日 鍼灸治療 23 診目

前回よりマシですが、あと少しで（風邪）治る感じ
です。

脈診：肺やや浮・無力、腎やや浮

舌診：暗淡紅、舌尖紅、胖大、嫩舌、舌下静脈怒張少々

治療部位

<毫鍼>左神門、左後溪、左期門、左章門、右公孫、陰谷、曲泉、
左地五会、風池、天牖、左胆俞、右肝俞、志室、崑
崙

<ツボ灸>肺俞

10月22日鍼灸治療 24 診目

ポスターや文化祭の準備で忙しく、全身が怠い。

怠さ：NRS=9

睡眠：熟眠感なく、疲労がとれない

脈診：細、虚、脾滑、肝腎無力

背部：心俞、肝俞、腎俞白く抜ける。胃俞やや実。

触診：足陽明経緊張、神門発汗、公孫発汗

治療部位

<毫鍼>左内関、右労宮、右期門、右章門、公孫、左中封、右臨
泣、 左中封、右臨泣、左上巨虚、右天柱、天牖、風池、
肩井、 右厥陰俞、左胆俞、左脾俞、左胃俞、左志室、崑崙

治療後、鍼後の軽度だるさを訴えるも NRS=4 程度（だるさとい
うより眠さの方が強い）

11月5日 鍼灸治療 25 診目

文化祭終わったのでちょっと楽です。

脈診：肝滑、腎弦

治療部位

<毫鍼>右陷谷、右外陷谷、右地五会、左上巨虚、左公孫、合谷、

左外関、風池、天牖、肩井、左厥陰俞、右心俞、右脾俞、胃俞、志室、左 L4/5 棘間傍点、崑崙

11月21日鍼灸治療 26 診目

数日前から、寒気と鼻水と喉の痛みがある。

脈診：肺・脾虚

舌診：暗淡白、胖大、嫩舌、舌尖紅、舌下静脈怒張

治療部位

<毫鍼>左太淵、左尺沢、左公孫、左陷谷、左外陷谷、左地五会、左期門、右章門、左気戸、太溪、風池、天牖、右肩井、肺俞、左肝俞、左胆俞、志室、附陽

11月26日鍼灸治療 27 診目

風邪が全然治らず、咳、鼻水、喉の痛みあり

触診：胸脇苦満（緊張・圧痛あり）

治療部位

<毫鍼>左中府、左尺沢、復溜、右地五会、左臨泣、左太衝、左合谷、風池、天牖、右肩井、志室、崑崙、胃俞
<ツボ灸>肺俞、風門、厥陰俞

12月3日 鍼灸治療 28 診目

4~5日前から食べ物は通過するも、唾液がうまく飲み込めないことがあり、酷い時はどうやって飲み込んでいたのか分からなく、軽くパニックをおこしていた。

脈診：肝・腎弦

治療部位

<毫鍼>左復溜、行間、右陷谷、右外陷谷、左侠溪、右上巨虚、左期門、右章門、風池、天牖、肩井、左脾俞、左胃俞、左腎俞、崑崙
<ツボ灸>右肺俞

12月10日鍼灸治療 29 診目

最近はだるくても NRS=4~5 程度で安定している(酷い時は NRS=9 近くあった)。風邪はだいぶ楽になりました。

脈診：やや洪、腎微弦

治療部位

<毫鍼>右内関、左後溪、左上巨虚、太溪、左公孫、右地五会、風池、天牖、肩井、身柱、右胃俞、腎俞、附陽、崑崙

<ツボ灸>右肺俞

12月17日鍼灸治療 30 診目

ちょっと寒いのもあるけど、しんどくて、眠いです。

脈診：胃微弦、腎無力

治療部位

<毫鍼>左内関、左期門、左章門、右公孫、左太白、左地五会、

右陷谷、右外陷谷、右侠溪、右上巨虚、天柱、風池、天牖、肩井、肺俞、脾俞、志室、崑崙

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価
全身倦怠感は鍼灸治療直後に眠さが加わり、だるく感じるとのことだったが、VAS=20mm 以上改善していることから著効があったと考える。
肩こりも治療直後には VAS=10mm~20mm 以上改善が認められていることもあり、有効であったといえる。
- 患者コメント
鍼灸治療 2 診目：前回の治療後はスツとして、2~3 日は楽な感じ
鍼灸治療 3 診目後：バイトで立ち仕事を行っていても、倦怠感先週よりも感じていない
鍼灸治療 9 診目：初めて鍼灸治療中に眠れるほど、気持ちよかった
- 家族コメント
特記なし
- 医師・看護師・医療スタッフの印象
特記なし

【総括】

今回、化学療法による副作用に対して鍼灸治療を 1 回/週のペースで行った。1 回の鍼灸治療で約 3 日間の継続効果があり、全身倦怠感および肩こりに対して著効が得られたと考えた。

また、9 診目頃から治療中から眠れるほど信頼関係が得られていた。

担癌患者の多くは、その日によって体調が変わりやすい。これまでの経験から、抗癌剤投与後は全身倦怠感が強く、日中も作業ができない事が多い。そのため、倦怠感が強い場合は、補腎治療をベースに入れることが重要であると言える。

【患者】86歳、男性

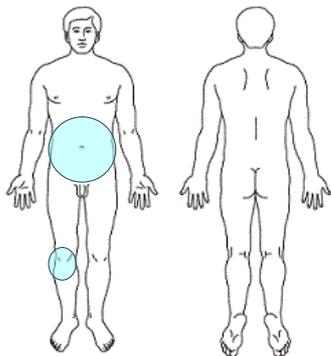
【既往歴】胃癌、胆嚢炎

【病態】大腸癌転移

【ターミナル期】ターミナル前期

【現病歴】

16年前に胃癌と診断、胃癌全摘を施行していた。今回、大腸癌転移と診断され、外来にてフォローアップ中に、尿閉、腎後性腎不全、急性腎盂腎炎を発症したため入院に至った。膀胱緊満強く、自尿なし。バルン挿入して550mlあり。尿臭強いテネスムス訴えあるが、処置ベッドで入眠。昨夜も便意で眠れなかった。



【服薬状況】

レスキュー：ロキソプロフェンナトリウム60mg、トラマドール

【鍼灸治療目的】

便秘および入院前から訴えていた右膝痛に対して、ロキソプロフェンナトリウムを使用するも訴えが頻回になってきたため、依頼された。

【東洋医学的所見】

脈診：肝無力、胃微弦。両外反母趾。右膝前面全体にズキズキとした痛みを訴える。テネスムスは症状緩和していたため、予防的に行う。

【弁証】胃実、気滞・血瘀

【鍼灸介入期間】18日間

【鍼灸治療回数】4回/週、11回

【転帰】退院

【鍼灸治療最終日～転帰】4日間

【評価】評価説明するが理解が得られなかったため、医療スタッフによる印象評価をカルテから抜粋し、評価とした。

【鍼灸治療最終評価】

1)右膝痛：有効

2)整腸：やや有効

【治療経過】

6月24日

1:00 ずっとここが痛いんや。

アセトアミノフェン座薬使用、5時間程度経過して
いない ため、レンドルミン1錠頓服使用。

10:00 右の足がな、痛いでな、あかんわ。右足背のみ浮腫

6月25日

9:00 前立腺小細胞癌、骨盤内リンパ節転移あり。昨晩は
大丈夫 だった。昨日処置してもらってから、お腹の調子も
よい。(テネスムス軽減)

12:00 左の腹がえらいんや、胸も悪いけど、吐くほどでは
ないな

17:30 鍼灸治療1診目

ずっとズキズキ痛いんや。ここ(右膝)が。

脈診：肝無力、胃微弦

両外反母趾、18日より排便なし。

治療後、右膝は苦痛表情なく動かしていた。

治療部位

<毫鍼>右侠溪、右内庭、右外内庭、太衝、左上巨虚

<円皮鍼>右陥谷、右外陥谷、右地五会

6月26日

14:30 便意あるも排便なし。昼食後摘便にて軟便少量ずつ。

15:30 昨日、便に行きたくなくて、何回も言ったけど、ガ
スも出 なかった。今は大丈夫。(膝はどう?)昨日、鍼し
てもらっ て楽になった。

17:30 鍼灸治療2診目

膝は痛かったから湿布貼ってもらった。うん痛かつ
た。 おう、そこ痛かったよお。

脈診：洪。舌診：紅、無苔

触診：上巨虚緊張圧痛、三陰交緊張圧痛

治療部位

<毫鍼>右足三里、右三陰交、左上巨虚

<円皮鍼>右三陰交

18:30 オムツ内、便失禁中等量あり

20:00 本日プルゼニド休薬してコントロールしていく

6月27日

7:30 起きとったら、膝が痛いんや。水がたまってるんじ
ゃない かと思うんや。端坐位になると右膝の痛みがアップ。
湿布、 鍼あまり効果はないとのこと。

15:30 鍼灸はあんまり変わらん

17:00 鍼灸治療3診目

ちょっとマシになってきたよ。でもズキズキしとる

んや。今はちょっとね。

脈診：腎無力、肝虚、脾微弦

触診：足浮腫。

治療部位

<毫鍼>右陥谷、右外陥谷、右俠溪、右三陰交、右足三里

<円皮鍼>右行間、右陥谷、右外陥谷、右地五会、右三陰交

17:10 車椅子状態で20分程度会話。

右膝の痛み訴えるも、さらに10分会話する。

(トラマドール：6時、12時、18時、22時)

6月28日

7:00 右膝痛は軽減であるが持続。テネスミス消失している。

16:00 鍼灸治療4診目

今日はちょっと、朝から吐きそうになった。今はちょっとだけ。軽度嘔気あり。

脈診：腎無力、肝渋

舌診：暗淡白、白膩苔

治療部位

<毫鍼>右太溪、右足三里、右内関、左外関

<円皮鍼>右太溪、左内関、三陰交

16:30 酷い痛みではなくなってきた。

トラマドール4錠/分4 3錠/分3+ノバミン3錠/分3

6月29日

6:00 何もなし。

消化器症状等と問うと上記にて、大丈夫と。痛み訴えなし。

11:00 膝がズキズキ痛い。

ここだけ痛い。今は吐き気ない。便はいきたい感じはない

16:00 昼食うどん9割摂取。嘔気嘔吐なし。

6月30日

6:00 右膝痛いな。

トラマドール1錠使用。

10:30 痛みマシ。食事まずまず。嘔気なし。

22:00 待ったなしに出てもうた。排便少量のみあり。

7月1日

11:30 ここ数日(3日間)毎日軟便あり

14:30 まだ痛いな。前よりは調子いい気がする。

22:00 トラマドール1錠、プルゼニド2錠

7月2日

6:00 ちょっとマシや。お腹は何ともない。

膝痛軽度あり。トラマドール1錠

13:30 出そうにないなー。気張ってみたけどあかん。

17:30 鍼灸治療5診目

今は痛くない。夜は痛い。ズキズキ痛い。

脈診：胃微弦

治療部位

<毫鍼>右太衝

<円皮鍼>右陥谷、右外陥谷、右地五会、右太溪、右内関

7月3日

9:00 夜眠れている。膝の痛み継続。

16:00 今日は天気悪いで、余計に痛いなぁ

17:30 鍼灸治療6診目

今のところ痛いよ。といっても前よりマシだけど。ちょっとだけ、眠れたよ。

脈診：脾弦、腎無力、細

触診：右下肢浮腫、左足三里硬結

治療部位

<毫鍼>右陰陵泉、右三陰交、左足三里

21:30 右膝痛い

7月4日

6:00 足が痛いなぁ。テネスミス症状訴えなし。

トラマドール1錠

11:30 痛いのは痛いで。右の膝から下痛み訴えるが話しかけないと、表情穏やか。苦痛表情なし。動作時のみ増強する。

15:30 便意あり。浣腸にて普通～軟便握りこぶし大。

17:30 鍼灸治療7診目

そこ、そこが痛い。以前からの膝下の痛みではなく、膝蓋 骨外側に痛みを訴える。

脈診：腎無力

治療部位

<毫鍼>右三陰交

<円皮鍼>右中封、右三陰交、太溪

7月5日

6:00 オムツ内に泥状便

10:30 安静時もズキズキ痛む。

15:30 出とるか？オムツ内、泥状便中等量。昨日の浣腸後、泥状 便ガラガラと続いている。

16:30 鍼灸治療8診目

痛いよ～曲げられない～。

脈診：沈、洪

触診：右下腿浮腫

治療部位
 <毫鍼>左足三里、右三陰交、右行間、右陥谷、右外陥谷
 <円皮鍼>太溪、右陥谷、左内関

7月6日
 9:30 昨日は疲れた、今は大丈夫。右下腿リンパ浮腫あり。
 16:30 今日はなあ。足楽なんや。うん。痛くない。動かし
 たら痛 いけど今日はマシ。
 22:30 オムツ内泥状便あり。プルゼニド2錠

7月7日
 8:30 膝の痛み少しマシ。天気悪いとズキズキする

7月8日
 8:30 一緒。動くとき膝が痛くなる。
 15:00 体動時に疼痛

7月9日
 6:00 足が痛いので動かんのや！
 13:30 便でたような感じもないし、行きたい感じもないし、
 温め たら楽。
 18:30 鍼灸治療9診目
 ・・・・。声掛けするもテレビをみている。
 治療中からウトウトと眠る。

脈診：脾滑
 触診：下腿浮腫
 治療部位
 <毫鍼>右三陰交、右太溪
 <円皮鍼>右内庭、右外内庭、右侠溪

7月10日
 10:00 痛いところはない。
 10:00 看護師の話ではトラマドール内服後痛み落ち着く
 よう。
 17:30 鍼灸治療10診目
 膝から下ぜんぶ痛い。うん。(今もですか?)...
 治療後すぐに横になり、入眠。

脈診：腎無力
 触診：右下腿浮腫
 治療部位
 <円皮鍼>右内庭、右外内庭、右侠溪、右太溪

7月11日
 6:00 起きようか？まだ早い。自分で下肢を下して座位
 になら れている。
 15:00 膝から下がしびれとる。入院前は痛かったんやけど、
 今は 重だるい。
 17:00 鍼灸治療中止

7月12日
 9:30 お世話になりました。右膝の痛み軽度の訴え
 17:30 鍼灸治療11診目
 足腫れているでしょ？痛いのは膝の下。
 (しびれはどうですか?)ううん。痛いだけ。
 脈診：脾洪、腎弦
 触診：右下腿浮腫。
 治療部位
 <毫鍼>左足三里
 <腧鍼>湧泉、腎、脾経
 <円皮鍼>右内庭、右外内庭、右侠溪

7月13日
 ちょっと、立とうと思ってな...すてーんと。痛い
 こない。 もう、1人で動かんようにするわ。昼食後、立とう
 とされ 転倒した様子。

7月14日
 10:00 ホットパックにて膝痛軽減している。
 17:00 痛くないよ。
 21:00 本日排便なし

7月15日
 10:00 足は痛い。足の甲や！

7月16日 退院

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価
 2診目：右肩痛に対して、鍼灸治療介入前はVAS=85mmであ
 り、鍼灸治療直前ではVAS=54mm程度の痛みがあったが、治
 療直後VAS=37mmと軽減が認められた。
 3診目以降、夕方ではVAS=20mm程度と緩和が認められた。
 一人の時に強い痛みを訴えることから精神的な不安が悪化
 因子として関わっていたと考える。
- 患者コメント
 鍼灸治療1診目後：鍼してもらったから楽になった。
 鍼灸治療8診目：今日は、膝は楽なんや
- 家族コメント
 特記なし
- 医師・看護師・医療スタッフの印象
 膝痛の訴えはあったが、実際には軽減している様子を受け
 える。整腸は効果不明。

【総括】

痛みを訴えることが口癖のようになるが、どこがどう痛いのかという質問には首をかしげる行為が見られた。認知症も進行していたため、患者本人からの痛みスケールによる評価は取れなかったが、治療前後では膝の屈伸運動時の苦痛表情が認められなかったこと、また、痛みが翌日に戻ってきても以前よりは軽減が認められていることから鍼灸治療は有効であったと考えられた。

便秘は服薬の影響もあり、一概に鍼灸のみで改善したわけではないが、その後症状が再発することがなかったことから、継続的治療によりテネスムス予防になっていたと考える。

20130008 (No.58)

【患者】43歳、男性

【既往歴】腹壁、回腸漿膜下再燃

【病態】虫垂癌 (A, T4)

【ターミナル期】ターミナル前期

【現病歴】

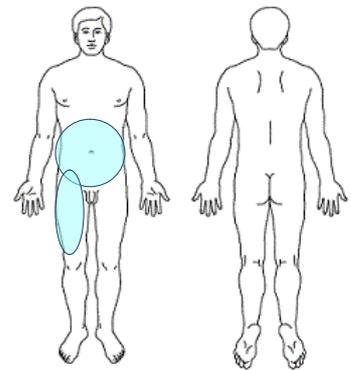
X-1年8月末に虫垂癌と診断。(ステージ T4, S1)。摘出手術を行うも、腹壁、回腸漿膜下再燃となった。

近医病院にてカベシタピン 4200 mg/日 (2週1休)で行ったところ、副作用である下痢を起こしたため、1週で中止となった。

以後、本病院に転院となり、フォローして

いくこととなる。12月からカベシタピンを行うも、2週間で中止。X

年3月に右尿管腫瘍浸潤水腎症を発症。今回、状態が悪化したため入院となった。



【服薬状況】

オキサリプラチン+カベシタピン 4200mg/日 (2週1休) 下痢により中止。ゼローダ 2週間で中止。ロキソニンテープ (6月27日~)。

レスキュー：フェンタニル

【鍼灸治療目的】

フェンタニル使用するも、右足、腹部の痛みを訴えており、苦痛表情が常に見て取れていたため、看護師から鍼灸治療を薦めたところ、同意が得られたので依頼となった。

【東洋医学的所見】

右上腹部に強い痛みを訴え、仰向けができない。排便あるも症状緩和にはならない。脈診：数、腎虚、弦。足背浮腫、右章門圧痛、左公孫緊張、陥谷・外陥谷・地五会圧痛、左上巨虚緊張、胆経緊張 (R<L)

【弁証】腎陽虚、気滞・血瘀

【鍼灸介入期間】64日間

【鍼灸治療回数】4回/週、37回

【転帰】逝去

【鍼灸治療最終日～転帰】2日間

【評価】評価説明するが理解が得られなかったため、医療スタッフによる印象評価をカルテから抜粋し、評価とした。

【鍼灸治療最終評価】

- 1)右大腿部痛：著効
- 2)腹痛（癌性腹膜炎）：著効

【治療経過】

6月24日

0：00 痛いかなあ。え？まだ1時間経ってないの？
10：00 右足が痛い。横になっていた。目が覚めるとトイレに行くって感じ。右大腿部擦り、痛み持続。俯いている。

レスキュー使用回数：12回

6月25日

15：30 トイレした後に、椅子に座ると楽みたいです。背もたれあるし。温めるやつは、冷たくなると痛くなるみたいで、ぼいっとしてです
17：30 鍼灸治療1診目
ん～この右のこの辺が痛いです（右上腹部）
（トイレに行ったら楽ですか？）
変わりません。いつつつ。痛くて、仰向けできないです。

脈診：数、腎虚、弦

触診：足背浮腫、右章門圧痛、左公孫緊張、左上巨虚緊張、
陥谷・外陥谷・地五会圧痕、胆経緊張（R<L）

治療部位

<毫鍼>右内庭、左公孫、左陥谷、左外陥谷、左地五会、
太衝

<留置鍼>右脾兪、太溪、左陥谷、左外陥谷、左地五会

レスキュー使用回数：2.0ml/h 8回、4.0ml/h 4回
（鍼灸治療後：2回）

6月26日

9：30 痛い、良くならん。昨日は眠れた方ではある立ったり座ったりするときに痛み強くなる
17：30 鍼灸治療2診目
今日は足が...このこら辺が痛い。妻が内側というも、本人は大腿外側～前面部をさする。

脈診：数、細、無力、やや弦

触診：下腿冷え、浮腫あり、右内庭・右外内庭・右侠溪圧痛

治療部位

<毫鍼>右脾兪、右内庭、右外内庭、侠溪

<留置鍼>右太溪、右内庭、右外内庭、右侠溪

レスキュー使用回数：2.0ml/h 11回、2.5ml/h 1回

6月27日

2：30 痛みに対し、ロキソニンテープ使用
8：00 右大腿シップで軽快
9：30 足は痛いけどお腹はマシ。夜はちょっと眠れた。
鍼はよう分からん。
15：30 なんかお腹が痛い。（グミ食べて）
17：30 鍼灸治療3診目
痛いところ、お腹と足がズキズキします表情穏やか。
円皮 鍼抜去の際、仰向けになるも苦痛表情なし。

脈診：脾弦、腎無力、細、数

触診：腎経軽度圧痛。足背～足首まで冷えと浮腫。

治療部位

<毫鍼>右足三里、左太溪

<鍍鍼>陥谷、外陥谷、地五会、脾兪

<円皮鍼>陥谷、外陥谷、左地五会、左太溪

レスキュー使用回数：2.5ml/h 15回、（鍼灸治療後：5回）

6月28日

2：00 排便のため、トイレへ。移動後に右下肢痛あり。
16：00 家人に説明
腸閉塞となり経口摂取が無理となりお身体の状態悪化です。

16：30 鍼？たぶん効いていると思う。ちょっと怖かったけど、もう少し、早くにお願いしたらよかったかな。チクツとするけど気持ちいい。足の痛み特に効いていると思う。

17：30 鍼灸治療4診目

痛みは、今は特にないです。

脈診：胃滑、腎弦、細、無力

舌診：暗淡白、胖大、嫩舌

触診：足背浮腫、冷えあり

治療部位

<毫鍼>右足三里、左太溪

<鍍鍼>右太溪、右陥谷、右外陥谷、右地五会

<円皮鍼>太溪、右陥谷、右外陥谷、右脾兪

レスキュー使用回数：フェンタニル 3ml 11回、（鍼灸治療後：3回）

6月29日

3：30 少し寝ました。足が少し痛くて・・・。
7：00 足の付け根が痛い。今日は調子が悪いのかな。
16：00 昨日、面談であったが、家族と鍼灸治療の話をして

いる。

レスキュー使用回数：3.0ml/h 11回、3.5ml/h 6回、(17:00~
6回)

6月30日

9:00 痛み止めをお願いします。今朝、トイレに行こうと思
って立 った時にふらつきました。

レスキュー使用回数：3.5ml/h 13回、(17:00以降 5回)

7月1日

9:30 【妻】昨日は何かしんどかったみたいです。足が床
につい てたし。【本人】うん。だるい感じ。足もお腹も痛
い(NRS=5)

13:30 痛みが強く、夜間休めない。

21:00 排便時に鮮血便(日曜日から)

レスキュー使用回数：10回、(17:00~ 3回)

7月2日

10:30 うん。痛いなこの辺が。(NRS=7程度)臍周囲をさす
りなが ら、言われる。レスキュー使用するも2~30分程度
で痛み が戻る。

15:30 全然(レスキューが)効きません。

17:30 鍼灸治療5診目

今日はしんどい。お腹も足も痛い。

脈診：肝滑、胃無力、腎微弦

舌診：淡白、胖大、嫩舌、白膩苔、湿潤

触診：足背浮腫、右太溪圧痛、公孫緊張(R<L)、左内関深部緊
張

治療部位

<毫鍼>左公孫、左内関、右太溪、左中封、左三陰交、左太衝

<円皮鍼>右陥谷、右外陥谷、右地五会、右太溪

レスキュー使用回数：17回 12回以降~4.5ml/h、(鍼灸治療後：
6回)

7月3日

2:30 ……。【妻】出てないらしいです。

渋り腹の様な痛みがある。

8:30 痛いな……。【妻】鍼をしてもらっている間は楽
そうでし たが、それもしばらくだけで。やっぱり日に日に痛
み強く なっている様子です。

17:30 鍼灸治療6診目

痛いです。お腹全体が。

脈診：渋

触診：足三里緊張、左脾俞緊張圧痛、下腿浮腫

治療部位

<毫鍼>右足三里、左三陰交、左公孫

<円皮鍼>左脾俞

治療中：「あ~気持ちいい」

レスキュー使用回数：13回 11回以降~5.0ml/h、(鍼灸治療後
1回)

7月4日

0:00 便が出ない……

3:00 排便なく、排尿のみ

9:30 トイレよりコールあり。暗赤色便中等量あり。

14:30 NRS=4~5. 早送り回数が増えているが、痛みの強さ
は低下。

16:30 鍼灸治療7診目

今日はそんなに痛くもないです。お腹は(NRS=)3、

足は(NRS=)1~2. 痛みが強い時は(NRS=)5まで

ある。

脈診：脾弦、腎無力

治療部位

<毫鍼>左足三里、三陰交、右陥谷、右外陥谷

<鍹鍼>左中封、左太衝

<円皮鍼>左外関、三陰交、右陥谷、右外陥谷

レスキュー使用回数：5ml/h 11回、(鍼灸治療後：3回)

7月5日

9:00 排便ありました。真っ黒で水ではなく、塊です。

張りはかわらず。

17:30 鍼灸治療8診目

ガスができればいいけど。痛みは張りが辛い(NRS=)

3。

脈診：腎無力、弦

治療部位

<毫鍼>三陰交、足三里、左太溪

<鍹鍼>行間、左公孫

<円皮鍼>行間、左太溪

レスキュー使用回数：フェンタニル2.5ml/h 6回、(鍼灸治療後：
2回)

7月6日

7:00 便はないね。張ってる感じは続いているけど...血が
ちょっ と出てることあるね。

18:30 ああ、よう寝てた。寝てたら大丈夫やけど...

レスキュー使用回数：2.5ml/h 7回

7月7日

2:00 お腹張ってえらいです。【妻】便がもう丸一日出て
ません。

ガスは出ているみたいです。

3:00 温めてちょっとマシになりましたけど、お腹が痛い
です。

(排ガスあり、便なし)

15:00 あれから出てないし、やっぱり張ってるのがしんど
い

(朝1、昼1少量排便あり)

レスキュー使用回数:2.5ml/h 7回

7月8日

10:30 よう寝てたわ。けど、起きるとやっぱりお腹張るし、
痛み

も感じる。

20:30 一応、報告しようと思って。黒いポツツとしたもの
がでた。昨日股から注射が何かしてもらって調子いいよう
な。。。

レスキュー使用回数:2.5ml/h 9回

7月9日

18:30 鍼灸治療9診目

今日は痛いというか、だるいというか、眠いとい
うか...

脈診:洪、脾弦

触診:下腿浮腫、太溪深部硬結、足三里緊張、行間軟弱圧痛、
三陰交深部緊張、右脾俞圧痛

治療部位

<毫鍼>足三里、右三陰交、左復溜、行間

<鍍鍼>大都

<円皮鍼>右脾俞、太溪、右太衝

治療後:腹部の張り消失

18:40 昨日、今日で6階や売店まで行っています。症状は
泥状が

少し、嘔気なし

レスキュー使用回数:2.5ml/h 11回、(鍼灸治療後:4回)

7月10日

5:00 痛いんでお願いします。ああよく寝た。爆睡してま
した。

5~6時間寝てんたんかな?

15:00 今まではかなり早送りの回数多かったけど、この頃
減った。

17:00 リハビリをしたい。歩きたい希望を話される。疼痛
あるが、

生活範囲拡大あり。

17:30 鍼灸治療10診目

昨日より楽ですけど、少し張っているよう。

脈診:脾弦、腎無力

触診:下腿浮腫

治療部位

<毫鍼>右足三里、内庭、外内庭、右三陰交、俠溪

<円皮鍼>陥谷、地五会

レスキュー使用回数:2.5ml/h 5回、(鍼灸治療後:2回)

7月11日

11:30~17:00 輸血施行

17:10 鍼灸治療11診目

輸血中のため、だるい

脈診:洪

触診:足背浮腫、足三里~上巨虚緊張

治療部位

<毫鍼>足三里、右三陰交、右太溪、左交信

<円皮鍼>左太溪

レスキュー使用回数:2.5ml/h 3回、(鍼灸治療後:2回)

7月12日

12:30 トイレ行くと痛み出てきます。前は便が出なくて寝
てばか

りだけど、今はトイレの回数が増えて、よく起きて
います。

それが怠いです。

18:30 鍼灸治療12診目

だるいです。

脈診:肝・脾洪

触診:左胃俞表面緊張圧痛、左太衝軟弱、右外関緊張、右前腕
浮腫

治療部位

<毫鍼>右足三里、内庭、外内庭、俠溪、右太溪

<円皮鍼>左胃俞、右陥谷、右外陥谷、右地五会、右外関

レスキュー使用回数:5回、(鍼灸治療後:2回)

7月13日

15:30 うん。昨日より今日はマシかな?昨日は輸血後でし
んどか

ったし。今日はシャブーしとこうかな?冴えない
表情で

あるが、午前中より午後の方が表情よい。笑顔で話
された

り、TV見ている。(NRS=3~5)レスキュー使用して
いるが、

穏やかに生活している。

レスキュー使用回数:2.5ml/h 7回

7月14日

15:30 はあ、マシですね。でも痛みは急に出来ます。日中ベ
ッドサ

イドで足を組み、テレビ、新聞を見ている。仰臥位
も取れ

ている。腸蠕動痛か?デキササートの効果もみる。

レスキュー使用回数:2.5ml/h 7回

7月15日

10:00 しといてもらおうかな。外出より、何か味わいたい。
痛み NRS=3

レスキュー使用回数:2.5ml/h 6回

7月16日

11:00 【妻】さっきゼリー半分食べました。全部は無理で

したけ だ。【本人】お腹すいたので食べました。美味しかったです。

12:30 お腹が空いてきて食欲がある。パンやうどんなど食べた。

17:00 鍼灸治療 13 診目
足の痛みほとんどなく、お腹の調子も良い。

腹部の痛み：NRS=3

足の痛み：NRS=1~2

脈診：脾・腎弦

触診：足背浮腫、左足三里緊張、太溪深部硬結

治療部位

<毫鍼>左足三里、右内関、左公孫、太溪

<円皮鍼>左陥谷、左外陥谷、左地五会、右脾俞

レスキュー使用回数：2.5ml/h 8回、(鍼灸治療後：3回)

7月17日

10:00 今日はおしっこだけ。便は出ていない。朝ゼリーを1個食べた。

16:30 鍼灸治療 14 診目
今はNRS=2~3くらい。ちょっと痛いかなってくらい。以前トイレが3回だったのが最近では1回に。でもその分ゆっくりに眠れるようになりました。本日まで便もガスもない。

脈診：肝渋、脾腎微弦、細

舌診：淡白、胖大、嫩舌、瘀斑

触診：足背浮腫、深部冷えあり。足三里緊張、左三陰交深部緊張、太溪表面軟弱、陥谷・外陥谷・地五会軟弱(R<L)

治療部位

<毫鍼>左足三里、左三陰交、太溪、左太衝、左陥谷、左外陥谷、左地五会

<円皮鍼>右太溪、左三陰交、左陥谷、左外陥谷、左侠溪

16:30 本日は排便ないが、張った感じはありません

20:00 鍼は気持ちいいし、してもらってよかった。

レスキュー使用回数：2.5ml/h 7回、(鍼灸治療後3回)

7月18日

8:00 ご飯始まるから楽しみなんです。

14:30 味あるもの食べられてうれしい。調子よい。調子よいと外出や外泊もしたいなって欲が出てきます。

16:30 鍼灸治療 15 診目

今日は調子良いです。ゼリー食べてもムカつかないです。お腹動いたら以前は痛かったけど、今は痛くない。

脈診：腎弦

舌診：淡白、薄白苔、胖大、嫩舌

触診：左足三里緊張、右太溪表面軟弱深部緊張、
右太溪軟弱、右脾俞緊張圧痛

治療部位

<毫鍼>左足三里、右外関、右太溪、左太白、右太衝

<円皮鍼>右脾俞

19:30 今日は調子いいです。朝1回だけ、レスキューした。

レスキュー使用回数：2.5ml/h 3回

(鍼灸治療後2回 予防的に)

7月19日

9:00 フェンタニル1日2セットが最大で継続している。

15:30 鍼灸治療 16 診目

深夜に排便あり。張りも痛みもない。

脈診：腎弦、肝虚

触診：足背浮腫、左足三里緊張、右外関緊張、太溪表面軟弱、
左太衝発汗

治療部位

<毫鍼>左足三里太溪、左太衝、右外関

<円皮鍼>右脾俞、太溪

レスキュー使用回数 2.5ml 6回、(予防的に2回使用)

7月20日

8:30 おにぎりは硬くて、怖かったので食べていません。

レスキュー使用回数：2.5ml/h 5回、(17:00~2回)

7月21日

8:00 五分粥より三分粥がいい。今のところ大きな悪化はない。

12:00 レスキューしてもらおうかな？今は痛み1~2くらい。完全にゼロになることはないけど、最近痛みが少し楽になってきた。

21:00 下腹部の術創部から1~2mm程度の穴があり、便汁の様なものあり。

レスキュー使用回数：2.5ml/h 9回、(17:00~2回)

7月22日

3:00 パウチ内に便汁あり。腹痛はあるが激痛というほどの苦痛表情はない。

17:30 ムンテラ：癌を治療できる状態でもなければ、手術など治療で改善できる状況でもない。

レスキュー使用回数：2.5ml/h 8回、(17:00~1回)

7月23日

11:00 なかなか眠りにくいです。痛みとか、気持ち悪さはそんなにないです。

17:30 鍼灸治療 17 診目

今日は調子いいですね…。

脈診：脾滑、肝腎無力

舌診：淡白、胖大、嫩舌

触診：右太衝緊張、太溪硬結圧痛、後溪緊張、右手浮腫

治療部位

<毫鍼>右太衝、太溪、左豊隆

<鍍鍼>後溪

<円皮鍼>行間、内庭、右外関

21:30 詰まったりしないかな？

【妻】気持ちがいづ沈むみたいで、泣く回数も増

えた

レスキュー使用回数：2.5ml/h 4回、(鍼灸治療後：1回)

7月24日

15:00 裂孔 13×10mm。臍下部の正中創痕に位置。腸液あり。

16:00 ショックです。臍下に0.5×0.5mm、0.7×0.6mmの孔あり

16:30 鍼灸治療 18診目

痛いところ…うーん、痛くないけど…ふふ。張った感

じない。

脈診：脾滑、腎弦

舌診：淡白、胖大、嫩舌

触診：左上巨虚緊張、左太溪緊張硬結、左中封細絡、右公孫緊張、下腿冷え

治療部位

<毫鍼>左上巨虚、左太溪、左中封、右公孫

<e-Q>足三里、三陰交、太溪

17:00 家族から先に亡くなることで、輪からはじかれる疎外感。周りに迷惑や、臭いで嫌われていると不安といった状態。

レスキュー使用回数：2.5ml/h 5回、(鍼灸治療後：2回)

7月25日

7:30 今週は絶食で炎症の悪化も認めない。

17:30 鍼灸治療 19診目

鍼は気持ちいい。

治療中時折笑みを浮かべるが弱々しい。

脈診：脾・腎無力、弦

治療部位

<毫鍼>左足三里、左太溪、行間

<円皮鍼>陥谷、外陥谷、右行間、左神門、右外関

レスキュー使用回数：6回、(鍼灸治療後 1回)

7月26日

9:00 今は痛みある。

16:00 妻だけでなく本人も入院中のストレスや妻に対して気を使っていることなど思いを言葉にする。しかし、涙を流すことも表情が暗くなることはない。

17:00 鍼灸治療 20診目

【本人】鍼灸は…気持ちいい…【妻】寝とったでしょ？

【本人】うん。気持ちいいからウトウトしてしまう

脈診：腎無力

触診：左足三里表面緊張、豊隆緊張、右太衝表面緊張、右行間軟弱 圧痛、左三陰交緊張

治療部位

<毫鍼>左三陰交、左太溪、右太衝、右公孫、左足三里、左豊隆

<円皮鍼>右行間、太溪

レスキュー使用回数：2.5mg/h 7回、(鍼灸治療後：2回)

7月27日

15:30 パウチの不安あるもペインコントロール良好。

穏やかに経過している。

レスキュー使用回数：2.5ml/h 5回、(17:00～ 1回)

7月28日

18:25 今日も1個モモを食べたんですよ。

レスキュー使用回数：2.5ml/h 7回

7月29日

3:17 足が酷く浮腫みだして、冷えてるのかな？鍼灸はしうと楽なんです。気持ちよくて眠ってしまうくらい。

レスキュー使用回数：2.5ml/h 8回

7月30日

10:00 経口接種後に痛み増強したり、腹部膨満感なく経過する。

17:30 鍼灸治療 21診目

足の浮腫みなのですが、金曜に鍼灸してもらってマシになったのに土曜から月曜にかけて徐々に戻ってしまいます。

脈診：胃弦

排尿：昼2回、夜間1回

治療部位

<毫鍼>左公孫、太溪、膝関、右期門

<鍍鍼>八風穴、湧泉

<円皮鍼>八風穴、右脾俞

レスキュー使用回数：2.5ml/h 5回

7月31日

15:00 腹痛訴えるが早送り後に排便少量あり。

17:00 鍼灸治療 22 診目
あ、ちょうど、そろそろ鍼灸かなって話していたところ
です。
足浴を寝る前にしてもらってるんですけど。足の冷たさは
どうですか？（昨日よりいいですよ）よかった～。
脈診：脾・腎弦
治療部位
<毫鍼>左足三里、左三陰交、右太溪、陷谷、外陷谷、
地五会
レスキュー使用回数：2.5ml/h 5回

8月1日
17:30 鍼灸治療 23 診目
左浮腫軽減しているが、右は変化なし。
脈診：脾弦、腎微弦、肝無力
治療部位
<毫鍼>右太溪、膝関、八風穴、左足三里、三陰交
<鍔鍼>右外関
<円皮鍼>八風穴、右膝関
レスキュー使用回数：2.5ml/h 3回

8月2日
9:30 フェンタニルからフェントステープ 8mg
オキシコドン塩酸塩水和物散 10mg に変更
17:30 鍼灸治療 24 診目
また（足が）腫れてきたね
脈診：脾滑、腎弦
舌診：暗淡白、胖大、嫩舌、舌裏白
治療部位
<毫鍼>陷谷、外陷谷、地五会、左足三里、陰陵泉、右太溪、
右足三里
<円皮鍼>右陷谷、右外陷谷、右太衝、右侠溪、右陰陵泉
レスキュー使用回数：2.5ml/h 0回

8月3日
14:30 昼食後に復痛あり
レスキュー使用回数：10mg×3回、20mg×2回

8月4日
4:30 こんな痛みなかったけど、頭の方まで痛くなった。
4:30 より腹部、両大腿部、腰、肩、頭にかけて痛みの増
強あり。
レスキュー使用回数：10mg×2回、20mg×4回

8月5日 レスキュー使用回数：20mg×5回、30mg×1回
8月6日
17:30 鍼灸治療 25 診目

浮腫を気にされている
脈診：肝・腎無力、胃滑
治療部位
<毫鍼>左曲泉、左陰谷、左上巨虚、右八風穴、右外関
<円皮鍼>外関、三陰交

20:00 フェントステープ 10mg に増量
レスキュー使用回数：30mg×3回

8月7日
17:00 鍼灸治療 26 診目
点滴がなくなったから、浮腫みがマシになってきて
いる。 スリッパも履きやすい。
脈診：脾滑、腎弦
治療部位
<毫鍼>曲泉、膝関、左三陰交、右八風穴
<円皮鍼>右脾俞、右太溪、
レスキュー使用回数：30mg×3回

8月8日
9:30 よかった事は食べれるようになったのと点滴が取
れたこと。
17:00 鍼灸治療 27 診目
今日は足を温めておきました。
脈診：脾滑、腎弦
治療部位
<毫鍼>右上巨虚、右太溪、右三陰交、右八風穴、右太溪
<円皮鍼>右八風穴、右大都
レスキュー使用回数：30mg×5回

8月9日
15:00 今日は鍼の先生が来てくれるんです。
気持ちいい。もっとして欲しいくらい。
16:00 鍼灸治療 28 診目
浮腫は温めても変わらなかったから、今日は温めて
ません
脈診：脾滑、腎弦
治療部位
<毫鍼>右外関、右足三里、左膝関、右三陰交左太溪、右八風穴
<円皮鍼>右八風穴
レスキュー使用回数：30mg×5回

8月10日 レスキュー使用回数：30mg×6回
8月11日
20:00 予防的に使用。夜は予防的に使用している。回数が
増える
レスキュー使用回数：30mg×8回

8月12日
21:00 点滴ないとやっぱり不安ですね。
レスキュー使用回数：30mg×5回

8月13日
17:30 昨日と比べ青白い印象。低カリウムにより点滴する。
17:35 鍼灸治療 29 診目
うん。気持ちい...
脈診：脾渋、肝腎弦
治療部位
<毫鍼>右膝関、太溪、左三陰交
<鍬鍼>八風穴
<円皮鍼>太溪、右大都、左太衝
レスキュー使用回数：30mg×6回

8月14日
17:30 鍼灸治療 30 診目
【妻】昨日の夕方は足が痛かったみたいですけど、今日は そうでもないね。【本人】うん。痛いって感じはない
脈診：腎無力、虚
治療部位
<毫鍼>右外関、右三陰交、復溜、右膝関、右八風穴
<円皮鍼>太溪、右外関、右八風穴、右脾俞
レスキュー使用回数：30mg×6回

8月15日
7:30 一昨日より昨日、昨日より今日と少しずつシャッキリとします。
18:00 鍼灸治療 31 診目
主治医に言えなかったけど、右足がパンパンに痛い。
治療部位
<毫鍼>右膝関、右太溪、右三陰交
<円皮鍼>右漏谷、右圧痛部
レスキュー使用回数：30mg×6回

8月16日
15:30 鍼灸治療 32 診目
ん...痛いね。触れた時と、体重かかると痛い。
脈診：肝渋、腎無力、細
治療部位
<毫鍼>右足三里、太溪、膝関、右三陰交、右八風穴
<円皮鍼>太溪、右三陰交、右外関、右脾俞
レスキュー使用回数：30mg×6回

8月17日
9:30 右下腿に痛みあり。歩行できない。

20:00 血栓の可能性ありと説明する。
レスキュー使用回数：30mg×4回

8月18日
3:00 2:30 くらいから屬される。血栓の可能性を聞いてから気落ちしている。
レスキュー使用回数：30mg×5回

8月19日
21:30 下腿痛は継続しているが、軽減することもあり。
レスキュー使用回数：30mg×3回

8月20日
17:30 鍼灸治療 33 診目
声かけするも入眠。
治療部位
<毫鍼>左膝関、左三陰交、右公孫、右内庭、右外内庭、右侠溪
<円皮鍼>太溪
レスキュー使用回数：30mg×2回

8月21日
15:00 室内トイレで、排尿しだすと疼痛が増強
19:00 鍼灸治療 34 診目
今日はお腹痛かった。トイレに行くとギューっと痛かった。
脈診：脾渋、腎無力、細
治療部位
<毫鍼>右外関、左三陰交、右太溪、右太白、右八風穴
<円皮鍼>太溪、左行間、左三陰交
レスキュー使用回数：サロト[®]塩酸塩水和物散 30mg×3回
フェンタニル 2.1ml/h 7回

8月22日
18:30 鍼灸治療 35 診目
下腿の痛み軽減傾向。鍼灸治療と同時に入眠。
膝下～足背まで浮腫はやや軽快、足背浮腫は悪化
治療部位
<毫鍼>膝関、右太衝、右太溪、左三陰交
レスキュー使用回数：フェンタニル 2.1ml/h 11回

8月23日
1:30 トイレで転倒
8:00 何もかもいやだ。こんなんやったら早く楽になりたい。
17:00 鍼灸治療 36 診目
...トイレで転んでしまった。
脈診：虚、細、無力

触診：身体全体冷えが強い

治療部位

<毫鍼>右膝関

<e-Q>陽池、太溪、右太衝、陥谷、外陥谷、地五会

<円皮鍼>右照海

17：30 食事中、笑顔がみられる

レスキュー使用回数：フェンタニル 2.1ml/h×10回

フェンタニル 3.0ml/h×5回

8月24日

12：30 食べたからお腹が痛くなりました

レスキュー使用回数：フェンタニル 3.0ml/h×8回

8月25日

レスキュー使用回数：フェンタニル 3.0ml/h×7回

フェンタニル 3.5ml/h×7回

8月26日

3：30 効いてないわけではない...

11：00 いつもゼリーも全部食べるけど、今日は胸が詰まる
感じで、食べれませんでした。

レスキュー使用回数：フェンタニル 3.5ml/h×10回

フェンタニル 4.0ml/h×11回

8月27日

12：00 ドルミカム開始

17：30

脈診：散、132回/分

治療部位

<鍹鍼>太溪、公孫、脾・腎経、八風穴

8月28日 著変なし

8月29日 逝去

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価
評価とれる状況ではなかった。
- 患者コメント
3診目：鍼？ちょっと怖かったけど、もう少し、早くにお願いしたらよかったかな。チクツとするけど気持ちいい。足の痛み特に効いていると思う。
9診目：今まではかなり早送りの回数多かったが、この頃減少。
14診目：鍼は気持ちいいし、してもらってよかった。
- 家族コメント
5診目後：鍼をしてもらっている間は楽そうでしたが、そ

れもしばらくだけで。

- 医師・看護師・医療スタッフの印象
鍼灸治療を受けている間だけ、楽そうな表情している印象があり

【総括】

本症例は虫垂癌による癌性疼痛に対して鍼灸治療を行った。鍼灸治療介入前の状態では、苦痛表情を見せることが多かったが、鍼灸治療中～1時間程度の短い間は気持ちよさそうに表情も穏やかになり、時折笑顔を見せながら会話をする様子が見られた。

患者コメントから「鍼灸治療は気持ちがいい」とターミナル中期～後期でも鍼灸治療を希望されていたこと、また、鍼灸治療持続効果はあまり望めなかったが、短い時間であっても患者の苦痛が消失していたことから右大腿部痛および腹痛に対しての鍼灸治療効果は有効だったと考えられた。

【患者】67歳、男性

【既往歴】胃潰瘍（胃部分切除）

【病態】再発なし

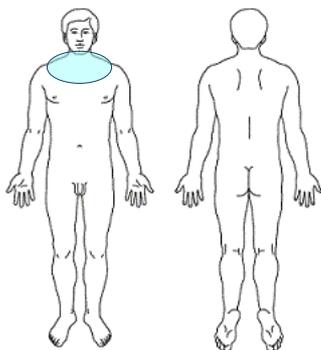
【ターミナル期】なし

【現病歴】

X年4月、作業中に2mの高さから転落。

腰を強打し、両下腿のしびれがあったため、本院整形外科に入院となった。

入院後、嘔気・ムカつき症状が出現し、食欲低下となった。内服にてムカつき止めを処方するが、「効果がない」とのこと。胃カメラ等の検査を行うが、器質的原因が見つからないため、内科医より鍼灸治療介入の依頼があった。



【服薬状況】

メトクロプラミド

プレガバリン

ロフラゼブ酸エチル

【鍼灸治療目的】

服薬するが症状緩和が認められない嘔気、ムカつきに対して依頼された。

【東洋医学的所見】

脈診：胃滑、腎無力。触診：胸脇苦満（R<L）、臍周囲ソフト、下腹部軟弱、左足三里緊張、太溪硬結（R<L）、左足陽明経熱感。望診：皮膚黒く（太溪に色素沈着あり）・剥落あり（足の指、踝周囲など）。嘔気あり。

【弁証】肝胃不和

【鍼灸介入期間】8日間

【鍼灸治療回数】4回/週、6回

【転帰】退院

【鍼灸治療最終日～転帰】1日間

【評価】評価説明するが理解が得られなかったため、医療スタッフによる印象評価をカルテから抜粋し、評価とした。

【鍼灸治療最終評価】

1)嘔気：著効

【治療経過】

17:00 今日ムカムカする。

朝からの嘔気継続にて水以外は摂取していない。

18:30 リハビリは順調らしいけど吐いた時凄くしんどい。

とにかくこのムカつきをどうにかしてくれ。

6月28日

14:00 今日はすごく気分が悪い吐いたし薬の量がふえた。

17:30 鍼灸治療1診目

ゲップもでるし、ムカつきも…。会話中嘔気あり

脈診：胃滑、腎無力

触診：胸脇苦満（R<L）、臍周囲ソフト、下腹部軟弱、左足三里緊張、太溪硬結（R<L）、左足陽明経熱感

望診：皮膚黒く（太溪に色素沈着あり）・剥落あり（足の指、踝周囲 など）

治療部位

<毫鍼>左足三里、左太溪

<鍹鍼>行間、内庭、外内庭、俠溪

19:00 ムカムカしとると、言われるが、嘔吐はない様子

6月29日

15:30 シュークリーム1個とアラレを少し食べた。

20:00 夕食半分程度摂取できており、嘔気軽減している。

6月30日

15:00 14時の昼食摂取後、訪室するも嘔気なく経過。

20:30 ムカムカして。あかんわ。嘔気継続にて夕食摂取できず。

7月1日

13:00 朝は調子いいけど、夜はあかん

7月2日

13:00 メトクロプラミド飲んでも変わらん。リハビリ室まで行くのは早いけど、売店のところで「ここまでが限界や！」と病室に戻られようとする。

17:30 鍼灸治療2診目

あんまり変わってないかなあ

脈診：脾微弦、肝無力、腎無力

舌診：紅、中央白黄膩苔、胖大、嫩舌

触診：右内関圧痛、左気戸圧痛、右足三里緊張圧痛、太溪緊張圧痛

治療部位

<毫鍼>左気戸、右足三里、右内関、右太溪

7月3日

10:30 ムカつき、気持ち悪さはない

17:30 鍼灸治療 3 診目

ゲップもムカつきも前より減ってきた。うん。

脈診：脾滑、腎無力、肝無力

舌診：紅、舌尖紅、白膩苔

触診：右公孫緊張、太溪軟弱陥凹、足三里緊張 (R<L)

治療部位

<毫鍼>左内関、左足三里、太溪、左気戸

<毫鍼による接触鍼>右公孫

7月4日

9:00 朝食の粥 7 割摂取可能

17:30 鍼灸治療 4 診目

もう、ゲップも、吐き気もないです。今日ね、ご飯食べれました。

脈診：脾滑、腎無力

治療部位

<毫鍼>右足三里、太溪、右公孫

<円皮鍼>右足三里、太溪、左気戸

7月5日

11:00 鍼してもらってから、吐き気もゲップもなくなった。

ここ 2~3 日楽になって。何か食べたい気分。レストラン連れて行って。

15:30 ほとんど食べた。エビフライと大根のやつ、カレーも食べれたわ

18:00 鍼灸治療 5 診目

今日、レストラン行って食べてこられたし、ゲップもムカつきもないで。

脈診：脾滑、腎無力

舌診：紅舌、白膩苔 (舌中)、舌下静脈怒張

触診：太溪軟弱・陥凹、足三里の緊張が緩和している。

治療部位

<毫鍼>右三陰交、左太溪

<鍍鍼>行間、<留置鍼>右外関、太溪

7月6日

10:00 昨日レストラン行ってきた。嘔気、嘔吐はない。

15:30 今日フラワーとする。眠い。座っていても後ろに倒れそう。

7月7日

11:30 今日があかんわ。だるいわ。今日は夜も食べれそうにないです。

本日からプレガバリン、ロフラゼブ酸エチル中止す

る。

21:00 昨日はしんどかった。一昨日は調子よかったからたくさん食べれて、この調子だったら大丈夫と思っていたのだけど昨日みたいになると思うと怖くていけない。

7月8日

16:30 朝こけたんや。びっくりした。足は痛いことはない。

ベッドで寝てたら大丈夫。ムカムカすることはないけど、しんどい。

7月9日

18:00 鍼灸治療 6 診目

金曜(7月5日)の反動で、土日にしんどくなって、それから食べられない。もう、怖くて食事したくない。嘔気はない。

脈診：腎弦、脾無力・微弦

触診：右公孫緊張、右外関緊張

治療部位

<毫鍼>太溪、右公孫、右外関、右三陰交

<円皮鍼>左気戸、太溪、右公孫

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価
説明するも「難しい」とのことで、VAS/NRS 評価は使用しない
- 患者コメント
3 診目：ゲップもムカつきも前より減ってきた。
4 診目：
*もう、ゲップも、吐き気もないです。今日ね、ご飯食べれた。
*鍼してもらってから、吐き気もゲップもなくなった。ここ 2~3 日楽になって。何か食べたい気分。レストラン連れて行って。
*ほとんど食べた。エビフライと大根のやつ、カレーも食べた
5 診目：今日、レストラン行って食べてこられたし、ゲップもムカつきもないで。
- 家族コメント
特記なし
- 医師・看護師・医療スタッフの印象
1 診後：夕食半分程度摂取できており、嘔気軽減しているよう。

1 診 + 1 日 : 14 時の昼食摂取後、訪室時、嘔気なく過ごしている。

【総括】

1 診目後より食事の 5 割摂取するも、嘔気および嘔気は軽快傾向であった。4 診目後には完全に症状が消失したことで、レストランに行き、海老フライ、カレーを摂取できるほどまでいった。しかし、急に大量に摂取したことにより、2 日後より強い嘔気と倦怠感を訴える。続けて、転倒するなど加わり、精神的に食事に対する恐怖を抱くなるようになってしまった。今回、嘔気に対しては鍼灸治療は有効であったが、症状改善したと言って、胃に負担になるものを食べないように患者指導も必要であった症例であったと考える。

20130010(N0.60)

【患者】84 歳、男性

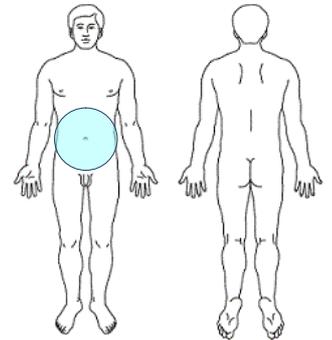
【既往歴】心筋梗塞、慢性心不全、糖尿病、冠状動脈バイパス術後、気管支喘息、肺炎治療後

【病態】膵癌

【ターミナル期】ターミナル前期

【現病歴】

膵癌にて消化器内科で 2012/11/15 より、化学療法開始 (GEM 単剤、2 投 1 休) X 年 6 月から GEM13 コース終了。その後、肺炎を発症したため 4 月末~5 月まで入院に至った。今回、腹水出現 (腹膜播種?)、食欲低下、倦怠感著明、低栄養状態にて、全身状態悪化傾向であった。しかし、化学療法時のステロイドの影響か、一時的楽になるという事で治療を継続していた。6 月末から便秘、食欲低下、倦怠感、呼吸困難あり、緊急搬送となった。



【服薬状況】

アセトアミノフェン、センノシド、フェンタニルクエン酸塩

【鍼灸治療目的】

排便コントロールおよび腹膜播種による癌性疼痛に対して依頼された。

【東洋医学的所見】

胸脇苦満、両足陽明経緊張、腎経軟弱、軽度認知症あり。

脈診：腎無力、脾滑。足背冷え・浮腫

【弁証】肝脾不和、腎陽虚、気滞・血瘀

【鍼灸介入期間】14 日間

【鍼灸治療回数】4 回/週、7 回

【転帰】中止 (のちに逝去)

【鍼灸最終日~転帰】47 日間

【評価】評価説明するが理解が得られなかったため、医療スタッフによる印象評価をカルテから抜粋し、評価とした。

【鍼灸治療最終評価】

1) 整腸：有効

2) 腹痛：有効

【治療経過】

7月4日
4:30 腹痛 NRS=3~4。アセトアミノフェン1錠使用。
17:30 鍼灸治療1診目
目的:排便コントロール
ズーンとして気持ちいい。これなら続けられそう。

脈診:腎無力、脾滑

触診:足背冷え・浮腫

治療部位

<毫鍼>右足三里、太溪、右外関

<円皮鍼>右外関

21:00 下痢しとる。センノシドスキップする。

7月5日

16:00 便は大丈夫や。1回しか出てない。

17:00 鍼灸治療2診目

鍼してから調子ええように思う。分離している感じがする。この辺(腹部)がグシャグシャなっとるんや、その痛みが分離しとる感じがする。(痛みが薄くなった感じなんですか?) そうや。痛みが薄くなった感じ。

脈診:腎・脾弦

舌診:紅舌、瘀点、舌尖紅、舌下静脈怒張

触診:右足三里緊張、右外関深部硬結

治療部位

<毫鍼>右足三里、右外関、太溪、左三陰交

<円皮鍼>太溪、右外関

20:00 鍼してもらってから調子ええ。便は固まってきた。

レスキュー使用回数:0回

7月6日

19:30 痛くないけど、痛くなったらかんし飲んどく。

23:00 今日は鍼ないんか?夜に来てくれたんや。言動注意。

レスキュー使用回数:2回

7月7日

11:30 便の調子が悪いんや。軟便続いていることに不安

レスキュー使用回数:1回

7月8日

14:00 腹がしんどい。痛みもある。腹部の張りを訴える。

(NRS=8)

レスキュー使用回数:1回

7月9日

13:00 素麺食べ始めたら、痛くなり始めて(NRS=5)今はもっと痛くなった(NRS=7)。

17:30 鍼灸治療3診目

何やちょっと日曜からお腹の調子がえらかったん

や。

脈診:脾・腎弦、腎無力

触診:足背浮腫。左地五会圧痛、左内関緊張

治療部位

<毫鍼>左復溜、右三陰交、右行間、左地五会、左内関

<円皮鍼>太溪、右行間

<e-Q>足三里、太溪

レスキュー使用回数:1回

7月10日

17:30 鍼灸治療4診目

排便の話をする、「そんなことはええやないか」と話を逸らされる。

脈診:脾滑、腎微弦、細

触診:足三里緊張(R>L)圧痛(R<L)

治療部位

<毫鍼>足三里、左復溜

<円皮鍼>右内庭、右外内庭、右侠溪、左太溪

レスキュー使用回数:2回

7月11日

16:00 あーしんどい。色々言われるとしんどい。

16:30 鍼灸治療5診目

薬飲んだ後やけど、また(鍼は)違う感じやな。

脈診:肝・腎無力、脾洪

触診:胃経緊張、太溪軟弱、右太衝軟弱、胸脇部緊張。

治療部位

<毫鍼>足三里、右太衝、右太溪、右三陰交

<鍍鍼>腹部

18:00 オキシコドン塩酸塩水和物散 5mg

フェンタニルクエン酸塩 2mg に UP

レスキュー使用回数:2回

7月12日

14:00 今日は痛みないし、気持ちええ。

17:00 鍼灸治療6診目

今は痛みない。

脈診:腎無力、脾弦

触診:足三里緊張、足背浮腫軽減

治療部位

<毫鍼>足三里

<鍍鍼>腹部

レスキュー使用回数:1回

7月13日 レスキュー使用回数:0回

7月14日 レスキュー使用回数:0回

7月15日
 8:30 痛いから痛み止めをもってきてくれ！！
 レスキュー使用回数：2回
 7月16日
 10:00 便は出とらん、でもこれでいいんや！！
 17:30 鍼灸治療7診目
 もうええんと違う？（何がですか？）もう1週間も
 鍼しと るし、もう終わりにしてもらってもええんちゃ
 う！？イラ イラした様子が見受けられる。

脈診：脾洪

治療部位

<毫鍼>右足三里、左太溪、右外関

患者希望により、鍼灸治療介入終了とする

7月17日
 11:00 自然排便あり
 7月18日
 13:00 疼痛の訴えはない
 7月19日
 9:00 だんだん痛くなる。腹痛の訴えあり
 レスキュー使用回数：1回
 7月20日
 12:00 疼痛の訴えあり
 レスキュー使用回数：1回
 7月21日
 10:30 シワシワ痛くなる。今は痛くないけど…。
 レスキュー使用回数：3回

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価
 認知症もあり、VAS、NRS、FS の説明をするも理解得られな
 かったため、患者コメントおよびレスキュー使用回数から
 評価する。
- 患者コメント
 2診目：鍼してから調子ええように思う。分離している感
 じがする。この辺（腹部）がグシャグシャなるとるんや、
 その痛みが分離しとる感じがする。（痛みが薄くなった感じ
 なんですか？）そうや。痛みが薄くなった感じ。
- 家族コメント 特記なし
- 医師・看護師・医療スタッフの印象 特記なし

【総括】

本症例は排便コントロールのため、鍼治療介入した。介入前、
 便がでない場合は下剤服薬させていたが、介入後からは服薬なく、
 普通便～軟便にて排便コントロールできたことから、有効と診断
 した。それ以外には、腹膜播種に伴う、癌性疼痛が緩和されたこ
 とから腹膜播種による痛みに対し、有効であると言える。長期入
 院によるストレスによる影響か、認知症悪化によるものか不明で
 はあるが、攻撃的な強い口調にて鍼灸治療の終了を希望されたた
 め、中止となった。

20130011(NO.61)

【患者】67歳、男性

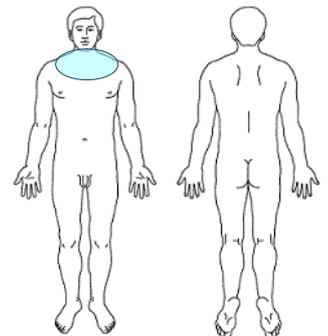
【既往歴】胃潰瘍 3/4 切除

【病態】食欲不振

【ターミナル期】特記なし

【現病歴】

X年4月末、作業中に2mの高さから転落。
 腰を強打。両下腿のしびれがあり、本院整形外科に入院となった。
 入院後、嘔気・ムカつき症状が出現し、食欲低下となった。
 内服にてムカつき止めを出すも、「効果ない」と。胃カメラ等
 を行うも、器質的原因が見つからないため、内科医より鍼灸治療
 介入の依頼があった。6月28日～7月5日まで嘔気に対して治療
 を行っていた。嘔気は改善し、食べ過ぎによる嘔気に伴い、食欲
 低下が認められたため治療目的を
 変更した。



【服薬状況】

服薬なし

【鍼灸治療目的】

精神的緩和（イライラ）を目的に継続依頼された。

【東洋医学的所見】

るいそう。脈診：脾滑、肝・腎無力、舌診：紅舌、舌尖紅、白
 苔（舌中のみ膩苔）。右公孫緊張、左太溪軟弱、右内関緊張圧痛、
 左太衝軟弱。

【弁証】肝脾不和、腎気虚

【鍼灸介入期間】52日間

【鍼灸治療回数】4回/週、23回

【転帰】退院

【鍼灸治療最終日～転帰】1日間

【評価】評価説明するが理解が得られなかったため、医療スタッフによる印象評価をカルテから抜粋し、評価とした。

【鍼灸治療最終評価】

1)食欲増進(精神的不安感):やや有効

【治療経過】

7月10日

13:30 嘔気は消失しているが食思は全くない。朝・昼ともに摂取されず。

17:00 鍼灸治療1診目
食べたいという気にもならん。お腹もすかない。
夜も眠れていない。

脈診:脾滑、肝・腎無力

舌診:紅舌、舌尖紅、白苔(舌中のみ膩苔)

触診:右公孫緊張、左太溪軟弱、右内関緊張圧痛、左太衝軟弱。

治療部位

<毫鍼>右公孫、左太溪、右三陰交、右内関、左太衝

<円皮鍼>左太溪、右内関、左気戸、右三陰交

7月11日

10:00 食思なく、クッキー、キャラメルを食べている。
嘔気はない。

17:00 鍼灸治療2診目
いつもの事。食べたいと思わない。お風呂にはいったらちよっと疲れた。

脈診:腎無力、脾微弦

触診:左足三里表面軟弱・深部緊張、右公孫緊張、左気戸圧痛

治療部位

<毫鍼>左足三里、右公孫、右三陰交

<円皮鍼>陽池、左気戸、右三陰交

7月12日

10:00 クッキー一枚だけ食べれた。
15:00 うどんの汁がまずい。食べたらムカムカする。2口食べた。

17:30 鍼灸治療3診目
何でも食べたいが食べられない。アイスは好き。

脈診:腎・肝虚、脾やや洪

触診:左内関軟弱、左足三里緊張

治療部位

<毫鍼>左足三里、太溪、右合谷、左外関

<鍍鍼>右公孫

<円皮鍼>左気戸、左内関

7月13日

12:00 嘔吐しているというが、ガーグルベース使用している様子はない。吐くことを恐れて食べていない?

7月14日

15:00 吸水を勧めたところ、「飲んだ」と言われ飲んだ形跡はない。

7月15日

12:00 3日間眠れていないと訴える。

7月16日

15:30 食事してもらうため、スタッフ1時間監視する。

17:30 鍼灸治療4診目
昨日から監視付きってかなんわー。お風呂にはいるうかどうしようか悩んだ時にムカムカしたくらい。嘔気なし。

脈診:脾弦、腎無力・微弦

触診:左気戸圧痛、右足三里表面緊張軟弱、太溪表面軟弱深部硬結、右公孫緊張

治療部位

<毫鍼>左外関、右足三里、太溪

<鍍鍼>右公孫

<円皮鍼>左気戸、太溪、右足三里、右内関

19:30 お粥10口食べる。

7月17日

17:00 鍼灸治療5診目
ムカつきはない。夜は眠れていない。昼はウトウトしているくらいで寝ていないと言われるが、夕方、訪室すると入眠している。

脈診:細、沈、脾腎弦

舌診:紅舌、舌下静脈怒張、舌尖紅

触診:右足三里緊張、右公孫緊張、太溪陥凹、右外関緊張、冷えあり。

治療部位

<毫鍼>右外関、右足三里、右公孫

<e-Q>足三里、太溪、三陰交、外関

21:00 排便なし。排ガスあり。お腹が張ってえらい。

7月18日

13:30 全てについて、やるきなし。入浴一連動作は全て自立であり安定している。

17:30 鍼灸治療6診目

昨夜のカルテ記載に「お腹が張ってえらい」とあり、確認すると、昨日お腹張った感じないと。昨夜は少し眠れ、食後のムカつきもなし。

脈診：無力、脾弦、腎微弦、細

触診：右足三里緊張、右外関緊張、右公孫緊張、足の冷えは昨日より軽減

治療部位

<毫鍼>右外関、右上巨虚

<e-Q>左太衝、足三里、公孫、外関

7月19日

15:00 トイレ後のお尻を拭くことも、看護師を呼ぶようになる。自分でできることも他人に依存してきている。

15:30 鍼灸治療7診目

冷えは軽減。食事もクッキー、キャラメルは摂取できたがそれ以外はできず。夜間は少し眠れた。

脈診：腎・肝無力、細、脾滑

触診：下腿冷え改善。右神門軟弱、右公孫表面緊張

治療部位

<毫鍼>右神門、右公孫

<e-Q>太溪、足三里

<円皮鍼>右神門、太溪

7月20日

18:00 嘔気があり、しんどさもあるだろうが、食事を10口食べるという事も守れていない。

7月21日

12:00 10口食べた後、もう一口と勧めると沈黙

7月22日

16:30 今後摂取増量に向けて10~15口にできないかときいても返事なし。

7月23日

17:30 鍼灸治療8診目

同じくらいだけど、食事は少し増えたと思う。

脈診：脾微弦、腎無力

舌診：紅舌、胖大、舌中乾燥、厚苔

触診：内関圧痛

治療部位

<毫鍼>右公孫、左内関

<e-Q>足三里、陰陵泉

<鍚鍼>右太溪

<円皮鍼>太溪

7月24日

12:00 粥10口から15口に。補助食のジュース。バナナも

摂取している。無理強いすると臍を曲げるのではない。

16:30 鍼灸治療9診目

今日はずっとムカムカしてゲップでる。しんどい。

治療中は1回も嘔気なし。

脈診：虚、脾弦、腎無力

触診：右足三里緊張圧痛、右公孫緊張、左気戸軟弱圧痛

治療部位

<毫鍼>右外関、右足三里、右三陰交、左行間

<鍚鍼>右公孫、太溪

<円皮鍼>左気戸、左行間

7月25日

17:30 鍼灸治療10診目

ゲップがあるないに関わらず食事できない。昨日よりはマシな気がする。

脈診：脾滑、腎弦

治療部位

<毫鍼>左気戸、足三里、右太溪、右公孫

<円皮鍼>左気戸、左陥谷、左外陥谷、右内関

7月26日

16:30 鍼灸治療11診目

訪室時、3回嘔気あり、治療中は1回もない。

脈診：腎弦、脾滑

触診：足三里緊張、左太衝、右太溪軟弱、右公孫緊張

治療部位

<毫鍼>足三里、左太衝

<鍚鍼>右公孫

<円皮鍼>左太溪、左行間、右外関

7月27日

16:00 吐いたというが、ガーグルベース使用した形跡はなし。

7月28日

10:00 リハビリでは何も持たずに歩けるが、何故か病棟では車いす移動している。

7月29日

19:00 口にに入れて吐くといった行動を繰り返している。

7月30日

12:00 不満を大きい声で言いながら、粥を8割摂取する。

17:00 鍼灸治療12診目

かわらん。

脈診：胃・腎弦

触診：右不容圧痛、右気戸圧痛

治療部位

<毫鍼>右気戸、右不容、右足三里、左復溜
<円皮鍼>右衝陽、右不容
7月31日
11:00 鍼灸師には看護師に言えない事を言っている。
17:00 鍼灸治療 13 診目
かわらん。(お通じどうですか?)昨日か一昨日くらいに 出 たんと違う?
脈診:腎無力、脾弦
触診:右足三里緊張、右公孫緊張
治療部位
<毫鍼>右太衝、右公孫
8月1日
17:00 鍼灸治療 14 診目
あ、うん。あんまり変わらん。時折、こちらに視線を向け るが、何か言われるわけではない。
脈診:腎無力、肝弦
触診:左気戸圧痛、左足三里緊張、右太溪軟弱、右侠溪深部緊張
治療部位
<毫鍼>右太溪、右不容、左太衝
<鍚鍼>右公孫
<円皮鍼>左気戸、右侠溪、右不容、左行間
8月2日
18:00 鍼灸治療 15 診目
食事の事になると聞こえないふりをし、それ以外の質問に は「うん」と短い返事やこちらに顔を向ける。
脈診:虚、無力
治療部位
<毫鍼>右足三里、左不容、右外関、太溪
<円皮鍼>太溪、右不容、右外関
8月3日 特に変わりなく過ごされる。
8月4日
19:00 16時~22時まで悪心があると訴える。
8月5日
13:30 吐き気あるも8~9割お粥摂取できる。
8月6日
17:00 鍼灸治療 16 診目
台に八つ橋が置いてあり、1つ無いも「食べてない」と。
脈診:胃弦、脾洪、肝・腎無力
触診:右公孫緊張、右不容圧痛、右気戸圧痛
治療部位

<毫鍼>右気戸、右不容、右太溪、左太衝、右足三里、右公孫
<円皮鍼>右不容、右太溪
8月7日
17:00 鍼灸治療 17 診目
17時頃から嘔気が出てくる。
脈診:脾滑、腎弦
舌診:紅舌、舌尖紅、薄白苔(舌中厚苔)
治療部位
<毫鍼>右太溪、右足三里、右公孫、左太衝
<鍚鍼>胸脇部
8月8日
17:00 鍼灸治療 18 診目
机に3本ジュースあり。毎食後についてきているものだが、 朝昼とあと一本は?と尋ねると沈黙。
脈診:脾やや滑、腎無力
舌診:紅舌、舌尖紅
触診:右不容圧痛
治療部位
<毫鍼>右不容、右膝関、右太溪、右公孫
<鍚鍼>胸脇部
8月9日
16:30 鍼灸治療 19 診目
怠い...全身怠い。
脈診:腎無力、弦、脾やや滑
治療部位
<e-Q>太溪、足三里、太衝、三陰交
<円皮鍼>右不容、右太溪
8月10日
15:30 朝と昼は大丈夫。夕方になると吐くんや。
8月11日 著変なし。
8月12日
13:00 娘と本人に経口摂取では限界ありと判断している。
8月13日
18:00 入眠中のため、鍼灸治療中止
19:00 夜はあかんわ
8月14日
14:00 アルジネート8割摂取
17:00 入眠中のため、鍼灸治療中止
8月15日
18:00 鍼灸治療 20 診目
点滴しとるから1時間おきにトイレ行くやる?しんどいわ。

脈診：腎弦、細

治療部位

<毫鍼>右太溪、右公孫、左足三里

<円皮鍼>右太溪、右公孫

8月16日

14:00 泥状便あり

17:00 下痢のため鍼灸治療中止

8月17日

2:30 排尿、排便できているため、導尿カテーテルを行う

8月18日

12:30 栄養補助食（アルジネート）を摂取

8月19日 著変なく、過ごされている。

8月20日

16:30 入眠中のため、鍼灸治療中止

8月21日

17:00 鍼灸治療 21 診目

ムカつきある

脈診：脾渋、腎無力

治療部位

<毫鍼>右内関、左膝関、左太溪、右足三里、右三陰交

<円皮鍼>左気戸、右不容、左太溪

8月22日

18:00 鍼灸治療 22 診目

おう。ん？嘔気なくテレビを観ている。

脈診：脾・腎弦

触診：四肢冷えあり。足三里緊張、右三陰交深部緊張

治療部位

<毫鍼>足三里、右三陰交

8月23日

14:00 昼は粥4割、栄養補助食（アルジネート）を5割摂取する。

8月24日～25日 著変なし

8月29日

17:00 鍼灸治療 23 診目

明日出ていくしよかったのに。

（最後にさせてもらってもよいですか？）うん。そ

うだね。

脈診：脾滑

触診：胃経緊張

治療部位

<毫鍼>足三里、復溜、右外関

8月30日 退院

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価
評価とれないため、看護師による印象評価とする。
- 患者コメント
特記なし
- 家族コメント
特記なし
- 医師・看護師・医療スタッフの印象
食事を食べたというが、ゴミ箱に捨ててあることや、自分でできることもスタッフを呼ぶなど、精神的依存も強くなった。

【総括】

前回、嘔気症状が改善した事により、カレーなど胃に負担のかかるものを食べた結果、嘔気が増した。食に対する恐怖心を抱いてしまった。食習慣に対する改善のために、スタッフによる食事時の見守りにより10口は最低食べるようになったものの、イライラは強い。

また、スタッフには「食べた」といい、実際にはゴミ箱に捨てられていた。入浴の際も自身で洗っていたが、「洗ってくれ」と言い、トイレでも「拭いてくれ」など強い依存が認められた。

このような依存的な症状に対しての鍼灸治療は非常に難しく、また食事量に変化がなかったため、鍼灸治療後は嘔気軽減が認められたため、やや有効と診断した。

【患者】75歳、男性

【既往歴】膀胱癌全摘(3/28)、膀胱癌再発(7/12)

【病態】膀胱癌再発

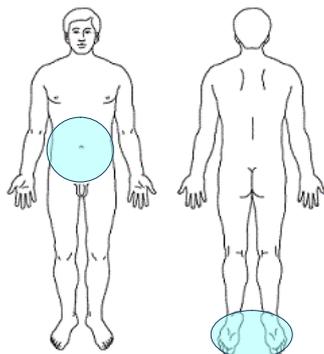
【ターミナル期】ターミナル前期

【現病歴】

7月29日 再入院

前回退院後、2か月は順調に経過していたが、左下肢が全体に浮腫を起し、夕方から晩にかけて、下腹部の違和感を訴えた。座位にて会陰部に痛みを訴える(NRS=4)。

画像所見にてCIS再発(骨盤内多発)と診断。抗がん剤シスプラチンを施行するため、再入院となった。



【服薬状況】

エトドラク 2錠/分2 400mg

アセトアミノフェン(錠)3錠/分3 600mg、

頓服アセトアミノフェン(錠)1錠

レスキュー：オキシコドン塩酸塩水和物 2.5mg

【鍼灸治療目的】

膀胱癌再発により、再入院となった。退院後もしびれは継続しており、入院時より軽度悪化が認められたため、足背しびれ、整腸に対し鍼灸治療を依頼された。

【東洋医学的所見】

左足の裏は全部がしびれ、右足の裏は第1~3指がしびれる。17時頃から怠さが増悪する。脈診：沈、腎弦。触診：太溪陥凹、三陰交圧痛、右足三里緊張

【弁証】腎虚、気虚血虚、血瘀

【鍼灸介入期間】78日間

【鍼灸治療回数】4回/週、38回

【転帰】退院(再入院後、逝去)

【鍼灸治療最終日~転帰】4日間

【評価】Visual Analogue Scale(以下VAS)を使用した。その他、スタッフの印象評価と総合し、診断した。

【鍼灸治療最終評価】

1)整腸：やや有効

2)足背しびれ：著効

【治療経過】

7月29日

再入院。7月12日に膀胱摘出腔に再発をみとめる。

7月30日

11:00 エトドラク、アセトアミノフェン(錠)からオキシコドン塩酸塩(錠)5mg2錠/分2。レスキューをアセトアミノフェン(錠)からオキシコドン塩酸塩水和物(散)2.5mgに変更する。

14:00 下腹部、会陰部につっぱり感あり。痛みはNRS=2程度。

レスキュー使用回数：0回

7月31日

7:30 オキシコドン塩酸塩(錠)飲んで21時~3時までよく眠れました。お尻の方はまだ痛いけど、今日は楽な日だと思う。

18:00 動注化学療法施行

(左内陰部動脈閉鎖動脈 CDDP50mg)

22:30 痛い時もあるけど、今はいたない。(NRS=)0か1。

8月1日

16:30 痛みは1くらい。時々お腹の膀胱あたりがキーンと痛くな

レスキュー使用回数：0回

8月2日

8:30 今は痛くないけど、日に日に下腹部が痛くなってる。通じが出ていない(KOT:-3日)。

8月3日

7:00 寝てても、痛みなくなった。寝ていると(NRS=)0か1。動くとき痛いけど。

12:30 痛いのは痛いで。でもしびれも足の裏だけで、今日は足の裏の先の方だけになった。お腹もひねったら痛いくらい(NRS=1~2)。

8月4日

15:00 しびれも足先だけになってきたから、歩きやすい。

8月5日

19:30 食事ちょっとしか食べれなかった。胃が張ったようかえるんや。吐き気はない。痛みもない。トイレに行くとガスが出て、汁みみたいな便が出る。

レスキュー使用回数：0回

8月6日

9:00 足はマシだが、お腹が張る。

8月7日
 17:00 左鎖骨下ポート増設
 22:00 傷の痛みはない。お尻が痛くなってきたんや。
 左下腹部 NRS=0、会陰 NRS=2~3 の痛み

8月8日
 17:00 足の裏が両方ともしびれるようになって注射して
 マシにな ったと思ったけど、変わらなかった。

8月9日
 17:00 鍼灸治療 1 診目
 左足の裏は全部がしびれ、右足の裏は第 1~3 指が
 しびれま す。17 時頃から怠さが増悪する。
 脈診：沈、腎弦
 触診：太溪陥凹、三陰交圧痛、右足三里緊張
 治療部位
 <円皮鍼>左八風穴、三陰交、右太溪

21:00 夕食前に起きたらムカッとする感じがあった。
 レスキュー使用回数：1 回

8月10日
 11:30 今日は調子がいい。下腹部の痛みも消えたんだ。

8月11日
 8:30 今日は調子がええ。血圧も 135~145 くらい。
 16:30 会陰部痛：NRS=1~2
 左下腹部痛：NRS=0
 体動時痛：NRS=0
 しびれ：右 NRS=3、左 NRS=6

8月12日
 17:00 味覚が出てきた。夕方からしんどくなるけど、今日
 は調子 がいいわ。心窩部痛はガスが貯留した際にい
 たみがあり、 本日はガス貯留が少ない
 ため痛みも少ない。

8月13日
 18:00 鍼灸治療 2 診目
 しびれ変わらず。夕方からの倦怠感も楽に。
 脈診：脾洪、腎弦。
 しびれ：右 VAS=32mm、左 VAS=48mm
 治療部位
 <毫鍼>太溪、左八風穴、左三陰交

8月14日
 18:00 会陰部痛：NRS=1
 しびれ：右 NRS=3、左 NRS=6
 疼痛コントロール良好。精神的にもやや安定。
 18:00 鍼灸治療 3 診目

しびれというか、親指側（第一指）ところがツツパ
 リ感が ある。なんかね、鍼しとるからマシな気がする。口
 内炎も あるけど、楽に過ごせています。
 脈診：脾・肝洪、腎弦
 触診：左上巨虚緊張、右太溪陥凹、左三陰交深部硬結、
 右公孫緊張
 治療部位
 <毫鍼>左内庭、左外内庭、左侠溪、右太溪、左三陰交
 <鍣鍼>右太溪
 <円皮鍼>左合谷、左三陰交、右太溪、左内庭、左外内庭、左侠
 溪、 右公孫

8月15日
 18:00 鍼灸治療 4 診目
 しびれは変わらんなあ。でも今日は、右が楽かも。
 脈診：肝洪
 しびれ：右 VAS=18mm、左 VAS=43mm
 治療部位
 <毫鍼>右三陰交、右太溪、左上巨虚
 <円皮鍼>左三陰交、左合谷、右太溪、左内関

20:00 会陰部痛：NRS=1~2 程度

8月16日
 10:30 痛み止め効いているから痛くないよ。味覚も戻って
 きたし。
 17:30 鍼灸治療 5 診目
 足が腫れている気がする。しびれはちょっとマシ。
 しびれ に波がでてきた。明らかに朝起きた時の痺れが、今
 朝は少 なかったわ。
 脈診：肝洪、脾滑、腎微弦
 しびれ（朝~昼）：右 VAS=15mm、左 VAS=32mm
 しびれ（昼~）：右 VAS=20mm、左 VAS=34mm
 治療部位
 <毫鍼>左上巨虚、三陰交、右太溪、左内庭、左外内庭、
 左侠溪
 <円皮鍼>太溪、合谷、左太溪

8月17日
 20:00 今日は調子が悪い、全身が重だるい感じ。痛いとい
 うわけ じゃないんやで。

8月18日
 13:00 お尻のところが痛いなあ。(NRS=)1 くらいやけどね。
 今日 はちょっとえらかったわ。痺れはずっとじゃないん
 やけど。
 レスキュー使用回数：2 回

8月19日

6:00 腹がグーッと刺しこむんや...イタタタタ...

NRS=3の痛みを訴える。

12:30 あーリハビリか。そうやな。まだ宵は。鍼の人がよ
う頑張 ってくれとる。リハビリオーダーの話を出すも消極
的(?)

8月20日

6:30 昨日下剤やめたら、お腹が痛いのがなくなったわ。

16:30 鍼灸治療6診目

あんまり変わらんです。土踏まずの所がちょっとマ
シにな ったかな?ちょっと薬独特の倦怠感があって、ご飯
が食べ れんかったけど、今日、朝、昼食べれたよ。

脈診:脾洪、腎弦

しびれ(ツッパリ感):右VAS=15mm、左VAS=41mm

治療部位

<毫鍼>左上巨虚、左三陰交、右太溪、左太衝、左内庭、左外内
庭、 左侠溪

<円皮鍼>左蠡溝、右太溪、右内通谷

レスキュー使用回数:0回

8月21日

10:00 体がらくになってきました。

18:41 鍼灸治療7診目

さっきえらくなつたから薬飲もうと思ったけど、リ
ハの先 生に背中さすってもらったらスーッと楽になった。
足裏は 今朝も楽だった。

脈診:肝弦、腎無力

舌診:紅舌、舌尖紅、白膩苔(舌尖剥落)

触診:右内関緊張、右神門緊張圧痛、右隠白圧痛

しびれ:右VAS=16mm、左VAS=30mm

治療部位

<毫鍼>右内関、右神門、左蠡溝、右三陰交、右太溪、左太衝

<円皮鍼>合谷、左通谷、右隠白、右内関、右神門、臚中

20:00 昨日、今日は楽です。

レスキュー使用回数:0回

8月22日

8:00 痛みの訴えなし。便出てない。

18:00 鍼灸治療8診目

調子いい。朝から今までだるい事もなかった。あ、
まだ便 がでてません。

脈診:脾微弦

しびれ:右VAS=10mm、左VAS=28mm

治療部位

<毫鍼>左蠡溝、右三陰交、左内庭、左外内庭、左侠溪

<円皮鍼>右内通谷、右蠡溝

8月23日

14:30 モンキーバナナ3本分排便あり

17:00 鍼灸治療9診目

今日、薬飲まんで、ばっちり便でした。

脈診:腎弦、肝微弦

しびれ:右VAS=17mm、左VAS=28mm

治療部位

<毫鍼>左上巨虚、右太溪、蠡溝、左太衝

<円皮鍼>右太溪、右内通谷、合谷、右神門

8月24日

9:00 昨日、便出てスッキリした。

10:00 外泊へ

8月25日

21:30 外泊中、レスキュー使用せず経過

8月26日

21:00 今、一番調子が良い。会陰部NRS=1

レスキュー使用回数:1回

8月27日

12:30 不安とかないで。会陰部NRS=1。

17:30 鍼灸治療10診目

いつものこっちゃ

しびれ:右VAS=11mm、左VAS=27mm

治療部位

<毫鍼>湧泉、足底圧痛部2か所

<円皮鍼>内通谷、束骨・京骨の間、合谷

8月28日

8:00 ご飯食べたら、下腹部がズンと痛くなるんやな。

CDDP+THP

18:00 鍼灸治療11診目

今日は抗がん剤の後からしんどい。左の下腿も硬く
なった 感じやし。しびれもひどくなった感じ。

しびれ:右VAS=10mm、左VAS=30mm

治療部位

<毫鍼>左上巨虚、左三陰交、左太衝

<円皮鍼>左蠡溝

8月29日

14:30 オキシコドン塩酸塩(錠)、アセトアミノフェン(錠)、
エトドラクにてNRS=1と疼痛コントロール良好。

17:30 鍼灸治療12診目

調子よく経過してる。検査結果で火曜日に退院予定

脈診：肝洪、腎弦・無力

しびれ：右 VAS=6mm、左 VAS=31mm

治療部位

<毫鍼>左上巨虚、左三陰交、左太衝、右内庭、右外内庭

21:00 排便なし。

センノシド 3錠、ピコスルファート 10滴、プロチ

ゾラム錠

8月30日

15:30 会陰部痛：NRS=1、しびれ：右 NRS=2、左 NRS=6

16:00 鍼灸治療 13診目

案外調子良い。朝、右の方はほとんど感じなかった。

しびれ：右 VAS=8mm、左 VAS=25mm

治療部位

<毫鍼>左上巨虚、左太衝、右三陰交

<円皮鍼>左三陰交、左内通谷、右行間、右大都、合谷

8月31日

16:00 排便あり。親指 2本分。

18:00 今日は調子悪い。ご飯はいいわ。便秘と重なる。

9月1日

14:30 排ガスあり。トイレに行く毎に排便少量ずつあり。

18:00 嘔気あり、嘔吐なし。倦怠感著明

レスキュー使用回数：2回

9月2日

19:30 しんどいです。37.3 ある。

9月3日

20:00 夕食、食べれた。

トイレ歩いても、しんどく感じる。会陰部痛：NRS=1

9月4日

16:00 鍼灸治療 14診目

今日は調子良い気がします。ちょっと舌の裏の左側が痛い。ちょっとピリピリするくらいで、支障はないんだけども。

脈診：肝虚、脾洪、腎弦

舌診：紅舌、舌辺剥落

しびれ：右 VAS=14mm、左 VAS=25mm

治療部位

<毫鍼>右内庭、右外内庭、右行間、左蠡溝、左地五会、左足底
圧痛

<円皮鍼>右行間、右大都、左太溪、左公孫、左束骨・京骨の間

9月5日

16:30 鍼灸治療 15診目

今日は気分もよくて、散歩してきました。

脈診：肝弦、腎・細・無力

舌診：紅舌、薄白苔、舌辺荒れ

触診：左上巨虚、左侠溪圧痛、

左蠡溝軟弱

しびれ：右 VAS=5mm、左 VAS=19mm

治療部位

<毫鍼>合谷、左上巨虚、左侠溪、右太衝、左蠡溝

<円皮鍼>右外関

9月6日

17:30 鍼灸治療 16診目

今日は昨日と同じ感じ、まだ便がでてない。歩いていると奥の方に酷くつぱるといより重だるい。

脈診：洪、84回/分

舌診：紅舌、舌尖紅、苔もろもろ

触診：右太溪陥凹、左上巨虚表面緊張・深部硬結、左下腿～足背に細絡

しびれ：右 VAS=5mm、左 VAS=19mm

治療部位

<毫鍼>左上巨虚、左三陰交、左膝関、右太溪、左公孫、左太衝、

右内通谷、右臨泣

<円皮鍼>太溪、左蠡溝、左束骨・京骨の間、右内通谷、右外関、
右大都、右行間

9月7日

8:30 ちょっと汗かいてびっくりしました。

10:00 外泊

9月8日

18:30 便が出なかったのが気になってなちょっと張ってきたような感じ。

9月9日

7:30 ちょとずつ出したんやけど、詰まったような感じ。胃の方へもたれてくる。母指大の排便2個。

9月10日

13:30 便がでました。

17:30 鍼灸治療 17診目

今日、浣腸してもらって、便出た

脈診：洪、腎無力

触診：左大腿外側緊張

しびれ：右 VAS=3mm、左 VAS=27mm

治療部位

<毫鍼>左上巨虚、左太衝、左太溪、右三陰交、右公孫、

右地五会

<円皮鍼>合谷、太溪、右大都、右行間、左侠溪、左内通谷、

右地五会

9月11日

9:30 本日化学療法4クール目

16:30 腹部ガス貯留あるが、腹壁ソフト。

17:00 鍼灸治療18診目

便がでない。トイレに行ったら塊が2個出た。

脈診：肝洪、沈、腎無力

舌診：紅舌、舌尖紅、薄白苔、口渴あり

しびれ：右VAS=7mm、左VAS=21mm

治療部位

<毫鍼>復溜、内庭、外内庭、侠溪、右外関

<円皮鍼>左液門、右復溜、左太溪、右大都、右行間、合谷

9月12日

17:00 便が出ず、お腹の張った感じがひどくなってきました。
(KOT:-2日)

17:00 鍼灸治療19診目

手がちょっと震えた。便がね...出なくなって、胃が
圧迫さ れている感じがする...

脈診：洪、腎無力

触診：左胸脇部緊張

治療部位

<毫鍼>三陰交、左内庭、左外内庭、左侠溪、右合谷

<鍍鍼>隠白、大都、腹部

<円皮鍼>三陰交

9月13日

1:00 前の時よりお腹が張った感じとかひどい。ガスもで
てこん。

8:00 オキシコドン塩酸塩(錠)10mg フェントステープ
1mg

8:30 イレウスであることをCTで確認

17:00 鍼灸治療20診目

イレウスチューブを入れたとこなんや。やっぱりつ
まっと ったみたいや。チューブ入れたからちょっと楽にな
った。 足のしびれは少しマシになった。

脈診：肝洪、腎弦

触診：左足三里緊張、左陽明熱感、左下腿細絡

しびれ：右VAS=5mm、左VAS=26mm

治療部位

<毫鍼>左足三里、左内庭、左外内庭、左侠溪、左条口、右三陰
交、 左外関

<円皮鍼>左外関、左内庭、左外内庭、左侠溪

9月14日

10:00 動けんことはないけど、動くと腹がクルクルいう。
ガスは にとらん。

9月15日

20:00 排ガスなし。腸蠕動音、微弱だが聴取できる。

9月16日

10:30 お腹のふくらみはマシになりました。便ありますが、
オナラはありません。

21:00 便が出なかったとき3日間、今回、腸閉塞になって
しんどかったんが4日間...しんどかった。化学療法
のしんどさどっか行ってくればばいい)のに。

9月17日

8:00 小指大4~5個、便が出てきました

15:30 フェントステープに変更から疼痛コントロール良
好。

17:30 鍼灸治療21診目

イレウス管抜きました。

脈診：脾細滑、肝無力、96回/分

触診：胆経緊張(R<L)、左腎経緊張陥凹、右足三里緊張

しびれ：右VAS=7mm、左VAS=22mm

治療部位

<毫鍼>左内通谷、臨泣、左太溪、右内関、右足三里、左太衝

<鍍鍼>左内庭、左外内庭

9月18日

15:30 便は昼から少し出た。尿中に黄色いもろもろあり。
腹痛なし。NRS=1

17:30 鍼灸治療22診目

足の裏は変わってないよ。調子ええ。本日は今やり
たいことを語られる

(家の修理、身辺整理、野菜作りなど)

脈診：肝洪、腎細、81回/分

舌診：紅舌、白膩苔(舌中~舌根)

しびれ：右VAS=6mm、左VAS=22mm

治療部位

<毫鍼>右上巨虚、左内通谷、三陰交、右太溪、左中封

<円皮鍼>左内通谷、三陰交

9月19日

11:00 ここが膀胱やったところやろ?左側がシワーッと
痛いんや。

14:30 鍼灸治療23診目

調子がいいので楽な気がする。

脈診：腎弦、脾滑、69回/分

治療部位

<毫鍼>左足三里、右上巨虚、左三陰交、右太溪、左中封

<円皮鍼>合谷、三陰交、右太溪、左内通谷

9月20日

20:00 イレウスが再発腫瘍によって生じて起きており、今の状態では食事再開できない。そのため、人工肛門にするしかない」と説明する。

9月21日 フェントス 2mg に UP。人工肛門設置のため、外科に転科。

9月22日

14:00 午前中、嘔気はないが、腸蠕動にて痛みあり。午後から緩和している。

9月23日 著変なく、経過している。

9月24日

17:00 経肛門より、イレウスチューブを固定。

18:00 鍼灸治療中止

9月25日

8:00 痛み止めがきいとるんのか、お腹グルグル言ってもちょっとだけ。NRS=1

16:00 鍼灸治療 24 診目

月末に手術があるんや。人工肛門つけなきゃあかんって...

でも、1週間くらいしたら楽になると思うし...

脈診：脾虚やや渋、肝腎無力

舌診：淡白、白膩苔

触診：左腎経深部冷感、太溪陥凹軟弱、左公孫軟弱、左膀胱経緊張、下腿細絡

治療部位

<毫鍼>左上巨虚、右三陰交

<e-Q>太溪、左公孫

<円皮鍼>左蠡溝、太溪、左内通谷

9月26日

10:30 会陰部痛、自制内。

16:30 鍼灸治療 25 診目

あ...うん...昨日と一緒やで。

手術の説明を不安そうに待っている。

脈診：肝腎虚、脾渋

しびれ：右 VAS=5mm、左 VAS=20mm

治療部位

<毫鍼>左三陰交

<円皮鍼>太溪、左蠡溝、左内通谷

9月27日

14:00 グルグルとなったら痛いけどな、楽になる。けど、ガスは出えへんから、ゲップが出とる。

17:30 鍼灸治療 26 診目

... (5分間沈黙) ...。5分後手術に対する不安を語られる。

治療部位

<鍹鍼>太溪、右内関、右勞宮

9月28日

11:00 お腹がゴロゴロなったら、ゲップが出る。お腹は痛くない。

9月29日 著変なく、経過している

9月30日 人工肛門設置 (OPE)

10月1日

16:30 術後発熱により、鍼灸治療中止

10月2日

16:30 鍼灸治療 27 診目

傷の所が痛い。左足背辺りが何か熱い気がするんや。

治療部位

<鍹鍼>左行間、左内通谷

10月3日

16:30 昼過ぎに低血圧を起こし、トイレから動けなくなり、やっとベッドに落ち着いたところということで、鍼灸治療中止

10月4日

16:30 鍼灸治療中止し、会話のみ行う

18:00 表情穏やか、日中は散歩もしてきて、病棟 2 週できました。

10月5日

18:00 発熱 39.5 まで。

19:30 服薬にて 37.0 まで軽減する。

10月6日

12:30 創傷部位の疼痛を訴えあり。

10月7日

21:00 不眠および疼痛の訴えあり。

10月8日

15:00 足のだるさを訴える。

15:30 鍼灸治療 28 診目

足の裏は変わらん、酷くはなってはない。けど、足が細くなつた分、皮が弛んで変な感じ。

脈診：脾弦、腎無力

舌診：暗淡白、舌尖紅、白膩苔 (舌尖剥落)

治療部位
<円皮鍼>左太溪、左陥谷、左外陥谷、左俠溪

10月9日
17:00 鍼灸治療 29 診目
足はだるい。足の裏とは別の感じで。検査で歩いて行って も、帰りは迎えにきてもらわないとかなん。足がだるくな ってしまうんや。

脈診：腎無力
触診：太溪冷感、左陽明経熱感
治療部位
<毫鍼>足三里
<円皮鍼>左行間、左内庭、左外内庭、左俠溪
<e-Q>太溪

10月10日
10:00 朝食開始。腹部ソフト。
食後2時間後から水様便、排ガス多い。
17:30 鍼灸治療 30 診目
今日は昨日より元気な気がする。
しんどくても家人が心配するから元気という。

脈診：肝腎無力
治療部位
<毫鍼>右上巨虚、太溪
<円皮鍼>太溪、右大都、右行間

20:00 外の空気すったら、ムカムカがマシになった。

10月11日
16:00 胃薬を止めてからちょっとお腹張っている。腹部膨満感持続、悪心はない。
16:30 鍼灸治療 31 診目
ここの先生は話やすく、真面目で安心です

脈診：腎微弦、無力
治療部位
<鍡鍼>上巨虚、太溪、左太衝

10月12日
10:00 便は出ている。お腹は少し張るかな。

10月13日
9:30 上腹部に不快感あり。

10月14日 著変なく、経過している

10月15日
17:30 鍼灸治療 32 診目
歩いたらしんどい。ちょっとムカムカするんや。

脈診：滑、72回/分

触診：左不容圧痛
しびれ：右VAS=12mm、左VAS=30mm

治療部位
<毫鍼>左湧泉、交信、右太衝、右公孫
<円皮鍼>左不容、交信、左内通谷

10月16日
10:00 おさえると痛いわ。水分やら飲むと胃がもたれする。
17:00 鍼灸治療 33 診目
足の裏は変わらん。右の方はほとんど感じない。
しびれ：右VAS=7mm、左VAS=24mm 治療後：VAS=15mm

治療部位
<毫鍼>左湧泉、左足三里
<円皮鍼>左気戸、左俠溪、左通谷

10月17日
8:30 重湯飲んでもムカムカしなかった。
15:00 鍼灸治療 34 診目
寒いため、調子悪い。ムカつきは食後30分でしとったのが、2時間以上経っても軽くきたくらい。足の裏も今日はほとんど感じなかった。

脈診：腎弦細
舌診：淡白、白膩苔、舌尖紅
しびれ：右VAS=5mm、左20mm

治療部位
<鍡鍼>左太溪、左足三里、左湧泉

10月18日
15:30 重湯しか食べられん。プリンとかゼリーの方が美味しいんやけど、胸焼けする。
16:30 泌尿器に転科直後で疲労感が強いので、鍼灸治療中止。

10月19日
21:30 ジュース(エンシュア)飲んでも胸焼けしてなあ。胃薬飲んだんや。

10月20日
21:00 前はプリンも食べれんかったけど、1時間後に胸焼けするもプリン食べられるようになる。

10月21日
10:00 会陰部痛：NRS=1、足底は著変なく、軽度痺れを訴える。

10月22日
9:30 昨日の朝から排便なし。
15:30 鍼灸治療 35 診目
特にかわりないよ。しびれも調子よい。

脈診：脾虚、肝腎無力、細、102回/分

しびれ：右 VAS=7mm、左 VAS=20mm

治療部位

<鍣鍼>左湧泉、右然谷、右交信、右地五会、右太衝

<円皮鍼>左内通谷、左通谷、左然谷

21：00 元気になってきたが、寝てるんがしんどい。

10月23日

16：00 食べた後も、ムカつくこともない

17：30 鍼灸治療 36 診目

今日も少し歩いたよ。あまり変わらんけど、歩いた時に気にならなくなった。

脈診：脾滑、腎無力、肝弦

舌診：淡紅、舌根部厚苔、舌尖紅

治療部位

<毫鍼>右公孫、左太溪、右行間

10月24日

2：30 ガス出とるから、張った感じはない。

6：00 胃付近に圧迫感を訴える。

17：00 鍼灸治療 37 診目

今日は便がでてないから、しびれよりもそっぴかり気になってた。

脈診：腎弦、肝微弦

治療部位

<毫鍼>左上巨虚、左太衝、右三陰交

21：00 便が出てないで心配したけど、今、少し出た。

10月25日

15：30 便が出たし、ご飯が美味しかった。

17：00 鍼灸治療 38 診目

お昼過ぎに便出た。もともと便秘症であったんや。2~3日に1回とか、酷い時は1週間に1回やった。

脈診：滑、78回/分

舌診：紅舌、舌尖紅、白膩苔

しびれ：右 VAS=5mm、左 VAS=17mm

治療部位

<毫鍼>左復溜

<円皮鍼>左内通谷、左地五会、左公孫

10月26日~27日 外泊

10月28日

16：00 寝とるだけだからかもしれんけど、病院ベッドが硬くてしんどく感じたわ。家の方がやっぱりいい。

10月29日 退院

以後、外来にて経過観察。その際、鍼灸治療は介入せず。

12月14日 悪寒戦慄、胸部不快感にて再入院

12月16日 逝去

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価
しびれに対して介入した結果、1診目右 VAS=32mm、左 VAS=48mm であったところが、介入後から日内変動がみられ、鍼灸介入最終日には右 VAS=5mm、左 VAS=17mm とほとんど感じなくなったことから、著効と診断した。
一方、整腸に対しては鍼灸により腸蠕動音確認できるも、腹膜播種による腸閉塞が起こってしまい、人工肛門設置に至ったことからやや有効と評価した。
- 患者コメント
調子がよいというコメントが多々認められた。
- 家族コメント
今でも笑ってるみたいで。色々お世話になりました。
- 医師・看護師・医療スタッフの印象
患者からの信頼が得られており、スタッフ側で聞けていなかったことを鍼灸師側で聞けている事があった。

【総括】

本症例は膀胱摘出後より発症したしびれと、整腸に対して行った。愁訴に対する鍼灸治療効果は、しびれ：著効、整腸：やや有効とした。その他にも化学療法による全身倦怠感を訴えることもあったが、鍼灸治療後には改善が認められた。癌に直接関係する痛み、むかつきは医療スタッフに訴えることはあったが、「こっちがしびれるとか、あっちがおかしいとか、しょうもないことを言えるのは、鍼灸の先生にしか言えん。こんな大した事ないこと言っても、迷惑やしな」と医療スタッフに気を使う面も見られた。

脈を始め、舌、爪、皮膚など些細な所見から治療方針を決める鍼灸治療であるからこそ、聞き出す情報が多く、そのため、医療スタッフとは別の信頼を得ることができたのではないかと考える。この患者もまた、「この人（妻）が倒れたら、かなん。心配なんや」と、訴えられ、院内での家族のケアのための鍼灸治療室ができることを希望されていた。

【患者】48歳、女性

【既往歴】膵体部癌、多発肝転移

(T4 N3 M1 stage b)

【病態】膵体部癌

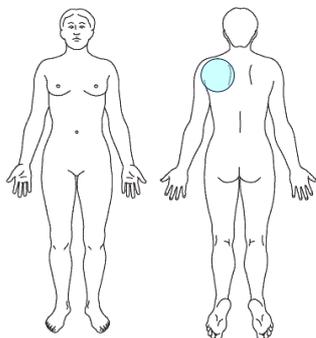
【ターミナル期】ターミナル中期～後期

【現病歴】

X年5月、背部痛を訴え、A病院を受診。検査の結果、膵体部癌と診断。入院、EUSFNAで膵癌と診断される。入院後、GEM(1400mg 3投1休)開始。軽度の嘔気で大きな副作用なし。2クール目より外来でフォロー。

7月、腹部CT：原発巣軽度縮小も。肝転移巣増加、増大。また全身倦怠感あり。家人の事情により7月25日から本院でフォロー。

TS1への変更を提案したが、余命を抗癌剤の負担なく、過ごしたいとのこと
でBSC疼痛コントロールに。1人の時間が多かったことによるストレスがかなり強かったのが影響。



【服薬状況】

ラベプラゾール(胃酸を抑制) エソメプラゾール、

追加：プロクロルペラジン(精神薬・嘔気止め)

レスキュー：オキシコドン塩酸塩水和物(散)2.5mg

8時間ごと：ロキソプロフェン Na

マグミット1回3錠、プレゼニド(7月25日)、リンデロン4mg

に増量

【鍼灸治療目的】

検査をしていないため、不明ではあるが、癌転移による左肩甲間部痛の可能性もあったが、患者自身が服薬量をできるだけ抑えたいという思いから鍼灸治療が依頼された。

【東洋医学的所見】

声小さく、黄疸著明、太溪軟弱、痛みの性質：どこかで引っ張られているような重だるいようなズキズキするような痛み。口渇あり。脈診：虚、腎無力。

【弁証】左手太陽・少陽小腸経絡病、肝血虚、腎気虚

【鍼灸介入期間】日間

【鍼灸治療回数】4回/週、5回

【転帰】逝去

【鍼灸治療最終日～転帰】2日間

【評価】評価説明するが理解が得られなかったため、医療スタッフによる印象評価をカルテから抜粋し、評価とした。

【鍼灸治療最終評価】

1)左肩甲間部痛：有効

【治療経過】

8月9日

5:00 背中がピリピリしてきた気がする。

じわじわ怠くなるんです。

8:00 少し便が出たので少しすっきりしています。左肩が起きる時に痛みます(NRS=9~10)。食事3割摂取できています。

17:30 フェントステープ1mg 2mgに変更

レスキューはオキシコドン塩酸塩水和物(散)5mg

21:00 痛み：NRS=2~3くらい

21:00 痛み：NRS=4~5

23:00 レスキュー効いておらず、痛みNRS=7~8の痛みが続く。

8月10日

7:30 ロキソプロフェンナトリウムは長く効くんですけど、何やったかな...オキシコドン塩酸塩水和物(散)はすぐに効くけど、持続しない感じです。(フェントステープ2mgに増えましたが?)どやる?昨日は3時まで眠れた気がします(NRS=4~5)。

8:00 夜間疼痛あるため、オキシコドン塩酸塩水和物(散)5mg 10mgに増量する。

16:00 午後から痛みあり。肩甲間部:NRS=6~7、腰背部:NRS=4~5。14:10にレスキュー使用すると14:30には半分に軽減。その後、NRS=1に。30分ずらして2包飲んでもらうことにする。

22:00 痛くて(NRS=7)。

23:00 NRS=4に落ち着く。

レスキュー使用：5mg×2回、10mg×1回

8月11日

8:31 夜間は痛みなく過ごせました。

10:01 痛み?痛みは(NRS=)2くらい。

19:54 NRS=4の腹痛あり。起き上がるとNRS=8に増悪。レスキュー使用後NRS=2まで落ち着く。

レスキュー使用：1回

8月12日

10:00 長く話をしていると息が上がってきます。右側から起きるのは楽だけど、左向きから起きようと思ったら左肩が痛いです。23時にロキソプロフェンナトリウムを服薬しているので、3~4時間寝ています。持続するような痛みではないので、ロキソプロフェンナトリウムで大丈夫そうです。

8月13日

10:00 昨日は眠れました。23時にロキソプロフェンナトリウムのんで、4時半まで痛みで起きることもなかったです。

16:30 鍼灸治療1診目

訪室時、ベッドに横になっていたが、説明時は座位になられる。さっきレスキュー飲んでしまったんだけど、しんどくて。薬飲んででも何か痛いんです。どんな痛み？ん〜...ズーンとした感じです。何とも言えない痛みです。今も痛い(VAS=77mm)。

鍼灸治療中：【本人】あ、何か気持ちいい、ぼわ~として、温かい感じ です。あ~気持ちいい。これならまた受けたい。

【娘】さっきより声が元気になったやん。【本人】うん。何か楽。いいよ。これ。何かあったら、鍼してもらおうといいわ。と娘に対して言われる。治療中は息切れなく、笑みが認められた。

脈診：虚、腎無力

痛み：VAS=77mm 治療後：VAS=55mm

鍼灸治療

<毫鍼>左外関、左太溪、左地五会

<鍹鍼>左肺兪、太溪

<円皮鍼>左太溪、左肺兪

17:00 さっき鍼灸さんがきてくれました。めっちゃ気持ちよかったです。あれ、やった方がいいですよ。そんなに痛くなかったし。

21:30 痛みは(NRS=)1か2. 鍼灸してもらったらぼわーっとした感じがします。レスキュー使った後に来られたので、どっちが効果あったかわからないんですけど、足にもしてもらいました。痛み：背部 NRS=1~2、動作時 NRS=6~8

レスキュー使用：2回

8月14日

8:30 鍼灸は、気分転換になりました。

16:30 鍼灸治療2診目

痛みが前より、明確になってきた感じがします。右腕も動かすと連動しているのか痛みます。薬飲んだから痛みがあまり良く分からないけど。

治療後：痛みがある時、全身に力が入ってる感じがするんですけど、 はあ~なんか鍼灸してもらったら脱力。緊張が解ける感じ。

脈診：虚、細、肝弦、腎無力

舌診：淡白、薄白苔、舌下静脈怒張

痛みの部位前回より1cmほど下になる

痛み：VAS=61mm 治療後：ウトウトしてとれず。

治療部位

<毫鍼>外関、左三陰交、右上巨虚

<鍹鍼>太溪、太衝、左神門、左厥陰兪

<円皮鍼>左厥陰兪、左外関、左肩井

20:00 鍼灸の後、ちょっと楽になった感じがします。やっぱり動いた時はちょっと痛みますが。

レスキュー使用：5mg×4回、 10mg×2回

8月15日

6:00 夜中は少し眠れました。2~3時間でも眠れると楽ですね。

左肩：VAS=40mm、背中：VAS=58mm

16:30 鍼灸治療3診目

痛みの場所が明確になりました。ちょっとずつ変わってきますよね。時々脇の方まで帯状に痛みがある。

脈診：肝弦、腎無力

舌診：淡紅舌、白膩苔、舌尖紅

治療部位

<毫鍼>右臨泣、右上巨虚、左復溜、左後溪

<鍹鍼>左肺兪、左心兪

<円皮鍼>左肺兪、左心兪、左地五会、左後溪

18:30 シャワー中に痛み増悪。

痛み：VAS=96mm

20:00 痛みは続いています。動いた後は特に痛くなります。

痛み：腹部 VAS=25mm、左肩 VAS=71mm

レスキュー使用：10mg×4回

8月16日

9:00 フェントステープ 3mg に増量、ロキソ[®]ロキソプロフェンナトリウム 40mg に増量

17:25 鍼灸治療4診目

動作時で痛みがでるが、安静時の痛みほぼ消失。鍼をしているとポワンと温かくなってくる。

治療部位

<毫鍼>左三陰交、左太溪、右太衝、左上巨虚

<鍚鍼>左肺俞、左厥陰俞、左肝俞

<円皮鍼>左外関、左合谷、左復溜、左厥陰俞、左臨泣

18:00 こうやって痛みを癒そうとしてくれる専門家の方が
あり、子供たちが傍にいて、そんなことに今幸せを感じ
じます。

レスキュー使用：4回

8月17日

16:00 肩が痛くて身の置き場がない。勘弁してって感じ。

17:30 肩甲骨の痛みが来るのが怖い。フェンテブ[®] 4mg、オキ
シコドン塩酸塩水和物(散)20mgに増量する。

レスキュー使用：10mg×3回、 20mg×2回

8月18日

2:00 オキシコドン塩酸塩水和物(散)増えたから眠れると
思う

10:00 プレガバリン 25mg 75mgに増量

レスキュー使用：10mg×2回

8月19日

17:30 プレガバリン効いているのか痛みマシです。でも副作
用なのかフラフラする。

レスキュー使用：10mg×2回

8月20日

17:30 鍼灸治療5診目

抜けたから痛くない...と言うわけではなくて...。ろれ
つ回らず目もトロンとして視点合わず。鍼灸治療中か
ら入眠

治療部位

<毫鍼>右臨泣、左太衝、右膝関、左太溪、左三陰交

<鍚鍼>右太衝、左外関、右合谷

<円皮鍼>左後溪、左太溪、左太衝

レスキュー使用：10mg×2回

8月21日

7:30 オキシコドン塩酸塩水和物(散)前回6時間前に使用
したと伝えると「では飲みます」と。

13:30 スイカ4切れ、メロン2切れ咽なく食されている。

17:00 状態悪く鍼灸治療中止

レスキュー使用：10mg×3回

8月22日 逝去

【評価ポイント】

● VAS、NRS 等による評価

1診目治療前後でVAS=77mm VAS=55mmまで改善が認められた。

● 患者コメント

1診目から「気持ちがいい」「温かい」とコメントが得られた。

● 家族コメント

1診目、訪室時患者の声が弱弱しく聞き取れないくらいだった
が、治療後には「さっきより声に力あるやん」と娘からも言われ
ていた。

● 医師・看護師・医療スタッフの印象

どれだけ効果があるか分からないが、気持ちがいいと語る

【総括】

本症例は左肩甲間部痛に対し、鍼灸治療介入した。結果、治療
前後では痛みの軽減が認められたが、継続的な効果は得られなか
った。患者コメントも考慮し、それらの点から継続的な効果はなか
ったが、有効と診断した。しかし、愁訴に対してだけでなく、鍼
灸治療中「気持ちがいい」と安心感を与えられていた。この患者
は本研究で行っている軽微な刺激を好んでおり「こういう治療が
できるところが分からないし、病院でやってもらえると安心して
受けられます」といったコメントがあった。本症例からは、毫鍼
だけでなく、鍚鍼の技術を有し、技術を使い分ける鍼灸師を教育
する重要性を痛感した。

【患者】78歳、男性

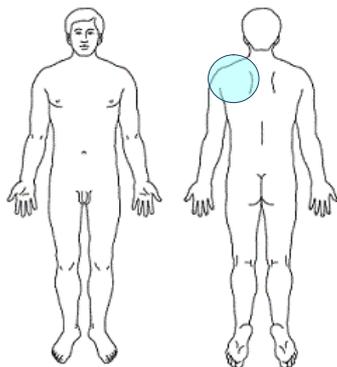
【既往歴】転移性脳腫瘍（stage Ⅲ）

【病態】肺癌（腺癌）

【ターミナル期】ターミナル中期～後期

【現病歴】

X-2年3月、CT下にて生検した結果、腺癌の可能性あり。頭部MRIでも頭蓋内に転移を疑う像、腎機能障害もあり、化学療法をせず。原発および、転移巣も当初の予想よりも増加のスピードは遅い印象。マーカーはCEAが上昇。画像からの長径90mm程度。（X-2年11月では81mm）、脳MRI（X年5月）右後頭葉の像はなし。気管チューブがあるため、発語はする時としない時がある。



【服薬状況】

X-2年11月、ステロイド開始（少量にて）、12月中止。

X-1年7月、倦怠感の症状が現れたため、再開する。

X年7月、オキシコンチンを開始する。

【鍼灸治療目的】

肩背部痛に対し、鍼灸治療を依頼される。

【東洋医学的所見】

左肩甲間部に重だるい痛みあり。脈診：腎弦、肝洪。下腿細絡。左外関緊張、神門軟弱、左前谷圧痛

【弁証】左手少陽経絡病、血瘀

【鍼灸介入期間】12日間

【鍼灸治療回数】4回/週、6回

【転帰】退院

【入院期間】3日間

【評価】評価説明するが理解が得られなかったため、医療スタッフによる印象評価をカルテから抜粋し、評価とした。

【鍼灸治療最終評価】

1) 左肩甲間部：著効

【治療経過】

8月21日

18:00 鍼灸治療 1 診目

左肩甲間部に重だるい痛みがある鍼灸治療経験があるが、鍼灸は信じていない。

脈診：腎弦、肝洪。下腿細絡

触診：左外関緊張、神門軟弱、左前谷圧痛

治療部位

<毫鍼>左三陰交、左太溪、左行間

<円皮鍼>左前谷、左外関、左心俞

レスキュー使用：3回

8月22日

18:00 鍼灸治療 2 診目

変わらんなあ。今は薬が効いているから、そんなに痛くない。右手動かしたり体重かけると痛みが走る時があるんや。右三角筋前縁中央に痛みを訴える

脈診：肝やや洪

触診：右魚際圧痛、左後溪緊張、左心俞圧痛、左肺俞圧痛

治療部位

<円皮鍼>左後溪、左肺俞、左心俞、右魚際

レスキュー使用：3回

8月23日

6:00 眠れんし、イライラする。コンチンくれ。

8:00 肩背部痛 VAS=60mm

11:00 朝に呼吸苦あり、疼痛もやや強め。鍼灸の効果は右腕の痛みに効果があるよう

17:30 鍼灸治療 3 診目

右の腕の方はよう効いた。右の肩の外側が痛い。

脈診：脾弦

触診：左後溪緊張、右外関緊張、右合谷緊張

治療部位

<毫鍼>左後溪、右外関、右肺俞

<円皮鍼>左後溪、右合谷、右外関、左厥陰俞、左手三里

20:00 肩背部痛 VAS=2mm

8月24日

8:00 NRS=1~2程度。深夜帯レスキュー使用なし。

20:00 NRS=2~3の痛みを訴える。

8月25日

10:30 まあ、眠れた。乾燥したらつまってしまわないか不安。吸入後さらさらとした痰がでる。痛みは左胸と左肩甲骨の所。痛み：VAS=28mm。

14:30 痛み：VAS=26mm。安定している。

レスキュー使用：3回

8月26日

6:00 胸の痛みは大丈夫。肩甲骨が痛いからシップ貼って。

痛み：VAS=32mm

レスキュー使用：2回

8月27日

16:30 ここ1カ月は今一つ積極性がない。

レスキュー使用：2回

8月28日

17:30 鍼灸治療4診目

右肩、左肩甲間部に痛みはない。

治療部位

<円皮鍼>後溪、右外関、左手三里、左三陰交、右太溪

レスキュー使用：2回

8月29日

5:30 夜間はまあまあ眠れた。

17:00 鍼灸治療5診目

調子良い感じ。右肩のところがキリキリ痛むことも。

脈診：脾やや洪、腎虚・無力

治療部位

<毫鍼>右合谷、右後溪、右三陰交

<円皮鍼>左後溪、右合谷、左神門、右内関

レスキュー使用：4回

8月30日

10:00 今日は調子さええ。鍼灸はちょっといいみたい。

16:00 鍼灸治療6診目

右肩後面が痛い。昨日よりはマシ。

治療部位

<毫鍼>右外関、右裏三里、右太溪、行間

21:00 呼吸苦、痛みは訴えない。ニコニコされている。

8月31日

8:00 使ってない。深夜帯レスキュー使用なし。

レスキュー使用：2回

9月1日

8:00 呼吸苦あり。左肩痛：NRS=2~3。

18:30 疼痛の訴えあり。

レスキュー使用：2回

9月2日 退院

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価
- 肩甲間部痛はVAS=60mm 近くの痛みがあったが、以後VAS=2~32mm (NRS=1~3) と痛みが波が出始め、最大疼痛も以前ほどではなくなったことから、改善傾向が認められた。ま

た、治療直後には完全に除痛できていたことから著効と診断した。

- 患者コメント
3診目、右肩は効果あった
- 家族コメント
特記なし
- 医師・看護師・医療スタッフの印象
投薬量も増量しており、何が効果的だったかは不明だが、治療後から落ち着いている。自立心を尊重してもらえたり、安心感が得られるなどの効果があったのではないかと。

【総括】

本症例は、肩背部痛に対して行った。コミュニケーションに限りがあるため、わずかな情報の中で行っていた。

鍼灸治療を過去に経験していたが、「鍼灸は信用していない」と1診目に言われていたが、予定時間を少しでも遅れると「まだこないのか」と看護師に確認されており、楽しみに待たれている姿が見られていた。

鍼灸治療を受けている平日は状態が良いが、休日では呼吸苦や疼痛の訴えが多い印象にある。

また、医療スタッフから「治療後から落ち着いている(痛みを訴えない)」というコメントからも、愁訴である痛みだけでなく、精神的安定にも効果があったと考え、著効であったと診断した。

【患者】93歳、男性

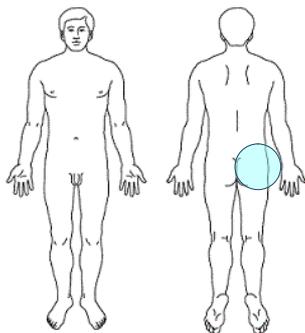
【既往歴】高血圧、肺気腫、胸部湿疹、胆嚢結石、
慢性気管支炎、便秘

【病態】前立腺癌（H4に舞鶴共済）

【ターミナル期】ターミナル前期

【現病歴】

8月3日の3時半にトイレに行く際、転倒し、動けなくなった。
家族が6時ごろに発見し、A医院に受診した結果、骨折の疑いが
あり、緊急要請された。もともとADL自立。



【服薬状況】

特記なし

【鍼灸治療目的】

転倒後より痛みが続く、右大腿部痛に対して、患者本人からの依頼があり、開始する。

【東洋医学的所見】

脈診：腎無力、触診：右足三里緊張、右足背軽度浮腫。疼痛部位は臥位で圧迫かけても再現されず。膝の屈曲運動にて痛みを訴える。右足陽明経熱感あり。

【弁証】右足陽明経絡病

【鍼灸介入期間】8日間

【鍼灸治療回数】4回/週、5回

【転帰】退院

【入院期間】3日間

【評価】評価説明するが理解が得られなかったため、患者コメントおよび、医療スタッフによる印象評価をカルテから抜粋し、評価とした。

【鍼灸治療最終評価】

1)右大腿部痛：著効

【治療経過】

8月23日

10：00 右下肢痛あり。
鍼灸治療を希望する。

17：30 鍼灸治療1診目

2週間前にトイレに行こうとして、デーンとこけてしまっ
たんだ。この、右の足の付け根を何とかしてほしい。
脈診：腎無力

触診：右足三里緊張、右足背軽度浮腫

治療部位

<毫鍼>右足三里、右陥谷、右外陥谷、右臨泣、右復溜、
左行間

<円皮鍼>右陥谷、右外陥谷、右臨泣

8月24日

14：30 まだ足はガクツとなる。右下肢に力が入りにくいこと
だが、ふらつきなく歩行できている。

8月25日

14：30 ぐるっと1周歩くんはまだちょっと…。足の付け根
が痛いんや。鍼灸は効くと思うとるんや。続けてしてもら
わな、あかんと思うわ。

8月26日 著変なし。

8月27日

14：30 右足が痛いんで動きにくいんや。

17：30 鍼灸治療2診目

やっぱり、一回じゃなかなか痛みとれんな。足の付
け根ん ところ裏側が痛い。(大腿後面に痛み)

治療部位

<毫鍼>臀部圧痛点
<円皮鍼>右内庭、右外内庭、右臨泣、右内通谷、右復溜、
右行間

鍼灸治療後「よい感じや!」、痛み消失。

8月28日

15：00 やや強引な歩行をしている。

18：00 鍼灸治療3診目

痛みはあの後からなかったんやけど、トイレに立っ
た際に どうか膝の上らへんでズキーツとした。

脈診：脾滑

治療部位

<毫鍼>右足三里
<円皮鍼>右梁丘

鍼灸治療後、足の動作時痛軽快する

8月29日

17：30 鍼灸治療4診目

足の上げ下げは簡単にはできない。あと2回しかし
てもら うちャンスがな。もう、この痛いん所にさしてく
れ!

右腓腹筋に強い緊張あり。本人希望により、圧痛点を先に
行い、改善しなかった場合四肢末端を使用する。

治療部位

<毫鍼>右臀部圧痛点4か所、右足三里、右陥谷、右外陥谷、
右地五会、右三陰交、右漏谷

本人希望で局所を行うも痛み改善せず。四肢の経穴使用したこ
とで、「上出来や！」とのこと。

8月30日

16:00 鍼灸治療5診目

痛みは前進するより後退しとる。局所を希望さ
れるが、了解を得て四肢末端を使用する。

治療部位

<円皮鍼>右内庭、右外内庭、右行間、右臨泣、右復溜、右通谷、
右内通谷

鍼灸治療後、痛み消失

8月31日

10:00 歩行器にて、歩行できている

13:30 安定し、ふらつきはないが、時々躓いている。

9月1日 痛み訴えることなく、経過できている。

9月2日 退院

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価
説明するも理解されなかったため、使用せず。
- 患者コメント
治療直後：痛みなし
- 家族コメント
特記なし
- 医師・看護師・医療スタッフの印象
痛みを訴える事なく過ごされている日もあり

【総括】

本症例は癌性疼痛ではなく、膝痛に対して行った。末梢経穴を
使用して治療を行っていたが、患者自身は直接刺して欲しいとい
う希望があったため、一度希望に沿って行った。結果、直後満足
感は得られたものの、翌日には痛みは変わらなかったまたは痛み
が増したため、再度末梢経穴で行ったところ、改善が認められた
ことから、著効と診断した。

これらからも、満足度の高い局所治療のみならず、末梢経穴を
使用した効果的な治療法ができなくてはならないと考える。

20130016(N0.66)

【患者】74歳、男性

【既往歴】特記なし

【病態】膀胱癌（全摘）

【ターミナル期】特記なし

【現病歴】

X年9月に退院後、引き続き外来にて経過観察となる。会陰部
痛は退院後も消失することなくあったため、患者本人の希望によ
り、外来にて鍼灸治療継続となる。治療期間は1週間、2週間、
4週間と、状態に応じて、医師の判断で間隔があくため、今回不
定期的な鍼灸治療介入で

はあるが施行開始する。

【服薬状況】

レスキュー：オキシ
コドン塩酸塩水和物散

【鍼灸治療目的】

会陰部痛に対して、
鍼灸治療介入。

【東洋医学的所見】

脈診：脾・腎弦、肝やや渋

舌診：淡白、白膩苔、舌下静脈怒張

【弁証】肝胃不和、血瘀

【入院期間】日間

【鍼灸介入期間】日間

【鍼灸治療回数】1回/2~4週、24回

【転帰】外来にて継続中

【評価】外来で使用している痛み日誌にあわせ、NRSで評価を行
っていたが、口癖のように「10」と繰り返すようになったので、
家族、医師・看護師の印象評価を採用する。

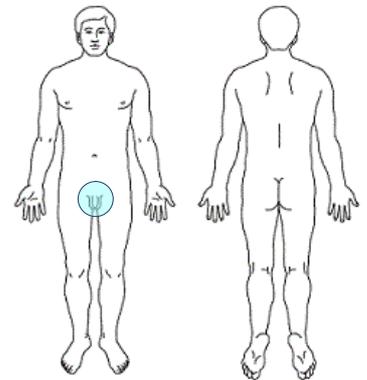
【鍼灸治療最終評価】

1)会陰部痛：有効

【治療経過】

9月20日

15:30 レスキュー使用5~6回/日。嘔気あるも経口摂取良



好
16:00 鍼灸治療 1 診目
痛みは変わらない。ムカつきあり、味覚障害のため
美味し いかも分からんし、ムカつき少しあるよ。

脈診：脾・腎弦、肝やや洪
舌診：淡白、白膩苔、舌下静脈怒張
食欲：ラーメン食べたい時があったけど、腎臓食やし無理やる
な

睡眠：まずまず
痛み：ズキズキする。NRS=8~10

治療部位
<毫鍼>左期門、左足三里、左三陰交、右行間、陰部神経、次膠、
崑崙
<円皮鍼>左期門

9月26日

14:30 嘔気があるとのこと、一度胃カメラしてみてもよい
か。

15:00 鍼灸治療 2 診目
食欲あるも、ムカついて吐き気がする。痛い痛く
ないか で痛みの強弱はない。強い時はVAS=78mm。

脈診：胃・腎弦
舌診：紅舌、白膩苔
睡眠：熟眠感はない
排便：1回/3日 2回/日か1回/2日に。

治療部位
<毫鍼>足三里、右束骨・京骨の間、右公孫、左太衝、次膠、
陰部神経
<円皮鍼>足三里

10月4日

15:00 鍼灸治療 3 診目
痛みあまり変わらず。ムカつきはまだあるので、今
度胃カ メラする事にしました。

治療部位
<毫鍼>左期門、右合谷、右経渠、右足三里、復溜

15:30 レスキュー使用回数が7~8回/日に増加。

10月11日

15:00 デイサービス中は痛み、嘔気はなかった。
16:00 鍼灸治療 4 診目
デイサービスではゲームをしたり、体操がある。

脈診：脾・腎微弦
舌診：暗淡紅、白膩苔、舌下静脈怒張
治療部位

<毫鍼>合谷、右期門、左足三里、右復溜、右太衝、左公孫、次
膠、 陰部神経

<円皮鍼>左合谷、行間

10月18日

16:00 レスキュー使用回数が6~8回/日。痛みは変わらな
いと。

16:10 鍼灸治療 5 診目
あまり変わらない。家にいると痛みが気になる。
最近躓くことが多くなっている気がする。

脈診：腎弦
舌診：紅舌、舌辺厚苔、舌下静脈怒張少々
睡眠：痛みで起きるけど、痛くなければ眠れている。

触診：右足三里~上巨虚緊張、左足三里軟弱、右太衝緊張、
左公孫緊張、手三里緊張圧痛

治療部位
<毫鍼>右足三里、左下巨虚、右太衝、左公孫、合谷、手三里、
次膠、志室、脾俞

<e-Q>左足三里

10月25日

16:30 BW:67.65kg、相変わらず会陰部痛あり。デイは楽
しいが、 家では家族とケンカしている。
レスキュー使用回数は7~8回/日

16:40 鍼灸治療 6 診目
呼吸がゼエゼエとしんどい。何かしている間に痛み
忘れて いることがある。

脈診：滑
舌診：紅舌、厚膩苔、舌下静脈怒張

治療部位
<毫鍼>経渠、中府、左期門、右足三里、行間、右公孫、左肺俞、
右脾俞、左胃俞、志室、次膠、陰部神経

<鍹鍼>隠白

<円皮鍼>右風門、肺俞

11月8日

16:00 痛み変わらないと。近医から眠剤を処方されており、
夜間 やや眠れている様子。レスキュー使用回数は5回/
日。

16:10 鍼灸治療 7 診目
変わらんね。

脈診：脾弦
触診：右内関緊張、合谷緊張、右足三里~上巨虚緊張、
胆経緊張、左公孫緊張

治療部位

<毫鍼>右内関、合谷、右上巨虚、侠溪、右公孫、右胆俞、志室、
大腸俞、右崑崙、次膠、陰部神経

<鍔鍼>背部、行間

11月22日

15:00 レスキュー使用回数は5回/日。嘔気なし。

16:00 鍼灸治療8診目
夜が少なくなったでしょ？近医の薬が効果あるん
やと思う。

脈診：脾滑、肝弦

触診：胸脇苦満。

治療部位

<毫鍼>合谷、左期門、右上巨虚、行間、左太溪、左三陰交、右
胃俞、志室、中膠、陰部神経

<円皮鍼>左大都

12月6日

15:00 便秘時に痛み増悪。嘔気改善せず

15:30 鍼灸治療9診目
手の震えがあまりしなくなった。痛み相変わらずで、
ズーンとしたような痛みで、脂汗がでるくらい。

脈診：脾微弦、虚

舌診：淡紅舌、厚膩苔（舌根部）、舌下静脈怒張少々。

触診：胆経上皮膚乾燥。合谷緊張、外関表面緊張、右上巨虚緊
張、行間圧痛、地五会圧痛

治療部位

<毫鍼>陰部神経、次膠、跗陽、合谷、行間、右外関、左公孫

<円皮鍼>地五会

12月18日

14:30 BW:68.9kg。レスキュー使用回数が5回/日になる

15:30 鍼灸治療10診目
相変わらず。娘に対しての不満があり、強い。デイ
サービスが物足りなく感じている。

脈診：滑

便痛：1週間ない事も。

治療部位

<毫鍼>右合谷、三陰交、太衝、章門、上巨虚、左太溪、
右公孫、至陽、胃俞、志室、次膠、陰部神経

<円皮鍼>合谷

1月10日

15:30 レスキュー使用回数は5回/日に安定している

15:40 鍼灸治療11診目
年未年始どこに行くわけでもなく家にいる。

脈診：脾滑、腎弦

舌診：淡紅舌、白膩苔、舌下静脈怒張

触診：右胃経熱感、右上巨虚緊張、左太溪緊張、右公孫緊張、
内庭圧痛、外内庭圧痛、左期門圧痛

治療部位

<毫鍼>右上巨虚、右公孫、右合谷、左期門、内庭、外内庭、左
太溪、陰部神経、次膠、腎俞、胃俞

<円皮鍼>左行間

16:00 レスキュー使用回数は4~5回/日
家にいるとイライラする。鍼灸治療は気持ちいいと
のこと。

4月4日

15:30 デイサービスのある日：4~5回/日、その他は7回/
日

15:45 鍼灸治療12診目
最初の2週間は時々痛みがあり、家にいると激痛が
起こっていた。

脈診：脾滑、腎弦

舌診：淡紅舌、舌下静脈怒張

痛み：ズキツとした痛み

部位：右大腿外側

治療部位

<毫鍼>左三陰交、左太衝、右公孫、右漏谷、左期門、右陰部神
経、右次膠、右肝俞、筋縮、崑崙

<円皮鍼>左三陰交

15:50 NRS=8~10。会陰部は締め付けられる痛み。

5月2日

15:30 BW:72.3kg。レスキュー使用回数は6回/日

17:40 鍼灸治療13診目
イライラすると痛みが増す気がする。

脈診：腎弦

舌診：紅舌、白膩苔

治療部位

<毫鍼>右期門、左合谷、足三里、左上巨虚、右三陰交、左復溜、
太衝、陰部神経、次膠、右脾俞、右腎俞

5月30日

15:30 レスキュー使用回数は6回/日。変化なし。

15:40 鍼灸治療14診目
痛いね。娘が家にいるからイライラする。

脈診：肺やや滑、腎微弦

舌診：暗紅舌、舌下静脈怒張、舌尖紅

触診：Th7、Th12棘突起圧痛、左胃俞付近膨隆、右胆俞圧痛、
肝経・胃経熱感、左期門圧痛、足三里緊張、三陰交深部硬

結圧痛、右地五会圧痛、左臨泣圧痛。ストレス発散できてない様子。

治療部位

<毫鍼>左期門、外関、足三里、三陰交、行間、右地五会、左臨泣、Th7・Th12 俠脊穴、腎俞、次髎、陰部神経

<円皮鍼>外関、三陰交、行間、公孫、尺沢

6月27日

15:30 しんどいと。レスキュー使用回数は6回/日

16:00 鍼灸治療 15 診目

家にいるとしんどい。

脈診：肝渋、脾微弦

舌診：紅舌、舌尖紅、白膩苔、舌下静脈怒張。

治療部位

<毫鍼>左合谷、右外関、左膝関、右上巨虚、三陰交、内庭、外内庭、左公孫、右地五会

<円皮鍼>右公孫、Th5・Th6・Th7 俠脊穴

7月25日

15:30 鍼灸治療 16 診目

娘がきついんです。痛みも強くなってきている。足も重だるいし、躓きそうになる。

脈診：脾滑、腎微弦

触診：行間圧痛、足三里緊張（R>L）、右期門圧痛、右外関緊張

治療部位

<毫鍼>右期門、右外関、右後溪、足三里、右内庭、右外内庭、行間、左太溪、風池、右膈俞、左陥俞、右胃俞、志室、崑崙

<鍍鍼>肩背部

<円皮鍼>Th7 俠脊穴、右内庭、右外内庭

鍼灸治療後はしんどさ消失したと。

16:00 レスキュー使用回数 6 回/日

8月22日

15:30 鍼灸治療 17 診目

デイサービスに行っている時は気が楽でいいです。

家にいると息が詰まる。

脈診：肝渋、腎弦

触診：胸脇苦満

治療部位

<毫鍼>内庭、外内庭、右臨泣、左俠溪、右足三里、左期門、中腕、左公孫、陰部神経、次髎

<円皮鍼>至陽

16:10 デイの時は痛みが気にならないらしい。

16:30 痛いのがかなん。娘との葛藤、ストレスを言われる。

9月5日

15:30 フェントステーブ効かなくなってきた。デイに行く日でも 7 回/日になっている

15:40 鍼灸治療 18 診目

かわらんです。痛みのある時間帯も、間隔も特別何があるからというわけではなくて、常に痛いんです。来る途中でも 市販の薬のんできた。入院したいくらい。夜間も眠れないし、ストレス溜まるし。デイとかここで先生たちに話をしているとマシ。これが日ごろから続けばいいのに。

脈診：脾虚、肝弦

舌診：淡白舌、白膩苔

触診：両胆経緊張、地五会圧痛

治療部位

<鍼通電 10Hz 10min>陰部神経

<毫鍼>至陽、腎俞、次髎、地五会、右内庭、左中封、右内関、左外関、地五会

<円皮鍼>至陽、膻中、左期門

9月26日

15:00 レスキュー使用するとひどくなる。最近脂汗がでる。

15:30 鍼灸治療 19 診目

かわらんね。服薬すると直後激痛。下腿に力が入らない。

治療部位

<鍼通電 10Hz 10min>陰部神経

<毫鍼>右内庭、右外内庭、右地五会、左内通谷、右期門、膻中、右気戸

10月10日

15:00 散歩するが足ががくがくする。経口摂取はそこそこ。

16:00 痛み変わらず、下肢のしびれあり。歩行しにくい時がある。

脈診：肝弦、腎微弦

舌診：紅舌、白膩苔、舌下静脈怒張

触診：期門圧痛、右章門圧痛、公孫緊張（R>L）

治療部位

<鍼通電 10Hz 10min>陰部神経

<毫鍼>期門、右章門、左三陰交、右公孫、左上巨虚、左陥俞、右胃俞、志室

陰部神経刺鍼響きあり。鍼灸治療中入眠される。治療後は「痛みマシになってきた」と。

10月24日

15:00 痛みも家族間も変わりなし。

15:30 鍼灸治療 20 診目

食後にムカつきがあった。痛い時はレスキュー使用回数9回/日、毎日娘とケンカしておりストレスがたまる。

脈診：肝弦、腎無力

舌診：淡紅舌、白膩苔

治療部位

<毫鍼>右太衝、右公孫、右内関、左中封、足三里、右期門、左不容

11月7日

16:00 レスキューは8~10回/日使用している。依存してきている。

16:30 鍼灸治療21診目

変わらんね。いつも一緒。(娘さんとは?)一緒。

酷くなるばかり。

脈診：脾滑、肝弦

舌診：暗淡白、白膩苔(舌根部)

治療部位

<鍼通電 100Hz 10min>陰部神経

<毫鍼>左復溜、左上巨虚、右公孫、左尺沢、左期門

11月21日

16:00 しんどいね。足がしびれるし。膝下が全部しびれる。

ちょっと動いただけでも息切れするし。

脈診：脾滑、無力、腎弦

舌診：淡紅舌、白膩苔。

下腿にところどころ湿疹あり。レスキュー使用回数8~9回/日

治療部位

<毫鍼>右足三里、右公孫、内庭、外内庭、右内通谷、左束骨・京骨の間、肝兪、胆兪、志室、次髎

<円皮鍼>右肺兪、尺沢、崑崙

16:10 深夜も痛み変わらず、膝下の痛みあり。

12月5日

15:30 著変なし。レスキュー使用回数7~9回/日。約2時間おきに使用している。

16:00 鍼灸治療22診目

痛い。どんどん痛い。呼吸もえらい。家では娘と関係悪化している。本日の来院の際もケンカしてきた。

脈診：脾滑、肝弦

触診：足三里緊張、右公孫緊張、右太衝軟弱圧痛

治療部位

<毫鍼>恥骨上縁の圧痛点4か所、右太衝、右公孫、足三里、左期門、肺兪、脊中、右脾兪、右胃兪、志室

<円皮鍼>右公孫、左尺沢

鍼灸治療中は痛み消失。「こんなに痛みがないのは珍しい」とのこと。主治医や妻よりストレス発散のために何かしては?と提案されると顔をしかめ、「イタタタ...」と言われる。何かすすめることもストレスと感じているのか。

12月19日

15:30 薬で2時間は眠れる。レスキュー使用回数8~10回/日。

【妻】昼間でも眠っている時がある。

【本人】昼夜逆転しとるんかも。

16:00 鍼灸治療23診目

いつもの事ですわ。治療中、入眠されている。

脈診：肝弦、胃滑、腎虚

触診：足三里~上巨虚緊張、右公孫緊張、

治療部位

<毫鍼>期門、右上巨虚、左復溜、右公孫、左肝兪、右胆兪、脾兪、胃兪、大腸兪、崑崙

<e-Q>肺兪

<鍍鍼>背部、腹部

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価
口癖になってきたため、使用を中止した。
- 患者コメント
「変わらんなぁ」「痛い」と言われていたが、後半になると「レスキュー使用した直後は激痛が走る」など訴えるようになる。痛みで眠れないと訴えるも、家人からは寝ている姿を見るときも。
- 家族コメント
隠れて煙草を吸ったりしている。痛いというが、よく寝ていたりするんです。
- 医師・看護師・医療スタッフの印象
外来でも「痛い」というが、鍼灸治療中は気持ちよさそうにしている。

【総括】

鍼灸治療は、治療前後の状態から疼痛に対して有効と考える。その理由には鍼灸治療前も「常に痛い。今も痛い」と訴えることも多かったが、置鍼中は居眠りしていたことから痛みは緩和していたと考える。家にいる間は、家人との関係からストレスを感じる事が多々あり、ストレスが強い時は痛みを訴える回数が増えている。そこで、ペインクリニックの受診や、気分転換に何かす

ることを提案するも、理由をつけて断っているため、指導の面からも難しい症例と感じた。

20130017(N0.67)

【患者】66歳、女性

【既往歴】卵巣癌術後（不完全手術）

【病態】卵巣癌

【ターミナル期】ターミナル前期

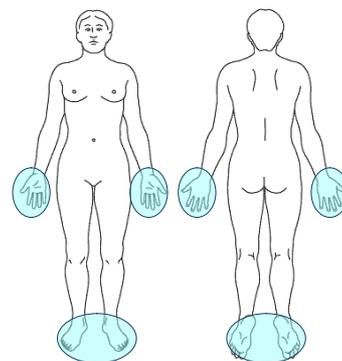
【現病歴】

X-1年9月中旬頃より、腹部膨満感を自覚した。10月に腹部エコーで腹水と腫瘍を指摘されたため、CTをおこない、卵巣腫瘍を認めた。さらに精査で進行性卵巣癌、癌性腹膜炎と診断される。

予後詳細は未告知である。

【服薬状況】

ファモチジン、パンテチン、
センノシドA/B、
モルヒネ塩酸塩水和物液
術後化学療法：TC療法（パ
クリタキセル/カルボプラチ
ン）



【鍼灸治療目的】

化学療法副作用である手足のしびれに対し、AB法（偽鍼・鍼）を行った。

【東洋医学的所見】

脈診：肝弦、腎微弦、脾洪

食欲：あり。望診：足の爪肥厚

しびれ：指先（手）VAS=72mm、足背VAS=90mm、掌VAS=67mm、
足底VAS=85mm

【弁証】気虚、血虚

【鍼灸介入期間】日間

【鍼灸治療回数】1回/週、6回

【転帰】外来（のちに緊急入院）

【評価】しびれに対しVASにて評価。また、医療スタッフによる印象評価をカルテから抜粋し、評価とした。

【鍼灸治療最終評価】

1)しびれ：やや有効

【治療経過】

9月12日

14:00 鍼灸治療 1 診目
手足のしびれが強く、ペンはうまく握れない。
足背は腫れぼったいじんじんとしたしびれがあり、
足手は日によって変動あり、本日は強い。

脈診：肝弦、腎微弦、脾洪

食欲：食べすぎの様な気がする

望診：足の爪肥厚

しびれ：指先（手）VAS=72mm

足背 VAS=90mm

掌 VAS=67mm、足底 VAS=85mm

治療部位

<シャム鍼>八邪穴、八風穴、三陰交

9月19日

14:00 鍼灸治療 2 診目

前回の鍼は2日目ではがれてしまった。指の付け根
の腫れがひいて、指が伸ばせるようになった。アロママッ
サージしているけど、今まではこんなことなかった。

（マッサージは鍼灸開始前から行っている）

しびれ：指先（手）VAS=85mm、足背 VAS=90mm、掌 VAS=76mm、
足底 VAS=80mm

治療部位

<シャム鍼>八邪穴、八風穴、三陰交

9月26日

14:00 鍼灸治療 3 診目

特に変化なし。指の浮腫みも元に戻ってきてしまっ
た。今回は4日間、鍼残ってました。足は3日ほどでとれ
ました。

脈診：滑、腎微弦

舌診：淡白、薄白苔

触診：左胃経熱感

しびれ：指先（手）VAS=94mm、足背 VAS=94mm、掌 VAS=83mm、
足底 VAS=85mm

治療部位

<シャム鍼>八邪穴、八風穴、三陰交

10月10日

14:00 鍼灸治療 4 診目

わりと手の方は1週間近く残っていたんですが、足
元はすくりに剥がれてしまった。

円皮鍼貼付後手の先にチクツとした感じ(嫌な感じではなかつ
た)がした。足の方は貼付後温かい間隔あり。

脈診：脾滑、腎弦

舌診：暗淡白、薄白苔、舌下静脈怒張（R>L）

しびれ：指先（手）VAS=98mm、足背 VAS=85mm、掌 VAS=81mm、
足底 VAS=88mm

治療部位

<円皮鍼>八邪穴、八風穴、三陰交

10月17日

14:00 鍼灸治療 5 診目

手は4日目、足は2日目に剥がれた。左足先がじん
じんと痛かったのが、左足背に移動してきている。掌もグ
ラデーシンの様に指先（手）> 指の付け根（手）> 掌の
順にしびれの強さが違う。

脈診：肝・腎弦、数

舌診：淡紅舌、舌下静脈怒張

しびれ：指先（手）VAS=87mm、足背 VAS=91mm、掌 VAS=78mm、
足底 VAS=88mm

治療部位

<円皮鍼>八邪穴、八風穴、三陰交

10月24日

14:00 鍼灸治療 6 診目

あまり変わらない感じがする。でも、昨日は手の浮
腫みが無くなり、グッと握ることができてました。足のむ
くみはマッサージとしていたのでどっちが良かったか分
からなかったけど、浮腫みは先週よりも良くなって、しびれ
もマシになってます。その代わりに脛の裏が時々痛い時
がある。

脈診：弦、腎無力

舌診：淡紅舌、舌下静脈怒張、舌尖紅

触診：三陰交緊張圧痛、八邪穴圧痛（R>L）

しびれ：指先（手）VAS=86mm、指の付け根（手）VAS=79mm

足背 VAS=65mm、掌 VAS=58mm、足底 VAS=57mm

治療部位

<円皮鍼>八邪穴、八風穴、三陰交

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価
円皮鍼による偽鍼、鍼と効果の差をみたが、治療1週間後
でもあまり効果の差を認められなかった。
- 患者コメント
偽鍼3回目と、鍼3回目の時を比較すると、鍼の方が若干
ではあるが、「しびれがマシになった」というコメントが得
られた。
- 家族コメント
特記なし

● 医師・看護師・医療スタッフの印象

大きな変化は認められない

【総括】

本症例は化学療法副作用によるしびれに対し、円皮鍼(偽鍼と鍼)を用い、八風・八邪穴、三陰交を刺激し、効果の違いを調査した。結果的に、大きな差は認められなかった。治療効果はやや有効とした。

状態悪化に伴い、今までできた事が出来なくなったとストレスを感じていた。

20130018(NO.68)

【患者】85歳、女性

【既往歴】S状結腸癌、ANCA関連血管炎、狭心症、
リュウマチ性多発筋痛症

【病態】大腸癌

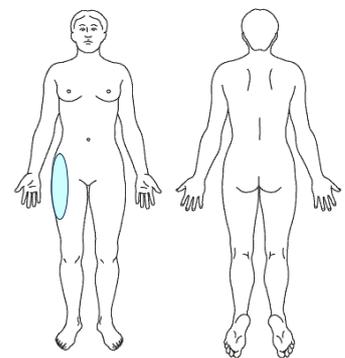
【ターミナル期】ターミナル中期～後期

【現病歴】

以前より、全身倦怠感あり。定期受信日の金曜の夜、夕食少なく、その後1回嘔吐する。土曜日、「しんどいが動いていた。便秘を心配して、ラキソベロンを使いすぎた気がする」とのこと。その後から下痢便持続する。ほとんど食欲なく、食べては少量の食物残渣の嘔吐に伴って、心窩部痛あり。

痛みは今も持続。9月

13日に転倒。朝5時頃にトイレに行く際に屋内で転倒右股関節痛を訴える為、緊急入院となった。画像所見から、右恥骨と坐骨に骨折を確認。



【服薬状況】

プレドニゾロン 10 mg、パファリン 81 mg、シグマート、フランドル、マグミット、ラベプラゾールなど

【鍼灸治療目的】

歩行時の右大腿外側部痛に対して鍼灸治療が依頼される。

【東洋医学的所見】

右股関節外側を中心に大腿にかけての痛みを訴える。右股関節他動時痛あり。自動動作もわずかに可能。足指運動可能、感覚障害なし。ムカつきあり。脈診：72回/分、脾肝洪、腎やや洪、細。舌診：淡白、黄膩苔、乾燥。触診：左胸脇部緊張、全体的に表面軟弱、深部緊張。右内庭圧痛・色素沈着、右外内庭圧痛、右俠溪圧痛、四肢に皮下出血多くみられる。行間発汗・圧痛、左三陰交圧痛

BP：131/78、HR：93reg、BT：37.1度

【弁証】右足少陽経絡病、肝胃不和(ムカつき)

【鍼灸介入期間】30日間

【鍼灸治療回数】4回/週、12回

【転帰】逝去

【鍼灸治療最終日～転帰】3日間

【評価】評価に対し理解されなかったため、医療スタッフによる印象評価をカルテから抜粋し、評価とした。

【鍼灸治療最終評価】

1)右大腿部痛：有効

【治療経過】

9月17日

10:00 お腹は痛い事ないです。(どういう時に痛みますか?)

別に...下腹部が痛い。

12:00 数口食べました。(ムカつきは?)今は大丈夫です。

15:30 本日排便ないが、腹部緊満なし。

15:40 【娘】私が見ていると動いた後に嘔吐があります。水分もあまりとっていないようです。痛いのは入院時よりマシのようです。

レスキュー使用：5回

9月18日

6:30 お尻が痛い。この変。このままであるわ。仙骨部に痛み。キリキリした痛みがある(NRS=10)

9:00 酸化マグネシウムとピコスルファート使用にて排便コントロール。午前中にポータブルトイレ3回移動され、少量ずつ2回、水様便多量1回。排泄後に右鼠径部周辺の痛みを訴える。

17:30 鍼灸治療1診目
足が痛い。(右股関節外側を擦る)じっとしていたら痛くないけど、動いたらちょっとね。ムカつき、吐き気はない。

脈診：72回/分、脾肝洪、腎やや洪、細

舌診：淡白、黄膩苔、乾燥

触診：左胸脇部緊張、全体的に表面軟弱深部緊張。右内庭圧痛・色素沈着、右外内庭圧痛、右俠溪圧痛、四肢に皮下出血多々みられる。行間発汗・圧痛、左三陰交圧痛

治療部位

<毫鍼>右内庭、右外内庭、右俠溪、左三陰交、左太溪、行間

<円皮鍼>右俠溪

21:00 痛いと思ってたけど、トイレ行っても大丈夫でした

9月19日

5:30 痛いんは痛いんです。やっぱり足が...腸蠕動音亢進

気味

13:30 腹部不快感あり。

14:30 鍼灸治療2診目
痛い事はないよ。

脈診：81回/分、腎・肝洪、細

舌診：淡白、黄膩苔

治療部位

<毫鍼>右内庭、右外内庭、俠溪、左太白、左三陰交、行間

<円皮鍼>右俠溪

レスキュー使用：3回

9月20日

10:00 (どうですか?)えらいね...

(体ですか?お腹ですか?)だるい...お腹は...

(痛みはないの?)痛い...(どこが?)足...

(じっとしていても?)うん。全身の訴えあるが疼痛の訴えはない。

9月21日

8:30 7時に右上腹部の痛みを訴える。

フェントステープ1mgを貼付。

11:30 3回トイレにいったことで、右股関節痛を訴える。

13:30 【娘】午前中はしんどそうですけど、お昼から楽そうになって。本人が苦しんでいるのは見ているのも辛いです。娘に精神的疲労がみられる。

レスキュー使用：3回

9月22日

18:30 【娘】ご飯がおいしいってたくさん食べたんです。この人の好物だったし。さっきはトイレに行けたって喜んでた。

21:30 不眠に強い不安がある様子

レスキュー使用：4回

9月23日

11:00 便がしたい。便少量と排尿あり。

レスキュー使用：3回

9月24日

15:00 よう寝とった。動いたら、ちょっと痛いな。

17:30 鍼灸治療3診目

胸が辛いことも、足も痛い事もないです。

脈診：75回/分

触診：両下肢浮腫

治療部位

<毫鍼>右陰谷

<円皮鍼>右行間、右内庭、右外内庭

レスキュー使用：2回

9月25日

13:30 心窩部痛を訴える (NRS=8)

16:00 鍼灸治療4診目

【娘】さっき、吐いてしまったんです。

【本人】うん。わざわざ来てくれてありがとう。

脈診：洪

触診：左神門軟弱、右内関緊張

治療部位

<円皮鍼>左神門、右内関

レスキュー使用：4回

9月26日

16:30 鍼灸治療5診目

さっきお風呂に入れてもらったし、綺麗にしてくら

って... はい、気持ちよくなってウトウトしてました。(胸

がしんどい事は?) なかったです。

脈診：脾滑

舌診：淡白、薄白苔

治療部位

<円皮鍼>右行間、内庭、外内庭、右侠溪

レスキュー使用：0回

9月27日

9:30 夜勤帯にご自身でコールされ、ポータブルトイレ使用し排泄。泥状便少量あり。

15:30 呼吸苦しいです。痛いところないです。

(NRS=)5くらいかな?

16:30 鍼灸治療6診目

しんどい。胸がね、しんどい。吐きそうではない。

浮腫に よる下腿の痛みあり。

治療部位

<円皮鍼>右気戸、曲泉

レスキュー使用：3回

9月28日

11:30 ガス出ってます。朝・夕 ごはん。昼 うどんに変更する。

14:30 動いた時に太腿が痛いです (R>L)

16:00 右股関節痛あり。

昼食後にアセトアミノフェン内服している。

9月29日

8:30 今日美味しくご飯頂きました。3時、6時、7時に水様便あり。腸蠕動音亢進気味。

レスキュー使用：1回

9月30日

0:00 あーいた。痛い。足が痛い。

8:30 2時、3時、8時に泥状便あり。

レスキュー使用：0回

10月1日

7:30 今朝は全部食べられました。昨日はお腹が痛かった。お通じ出たら治りました。

15:30 ちょっとは良いです。胃の痛みはだいぶマシ。

16:30 鍼灸治療7診目

今はもう大丈夫。じっとしていたら痛くないんですが、リ

ハビリとかで動かしたらいたい。(どの辺ですか?)

うーん...この辺(右鼠径部内側)

脈診：脾滑、肝無力、腎微弦

治療部位

<e-Q>足三里×3回、太溪×5回

<円皮鍼>右神門、膝関、右陥谷、右外陥谷、右臨泣

レスキュー使用：0回

10月2日

7:30 こんな便が沢山出るのはいかなん。この下剤も飲むの怖い。ちょっとやめたらあかんか?深夜帯に排便8回。

17:00 鍼灸治療9診目

嘔吐あり(8~9回/日)。

脈診：虚、脾・腎無力

触診：内関軟弱、外関深部硬結

治療部位

<円皮鍼>外関

21:00 ご飯食べたくなかった...

レスキュー使用：1回

10月3日

10:30 胸が偉い。胸部不快感の訴えあり。

15:30 鍼灸治療10診目

今日は眠れました。便は出てません。

脈診：腎無力、細

舌診：淡白、白膩苔、乾燥。下腿浮腫(R>L)

治療部位

<e-Q>右太溪

<円皮鍼>右膝関、右太白、右内庭、右外内庭、右侠溪

21:00 胃液様嘔吐少量あり

レスキュー使用：3回

10月4日

11:00 深夜帯で5回排便あり

13:00 お腹が痛いです。レスキュー使用10分後に症状軽

減

16:30 鍼灸治療 11 診目
 気持ち悪い感じは治まりました。一日が長いわねー。

脈診：脾・腎微弦
 触診：足三里表面軟弱・深部緊張圧痛

治療部位
 <毫鍼>足三里
 <円皮鍼>右膝関、右神門、右内庭、右外内庭、右侠溪
 レスキュー使用：1回

10月5日

10:00 しんどいと、ナースコールあり。体位変換で様子を見ていく。軽度入眠後、すっきりしたとのこと。
 レスキュー使用：2回

10月6日

15:30 呼吸苦あるも、レスキュー使用せず、酸素投与にて消失。

10月7日

4:30 S状結腸の病変肥厚あり。腸閉塞のリスク高い状態が続いている。
 12:00 夜がかなんけど昼は大丈夫
 レスキュー使用：4回

10月8日

2時、3時、5:45に呼吸苦を訴えられている。
 15:30 入眠中のため、鍼灸治療中止
 20:00 ああ、えらい。しんどい。もう死なせてほしい。
 レスキュー使用：8回

10月9日

9:30 フェントステープ 1mg 2mgに変更、フランドルテープ 40mg 追加する。
 17:00 鍼灸治療 12 診目
 あー鍼？なに？お腹しんどい事もない…。

治療部位
 <鍔鍼>八風穴、左太溪

18:00 夕食を自己にて食べている

10月10日

11:00 あーえらい。えらい。
 16:00 ああーううー。
 身の置き所のなさがせん妄の悪化からくるものか、癌性疼痛からのものか不明。本日より昼夜逆転をなおすべく、ハロペリドールとクアゼパムを試みる。
 18:00 状態悪いため、鍼灸治療中止
 レスキュー使用：6回

10月11日

10:00 はい。痛くないです。えらくないです。
 22:00 睡眠できず
 22:30 同室者の声で覚醒してしまうほど、眠りが浅い。

10月12日

15:30 そばにいる時は苦痛を訴えない。
 レスキュー使用：1回

10月13日

15:30 (痛みはないですか?)はい。大丈夫。
 レスキュー使用：1回

10月14日

12:30 2~3回咀嚼されるのみで、食されず。口腔内にうどんんは残っている。

10月15日

13:30 呼吸促迫、苦痛表情あり。
 16:00 声かけにて、開眼するも、すぐにウトウトされる。

10月16日

16:30 声かけするも反応なく、鍼灸治療中止する
 22:30 あーあーあー。

10月17日

3:30 コールあり。トイレかと尋ねるも、首を横に振る。寂しいのかと尋ねると寂しいと返答あり。
 15:00 鍼灸治療 13 診目
 入眠中であったが、家人に了解を得られたので施行する

脈診：虚(ほぼ触れず)
 触診：足背浮腫、冷えあり

治療部位
 <鍔鍼>行間、内庭、外内庭、侠溪、左太溪、百会

10月18日

7:30 意識レベル低下

10月19日

18:30 夕食1割ほど摂取される
 レスキュー使用：2回

10月20日 逝去

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価
 認知症もあり、印象評価を使用する
- 患者コメント
 1診目3時間後：痛いと思ってたけど、トイレ行っても大

丈夫でした。

● 家族コメント

医師・看護師には言えない不満や不安を鍼灸師に対し、語られることが多い。

● 医師・看護師・医療スタッフの印象

特記なし

【総括】

本症例は右大腿外側部痛に対して鍼灸治療を行った。その結果、1診目3時間後にトイレに行った際は痛みを訴えることはなかった。また、リハビリによる筋肉痛の痛みと混合が認められたため、明確に大腿外側部痛を訴えていた状態の評価をもとに、有効と診断した。

それ以外の呼吸苦、浮腫に対しては鍼灸治療を行う時間帯には症状がない、ストッキング着用していたため、状態をみることもできなかったため、今回は介入していない。

他方、家人のストレスが非常に強く、治療に行く際には介護に対する不満、医療に対する不満などを泣ながらに鍼灸師に語ることが数回あり、同時に「イライラして患者にあたってしまう」「いつ呼ばれるかとゆっくり眠れない」といった相談を受けた。その際、不眠にはこのツボがいいといった指導を行ったところ、「昨日は朝までゆっくり眠れた」と翌日、感謝された。

これらからも、患者のみならず、介護する側のケアの重要性を示唆するケースであった。

20130019(NO.69)

【患者】78歳、男性

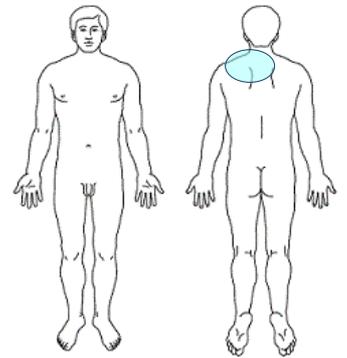
【既往歴】転移性脳腫瘍（stage Ⅰ）

【病態】肺癌（腺癌）

【ターミナル期】ターミナル前期

【現病歴】

X-3年3月、CT下にて生検した結果、腺癌の可能性あり。頭部MRIでも頭蓋内に転移を疑う像、腎機能障害もあり、化学療法をせず。原発および、転移巣も当初の予想よりも増加のスピードは遅い印象。マーカーはCEAが上昇。画像からの長径90mm程度。（X-1年/11では81mm）。脳MRI(X-1年/5)右後頭葉の像はなし。精神的不安が強く、一度退院するも、不眠や異常行動が増えたため家族負担が大きく、再入院となった。鍼灸治療を本人が強く希望されたため、不定愁訴に対し介入した。



【服薬状況】

フルニトラゼパム、クロキサゾラム、チアプリド中止。
眠前ハロペリドールのみとする

【鍼灸治療目的】

不安からくるものか、精神安定の治療を依頼された。

【東洋医学的所見】

脈診：肝弦、舌診：暗淡白、白膩苔。触診：右神門軟弱、右内関緊張、右腕骨深部硬結、右肺俞軟弱、左神門陥凹発汗

【弁証】肝血虚、心気虚

【鍼灸介入期間】57日間

【鍼灸治療回数】4回/週、27回

【転帰】退院（後日再入院 逝去）

【鍼灸治療最終日～転帰】4日間

【評価】精神的評価は、医療スタッフによる印象評価をカルテから抜粋し、評価とした。

【鍼灸治療最終評価】

1) 精神安定：不明

【治療経過】

9月20日 せん妄、不眠により家族負担が大きくなり再入院となった。

16:30 鍼灸治療をまた、お願いします。と本人の希望あり。
時折、床やパジャマの模様が動いて見えることも。

9月21日

4:00 ゴミなど漁る行動が認められる。

21:30 吸引チューブ。5本ほど床にばらまかれている。

9月22日

3:30 笑顔であるも、左肩の痛みを訴える。

11:30 痛くないけど、オキシコドン塩酸塩水和物散飲む。
レスキュー使用：3回

9月23日

16:00 落ち着いてはいるが、以前の本人と違う人格である印象。

レスキュー使用：1回

9月24日

15:30 鍼灸治療をお願いします。痛みはオキシコドン塩酸塩水和物散飲んだら治りますが…。

レスキュー使用：1回

9月25日

1:00 準夜帯2回廊下を歩行されている

17:00 鍼灸治療1診目

【妻】入院前から「鍼灸治療は受けるんや」と言っていました。

【本人】左のここんとこ（肩甲間部）が気になる。
あんな、子供が便秘しとるんや、どこのツボ使ったらええんや？
（子供ではなく自身のことかも）

脈診：肝弦

舌診：暗淡白、白膩苔。

触診：右神門軟弱、右内関緊張、右腕骨深部硬結、右肺俞軟弱、
左神門陥凹発汗

治療部位

<鍤鍼>百会

<円皮鍼>右腕骨、右神門、右内関、右肺俞、左心俞、右肩井

22:30 床に花瓶を落とし、びしょぬれ状態を見つける。

レスキュー使用：0回

9月26日

9:00 便がでない。浣腸施行により、普通便多量に。

17:30 鍼灸治療2診目

（気になるところはありますか？）発語なく、右頸部、右肩を指さす。

脈診：腎無力

治療部位

<鍤鍼>右肩井、右肺俞、左心俞

<円皮鍼>右肩井、右肺俞、右神門、太溪

レスキュー使用：0回

9月27日

10:30 夜間ややせん妄による行動が多い

12:30 ラウンジに変な男がいて腕を掴まれたと興奮気味に話する

16:30 鍼灸治療3診目

（肩の痛みはありますか？）沈黙

（よく眠れましたか？）「しー」と隣で人が聞いているからと口到人差し指をあてる。

脈診：脾渋、腎無力

治療部位

<毫鍼>右三陰交、左神門、外関、右肩井、右肺俞

レスキュー使用：0回

9月28日

16:30 夕方にかけて興奮状態になる。

レスキュー使用：1回

9月29日 せん妄によるものか不穏な行動が増えている。

9月30日

15:30 昼夜のリズムをつくるクアゼパムとゾピクロン使用。フルニトラゼパムは中止する。

レスキュー使用：1回

10月1日

1:30 訪室すると全裸で室内に立たれ、シーツに失禁あり。

3:00 全裸状態で廊下にいる。更衣を促すも全力で抵抗、腕をつかむなどする。

4:30 全裸でウロウロされている。

10:30 フルニトラゼパム、クロキサゾラム、チアプリド中止。眠前ハロペリドールのみとする。

17:30 鍼灸治療4診目

ベッドに横になるよう促すも、スムーズにはできず、何度か声かけで従われる。

治療部位

<毫鍼>上巨虚、三陰交、左足三里

10月2日

0:00 日中覚醒されているも夜間になっても休まれる様子はない。

9:00 夜間は昨日に比べてやや改善するも、以前不穏行動あり。

17:00 鍼灸治療 5 診目
声かけすると軽く首を動かす程度で発語なし。
脈診：腎無力
治療部位
<円皮鍼>後溪、行間、右太溪
19:30 訪室すると、入眠中
20:30 床に放尿されている
10月3日
5:30 下肢何も履かず廊下を歩いている。その後も眠る様子ない
14:00 夕眠前にハロペリドールを行う
16:00 鍼灸治療 6 診目
発語なし。
脈診：腎弦、肝滑
治療部位
<毫鍼>右足三里、右太溪、左三陰交、行間
<鍣鍼>百会
<円皮鍼>左神門、左外関
23:30 室内ゴソゴソ落ち着きなし
レスキュー使用：2回
10月4日
9:30 昨夜から未明にかけて、以前より落ち着いている？
16:00 鍼灸治療 7 診目
入眠中であるが、施行する。
脈診：肝弦、腎微弦、細
触診：右太溪皮膚乾燥・陥凹、足三里表面緊張、右太衝表面軟弱・深部緊張
治療部位
<毫鍼>右太溪、左三陰交、太衝、右足三里、右地五会
<円皮鍼>右神門、行間、右太溪
20:30 詰め所にて、医師を鉛筆で刺そうとした。パソコンのマウスを引っ張って切断する。
23:00 看護師を引掻くなどされる
10月5日
23:00 シーツをすべて外し、パジャマを何度も着替える。
10月6日
5:30 リズムが整ってきたのか落ち着いてきている
19:30 気持ち悪くない。でも、食べません。夕食を拒否
レスキュー使用：1回
10月7日
10:30 夜間の興奮もだいが落ち着いてきている
15:00 身体的、精神的ストレスがある様子。

レスキュー使用：1回
10月8日
15:00 鍼灸治療 8 診目
指示にスムーズに従われる。
脈診：弦、腎無力
触診：右太溪軟弱・陥凹、左後溪軟弱、左三陰交緊張、右足三里～上巨虚緊張
治療部位
<毫鍼>右上巨虚、右太溪、左三陰交、左腕骨
<鍣鍼>腕骨
<円皮鍼>右太溪、左後溪
15:30 背部痛を訴えられる。
21:30 以降、左胸部痛を何度も訴える
レスキュー使用：7回
10月9日
17:00 鍼灸治療 9 診目
声をかけると笑みを見せられる
脈診：93回/分、弦、肝実、腎無力
治療部位
<毫鍼>右上巨虚、左足三里、左地五会、太溪、右太衝、外関、右合谷 鍼灸治療中、腸蠕動音あり
レスキュー使用：1回
10月10日
11:00 浣腸施行。普通便あり
18:00 鍼灸治療 10 診目
いつもお世話になってます。一礼してベッドに横になる
脈診：肝弦、腎無力
触診：右足三里緊張、太溪軟弱、右太衝深部緊張
治療部位
<毫鍼>右足三里、太溪、右太衝、左侠溪、右外関
レスキュー使用：3回
10月11日
6:30 本を破いたりされている
16:30 鍼灸治療 11 診目
右肩前面と左肩後面を擦りながら痛みを訴える。
脈診：肝腎弦、細
治療部位
<毫鍼>右上巨虚、太溪、左三陰交、行間、左陰谷、左外関
レスキュー使用：4回
10月12日
19:30 左胸部を触られている。

レスキュー使用：3回

10月13日

1：00 廊下に出ているが興奮上大ではない

11：00 左頸部、リンパ腫大を認める。

レスキュー使用：4回

10月14日

21：30 怖い！！室内で騒いでいる。

レスキュー使用：6回

10月15日

4：30 喉に違和感と痛みを訴える。

17：30 鍼灸治療 12 診目

肩の動作時痛を訴えるが、鍼灸治療後は消失。

治療部位

<鍹鍼>右太衝、右行間

<円皮鍼>左魚際、左外魚際、左二間、左中渚、神門、左公孫

レスキュー使用：4回

10月16日

15：30 鍼灸治療 13 診目

脈診：84回/分、脾・腎弦。

治療開始前に「トイレ」と言われる。我慢できませんか？すぐ終わりますと言っても、我慢できないと言われたため、他の患者さんのところを回ると伝え、退室。

15：30 【妻】鍼灸治療中に「トイレ」と言いだし、鍼灸師さんがでていった後、トイレに行くと思ったらガラスに頭をぶつ け始めて、止めに入ったら私の腕を掴んで噛もうと したん です。もう、怖くて…。

21：00 眠前にミアンセリン 10mg、ハロペリドール使用

10月17日

7：00 詰め所に来て、マウスのコードを引きちぎりだす。

16：00 鍼灸治療 14 診目

左肩の痛み。鍼灸治療後に鼻のつまりを訴える。

脈診：肝・腎弦

治療部位

<毫鍼>右上巨虚、右太溪

<円皮鍼>左魚際、左外魚際、左外関、左神門、左後溪、

右風池

レスキュー使用：3回

10月18日 外泊

10月19日

15：30 日内リズムを作るため、出来る限り昼間は外に散歩 させる など、疲れさせることを考える。

レスキュー使用：4回

10月20日

15：30 的当てゲームをする。時折険しい表情になるが危険

行動は ない

23：30 会話中、突然怒鳴る。

レスキュー使用：7回

10月21日

14：30 排便処置日に不穏行動が強い印象がある月・水・金 と曜日 を決めて浣腸を施行。

レスキュー使用：6回

10月22日

14：30 ストレスはお腹がすくこと。

17：30 鍼灸治療 15 診目

肩外側を指さし「痛い」と。

治療部位

<円皮鍼>右三角筋下縁、左第3肋間

レスキュー使用：2回

10月23日

10：30 浣腸を険しい表情で拒否される。

17：30 本人希望により鍼灸治療中止

レスキュー使用：4回

10月24日

17：30 鍼灸治療 16 診目

脈診：弦・細

治療部位

<鍹鍼>労宮

<円皮鍼>左胸部圧痛点

レスキュー使用：4回

10月25日

7：00 入眠。朝まで起きず。

14：00 浣腸を拒否される。

18：30 鍼灸治療 17 診目

「今日はいい」一度拒絶されるが、手のツボだけ押 させて くださいというと、顔かれ手を出される。刺激中は 異常行 動なく、落ち着いている様子。

治療部位

<鍹鍼>労宮

レスキュー使用：3回

10月26日～27日 外出

10月28日

9：30 外泊・外出後は精神状態安定している印象がある。

22：30 蛇！蛇がいる！！自室にて騒いでいる。

10月29日

4 : 30 「火事や！！」訪室すると室内水浸しであった。
10 : 00 浣腸を拒否
16 : 30 鍼灸治療 17 診目
胸部ではなく、左肩背部が痛む
治療部位
<鍤鍼>労宮
<円皮鍼>左肩外兪、左内関、左手三里、左腕骨
レスキュー使用 : 3 回
10 月 30 日
14 : 30 今週に入って食事の摂取量が減少
16 : 30 鍼灸治療 18 診目
浣腸拒否されるので、鍼灸治療にて整腸を希望する。
脈診 : 弦、数
触診 : 腹部緊張、足三里 ~ 上巨虚緊張
治療部位
<毫鍼>右上巨虚、左足三里、三陰交
<鍤鍼>腹部、労宮
レスキュー使用 : 3 回
10 月 31 日 午前、浣腸を施行するが排便なし
16 : 00 鍼灸治療 20 診目
痛みなし
治療部位
<鍤鍼>腹部、労宮
<円皮鍼>左内関
16 : 30 色々痛む...。と言われるが、どこが痛いというわけ
ではない。
レスキュー使用 : 3 回
11 月 1 日
10 : 00 左上腕を擦りながら痛みを訴える。
15 : 00 ~ 11 月 3 日 外泊
11 月 4 日
15 : 00 【妻】家でも、ずっと横になっていました。
18 : 00 「豹の子供がいる」と言われているが、落ち着いて
過ごされている。
レスキュー使用 : 1 回
11 月 5 日
14 : 30 腕の痛みは「今は強くない」と。 ウィルヒョ
ウ腫大して きている。
17 : 00 入眠中のため、鍼灸治療中止
レスキュー使用 : 3 回
11 月 6 日
13 : 30 先日の朝、排便ありと本人から妻に伝えていた。

18 : 00 入眠中であつたため鍼灸治療中止
11 月 7 日
14 : 30 排便あつたといわれるが、確認できず。腸蠕動音は
聴取。 食事 3 割可能。入浴時、下着に排便が少量ついてい
た。
17 : 30 鍼灸治療 21 診目
本人入眠中だが、鍼灸治療施行
治療部位
<毫鍼>右上巨虚
<鍤鍼>労宮、湧泉、腹部
レスキュー使用 : 2 回
11 月 8 日
14 : 00 排便ないが排ガスあり。
17 : 30 鍼灸治療 22 診目
終始無言。左肩後面が痛む。それ以外はない。
脈診 : 腎無力
治療部位
<鍤鍼>労宮
<円皮鍼>左腕骨、左肺兪
18 : 00 ~ 11 月 9 日 外泊
レスキュー使用 : 3 回
11 月 10 日
10 : 00 検温前にトイレに行かれており、自然排便あり。
レスキュー使用 : 2 回
11 月 11 日
17 : 00 妻から少し眠そうな姿が多くなった印象があつた
レスキュー使用 : 1 回
11 月 12 日
14 : 00 左上肢 ~ 手背と両下肢浮腫
18 : 00 鍼灸治療 23 診目
声かけにて覚醒するが、すぐに入眠される。
治療部位
<鍤鍼>腹部
<円皮鍼>右太溪
レスキュー使用 : 3 回
11 月 13 日
12 : 30 昼食 : 主食 4 割、副食 2 割
16 : 00 排便あり
18 : 00 鍼灸治療 24 診目
【妻】排便ありました。結構な量でした。
脈診 : 肝弦、腎無力
触診 : 腹部ソフト

治療部位
 <鍹鍼>勞宮
 <円皮鍼>右外関
 17:30 今日は調子良かったみたいです
 レスキュー使用:2回

11月14日
 17:30 鍼灸治療 25 診目
 発語なく、入眠中
 脈診:75回/分、脾滑、腎無力
 治療部位
 <毫鍼>足三里、右膝関
 <円皮鍼>太溪、左液門、左外魚際
 レスキュー使用:2回

11月15日
 15:00 起きて何かする動作はない。
 16:30 眠いため、鍼灸治療拒否
 レスキュー使用:3回

11月16日 外泊
 11月17日
 21:00 血尿あり
 11月18日
 21:30 臥床しながら、ゴソゴソ動かれているが危険行動はない。
 レスキュー使用:2回

11月19日
 16:00 寝ている時間が多く活気がない
 17:00 鍼灸治療 26 診目
 声かけするも無言
 脈診:弦、細
 触診:左手・下腿浮腫。
 治療部位
 <毫鍼>右足三里、左復溜
 <鍹鍼>百会、神庭
 <円皮鍼>右外関、右後溪
 レスキュー使用:3回

11月20日
 17:30 鍼灸治療 27 診目
 左腕は包帯、右手は点滴のため脈診とれない。
 治療部位
 <毫鍼>右足三里、三陰交、太溪
 レスキュー使用:1回

11月21日 退院

11月22日 再入院

11月25日 逝去

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価
 評価なし
- 患者コメント
 前回から引き続き、左肩痛には「OK」とすることはあるが、せん妄による行動は鍼灸治療中には見られなかった。
- 家族コメント
 鍼灸治療を受けることを凄く楽しみにしている。
- 医師・看護師・医療スタッフの印象
 特記なし

【総括】

本症例はせん妄があり、スタッフに暴力や PC マウスを引きちぎるなどの異常行動があるとのことだったが、鍼灸治療時間には一切認められなかった。異常行動が夜間に多いということから、18 時頃に施術時間を変更するも、異常行動を見かけることはなかった。異常行動の評価も難しいため、鍼灸治療の効果があったとはいえない。そのため、評価は不明とした。

【患者】73歳、男性

【既往歴】特記なし

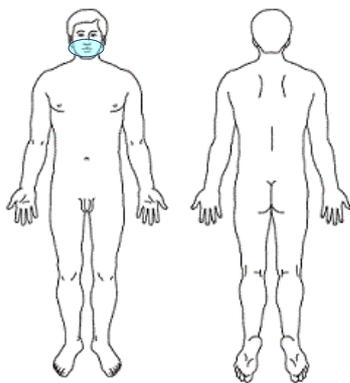
【病態】胃癌（Stage Ⅰ）

【ターミナル期】ターミナル前期

【現病歴】

X年9月～術前化学療法入院。大きな副作用なく退院する。（8日間、CCDP）TS-1服用終了の21日目に外来受診。倦怠感が強く、食事は何とか食べられている。下痢は3回/日あるときも。化学療法副作用と思われる、腎機能も悪化しており、経口摂取困難であるため、入院の上、補液を行う。ある程度、体力が戻ってきたため、化学療法再開。しかし、副作用である口内炎が出現。休薬し、回復を待つ。

服薬効果により、痛みは治まりつつあるが、口内炎の早期回復を目的に鍼灸治療併用となった。



【服薬状況】

デキサメタゾン

【鍼灸治療目的】

口内炎に対して鍼灸治療を依頼された。

【東洋医学的所見】

足陽明・厥陰経に熱感あり。脈診：肝弦。

口内炎箇所は口を開けられないことから確認はとれなかったが、唇にただれがあるのは確認が取れた。

【弁証】胃熱

【鍼灸介入期間】9日間

【鍼灸治療回数】4回/週、6回

【転帰】口内炎に対しての治療を終了

【鍼灸治療最終日～転帰】引き続き治療

【評価】NRSにて評価をとっていたため、NRSを採用した。

【鍼灸治療最終評価】

1)口内炎：不明

【治療経過】

9月27日 数日前から体調が悪かった。2日ほど食事取れていない。本日から吐き気、動悸、腹痛、下痢なく、内服でき

ている。火曜から調子わるくエンシユア 500ml/日程度。

11:30 口内炎が口全体にできて痛くて食べれなかった。サンドイッチを2~3口食べたなら食べれんようになる。うがいは食事前後にしてるし、オーラルバランスを自分で買って塗ってる。お腹は痛い時あるけど、薬は使わなかった。昨日から下痢便10回/日。左季肋部痛が持続している。しかし、オキシコドン塩酸塩水和物散は使用せず。

9月28日

9:30 鼻の中が腫れて乾燥するから薬が欲しい。

19:00 口が痛いし、ネバネバかなわんわ。味噌汁はのむ。後は無理やな。

レスキュー使用：0回

9月29日

9:30 口も目も乾燥する。口内炎が痛くて、ご飯が食べられない。口も開かない。

11:00 今日はちょっとひどいな。イタタタ...

軽度左季肋部 NRS=2。腸蠕動亢進、腸蠕動痛の訴えあり。黒色水様便頻回。口唇、舌唇、口内炎著明。口唇は表皮剥落あり。疼痛に伴い、開口難しいとの発言があるが、会話に支障はない。

21:00 お腹はすいているのに、口が痛くて食べられない。

レスキュー使用：0回

9月30日

13:00 乾燥するで、その上にウェットティッシュあてて、マスクしとんのやけど、またうがする時に血が出るんや。そのままマスクしたら乾燥するし、良い方法ないか考えるんや。左季肋部痛 NRS=2。食欲あるも、痛みが強く出血も少量しか食べれないと。

レスキュー使用：0回

10月1日

10:00 お腹の左上のところは痛くないときもある。今はNRS=2くらい。口は痛い。

13:30 食事終わった。味噌汁はお椀が口に当たって痛い。

10月2日

14:30 朝食は2~3時間かけて、お茶コップ1杯、味噌汁1杯、昼食は3時間かけてヤクルト1本、エンシユア吸い込み1/2摂取したところで、これからお茶と味噌汁飲むところや。

10月3日

13:00 痛い。これは痰やないんや。口腔内、口唇の痛み強く、頻回に含嗽されている。

10月4日
 11:30 口はひどいな。TS-1 + CDDP 施行後、口内炎あり、経口不良 腹水
 10月5日 口内炎の痛み強いため、生理食塩水で含嗽行う。口内炎除 痛をのため、毎食前オキシコドン塩酸塩水和物散内服行う。
 16:00 変わらんかった。痛いもんは痛い。塩水はよかった。
 10月6日
 14:30 痰が期連。口はちょっと開くようになったんや。けーは無理やな。
 20:00 味噌汁だけでよい。ヤクルトは吸い込みに入れてくれたら 飲もうかな。痛くて、話すのも億劫になる。
 10月7日
 14:30 口が痛い。薬が入ったやつでうがいしている。口唇のただれ 著明であり。倦怠感あり。日中入眠している事多い。
 10月8日
 16:00 口腔ケア。食事を必死で摂取してもらうことはない。口腔粘膜が悪化しているため、胃粘膜も同様の症状を起こし、下痢を起こしている。TS-1 終了2週間で改善してくる 予定のため、そろそろ改善のころ。
 14:30 変わらんで。
 10月9日
 14:30 痛いしな。痰はきれないし。ずらずら出てくるし、目もひつつしな。口腔内汚染はひどくなく、右上顎に、左上唇 裏に潰瘍あり。
 10月10日
 16:30 現在、疼痛のため歯磨きに対して抵抗あり。症状が軽減し てきたりしたら、スポンジで行う。
 18:00 鍼灸治療1診目
 味噌汁は食べれてるんや。ここんところが痛くて、口をあ けられんのか。唾液も粘っている。
 痛み:VAS=32mm
 治療部位
 <円皮鍼>行間、内庭、外内庭、俠溪
 10月11日
 14:30 味噌汁は全部飲んだ。
 15:00 プリン食べてもええか?
 15:30 痛いんは変わらない。口が渴くと唇が張り付いてしゃべり にくいんや。歯石あり。スポンジブラシで磨いてもらうよ う促すも、歯肉に触れると痛みあると。
 16:00 鍼灸治療2診目

変わらんな。痛いんは、薬塗ったところだけや。口内炎は 痛くない。鍼は痛い事なかった。
 脈診:肝弦、腎浮滑
 痛み:VAS=28mm
 治療部位
 <円皮鍼>行間、内庭、外内庭、俠溪
 10月12日
 7:00 準夜帯で出血あり、現在はなし。唾液の流出が以前ほどで はない。
 10月13日
 14:30 口唇からの出血なし。
 右上の粘膜部にできている潰瘍は小さくなっていく。
 14:40 ゼリーはスルッと入ったわ。プリンも食べようかと思っ てるんやけど、少し大きい奴やから食べれんな。
 10月14日
 12:30 もとから口を嚙んでよく口内炎になっていたから、また嚙 まんようにしないと…。口腔内疼痛軽減。
 10月15日
 8:00 疼痛の訴えなし。口唇の痂皮なく、出血なし。
 17:30 鍼灸治療3診目
 上は綺麗になったやろ?後は舌唇の真ん中から右側のとこ ろやけど、突然話しかけられたりして、口あけると傷が開 くからな。看護師さんが来ても口きかん時もある。しゃー ないんや。酷くなったらかなん。
 脈診:90回/分、脾滑、肝腎微弦
 治療部位
 <円皮鍼>行間、内庭、外内庭、俠溪
 20:00 口はだいぶ開くようになった。
 10月16日
 16:30 鍼灸治療4診目
 唇は湿ってる時は痛くない。乾いたら痛い。
 痛み:NRS=2
 治療部位
 <鍍鍼>行間、内庭、外内庭、俠溪
 <円皮鍼>行間、内庭、外内庭、俠溪
 17:00 ご飯がネチャツとしてて、飲み込みにくかった。前は唇が 痛かったけど、そのまま飲めた。
 10月17日
 11:30 口内炎改善とともに食事摂取できている。
 15:00 鍼灸治療5診目
 痛みない。おやつも食べた。全体の1/4がおかしい

気がする。唾液はネバっとした時とそうでない時ができた。

痛み：NRS=0

治療部位

<鍍鍼>行間、内庭、外内庭、俠溪

<円皮鍼>行間、内庭、外内庭、俠溪

10月18日

15：30 鍼灸治療6診目

痛い事はない。唇と指の皮がはがれが気になる様子。

脈診：肝弦、細、腎無力。

治療部位

<円皮鍼>行間、内庭、外内庭、俠溪

10月19日

12：30 5分粥と味噌汁とお茶とフルーツ全量摂取可能。

10月20日

19：00 下痢は治まったけど、おならが出ない。

10月21日

20：30 調子良いですよ。

10月22日

15：30 潤って見えるけど唇は熱をもっていてピリピリする。

17：00 口内炎の痛みが消失し、口内炎に対しての治療を終了。

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価
鍼灸治療介入前 NRS=2 であった痛みが NRS=0 となった。
- 患者コメント
2 診目以降、変わらんなあ。だいぶ口も開けれるようになった。
- 家族コメント
特記なし
- 医師・看護師・医療スタッフの印象
特記なし

【総括】

本症例は口内炎に対して鍼灸治療介入したが、介入した時点で回復時期に入っていたため、鍼灸治療効果があったかどうかは不明である。しかし、治療開始してから痛みが悪化する事はなかったため、予防的に作用していたのではないかと考える。

20130021 (NO.71)

【患者】64 歳、男性

【既往歴】C 型肝炎

【病態】膵癌 (T4, M0)

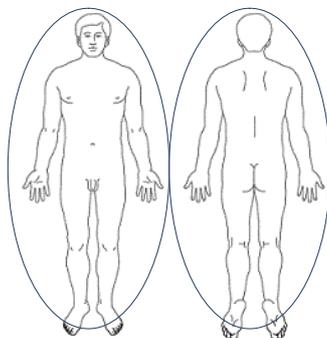
【ターミナル期】ターミナル中期

【現病歴】

X 年 6 月中旬より、上下腹部痛あり。

腹部 CT により 8 月には肝右葉中心多発性 15mm 大腫瘤。その後の検査から膵癌、多発性肝転移性腫瘤と疑いがあり当院に受診に至った。

胸部 CT により膵体部～膵尾部までの膵癌と診断。内部一部壊死性変化あり。脾動脈閉塞側副血行路発達。肝内多発転移性、膵癌は最大 10 cm あり、転移の可能性があり手術不適と診断した。



【服薬状況】

オキシコドン 5mg、オキシコドン塩酸塩水和物 (散) 2.5 mg

【鍼灸治療目的】

全身倦怠感に対し、鍼灸治療を依頼された。

【東洋医学的所見】

脈診：脾・腎弦、肝無力
舌診：淡白、胖大、嫩舌
触診：足背浮腫

【弁証】腎気虚、肝胃不和

【鍼灸介入期間】4 日間

【鍼灸治療回数】4 回/週、4 回

【転帰】逝去

【鍼灸治療最終日～転帰】4 日間

【評価】NRS にて評価をとっていたため、NRS を採用した。また患者コメント、医師・看護師による印象評価を総合し、診断した。

【鍼灸治療最終評価】

1) 全身倦怠感：有効

【治療経過】

10 月 11 日

23 : 30 マッサージは気持ちいいです。ムカつきはずっとあるわけ
ではないです。

レスキュー使用：1 回

10 月 12 日

12 : 30 お腹が張ってるし、えらいんはどうにもならないんです。

22 : 00 癌の痛みは今は大丈夫ですが、だるさがね。夜あまり眠れ
てない...

レスキュー使用：3 回

10 月 13 日

7 : 30 だるさがとれない。背中が痛い。

レスキュー使用：2 回

10 月 14 日

10 : 00 吐きそう、気持ち悪い。吐き気止めください。

レスキュー使用：3 回

10 月 15 日

10 : 30 吐き気と言うよりお腹はって浣腸お願いします。

17 : 30 鍼灸治療 1 診目

全身だるい (NRS=9)

脈診：脾・腎弦、肝無力

舌診：淡白、胖大、嫩舌

触診：足背浮腫

治療部位

<毫鍼>左公孫、束骨・京骨の間、太溪、後溪

<鍹鍼>腹部、肩背部

<円皮鍼>右陥谷、右外陥谷、右地五会

レスキュー使用：7 回

10 月 16 日

16 : 30 鍼灸治療 2 診目

昨日より倦怠感マシだけど (NRS=) 9 だな。肩もこる、首
の横と後ろ。

脈診：腎・肝微弦、脾滑。左湧泉硬結

治療部位

<毫鍼>後溪、右外関、交信、左束骨・京骨の間、右公孫、右内
通谷

<円皮鍼>左太溪、右内庭、右外内庭、右地五会

レスキュー使用：4 回

10 月 17 日

10 : 30 (よく眠れましたか?) 今までで一番休めた感じが
します。だるいのでさすってもらってました。

16 : 30 鍼灸治療 3 診目

...あ、鍼お願いします。

NRSで症状の強さを確認するが、「わからない」と。

脈診：脾弦、90回/分

治療部位

<毫鍼>右太衝、右公孫、左交信、右外関、左手三里

<円皮鍼>右外関、後溪、左手三里

18:00 オキシコドン 5mg 10mgに増量、
オキシコドン塩酸塩水和物（散）2.5mg 処方
レスキュー使用：3回

10月18日

15:00 しんどい。体に力が入らん。一番これがかん。情けない。

16:30 鍼灸治療4診目

あ、鍼ですか？ありがとうございます。だるい感じは（NRS=）

8. 鍼灸治療中入眠する。

脈診：滑、93回/分

治療部位

<毫鍼>右行間、右足三里、右三陰交、太溪

<円皮鍼>後溪、右外関

17:30 突然キーンとなってイライラする

レスキュー使用：2回

10月19日

15:00 【妻】起きると柵や自分の腕を叩いたりしています。

レスキュー使用：3回

10月20日

7:30 しんどそうです。眠らせてください。ドゥルミ開始

レスキュー使用：4回（0:00～8:00）

10月22日 逝去

【評価ポイント】

- VAS、NRS等による評価
NRS=9であったものがNRS=8とわずかではあるが低下が認められた。
- 患者コメント
2診目後：「今までで、一番休めた」
- 家族コメント
死前期には身の置き場なく、自身を叩く行為がみられた
- 医師・看護師・医療スタッフの印象
特記なし

【総括】

本症例の病態進行が早く、患者自身が受け入れる間もなく入院

に至った事に対し、強いストレスを感じていた。そのため、状態悪化に伴う全身倦怠感に対して鍼灸治療を希望されたため、施行した。結果、NRSの変化では大きく変化は認められなかったが、介入前後で比較した結果、睡眠時間が増えていることから効果があったと考える。

【患者】73歳、男性

【既往歴】アルコール性肝硬変、

門脈血栓症（門脈腫瘍栓疑い）

【病態】肝細胞癌

【ターミナル期】ターミナル中期～後期

【現病歴】

X-3年5月、吐血があり、初診を受ける。静脈瘤はあったが、それによる出血ではなかった。入院時にて肝硬変（liver cirrhosis）と肝細胞癌（hepatocellular carcinoma）を指摘された。

X-1年2月に肝動脈化学塞栓術（TACE）を施行。6月アンギオを行う。肝細胞癌は胆嚢動脈が関わっているため治療不可能。6～7月、10月、X年1月にエタノール注入療法（PEIT）を行うも効果乏しい。

X年3月、胆嚢動脈がfeederのため、TACEは一部のみ行う。5月、CTで肝細胞癌の拡大が認められたため、6月よりネクサパー開始する。しかし、倦怠感が強いいため、徐々に減量する。7月末、門脈血栓（おそらく一部は腫瘍栓）を認めたため、一時的に入院に至った。9月中旬に高熱、食欲不振もあり、入院に至った。

【服薬状況】

フェンタニルクエン酸塩

【鍼灸治療目的】

肩背部の痛みに対して依頼される。

【東洋医学的所見】

脈診：75回/分、脾・腎弦。触診：右内関緊張圧痛、右期門緊張圧痛、右章門圧痛、右太衝緊張圧痛、左交信緊張。るいそう。声は小さい。神経質なところもある。爪白。軽度足背浮腫。

【弁証】肝血虚、腎気虚

【鍼灸介入期間】10日間

【鍼灸治療回数】4回/週、7回

【転帰】逝去

【鍼灸治療最終日～転帰】1日間

【評価】評価の説明するも理解が得られないため、患者コメントおよび医師・看護師による印象評価にて診断した。

【鍼灸治療最終評価】

1)肩背部痛：著効

【治療経過】

10月22日

17:00 鍼灸治療1診目

声がもっと出ようになりたい。ケンピキが痛い。

脈診：75回/分、脾・腎弦

触診：右内関緊張圧痛、右期門緊張圧痛、右章門圧痛、右太衝緊張圧痛、左交信緊張

治療部位

<毫鍼>右内関、左太衝、左交信、右期門、右章門、後溪

<鍹鍼>肩背部

18:00 鍼灸してもらったし、少し楽になった気がする

10月23日

11:00 フェントステープ1mg開始。

17:30 鍼灸治療2診目

ケンピキが気になる。横になっていると腰が痛い。

脈診：脾滑、60回/分

治療部位

<毫鍼>後溪、交信

<鍹鍼>肩背部

<円皮鍼>左肺俞、左厥陰俞、左胃俞、後溪

20:30 今日は鍼してもらったから、楽

10月24日

15:00 痛みは少しマシになっている。今の一番ストレスは声が出ないこと

16:30 鍼灸治療3診目

楽です。痛い事はない。今日は声が出ないから。

脈診：脾滑、腎微弦・無力

触診：右公孫緊張、足背浮腫（R<L）

治療部位

<毫鍼>左太衝、左陷谷、左外陷谷、左地五会、復溜、右公孫

<円皮鍼>太溪、左陷谷、左外陷谷、左地五会

10月25日

17:00 鍼灸治療4診目

背中の中の痛いはない。右腕がかゆかゆやった。

脈診：78回/分、弦

舌診：紅舌、舌中剥落、舌尖紅

治療部位

<毫鍼>左太溪、右公孫、行間、右膝関

<e-Q>太溪×5回

<円皮鍼>左肺俞

<鍼鍼>肩背部

10月26日

16:00 鍼してもらってから、少し楽になった感じがする!

10月27日

17:30 寂しいって思うこともあるんや

10月28日

11:00 口の中が渴いてしょうがない。何か飲むと咽てしま
うし、息が苦しい

10月29日

11:00 黄疸著明になる

17:00 鍼灸治療 5 診目

お腹スッキリしないから薬飲んだ 14 時くらい。呼
吸もえらい。鼻がつまった感じがする。声はあかんって。も
う治らんって言われたんや。

脈診：肝滑、腎微弦

触診：胸脇苦満、左足三里緊張圧痛、両下腿浮腫

治療部位

<毫鍼>左足三里、右三陰交

<鍉鍼>腹部、腎経、四白

<円皮鍼>右外関

10月30日

4:30 むれんわ...

11:30 状態悪く、個室に移動

16:00 鍼灸治療 6 診目

【本人】あ...【妻】鍼してもらおう?やめる?

【本人】...する

脈診：数、弦、肝・腎無力

触診：下腿浮腫軽快

反応悪いが返答はされる。

治療部位

<鍉鍼>腎経、太衝、左公孫、中府

22:30 【妻】孫も会いに来てくれて、ハイタッチしてね。

主人も笑顔やったんや

10月31日

14:00 足が痛い。こんなに痛いなら死んでしまいたい。

少々興奮気味。

15:00 鍼灸はまだか?約束しとったんや。いつも足にして

くれるんや。アレやってもらったら気持ちがいいんや。病
気が治る気がするんや。表情穏やかで生き生きしている。

15:30 鍼灸治療 7 診目

昨日は色々考えて眠れんかった

脈診：虚、腎無力、細、90回/分

治療部位

<鍉鍼>太溪、劳宮

<円皮鍼>太溪、左陷谷、左外陷谷、左地五会、左内関

11月1日

19:00 【妻】息してますよね?さっきまでゴソゴソしてた。

明日また来るねって娘が言ったところなんです。

逝去

【評価ポイント】

● VAS、NRS 等による評価
使用せず。

● 患者コメント

1 診目後より「鍼してもらったら楽」というコメントあり。

7 診目：「鍼してもらったら病気が治る気がするんや」

● 家族コメント

特記なし

● 医師・看護師・医療スタッフの印象

鍼の話をした後、表情穏やかで生き生きしている。

【総括】

本症例は、肩甲間部痛などその日の訴えに対して治療を行った。

患者コメントからも、鍼灸治療を受けていると気持ちいいと言わ
れ、どんなに状態が悪くなくても鍼灸治療を希望された。

これらからも、肩甲間部痛に対しては著効と診断した。また 5
診目では、不安を語られ、精神的な支えとなりえる可能性があっ
たと考える。

【患者】45歳、男性

【既往歴】急性腎不全、脳転移、肝転移、せん妄

【病態】肺癌

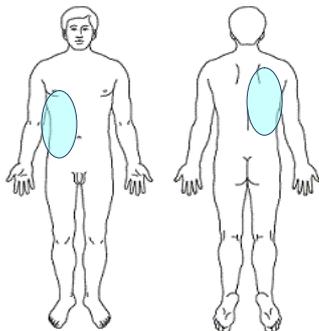
【ターミナル期】ターミナル中期～後期

【現病歴】

X-1年8月頃から体重が認められる。疲労感、咳嗽、右前胸部～正中部に鈍痛あり。

X年3月4日のレントゲン所見から、右肺尖部腫瘍を認めた。頸部～下腹部CT。右肺上葉に径10cm大の肺癌を確認、また内部壊死性変化もあり、左肺門リンパ、縦隔リンパにも転移がある。右胸水・腹水あり。

頭部CTから大脳半球に白質病変を認め、造影結節、浮腫性変化軽度あり。慢性虚血性変化。



【服薬状況】

ハイベン ロキソニン 3錠

リンデロン MS コンチン 10mg × 2錠

リリカカプセル 25mg、オプソ 5mg 10mg

【鍼灸治療目的】

イライラし、スタッフに声を荒げることもあったためストレス緩和と、右肩～脇腹にかけての痛みに対し、鍼灸治療依頼された。

【東洋医学的所見】

声かけするも、「ああ」「うん」のみ。イライラした様子。脈診：96回/分、洪、（左側臥位のため、脈診のみ）触診：右外関緊張圧痛、右後溪～腕骨深部緊張、右胆経浮腫。右臨泣圧痛。

【弁証】肝腎陰虚、（心陰虚）

【鍼灸介入期間】17日間

【鍼灸治療回数】4回/週、10回

【転帰】逝去

【鍼灸治療最終日～転帰】2日間

【評価】評価説明するも理解が得られないため、患者コメントおよび医師・看護師による印象評価にて診断した。

【鍼灸治療最終評価】

1)右胸脇部痛：不明

2)精神安定：不明

【治療経過】

10月29日

2:30 腎機能改善し、疼痛自覚するようになってから、レスキュー ー使用回数増加

17:30 右脇腹がギューっと痛い。

レスキュー使用回数：

オキシコドン塩酸塩水和物散 2.5mg × 6回

オキシコドン塩酸塩水和物注 1ml 早送り × 9回

10月30日

15:30 痛みが強く、レスキュー使用。回数増加。

16:00 NRS=7や。ちょっと楽になったらNRS=5くらい。

16:30 鍼灸治療1診目

脈診：96回/分、洪（左側臥位のため、脈診のみ）

触診：右外関緊張圧痛、右後溪～腕骨深部緊張、右胆経浮腫。右臨泣圧痛。

治療部位

<円皮鍼>右外関、右腕骨、右臨泣、右内通谷

レスキュー使用：

オキシコドン塩酸塩水和物注 1.0ml × 7回、1.5ml × 6回

10月31日

8:00 4時にレスキュー使ってゆっくり眠れた。

15:00 鍼灸治療2診目

痛いな。そこ痛い。腹部接触鍼の際、「変な感じ」と。

脈診：虚、脾洪、99回/分 治療後：滑、90回/分

触診：右足三里緊張、右太溪深部緊張・圧痛、右液門圧痛、左上巨虚硬結・圧痛

治療部位

<毫鍼>右足三里、左上巨虚、右太溪

<鍍鍼>右液門、右臨泣、腹部

<円皮鍼>右不容、右外関、太溪、右臨泣

19:30 触ったら痛い。ビリビリした感じする。

【妻】今朝よりマシみたいです。

レスキュー使用：

オキシコドン塩酸塩水和物注 1.0ml × 19回、2ml × 2回

11月1日

3:30 気張ったで、痛くなったかな？

NRS=7～8。ポータブルトイレに排便少量あり。

16:00 左手尺側にしびれあり

18:30 たくさん食べられない。痛みの薬はできれば使いた

くない。

レスキュー使用：

オキシコドン塩酸塩水和物注 2.0ml × 12 回

11 月 2 日

4 : 30 1 : 00 ~ 4 : 30 までに 4 回レスキュー使用。どっことも痛い。全身痛い。どこって事はない。

13 : 00 オキシコドン塩酸塩水和物注 1ml 1.5ml、制限 40mg 60mg/日に増量。

23 : 00 嫁も娘もいないと思っただけで痛みが増す。

レスキュー使用：

オキシコドン塩酸塩水和物注 1.5ml × 18 回（予防的 1 回）

11 月 3 日

14 : 30 おしっこしたい感じないで。浮腫んでるわ。特に右足が重い感じ。

22 : 30 しゃっくり出始めた。

レスキュー使用：

オキシコドン塩酸塩水和物注 1.5ml × 15 回（予防的 1 回）

11 月 4 日

9 : 30 夜間、特に多弁になる。意識状態もやや悪化。

レスキュー使用：

オキシコドン塩酸塩水和物注 1.5ml × 6 回（予防的 3 回）

11 月 5 日

12 : 30 痛みは痛くて痛くて我慢できないほどではないです。

16 : 30 鍼灸治療 3 診目

今日は良いわ。本人が拒否されたため、労宮刺激のみ行う

レスキュー使用：

オキシコドン塩酸塩水和物注 1.5ml × 18 回

11 月 6 日

8 : 30 今は NRS=8 だね。痛いからね。

9 : 00 オキシコドン塩酸塩水和物注 60mg 100mg/日に増量。

16 : 30 鍼灸治療 4 診目

左手のしびれなし。しゃっくりがゲップに変わる。

脈診：腎無力、肝弦

治療部位

<毫鍼>太溪、足三里

<円皮鍼>八風穴

レスキュー使用：

オキシコドン塩酸塩水和物注 1.5ml × 23 回（予防的 1 回）

11 月 7 日

11 : 30 NRS=8。オキシコドン塩酸塩水和物注 100mg/日に増量する も回数変化なし。

17 : 30 鍼灸治療 5 診目

膝下からだるい痛みがある。

脈診：滑、腎無力

治療部位

<毫鍼>左上巨虚

<鍹鍼>労宮

<円皮鍼>行間、右侠溪、左神門、右腕骨

レスキュー使用：

オキシコドン塩酸塩水和物注 1.5ml × 17 回（予防的 1 回）

11 月 8 日

11 : 30 昼夜逆転傾向。辻褄が合わない。言動があやしく、点滴の針を自己抜去してしまう。

16 : 30 鍼灸治療 6 診目

腹部接触鍼していると「お腹の右側は不思議な感覚やな」と笑いながら話される。

脈診：肝弦、腎無力

触診：右肺俞軟弱陥凹、胸脇苦満（R>L）

治療部位

<鍹鍼>右太溪、右湧泉、右肺俞、労宮、腹部

<円皮鍼>右肺俞、右臨泣、右束骨と京骨の間

レスキュー使用：

オキシコドン塩酸塩水和物注 1.5ml × 16 回（予防的 3 回）

11 月 9 日

5 : 30 疼痛の訴えあるが、動作は早い。（トイレ時など）

21 : 30 1 時間前後でレスキュー使用している。

レスキュー使用：

オキシコドン塩酸塩水和物注 1.5ml × 12 回（予防的 1 回）

11 月 10 日

22 : 00 オキシコドン塩酸塩水和物 100mg 130mg/日に増量

レスキュー使用：

オキシコドン塩酸塩水和物注 1.0ml × 17 回、1.3ml × 5 回

11 月 11 日

9 : 00 お腹ってというか...胸ってというか...

レスキュー使用：

オキシコドン塩酸塩水和物注 1.0mg × 13 回（予防的 1 回）

11 月 12 日

8 : 30 倦怠感著明、痛みは NRS=6。レスキューの効果がある時とない時がある。

16 : 30 鍼灸治療 7 診目

看護師により排便あり。時間をずらして訪室する。

呼吸苦 みられるが、レスキュー使用后、訴えず。どの辺が
痛かったのかと聞いても、覚えていないと。

脈診：滑。下腿浮腫

治療部位

<毫鍼>右足三里、右臨泣

<鍅鍼>右腎経、労宮

<円皮鍼>右行間、右侠溪、右外関

レスキュー使用：

オキシコドン塩酸塩水和物注 1.0ml × 13 回

11 月 13 日

18 : 00 鍼灸治療 8 診目

排便後、テンション高め。うつぶせのため脈診×。

触診：太溪軟弱陥凹

治療部位

<鍅鍼>八風穴、足爪甲根部、太溪

<円皮鍼>八風穴、右腕骨、右魚際、右列缺

レスキュー使用：

オキシコドン塩酸塩水和物注 1.0mg × 8 回

11 月 14 日

16 : 30 鍼灸治療 9 診目

不可解な発言あるも家族の話は聞いている。鍼灸治

療中、ウトウトと眠られる。

脈診：脾滑、腎無力。足背浮腫

触診：太溪軟弱、三陰交深部緊張硬結、左神門軟弱、左内関緊張、
百会陥凹、右肺俞軟弱。

治療部位

<毫鍼>右三陰交、行間

<鍅鍼>太溪、右公孫、左内関、左神門、右肺俞、Th5・6・7 侠

脊穴、百会

<円皮鍼>右八風穴、右肺俞

22 : 30 本日、排便-3 日目

レスキュー使用：

オキシコドン塩酸塩水和物注 1.0mg × 14 回（予防的 1 回）

11 月 15 日

16 : 00 鍼灸治療 10 診目

痛いというか、苦しいというか...

脈診：腎無力、肺弦

治療部位

<毫鍼>右八風穴

<鍅鍼>右太溪、右肺俞、肩甲間部

<円皮鍼>右太溪、列缺

17 : 30 呼吸苦に対してモルヒネを使用

レスキュー使用：オキシコドン塩酸塩水和物注 1.0mg × 12 回

11 月 16 日

14 : 00 オキシコドン塩酸塩水和物注 130mg 150mg/日 UP

レスキュー使用：

オキシコドン塩酸塩水和物注 1.0mg × 24 回（予防的 1 回）

11 月 17 日 逝去

【評価ポイント】

● VAS、NRS 等による評価

VAS、NRS 評価なし

● 患者コメント

特記なし

● 家族コメント

2 診目後「今朝よりマシのようです」

● 医師・看護師・医療スタッフの印象

特記なし

【総括】

本症例は右胸脇部の痛みに対して鍼灸治療を介入した。しかし、
せん妄があり、言動に安定性がない。

また、投薬量も増量されていたため、鍼灸の治療効果があった
かどうかは不明である。

【患者】66歳、女性

【既往歴】卵巣癌術後（不完全手術）

【病態】卵巣癌

【ターミナル期】ターミナル中期～後期

【現病歴】

X-1年9月中旬頃より、腹部膨満感を自覚した。10月に腹部エコーで腹水と腫瘍を指摘されたため、CTをおこない、卵巣腫瘍を認めた。さらに精査で進行性卵巣癌、癌性腹膜炎と診断される。

腹水穿刺を目的に一時入院となった。

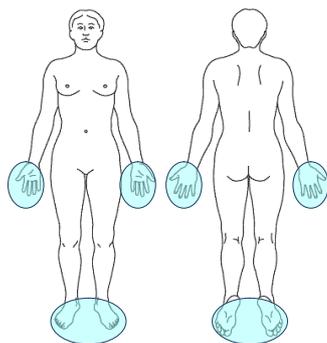
予後詳細は告知である。

【服薬状況】

ファモチジン、パンテチン、

センノシド A/B

モルヒネ塩酸塩水和物液



【鍼灸治療目的】

手足のしびれだけでなく、全身調整のため鍼灸治療介入となった。

【東洋医学的所見】

脈診：実、弦、数。四肢熱感。

*しびれの強さ

足底：VAS=87mm、足背：VAS=78mm、掌：VAS=78mm、手指の付け根：VAS=75mm、指先：VAS=70mm

【弁証】腎虚、肝血虚

【鍼灸介入期間】23日間

【鍼灸治療回数】4回/週、9回

【転帰】逝去

【鍼灸治療最終日～転帰】2日間

【評価】しびれに対しVASにて評価。途中より状態悪化に伴いVAS、NRSが評価できなくなったため、患者コメントおよび、医療スタッフによる印象評価をカルテから抜粋し、総合評価した。

【鍼灸治療最終評価】

- 1)しびれ：やや有効
- 2)全身状態：有効

【治療経過】

10月31日

11:00 動く息が切れるわ。お腹が張ってしんどい。

ご飯、茶碗蒸し5割程度。

16:00 鍼灸治療1診目

あんまり変わらんね。でも手は少し楽になって足の方が一番酷いかな？

脈診：実、弦、数。四肢熱感。

*しびれの強さ

足底：VAS=87mm 治療後：VAS=74mm

足背：VAS=78mm 治療後：VAS=74mm

掌：VAS=78mm 治療後：VAS=75mm

手指の付け根：VAS=75mm 治療後：VAS=75mm

指先：VAS=70mm 治療後：VAS=68mm

治療部位

<毫鍼>右三陰交、左復溜、左公孫、合谷、右太衝

<鍍鍼>手足爪甲根部

<円皮鍼>蠡溝

VASでは変化があまり認められないが、「ビリビリした感じがマイルドに」とコメントあり。

11月5日

16:00 お腹が張ってしんどい、痛い。ご飯が食べられないを訴え、来院。癌性腹膜炎の状態ですと説明。

11月6日

10:00 心窩部あたりが痛いんや。

ロキソプロフェンNa飲んでも変わらない。

12:00 腹水穿刺。血性2400ml破棄。心窩部痛に対してオプソ処方

18:00 鍼灸治療2診目

昨日は鳩尾が何とも言えないくらい痛かった。

お腹が重たい感じにはっている。

脈診：滑、117回/分

触診：下腿浮腫、冷え。太溪表面緊張。

治療部位

<毫鍼>太溪

<鍍鍼>腹部接触鍼

<円皮鍼>左行間、左侠溪

11月7日

14:00 腹水抜いてからマシになりました。1週間前は寿司

10皿位 食べました。アイスクリームしか食べれない。

17:30 鍼灸治療3診目

張りはマシです。貧血起こしている感じでしんどい

です。

脈診：脾微弦

足底：VAS=100mm、足背：VAS=100mm、掌：VAS=74mm、

手指付け根：VAS=80mm、指先：VAS=80mm

治療部位

<毫鍼>右太白、三陰交、右神門

11月8日

10:00 ガスがでないのが一番困る

10:30 便は少しずつ出ているけど、ガスはなかなか出ない。

11:00 余命 11月末までであることを家人・本人に説明。

16:00 鍼灸治療 4 診目

余命を聞いた事で落ち込んでいる様子。鍼灸治療中

「何か 気持ちいいですね。何と言ったらいいんだろ。スー

ツとす るというか、気持ちいいです」

脈診：脾滑、腎無力

舌診：淡紅舌、薄白苔

治療部位

<毫鍼>左上巨虚

<鍣鍼>湧泉、労宮、胸脇部

鍼灸治療後は腹部膨満感軽快。

11月9日 退院

11月12日

14:30 腹水穿刺 2500ml。再入院

16:00 鍼灸治療 5 診目

本人は家に帰りたいと希望するも家人らは病院を

希望。その間での板ばさみに悩まれている。足少陽経を撫で
るのは分かるが、圧すると分からない。

脈診：洪、腎弦、87回/分

触診：手足冷えあり、腹部ソフト

治療部位

<鍣鍼>右太溪、右三陰交、湧泉、腹部接触鍼

21:00 腹水穿刺 3200ml。フェントステープ 1mg

11月13日

14:00 昼にガリガリくん 3本食べた。ちょっと吐いたわ。

17:00 入眠中のため、鍼灸治療中止

11月14日

14:30 点滴のとき痛い～お昼うどん美味しかった。何か眠
いし、フェントスやめるわ

16:30 入眠中のため、鍼灸治療中止

11月15日

9:00 フェントステープ中止。レスキューをオプソ 5mg に
変更。

15:30 鍼灸治療中止

声かけて覚醒。「眠いので、今日はやめとく。今度
にするわ。わがまま言っでごめん」とのこと

11月16日

10:00 大丈夫、痛くない。眠たい。咳が出る。

11月17日 外泊

11月18日

8:00 「病院に戻るというものの、起きてくれない」と娘
から電 話があり。

9:30 外泊から戻られる。昨日はずっと寝ていて心配して
いたん です。痛み止めは全然飲んでないです。

11月19日

6:00 トイレに行きたいけど、動けない。

10:00 目があかん。カーテン閉めて、まぶしい。

16:30 鍼灸治療 6 診目

…してって。

脈診：弦、細

治療部位

<毫鍼>右足三里、左復溜

<鍣鍼>百会、神庭

<円皮鍼>右外関、右後溪

20:30 黒色泥状便あり

23:00 暗紅色の嘔吐がガーグルベースの中に少量あり

11月20日

8:30 夜間嘔吐あり

11:30 腹水抜いてほしい。腹部膨満感あるも、張りは以前
ほどで はない。

16:30 鍼灸治療 7 診目

昨日より目が開けられるようになりました。本当に
よかつ た。(お腹はどうでしたか?) 鳩尾のところがしん
どかつた。

【治療後】

先生、今日しびれとか痛みの薬飲んでないんだけど、
マシです。(触れている感覚ありますか?) ある。

こ のまま、少しでも楽になったらいいのに。もう、か
なん。でも昨日よりちょっとマシでよかった。

治療部位

<鍣鍼>胸脇部、太淵、尺沢、中府、百会、太溪

<円皮鍼>左中府、太溪

11月21日

9:00 寝れないとお腹がしんどい。痛くはない。自力でね
るわ…。

17:00 鍼灸治療 8 診目
のどが…のどが渴いた。お茶ください

【治療中】ああ、楽…

治療部位

<腧鍼>胸腹部

18:00 吐血あり。

11月22日

16:00 体がだるい。お腹が痛い。吐血 2 回。午後からない。

16:00 鍼灸治療 9 診目

うー。(鍼はどうしますか?)うー、していって。

うー、あー。 先日までの円皮鍼を抜鍼。

ガー グルベースが床に落ちており、吐血したもので汚染
されて いる。担当看護師に報告。本日、上肢は血液汚染が
あり、 下腿のみで行う。

治療部位

<円皮鍼>三陰交

11月23日 唸っている事が多い。

11月24日 逝去

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価
状態悪化に伴い、症状も悪化となる。
- 患者コメント
外来：しびれに変化はないが、治療中は気持ちがいいとウ
トウトされる
- 家族コメント
特記なし
- 医師・看護師・医療スタッフの印象
4 時まで自身で体動されていた。昨日のように唸ったり
されず、最後は穏やかであった。

【総括】

しびれに関しては、ほとんど変化がないという事であったが、
入院中になり、鍼灸治療後にしびれが一時的に消失した。それら
からも、全く効果がないわけではないため、やや有効とした。全
身状態は鍼灸治療後から数時間は楽な状態が続くことから、有効
であると診断した。

本症例では、家族やスタッフに言えない思いを鍼灸師に語られ
ており、それをきっかけに話し合う機会を得ることはできていた。
鍼灸師がチームに属する事で、より患者の思いを聴き、残された

家族が「あの時、ああしてあげればよかった」などの後悔をしな
いためには、家族ケアにも結び付けられる可能性があると考える。

20130025(N0.75)

【患者】73歳、男性

【既往歴】特記なし

【病態】胃癌（Stage Ⅱ）

【ターミナル期】術前

【現病歴】

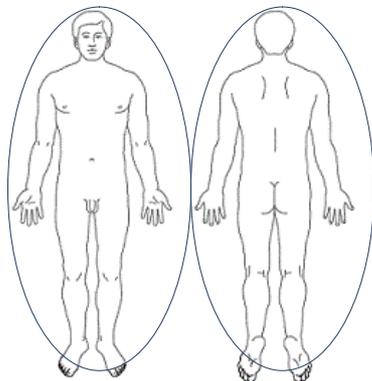
X年9月、術前化学療法入院。大きな副作用なく退院する。（8日間、CDDP）TS-1服用終了の21日目に外来受診、倦怠感が強く、食事は何とか食べられている。下痢は3回/日あるときも。化学療法副作用と思われる、腎機能も悪化しており、経口摂取困難であるため、入院の上、補液を行う。ある程度、体力が戻ってきたため、化学療法再開。副作用である口内炎の出現により、口内炎の早期回復を目的に鍼灸治療併用となった。口内炎が改善したため、今回の化学療法による副作用予防のため引き続き、鍼灸治療介入となった。

【服薬状況】

TS-1

【鍼灸治療目的】

抗がん剤副作用予防に
対して行った



【東洋医学的所見】

口渇あり。脈診：脾・腎弦。舌診：淡白、胖大、嫩舌。下腿浮腫。

【弁証】腎気虚。（肝胃不和）、胃熱

【鍼灸介入期間】18日間

【鍼灸治療回数】4回/週、9回

【転帰】退院

【鍼灸治療最終日～転帰】4日間

【評価】症状がでていなかったため、患者コメント、家族、医師・看護師の印象評価を採用する。

【鍼灸治療最終評価】

1) 化学療法副作用：やや有効

【治療経過】

10月22日

15:30 口唇は熱をもっていて、ピリピリする。経口摂取可能。

17:00 鍼灸治療 1 診目

口の渇きはないけど、唇は渇く。

脈診：脾・腎弦

舌診：淡白、胖大、嫩舌

触診：下腿浮腫

治療部位

<円皮鍼>右太溪、左陷谷、左外陷谷、左地五会、太衝

10月23日

17:30 鍼灸治療 2 診目

今日は、右足はちょっとひいている感じするな。左の方は 変わらん気がするけど。

脈診：肝・腎弦、細

治療部位

<毫鍼>右公孫、左太溪

<円皮鍼>左太溪

10月24日

15:30 泥状便多量にあり

16:30 睡眠中のため鍼灸治療中止

10月25日

10:00 食事中に時々まだ痛む

17:00 睡眠中のため鍼灸治療中止

10月26日 著変なく、経過している

10月27日

15:30 口腔内改善してきている

10月28日

15:30 なんとなく調子がすっきりしないです。

10月29日

8:30 TS-1 + CDDP 2クール目開始

17:00 鍼灸治療 3 診目

全身倦怠感を訴える。1週間前と比べると足は軽くなった。

脈診：細、腎無力・微弦。左太衝深部軟弱・圧痛、右太溪陷凹、左復溜緊張、左公孫表面緊張

治療部位

<円皮鍼>右太溪、左復溜、左公孫、右太衝

10月30日

8:30 絶好調です。

16:30 鍼灸治療 4 診目

あつい。あつい。のぼせた感じにポーっとするわ。

口内炎 もない。浮腫みがまた少し出てきた。

脈診：数、肝・腎弦、脾洪、細
望診：顔面紅潮
触診：下腿浮腫（昨日より悪化）
治療部位
<円皮鍼>右復溜、行間、左三陰交

10月31日
9:00 心窩部に痛みあり。
15:30 鍼灸治療 5 診目
えらいわ。しんどい。重だるい。胃がやられとんのか、グーッと重くなって食べ物が入らん。

脈診：腎無力、脾微弦
触診：四肢ほてり。寒さなし。下腿浮腫あり
（左足背は外側になるほど浮腫強い）
治療部位
<毫鍼>足三里、太溪
<円皮鍼>左陥谷、左外陥谷、左地五会、太溪

11月1日
15:30 口内炎は痛みなし。心窩部はもやもやする。

11月2日
10:00 だるい。左上肢はしびれとる。心窩部痛なし。

11月3日
15:30 心窩部はちょっと変なくらい軟便 1 回

11月4日
15:30 今日は何かフラフラするわ。ここ数日は身体がだるい感じ。調子はいいいんやけど。

11月5日
15:00 左上肢のしびれも持続しているとのこと
16:00 鍼灸治療 6 診目
うん。だるいね。便はある。

脈診：93 回/分、脾滑、腎無力
治療部位
<円皮鍼>太溪、左公孫、左陥谷、左外陥谷、左臨泣
19:21 口内炎悪化なし

11月6日
16:30 鍼灸治療 7 診目
昨日と一緒に。しびれの部位は左上腕全部。しびれは(NRS=)1、だるさは(NRS=)2。浮腫み無くなったや
る？
脈診：細、肝・腎微弦、腎無力
治療部位
<毫鍼>太溪、左太衝

<鍍鍼>左爪甲根部
11月7日
17:30 鍼灸治療 8 診目
昨日と変わらん。難しいなあ。しびれは(NRS=)2、だるさは(NRS=)1 くらいかな。昨日と一緒にや。
脈診：数、脾滑、腎無力
触診：内踝周囲に軽度浮腫あり
治療部位
<毫鍼>左外関、左神門、太溪

11月8日
16:00 鍼灸治療 9 診目
足の浮腫みと手のしびれに対してやってもらってるんや。しびれは、半月に 1 回あるかないかが、今じゃ常にある。今日は、化学療法が楽でよかった。
脈診：81 回/分、肺・肝弦、腎無力
触診：足背浮腫なし。
治療部位
<毫鍼>左太溪、右太衝、右合谷、左内関
<円皮鍼>右行間、太溪

11月9日
14:00 だるい。口内炎のチームの人に月・火あたりが一番しんどい言われた。倦怠感持続しているが悪化なし。

11月10日
14:30 朝から泥状便。朝から 4 回あり。

11月11日 特に悪化なし。

11月12日 退院

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価
VAS、NRS 評価なし
- 患者コメント
9 診目：家族との会話の中で「2 度目の化学療法は楽な気がする」
- 家族コメント
9 診目：家族との会話の中で「2 度目の方がしんどいと思っていたけど、元気そうでちょっと安心しました」
- 医師・看護師・医療スタッフの印象
特記なし

【総括】
本症例は抗癌剤副作用予防に対して行った。症状がでていない

ため、明らかな効果はわからないが、2診目～3診目に睡眠中のため鍼灸治療介入していない期間では、体調がすっきりしないと
いったコメントがあり、患者に確認したところ「寝ていても起こして」との事だった。

これら総合的に副作用予防に対しては明らかな症状がでていなかったため、やや有効とした。